

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・空冷式非常用発電装置：運転開始後約2.5時間後（その後約4時間ごとに補給）</p> <p>・電源車：運転開始後約2.5時間後（その後約4時間ごとに補給）</p> <p>・ディーゼル発電機（燃料油貯蔵タンク）：運転開始後約70時間後（その後約1.6時間ごとに補給）</p>	<p>・ガスタービン発電設備軽油タンク：運転開始後約10時間以降、4時間</p> <p>・大容量送水ポンプ（タイプI）：運転開始後約5時間</p> <p>・熱交換器ユニット：運転開始後約15時間</p> <p>b. 操作手順</p> <p>タンクローリから各機器への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.14-37図及び第1.14-38図に、タイムチャートを第1.14-39図から第1.14-40図に示す。</p> <p>[大容量送水ポンプ（タイプI）、熱交換器ユニットへ補給する場合]</p> <p>大容量送水ポンプ（タイプI）、熱交換器ユニットへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>①^a 発電所対策本部は、手順着手の判断基準に基づき、プラント状況から補給が必要な機器を判断し、重大事故等対応要員にタンクローリによる補給対象設備への補給の開始を指示する。</p> <p>②^a 重大事故等対応要員は、補給対象設備の近傍まで移動し、補給のためタンクローリの補給前準備を行い、必要な距離分の補給ホースを引き出す。</p> <p>③^a 重大事故等対応要員は、タンクローリから対象の設備へ補給するため、車両付ポンプを作動させる。</p> <p>④^a 重大事故等対応要員は、補給対象設備の燃料タンクの蓋及びタンクローリの吐出弁を「開」とし、補給ノズルレバーを握り、タンクローリによる補給対象設備への補給を開始する。</p> <p>⑤^a 重大事故等対応要員は、補給対象設備の補給状態を目視で確認し、必要量の補給完了を確認後、補給ノズルレバーを開放し、タンクローリによる補給対象設備への補給を完了する。</p> <p>⑥^a 重大事故等対応要員は、タンクローリの油量を確認し、定格負荷運転時の燃料補給間隔を目安に、以降「1.14.2.4 (1)b. 軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの軽油補給」手順④^aから⑨^a又は④^bから⑧^b、及び「1.14.2.4(2)b. タンクローリから各機器への補給」手順②^aから⑤^aを繰り返す。</p>	<p>・代替非常用発電機：運転開始後約6時間（その後約6時間ごとに補給）</p> <p>・可搬型大型送水ポンプ車：運転開始後4時間（その後約4時間ごとに補給）</p> <p>・緊急時対策所用発電機：運転開始後約17時間（その後約18時間ごとに補給）</p> <p>b. 操作手順</p> <p>可搬型タンクローリから各機器への補給手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.14.35図に、タイムチャートを第1.14.36図に示す。</p> <p>[代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機へ補給する場合]</p> <p>代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機への補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>①^a 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、プラント状況から補給が必要な機器を判断し、災害対策要員に可搬型タンクローリによる補給対象設備への補給の開始を指示する。</p> <p>②^a 災害対策要員は、現場で可搬型タンクローリ給油ポンプを起動し、タンクの底弁を開放するとともに出口弁を開とする。</p> <p>③^a 災害対策要員は、給油ガンにて補給対象設備への補給を開始する。</p> <p>④^a 災害対策要員は、補給対象設備の燃料タンクが満杯となれば、燃料補給を停止し、給油ガンを取り外す。</p> <p>⑤^a 災害対策要員は、発電所対策本部長に可搬型タンクローリによる補給対象設備への燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>⑥^a 災害対策要員は、可搬型タンクローリの油量を確認し、燃料補給間隔を目安に、以降「1.14.2.4 (1)b. ディーゼル発電機燃料油貯槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリへの燃料補給」手順⑤^aから⑩^a、手順⑨^aから⑬^a又は手順⑤^bから⑩^b及び「1.14.2.4(2)b. 可搬型タンクローリから各機器への補給」手順②^aから⑤^aを繰り返す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・女川及び泊は、有効性評価の想定事象で使用する設備の燃料補給間隔を記載している。</p> <p>・大飯は、各条文ごとに燃料補給手順及び燃料補給間隔を整理している。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【女川】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・女川の燃料消費量にあたっては、定格容量での消費量から算出している。</p> <p>・泊の燃料消費量にあたっては、運転状態の負荷に見合った消費量から算出し、補給燃料給間隔を目安に燃料補給を実施する。（大飯と同様）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑤、⑥）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>【ディーゼル発電機の場合】</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、燃料油貯蔵タンクの給油口に、給油用ホースを接続する。</p> <p>⑩ 緊急安全対策要員は、タンクローリーの排出弁を開状態にし、タンクローリーからの給油を開始する。</p> <p>⑪ 緊急安全対策要員は、給油が完了すれば、排出弁を閉止した後、給油用ホースを取外す。</p> <p>⑫ 緊急安全対策要員は、発電所対策本部長にタンクローリーによる空冷式非常用発電装置等への燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>⑬ 緊急安全対策要員は、タンクローリーの油量を確認し、以降⑤から⑭を繰り返し燃料の補給を実施する。</p>	<p>【ガスタービン発電設備軽油タンクへ補給する場合】</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンクへの補給手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 発電所対策本部は、手順着手の判断基準に基づき、重大事故等対応要員にガスタービン発電設備軽油タンクへの補給を指示する。</p> <p>② 重大事故等対応要員は、ガスタービン発電設備軽油タンク近傍まで移動し、GTG 軽油タンク (A) 給油口の閉止フランジを取り外し、専用接続金具を取り付ける。</p> <p>③ 重大事故等対応要員は、タンクローリーのタンク底部の給排用ノズルへ専用接続金具を取り付けた後、ホースを接続する。</p> <p>④ 重大事故等対応要員は、タンクローリーに接続したホー</p>	<p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽へ補給する場合】</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、プラント状況に応じてディーゼル発電機燃料油貯油槽への補給の必要性を判断し、災害対策要員に可搬型タンクローリーによるディーゼル発電機燃料油貯油槽への補給の開始を指示する。</p> <p>② 災害対策要員は、現場でディーゼル発電機燃料油貯油槽の閉止蓋及び給油口を開放する。</p> <p>③ 災害対策要員は、現場で可搬型タンクローリー吐出口のキャップをはずし、ホースを接続する。</p> <p>④ 災害対策要員は、現場で燃料受入口のキャップをはずし、ホースを接続する。</p> <p>⑤ 災害対策要員は、現場で可搬型タンクローリーの切替弁を「吐出」側に切替え、タンクの底弁を開放する。</p> <p>⑥ 災害対策要員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、ディーゼル発電機燃料油貯油槽への補給を開始する。</p> <p>⑦ 災害対策要員は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽が満杯となれば、現場で可搬型タンクローリーの給油ポンプを停止し、切替弁及びタンクの底弁を閉止し燃料補給を停止する。</p> <p>⑧ 災害対策要員は、現場で可搬型タンクローリー及び燃料受入口からホースを取り外し、吐出口及び燃料受入口のキャップを取り付け後、発電所対策本部長へディーゼル発電機燃料油貯油槽への燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>⑨ 災害対策要員は、可搬型タンクローリーの油量を確認し、燃料補給間隔を目安に、以降「1.14.2.4 (1)b.ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへの燃料補給」手順⑤から⑭及び「1.14.2.4 (2)b. 可搬型タンクローリーから各機器への補給」手順②から⑧を繰り返す。</p>	<p>【女川】設備の相違（相違理由⑤、⑥）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・大飯は、タンクローリーへの燃料補給及びタンクローリーから各設備へ燃料補給する一連の流れをまとめて記載している。各設備へ燃料補給する手順として実質的な相違なし。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため1.14.2.4(1)の記載より再掲】 空冷式非常用発電装置の燃料消費率は、約248.2ℓ/hであり、起動から枯渇までの時間は約6.4時間と想定しており枯渇までに燃料（重油）補給を実施する。</p>	<p>スをGTG軽油タンク(A)給油口に取り付けた専用接続金具へ接続する。</p> <p>⑤^a 重大事故等対応要員は、車両付ポンプを作動させ、タンクローリーの吐出弁を「開」とし、タンクローリーからGTG軽油タンク(A)への補給を開始する。</p> <p>⑥^b 重大事故等対応要員は、ガスタービン発電設備軽油タンクの補給状態を油面レベルで確認し、必要量の補給完了を確認後、各バルブを「閉」操作し、タンクローリーによるガスタービン発電設備軽油タンクへの給油が完了したことを発電所対策本部に報告する。</p> <p>⑦^a 重大事故等対応要員は、タンクローリーの油量を確認し、定格負荷運転時の燃料補給間隔を目安に、以降「1.14.2.4(1)b.軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリーへの軽油補給」手順④^aから⑨^a、及び「1.14.2.4(2)b.タンクローリーから各機器への補給」手順②^aから⑥^aを繰り返す。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、タンクローリー1台当たり重大事故等対応要員2名で作業を実施した場合、作業開始を判断してからの所要時間は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンクローリーにて各機器へ補給する場合：40分 ・タンクローリーにてガスタービン発電設備軽油タンクへ補給する場合：50分 <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。</p> <p>なお、各設備の燃料が枯渇しないよう以下の時間までに補給を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスタービン発電機の燃費は、定格容量にて約2,460L/hであり、起動から枯渇までの時間は約186時間。 	<p>c. 操作の成立性 上記の操作は、可搬型タンクローリー1台当たり災害対策要員2名で作業を実施した場合、作業開始を判断してからの所要時間は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型タンクローリーにて代替非常用発電機へ補給する場合：40分 ・可搬型タンクローリーにて可搬型代替電源車へ補給する場合：45分 ・可搬型タンクローリーにて可搬型直流電源用発電機へ補給する場合：10分 ・可搬型タンクローリーにて可搬型大容量海水送水ポンプ車へ補給する場合：15分 ・可搬型タンクローリーにて可搬型大型送水ポンプ車へ補給する場合：10分 ・可搬型タンクローリーにて緊急時対策所用発電機へ補給する場合：10分 ・可搬型タンクローリーにてディーゼル発電機燃料油貯油槽へ補給する場合：10分 <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。閉止蓋等を速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>なお、各設備の燃料が枯渇しないよう以下の時間までに補給を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替非常用発電機の燃料消費量率は、約253L/hであり、起動から枯渇までの時間は約6.4時間。 	<p>【女川】記載方針の相違(女川実績の反映) ・女川の燃料消費量にあたっては、定格容量での消費量から算出している。 ・泊の燃料消費量にあたっては、運転状態</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>電源車の燃料消費率は、約 96.4ℓ/h であり、起動から枯渇までの時間は約 5.0 時間と想定しており枯渇までに燃料（重油）補給を実施する。</p> <p>ディーゼル発電機の燃料消費率は、約 1.77kℓ/h であり、起動から枯渇までの時間は約 3.5 日間と想定しており、枯渇までに燃料（重油）補給を実施する。</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料（重油）の備蓄量として、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」、「1.18 緊急時対策所の居住性等に関する手順等」に示す燃料（重油）も含め、重油タンク（160kℓ（1基当たり）、4基）及び燃料油貯蔵タンク（150kℓ（1基当たり）、4基）を管理する。</p>	<p>・大容量送水ポンプ（タイプ1）の燃費は、定格容量にて約 188L/h であり、起動から枯渇までの時間は約 5.2 時間。</p> <p>・熱交換器ユニットの燃費は、定格容量にて約 56L/h であり、起動から枯渇までの時間は約 16 時間。</p> <p>また、多くの補給対象設備が必要となる事象を想定した場合、事象発生後7日間、それらの設備（ガスタービン発電機、大容量送水ポンプ（タイプ1）、熱交換器ユニット）の運転継続するために必要な燃料（軽油）の燃料消費量は約 234kL であり、軽油タンク（約 830kL）又はガスタービン発電設備用軽油タンク（約 330kL）から燃料補給が供給可能であるため、事象発生後7日間対応可能である。タイムチャートを第 1.14-36 図及び 1.14-37 図に示す。</p> <p style="text-align: center;">(添付資料 1.14.2-9)</p>	<p>・可搬型大型送水ポンプ車の燃料消費率は、約 72L/h であり、起動から燃料の枯渇までの時間は約 5.5 時間。</p> <p>・緊急時対策所用発電機の燃料消費率は、緊急時対策所指揮所側が約 24.4L/h、緊急時対策所待機側が約 19.3L/h であり、起動から枯渇までの時間は、緊急時対策所指揮所側で約 19 時間、緊急時対策所待機側で約 24 時間。</p> <p>また、多くの補給対象設備が必要となる事象を想定した場合、事象発生後7日間、それらの設備（代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機）の運転継続するために必要な燃料（軽油）の燃料消費量は約 182.3kL であり、ディーゼル発電機燃料油貯油槽（約 540kL）又は燃料タンク（SA）（約 50kL）から燃料補給が供給可能であるため、事象発生後7日間対応可能である。タイムチャートを第 1.14.37 図及び 1.14.38 図に示す。</p> <p style="text-align: center;">(添付資料 1.14.13)</p>	<p>の負荷に見合った消費量から算出している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・女川及び泊は、有効性評価の想定事象で使用する設備の燃料消費量及び枯渇時間に関する内容を記載している。</p> <p>・大飯は、各条文ごとに燃料消費量及び枯渇時間を整理していることから、給電に使用する設備のみ記載している。</p> <p>【女川】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・女川の燃料消費量にあたっては、定格容量での消費量から算出している。</p> <p>・泊の燃料消費量にあたっては、運転状態の負荷に見合った消費量から算出している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・女川及び泊は、有効性評価の想定事象で使用する設備の燃料消費量及び枯渇時間に関する内容を記載している。</p> <p>・大飯は、各条文ごとに燃料消費量及び枯渇時間を整理していることから、給電に使用する設備のみ記載している。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.14.2.5 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 非常用交流電源設備による給電</p> <p>非常用ディーゼル発電機又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機が健全な場合、自動起動信号（非常用高圧母線低電圧）による作動、又は中央制御室からの手動操作により非常用ディーゼル発電機又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を起動し、非常用高圧母線に給電する。</p> <p>非常用ディーゼル発電機又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の運転により消費された燃料は、非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンクの油面が規定値以下まで低下すると非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプが自動起動し、軽油タンクから非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンクへの補給が開始される。その後燃料補給の完了に伴い、非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプが自動停止する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>外部電源が喪失した場合又はメタクラ 2C 系、メタクラ 2D 系又はメタクラ 2H 系の電圧がないことを確認した場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>非常用交流電源設備による給電手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.14-43 図に示す。</p> <p>① 発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員（中央制御室）に非常用交流電源設備による給電開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A は、非常用ディーゼル発電機又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機が自動起動信号（非常用高圧母線低電圧）により自動起動し、受電遮断器が投入されたことを確認する。あるいは、中央制御室から手動操作により非常用ディーゼル発電機又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機を起動し、受電遮断器を投入する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）A は、非常用高圧母線へ給電が開始されたことをメタクラ電圧指示値の上昇及び非常用ディーゼル発電機電力指示値又は高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機電力指示値の上昇により確認し、発電課長に給電が完了したことを報告する。</p>	<p>1.14.2.5 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 非常用交流電源設備による給電</p> <p>ディーゼル発電機が健全な場合、自動起動信号（非常用高圧母線低電圧）による作動、又は中央制御室からの手動操作によりディーゼル発電機を起動し、非常用高圧母線に給電する。</p> <p>ディーゼル発電機の運転により消費された燃料は、ディーゼル発電機燃料油サービスタンクの油面が規定値以下まで低下するとディーゼル発電機燃料油移送ポンプが自動起動し、ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油サービスタンクへの補給が開始される。その後燃料補給の完了に伴い、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプが自動停止する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>外部電源が喪失した場合又はメタクラ A系及びメタクラ B系の電圧がないことを確認した場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>非常用交流電源設備による給電手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.14.39 図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に非常用交流電源設備による給電を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A は、ディーゼル発電機が自動起動信号（非常用高圧母線低電圧）により自動起動し、受電遮断器が投入されたことを確認する。あるいは、中央制御室から手動操作によりディーゼル発電機を起動し、受電遮断器を投入する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）A は、非常用高圧母線へ給電が開始されたことを非常用高圧母線の電圧により確認し、発電課長（当直）に給電が完了したことを報告する。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 非常用直流電源設備による給電</p> <p>外部電源並びに非常用ディーゼル発電機及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機の機能喪失後、充電器を経由した直流母線（125V 直流主母線盤）への給電から、125V 蓄電池 2A、125V 蓄電池 2B 及び 125V 蓄電池 2H による直流母線（125V 直流主母線盤）への給電に自動で切り替わることを確認する。蓄電池による給電が開始されたことを確認後、125V 蓄電池 2A 及び 125V 蓄電池 2B については、蓄電池の延命のため、125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2B の不要な負荷の切り離しを実施する。なお、外部電源喪失及び非常用ディーゼル発電機及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機の機能喪失後 1 時間以内に、中央制御室において簡易な操作でプラントの状態監視に必要ではない 125V 直流主母線盤の直流負荷を切離し、その後、外部電源喪失及び非常用ディーゼル発電機及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機の機能喪失後 8 時間以内に、中央制御室外において必要な負荷以外の切離しを実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>全交流動力電源喪失により、125V 充電器 2A、125V 充電器 2B 及び 125V 充電器 2H の交流入力電源の喪失が発生した場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>125V 蓄電池 2A、125V 蓄電池 2B 及び 125V 蓄電池 2H による給電手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.14-44 図に示す。なお、125V 蓄電池 2A 系及び 125V 蓄電池 2B による給電手段については、「1.14.2.2(1)a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」にて整備する。</p> <p>① 発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に 125V 蓄電池 2H からの給電が開始されたことの確認を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）A は、125V 充電器 2H の交流入力電源が喪失したことを「非常用高压母線 2H 低電圧」にて確認し、125V 蓄電池 2H による給電が開始され、HPCS125V 直流主母線電圧の指示値が規定電圧であることを確認し、発電課長に給電が完了したことを報告する。</p>	<p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【女川】設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較表のため1.14.2.1(9)の記載より再掲】</p> <p>(9) 優先順位</p> <p>全交流動力電源喪失時に炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料ピット内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するための代替電源（交流）による給電手順の優先順位は、空冷式非常用発電装置、77kV送電線、No.2予備変圧器2次側恒設ケーブル、No.1予備変圧器2次側恒設ケーブル、号機間電力融通恒設ケーブル、電源車及び号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）の順で使用する。</p> <p>空冷式非常用発電装置は全交流動力電源喪失時に、他号炉や外部電源の状況に依存せず、中央制御室及び現場での電源回復操作を並行し、短時間で電力供給ができるため、第1優先で使用する。</p> <p>77kV送電線による代替電源（交流）からの給電は、他号炉や外部電源の状況確認に時間を要するものの、中央制御室で遮断器を投入することで、容易に給電することができることから、第2優先で使用する。</p> <p>No.2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電は、運転員等によるインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置後、中央制御室で遮断器を投入することで、容易に給電することができるが、給電までに要する準備時間が比較的に長いことから、第3優先で使用する。</p> <p>No.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電は、運転員等によるインターロック解除（ジャンパ、リフト）処置後、中央制御室で遮断器を投入することで、容易に給電することができるが、給電までに要する準備時間が比較的に長いことから、第4優先で使用する。</p>	<p>c. 操作の成立性</p> <p>125V蓄電池2Hからの給電は、運転員（中央制御室）1名にて直流母線（125V直流主母線盤）へ自動で給電されることを確認する。中央制御室での電圧確認であるため、速やかに対応できる。</p> <p>1.14.2.6 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.14-45図及び第1.14-46図に示す。</p> <p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p> <p>全交流動力電源喪失時に炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するための給電手段として、ガスタービン発電機及び電源車による給電並びに号炉間電力融通ケーブルを使用した3号炉の非常用ディーゼル発電機からの電力融通による給電がある。</p> <p>短期的には、低圧代替注水として用いる復水補給水系への給電、中長期的には、発電用原子炉及び原子炉格納容器の除熱で用いる残留熱除去系の給電が主な目的となることから、これらの必要な負荷を運転するための十分な容量があり、かつ短時間で給電が可能であるガスタービン発電機（優先1）による給電を優先する。</p> <p>優先1のガスタービン発電機からの給電ができず3号炉の非常用ディーゼル発電機からの給電が可能な場合は、優先2の号炉間電力融通ケーブル（常設）を使用した電力融通を行う。</p> <p>ガスタービン発電機及び号炉間電力融通ケーブル（常設）による給電ができない場合は、優先3の号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を使用した電力融通を行う。</p> <p>なお、号炉間電力融通ケーブルを使用した電力融通を行う場合は、電源を供給する3号炉の発電用原子炉の冷却状況、非常用ディーゼル発電機の運転状況及び電源を受電する2号炉の受電体制を確認した上で実施する。</p> <p>ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル（常設）及び号炉間電力融通ケーブル（可搬型）による給電ができない場合は、優先4の電源車から給電する。</p>	<p>1.14.2.6 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.14.40図及び第1.14.41図に示す。</p> <p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p> <p>全交流動力電源喪失時に炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料ピット内の燃料体の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するための給電手段として、代替非常用発電機及び可搬型代替電源車による給電、後備変圧器による給電並びに号炉間連絡ケーブル、号炉間連絡予備ケーブル又は開閉所設備を使用した1号又は2号炉のディーゼル発電機からの電力融通による給電がある。</p> <p>短期的には、代替炉心注水として用いる代替格納容器スプレイポンプへの給電、中長期的には、発電用原子炉の冷却で用いる非常用炉心冷却設備（高圧注入系）の給電が主な目的となることから、これらの必要な負荷を運転するための十分な容量があり、かつ短時間で給電が可能である代替非常用発電機（優先1）による給電を優先する。</p> <p>優先1の代替非常用発電機からの給電ができず外部電源からの給電が可能な場合は、優先2の後備変圧器を使用した電力融通を行う。</p> <p>代替非常用発電機及び後備変圧器による給電ができない場合は、優先3の可搬型代替電源車から給電する。</p> <p>代替非常用発電機、後備変圧器及び可搬型代替電源車からの給電ができず1号又は2号炉のディーゼル発電機からの給電が可能な場合は、優先4の号炉間連絡ケーブルを使用した電力融通を行う。</p> <p>代替非常用発電機、後備変圧器、可搬型代替電源車及び号炉間連絡ケーブルからの給電ができず1号又は2号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違</p> <p>【女川】設備の相違 ・炉型の相違による給電対象負荷の相違。 ・泊の代替電源（交流）による給電対象負荷は、大飯と同様。 ・泊は代替炉心注水として用いる代替格納容器スプレイポンプに給電する。大飯は代替炉心注水として用いる恒設代替低圧注水ポンプに給電する。</p> <p>【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違</p> <p>【女川】記載箇所の相違 ・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②） 【女川】運用の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較表のため1.14.2.1(9)の記載より再掲】</p> <p>号機間電力融通恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電は、上記の第4優先手順と同様に給電までに要する準備時間が比較的長いこと及び上記の第4優先手順に比べ、対応に必要な要員が多いことから、第5優先で使用する。</p> <p>なお、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）と号機間電力融通恒設ケーブル（1，2号～3，4号）の優先順位は、給電までに要する準備時間が比較的短いことから、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を優先とする。</p> <p>電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的長いことから、第6優先で使用する。</p> <p>号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）による給電は、電路への接続作業等の準備時間が長いことから第7優先で使用する。</p> <p>上記の第1優先から第7優先までの手順を連続して行った場合、約11時間で実施でき、所内直流電源設備から給電されている24時間以内に、十分な余裕を持って給電を開始する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.14.24図に示す。</p>	<p>なお、号機間電力融通ケーブルを使用した電力融通を行う場合は、電源を供給する3号炉の発電用原子炉の冷却状況、非常用ディーゼル発電機の運転状況及び電源を受電する2号炉の受電体制を確認した上で実施する。</p> <p>上記の優先1から優先4までの給電手順を連続して実施した場合、125V充電器の受電まで約395分で実施可能であり、所内常設蓄電式直流電源設備から給電されている24時間以内に十分な余裕を持って給電を開始する。</p>	<p>のディーゼル発電機からの給電が可能な場合は、優先5の開閉所設備を使用した電力融通を行う。</p> <p>代替非常用発電機、後備変圧器、可搬型代替電源車、号炉間連絡ケーブル及び開閉所設備からの給電ができず1号又は2号炉のディーゼル発電機からの給電が可能な場合は、優先6の号炉間連絡予備ケーブルを使用した電力融通を行う。</p> <p>なお、号炉間連絡ケーブル、開閉所設備及び号炉間連絡予備ケーブルを使用した電力融通を行う場合は、電源を供給する1号又は2号炉の発電用原子炉の冷却状況、ディーゼル発電機の運転状況及び電源を受電する3号炉の受電体制を確認した上で実施する。</p> <p>上記の優先1から優先6までの給電手順を連続して実施した場合、充電器の受電まで約1200分で実施可能であり、所内常設蓄電式直流電源設備から給電されている24時間以内に十分な余裕を持って給電を開始する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違</p> <p>【女川】設備の相違 ・自主対策設備の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②） 【女川】運用の相違（相違理由①）</p>
<p>【比較表のため1.14.2.2(3)の記載より再掲】</p> <p>(3)優先順位</p> <p>全交流動力電源喪失時は、蓄電池（安全防護系用）により、非常用直流母線へ代替電源（直流）が自動で給電される。また、直流電源系統は不要な直流負荷の切離しを行うことで24時間にわたって給電を確保するため、蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電を第1優先で使用する。</p>	<p>(2)代替電源（直流）による対応手段</p> <p>全交流動力電源喪失時、直流母線への給電ができない場合の対応手段として、所内常設蓄電式直流電源設備、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び125V代替充電器用電源車接続設備がある。</p> <p>原子炉圧力容器への注水で用いる原子炉隔離時冷却系、高圧代替注水系及び低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）、発電用原子炉の減圧で用いる自動減圧系、原子炉格納容器内の減圧及び除熱で用いる原子炉格納容器フィルタベント系への給電が主な目的となる。短時間で電力供給が可能であり、長期間にわたる運転を期待できる手段から優先して準備する。</p>	<p>(2)代替電源（直流）による対応手段</p> <p>全交流動力電源喪失時、直流母線への給電ができない場合の対応手段として、所内常設蓄電式直流電源設備及び可搬型代替直流電源設備がある。</p> <p>発電用原子炉停止後の炉心冷却のための2次冷却設備（補助給水設備）、発電用原子炉の停止、冷却、原子炉格納容器の健全性を確認できる計器に電源供給を行う非常用の計装用インバータ（無停電電源装置）への給電が主な目的となる。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②） 【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【女川】設備の相違 ・炉型の相違による給電対象負荷の相違。 ・泊の代替電源（直流）による給電対象負荷は、大飯と同様。 ・DB第33条 保安電源設備 10.1.4.4 直流電源設備（33条-29項）より引用。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較表のため1.14.2.2(3)の記載より再掲】</p> <p>全交流動力電源喪失時に、蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電は、24時間以降に電圧が許容最低電圧以下に低下するため、それまでに可搬式整流器による電源を準備し、可搬式整流器から代替電源（直流）を給電することにより長期にわたる直流電源を確保可能であることから、第2優先で使用する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.14.30図に示す。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料の「1.14.2.4 代替電源（直流）による給電手順等(3) 優先順位(1.14-30-31頁)」の記載を下記に掲示】</p> <p>(3) 優先順位</p> <p>全交流動力電源喪失時に、代替電源（直流）からの給電手段として、以上の手段を用いて、事象発生後、2時間以内に中央制御室に隣接する計装盤室において簡易な操作で不要な負荷を切り離すことにより8時間、その後、事象発生から8時間以内に不要な負荷の切離しを行い、蓄電池（重大事故等対処用）による代替電源（直流）からの給電をすることで、24時間にわたって給電を確保することができることから、第1優先で使用する。</p> <p>全交流動力電源喪失時に、蓄電池（重大事故等対処用）による代替電源（直流）からの給電は、24時間以降に電圧が低下するため、それまでに可搬型直流電源装置を準備し可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電を行うことにより長期に渡る直流電源を確保可能であることから、第2優先で使用する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.14.25図に示す。</p>	<p>全交流動力電源の喪失により125V充電器を経由した125V直流主母線盤への給電ができない場合は、代替交流電源設備による給電を開始するまでの間は、125V蓄電池2A、125V蓄電池2Bを使用することで24時間にわたり原子炉隔離時冷却系の運転、及び自動減圧系の作動等に必要な直流電源の供給を行う。</p> <p>全交流動力電源喪失後、125V蓄電池2A、125V蓄電池2Bによる給電ができない場合は、125V代替蓄電池を使用することで24時間にわたり高压代替注水系の運転に必要な直流電源の供給を行う。</p> <p>全交流動力電源の喪失により250V充電器を経由した250V直流主母線盤への給電ができない場合は、代替交流電源設備による給電を開始するまでの間は、250V蓄電池を使用することで低压代替注水系（常設）（直流駆動低压注水系ポンプ）の運転に必要な直流電源の供給を行う。</p> <p>全交流動力電源喪失後、24時間以内に代替交流電源設備による給電操作が完了する見込みがない場合は、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備を用いて直流電源母線へ給電するが、短時間で給電可能な可搬型代替直流電源設備を優先して準備する。</p>	<p>全交流動力電源喪失時に、代替電源（直流）からの給電手段として、以上の手段を用いて、事象発生後、1時間以内に中央制御室に隣接する安全系計装盤室において簡易な操作で不要な直流負荷を切り離すことにより8.5時間、その後、事象発生から8.5時間以内に不要な負荷の切離しを行い、事象発生から13時間後にB後備蓄電池を投入、事象発生から17時間後にA後備蓄電池を投入し、代替電源（直流）からの給電をすることで、24時間に渡って給電を確保することができることから、第1優先で使用する。</p> <p>全交流動力電源喪失時に、後備蓄電池による代替電源（直流）からの給電は、24時間以降に電圧が低下するため、それまでに可搬型代替直流電源設備を準備し可搬型代替直流電源装置による代替電源（直流）からの給電を行うことにより長期に渡る直流電源を確保可能であることから、第2優先で使用する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.14.41図に示す。</p>	<p>【女川】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑩）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>代替交流電源設備により交流電源が復旧した場合には、125V 充電器を受電して直流電源の機能を回復させる。</p> <p>125V 蓄電池 2A 及び 125V 蓄電池 2B が枯渇した場合は、遮断器の制御電源が喪失しているため、遮断器を手動で投入してから代替交流電源設備により交流電源を復旧し、125V 充電器 2A 及び 125V 充電器 2B を経由して 125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2B に給電して直流電源の機能を回復させる。</p>	<p>代替交流電源設備により交流電源が復旧した場合には、充電器を受電して直流電源の機能を回復させる。</p> <p>蓄電池（非常用）及び後備蓄電池が枯渇した場合は、遮断器の制御電源が喪失しているため、遮断器を手動で投入してから代替交流電源設備により交流電源を復旧し、A 充電器及び B 充電器を經由して A 直流母線及び B 直流母線に給電して直流電源の機能を回復させる。</p>	<p>【女川】設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<p>第1.14-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/5)</p> <table border="1" data-bbox="761 406 1310 813"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対処設備（設計基準拡張）</td> <td>—</td> <td>非常用交流電源設備による給電</td> <td>非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレイスディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2B 系電路 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2B 系電路 軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料送配管・弁 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料送配管・弁</td> <td>非常時操作手順書（設備別） M/C C/D 母線受電 非常時操作手順書（設備別） M/C 母線受電</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.14.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/5)</p> <table border="1" data-bbox="761 869 1310 1236"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対処設備（設計基準拡張）</td> <td>—</td> <td>非常用直流電源設備による給電</td> <td>125V 蓄電池 2B^{※1} 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 高圧主母線盤 2B-I 電路 125V 蓄電池 2A^{※1} 125V 充電器 2A 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A-I 電路 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B-I 電路</td> <td>非常時操作手順書（設備ベース） （電源回復）</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	重大事故等対処設備（設計基準拡張）	—	非常用交流電源設備による給電	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレイスディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2B 系電路 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2B 系電路 軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料送配管・弁 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料送配管・弁	非常時操作手順書（設備別） M/C C/D 母線受電 非常時操作手順書（設備別） M/C 母線受電	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	重大事故等対処設備（設計基準拡張）	—	非常用直流電源設備による給電	125V 蓄電池 2B ^{※1} 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 高圧主母線盤 2B-I 電路 125V 蓄電池 2A ^{※1} 125V 充電器 2A 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A-I 電路 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B-I 電路	非常時操作手順書（設備ベース） （電源回復）	<p>第1.14.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/5)</p> <table border="1" data-bbox="1366 694 1993 949"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th rowspan="2">対応手段</th> <th rowspan="2">対処設備</th> <th>設備分類</th> <th rowspan="2">整備する手順書</th> <th rowspan="2">手順書の分類</th> </tr> <tr> <th>設備分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対処設備（設計基準拡張）</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">非常用交流電源設備による給電</td> <td rowspan="2">ディーゼル発電機 ディーゼル発電機燃料送配管・軽油タンク ディーゼル発電機～非常用高圧母線（0-A）及び非常用高圧母線（0-B）電路 炉心スプレイス系ディーゼル発電機燃料移送ポンプ ディーゼル発電機燃料送配管・弁</td> <td>設備分類</td> <td rowspan="2">非常時操作手順書 （設備別） 母線受電</td> <td rowspan="2">設備及び設計基準事故に対処する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>設備分類</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対策において用いる設備の分類 ※2：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ※3：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ※4：当該表文に適合する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	設備分類	重大事故等対処設備（設計基準拡張）	—	非常用交流電源設備による給電	ディーゼル発電機 ディーゼル発電機燃料送配管・軽油タンク ディーゼル発電機～非常用高圧母線（0-A）及び非常用高圧母線（0-B）電路 炉心スプレイス系ディーゼル発電機燃料移送ポンプ ディーゼル発電機燃料送配管・弁	設備分類	非常時操作手順書 （設備別） 母線受電	設備及び設計基準事故に対処する運転手順書	設備分類	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整備する</p> <p>【女川】 BWR固有の設備 ・女川は、高圧炉心スプレイス系母線用蓄電池 2B 及び充電器 2B を整備しており、これら設備が重大事故等対処設備（設計基準拡張）となる。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																																			
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	—	非常用交流電源設備による給電	非常用ディーゼル発電機 高圧炉心スプレイスディーゼル発電機 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2B 系電路 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2B 系電路 軽油タンク 非常用ディーゼル発電設備燃料送配管・弁 高圧炉心スプレイス系ディーゼル発電設備燃料送配管・弁	非常時操作手順書（設備別） M/C C/D 母線受電 非常時操作手順書（設備別） M/C 母線受電																																			
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																																			
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	—	非常用直流電源設備による給電	125V 蓄電池 2B ^{※1} 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 高圧主母線盤 2B-I 電路 125V 蓄電池 2A ^{※1} 125V 充電器 2A 125V 充電器 2B 125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A-I 電路 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B-I 電路	非常時操作手順書（設備ベース） （電源回復）																																			
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																																	
				設備分類																																			
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	—	非常用交流電源設備による給電	ディーゼル発電機 ディーゼル発電機燃料送配管・軽油タンク ディーゼル発電機～非常用高圧母線（0-A）及び非常用高圧母線（0-B）電路 炉心スプレイス系ディーゼル発電機燃料移送ポンプ ディーゼル発電機燃料送配管・弁	設備分類	非常時操作手順書 （設備別） 母線受電	設備及び設計基準事故に対処する運転手順書																																	
				設備分類																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>第1.14.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	相違理由	
交流電源喪失	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	代替電源（2）からの給電	空冷式非常用発電装置	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は燃料の流路及び給電時の電路として使用する設備を記載
			燃料油貯蔵タンク ^{a)}	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	
			重油タンク ^{b)}	重油タンク	重油タンク	
			タンクローリー ^{c)}	タンクローリー	タンクローリー	
			号機間電力融通用接続ケーブル（3号～4号）	号機間電力融通用接続ケーブル	号機間電力融通用接続ケーブル	
			ディーゼル発電機（他号炉） ^{d)}	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
代替電源（3）からの給電	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	全機性電源設備	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
			77kV送電線	77kV送電線	77kV送電線	
			N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	
			N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	
			号機間電力融通用接続ケーブル（1、2号～3、4号） ^{e)}	号機間電力融通用接続ケーブル	号機間電力融通用接続ケーブル	
<p>第1.14.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	相違理由	
交流電源喪失	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	代替電源（2）からの給電	空冷式非常用発電装置	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は燃料の流路及び給電時の電路として使用する設備を記載
			燃料油貯蔵タンク ^{a)}	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	
			重油タンク ^{b)}	重油タンク	重油タンク	
			タンクローリー ^{c)}	タンクローリー	タンクローリー	
			号機間電力融通用接続ケーブル（3号～4号）	号機間電力融通用接続ケーブル	号機間電力融通用接続ケーブル	
			ディーゼル発電機（他号炉） ^{d)}	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
代替電源（3）からの給電	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	全機性電源設備	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
			77kV送電線	77kV送電線	77kV送電線	
			N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	
			N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	
			号機間電力融通用接続ケーブル（1、2号～3、4号） ^{e)}	号機間電力融通用接続ケーブル	号機間電力融通用接続ケーブル	

対応手段、対処設備、手順書一覧（2/5）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
代替電源（2）からの給電	非非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失）	空冷式非常用発電装置	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機
			燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク
			重油タンク	重油タンク
代替電源（3）からの給電	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	全機性電源設備	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機
			77kV送電線	77kV送電線
			N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル

対応手段、対処設備、手順書一覧（3/5）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
代替電源（2）からの給電	非非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失）	空冷式非常用発電装置	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機
			燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク
			重油タンク	重油タンク
代替電源（3）からの給電	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	全機性電源設備	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機
			77kV送電線	77kV送電線
			N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル

対応手段、対処設備、手順書一覧（2/5）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書	相違理由
代替電源（2）からの給電	非非常用交流電源設備（全交流動力電源）	空冷式非常用発電装置	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は燃料の流路及び給電時の電路として使用する設備を記載
			燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	
			重油タンク	重油タンク	
			タンクローリー	タンクローリー	
			号機間電力融通用接続ケーブル（3号～4号）	号機間電力融通用接続ケーブル	
			ディーゼル発電機（他号炉）	ディーゼル発電機	
代替電源（3）からの給電	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	全機性電源設備	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	
			77kV送電線	77kV送電線	
			N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、2千備用圧降2次側接続ケーブル	
			N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	N ₀ 、1千備用圧降2次側接続ケーブル	
			号機間電力融通用接続ケーブル（1、2号～4号）	号機間電力融通用接続ケーブル	

※1：大飯発電所 重大事故等発生時に必要な原子力施設の状態の維持に関する設備
 ※2：空冷式非常用発電装置 発電機及びディーゼル発電機の燃料供給に使用する。
 ※3：貯蔵タンク 3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉を使用する。
 ※4：号機間電力融通用（1、2号～3、4号）は、接続元を1号炉又は2号炉とし、接続先を3号炉又は4号炉とし、5号炉及び6号炉とする。
 ※5：重大事故等発生において用いる設備の分類
 a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：3号炉に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備
 d：当該施設に適合する重大事故等対応設備 e：3号炉に適合する重大事故等対応設備 f：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.14.2表 重大事故等における対応手段と整備する手順

分類	機組別想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の相違
直営電源喪失	ディーゼル発電機（全交流動力電源）	代発電機（常速）からの発電	蓄電池（安全防護系用）	a, b	蓄電池による電源の復旧手順 伊心の着しい措置及び格納容器破損を防止する運転手順書
	可搬式整流器		a		
※以降機組喪失時に代発電機（交流）の給電により対応する手段に用いる設備と同様					

※1：大飯機組別、重大事故発生時における原子炉運転の状況のための情報に関する手順書
 ※2：重大事故等対応に用いる設備の相違
 a：当該表先に適合する重大事故等対応設備；b：当該表先に適合する重大事故等対応設備；c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

非常用交流電源設備 （全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備	代発電機（常速）からの発電	蓄電池（安全防護系用） 可搬式整流器	対応手段	対応設備	手順書
非常用交流電源設備 （全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備	代発電機（常速）からの発電	蓄電池（安全防護系用） 可搬式整流器	125V 蓄電池 2A ^{※1} 125V 蓄電池 2B ^{※1} 125V 蓄電池 2A 125V 蓄電池 2B 125V 蓄電池 2A 及び 125V 蓄電池 2B～125V 直流主母線盤 2A-1 電路 125V 蓄電池 2B 及び 125V 蓄電池 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 蓄電池主母線盤 2B-1 電路	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」	

※1：125V 蓄電池 2A、125V 蓄電池 2B 及び 250V 蓄電池からの給電は、運転員による操作不要の動作である。

対応手段、対処設備、手順書一覧（4/5）

分類	機組別想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
代発電機（常速）からの発電	非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備（常設直流電源系統喪失）	代発電機（常速）からの発電	125V 代発電機 2A ^{※1} 250V 蓄電池 ^{※2} 125V 代発電機 250V 充電池 電解槽 燃料タンク ガスタービン発電設備燃料送配管・弁 高圧伊心スプレッドディーゼル発電設備燃料移送配管・弁 ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁 ボイラ 125V 代発電機及び 125V 代発電機 2B～125V 直流主母線盤 2A-1 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 250V 蓄電池及び 250V 充電池～250V 直流主母線盤電路 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」 重大事故等対応基準書 「電機系による 125V 代発電機切替接続」 重大事故等対応基準書 「電機系による 250V 蓄電池切替接続」
	非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備（常設直流電源系統喪失）	代発電機（常速）からの発電	125V 代発電機 2A ^{※1} 250V 蓄電池 ^{※2} 125V 代発電機 250V 充電池 電解槽 燃料タンク ガスタービン発電設備燃料送配管・弁 高圧伊心スプレッドディーゼル発電設備燃料移送配管・弁 ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁 ボイラ 125V 代発電機及び 125V 代発電機 2B～125V 直流主母線盤 2A-1 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 250V 蓄電池及び 250V 充電池～250V 直流主母線盤電路 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」 重大事故等対応基準書 「電機系による 125V 代発電機切替接続」 重大事故等対応基準書 「電機系による 250V 蓄電池切替接続」

※1：125V 蓄電池からの給電は、運転員による操作不要の動作である。

対応手段、対処設備、手順書一覧（5/5）

分類	機組別想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
代発電機（常速）からの発電	非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備（常設直流電源系統喪失） 非常用交流電源設備（常設交流電源系統喪失）	代発電機（常速）からの発電	125V 代発電機 代発電機電源切替盤 代発電機電源切替盤 電解槽 燃料タンク ガスタービン発電設備燃料送配管・弁 高圧伊心スプレッドディーゼル発電設備燃料移送配管・弁 ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁 ボイラ 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 重大事故等対応基準書 電機系による 125V 代発電機切替接続 重大事故等対応基準書 電機系による 125V 代発電機切替接続
	非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備（常設直流電源系統喪失） 非常用交流電源設備（常設交流電源系統喪失）	代発電機（常速）からの発電	125V 代発電機 代発電機電源切替盤 代発電機電源切替盤 電解槽 燃料タンク ガスタービン発電設備燃料送配管・弁 高圧伊心スプレッドディーゼル発電設備燃料移送配管・弁 ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁 ボイラ 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 重大事故等対応基準書 電機系による 125V 代発電機切替接続 重大事故等対応基準書 電機系による 125V 代発電機切替接続

対応手段、対処設備、手順書一覧（3/5）

分類	機組別想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の相違
代発電機（常速）からの発電	非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備（常設直流電源系統喪失）	代発電機（常速）からの発電	蓄電池（非常用） A蓄電池 B蓄電池 非常用交流電源設備 非常用直流電源設備 電解槽 燃料タンク ガスタービン発電設備燃料送配管・弁 高圧伊心スプレッドディーゼル発電設備燃料移送配管・弁 ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁 ボイラ 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」 重大事故等対応基準書 「電機系による 125V 代発電機切替接続」 重大事故等対応基準書 「電機系による 250V 蓄電池切替接続」	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」 重大事故等対応基準書 「電機系による 125V 代発電機切替接続」 重大事故等対応基準書 「電機系による 250V 蓄電池切替接続」
	非常用交流電源設備（全交流動力電源喪失） 非常用直流電源設備（常設直流電源系統喪失）	代発電機（常速）からの発電	蓄電池（非常用） A蓄電池 B蓄電池 非常用交流電源設備 非常用直流電源設備 電解槽 燃料タンク ガスタービン発電設備燃料送配管・弁 高圧伊心スプレッドディーゼル発電設備燃料移送配管・弁 ガスタービン発電設備燃料移送配管・弁 ボイラ 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁 電解槽～電解槽接続口（原子炉建屋）絶縁	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」 重大事故等対応基準書 「電機系による 125V 代発電機切替接続」 重大事故等対応基準書 「電機系による 250V 蓄電池切替接続」	非常時操作手順書（設備別） 「125V 代発電機による 125V 直流主母線盤 2A-1(2B-1)への給電」 非常時操作手順書（設備別） 「250V 蓄電池による 250V 直流主母線盤への給電」 重大事故等対応基準書 「電機系による 125V 代発電機切替接続」 重大事故等対応基準書 「電機系による 250V 蓄電池切替接続」

※1：可搬式整流器使用電源の接続時に使用する。
 ※2：重大事故等対応において用いる設備の相違
 a：当該表先に適合する重大事故等対応設備；b：当該表先に適合する重大事故等対応設備；c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は燃料の流路及び給電時の電路として使用する設備を記載

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.14.4表 重大事故等対処に係る監視計器

1.14 電源の確保に関する手順等

監視計器一覧（1/4）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.14.2.1 代替電源（交流）による給電手順等		
(1) 空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電	判断基準 電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計
	操作 電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流き電壓出力電圧計 ・空冷式非常用発電装置電力計、周波数計

【比較のため(7)再掲】

(7) 電源車による代替電源（交流）からの給電	判断基準	電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計
	操作	電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流き電壓出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計

(2) 7.7kV送電線による代替電源（交流）からの給電	判断基準	電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・空冷式非常用発電装置電力計、周波数計
	操作	電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流き電壓出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計
(3) No. 2予備変圧器2次側仮設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電	判断基準	電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計（他号炉）
	操作	電源	・4-3 (4) A、B母線電圧計 ・3-3 (4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計（他号炉）

女川原子力発電所2号炉

第1.14-2表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/8）

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順 (1) 代替交流電源設備による給電 a. スタタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電		
非常時操作手順書（微検ベース） 「電源回復」	電源の確保	275kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧
非常時操作手順書 「ガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電」	操作	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2D 母線電圧
重大事故等対応要領書 「ガスタービン発電機によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電」	判断基準	電源の確保 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧
非常時操作手順書（微検ベース） 「電源回復」	操作	275kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧
重大事故等対応要領書 「電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電」	判断基準	電源車周波監視 電源車周波数 6-2G 母線電圧 6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2D 母線電圧

第1.14.2表 重大事故等対処に係る監視計器

1.14 電源の確保に関する手順等

監視計器一覧（1/7）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順 (1) 代替交流電源設備による給電		
a. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電 (代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系受電)	判断基準 電源	・ 泊幹線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 ・ A、B-ディーゼル発電機電圧
	操作 電源	・ 6-A、B母線電圧 ・ 4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・ A、B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・ A、B、C、D-計装用交流分電機電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数
b. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電 (可搬型電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電)	判断基準 電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧
	操作 電源	・ 6-A、B母線電圧 ・ 4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・ A、B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・ A、B、C、D-計装用交流分電機電圧 ・ 6-A、B母線電圧 ・ 4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数
b. 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電	判断基準 電源	・ 6.6kV 泊支線1、2号線電圧 ・ 6.6kV 泊支線1、2号線電圧表示灯 ・ 6-A、B母線電圧 ・ 4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・ A、B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・ A、B、C、D-計装用交流分電機電圧
	操作 電源	・ 6-A、B母線電圧 ・ 4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6.6kV 泊支線1、2号線電圧 ・ 6.6kV 泊支線1、2号線電圧表示灯 ・ 6-A、B母線電圧 ・ 4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・ A、B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・ A、B、C、D-計装用交流分電機電圧

【大飯】
設備の相違（相違理由⑥）

【大飯】
設備の相違（相違理由①）

【大飯】
設備の相違（相違理由②）

大飯3/4号炉との比較対象なし

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>									
監視計器一覧(2/4)			監視計器一覧(2/8)			監視計器一覧(2/7)			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.14.2.1 代替電源(交流)による給電手順等									
(3) No. 2字機用電源2系用制御ケーブルを使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流電圧計出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)	1.14.2.1 代替電源(交流)による対応手順 (1)代替交流電源設備による給電 h. 号機間電力融通ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電	電源の確保	275kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 G/G 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧	c. 号機間連絡ケーブル又は号機間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系及びメタクラB系受電 (号機間連絡ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電)	判断基準	電源	・6-A、B母線電圧 ・6-A、B母線電圧(他号炉) ・A、Bディーゼル発電機電圧(他号炉)
(4) No. 1字機用電源2系用制御ケーブルを使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流電圧計出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)	非常時操作手順書(改良ベース) 「電源回復」	電源の確保	D/G (3A) 電圧(3号炉) D/G (3B) 電圧(3号炉) D/G (3A) 電力(3号炉) D/G (3B) 電力(3号炉) D/G (3A) 周波数(3号炉) D/G (3B) 周波数(3号炉)		操作	電源	・6-A、B母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・A、B-直流コントロールセンター母線電圧 (号機間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電)
(5) 号機間電力融通制御ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流電圧計出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)	非常時操作手順書(設備別) 「号機間電力融通ケーブル(常設)による電力融通」	電源の確保	6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 D/G (3A) 電圧(3号炉) D/G (3B) 電圧(3号炉) D/G (3A) 電力(3号炉) D/G (3B) 電力(3号炉) D/G (3A) 周波数(3号炉) D/G (3B) 周波数(3号炉)		判断基準	電源	・6-A、B母線電圧 ・6-A、B母線電圧(他号炉) ・A、Bディーゼル発電機電圧(他号炉)
監視計器一覧(3/4)									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.14.2.1 代替電源(交流)による給電手順等									
(6) 号機間電力融通制御ケーブル(1、2号~3、4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)	非常時操作手順書(改良ベース) 「電源回復」	電源の確保	275kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 G/G 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧		操作	電源	・6-A、B母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・A、B-直流コントロールセンター母線電圧 (号機間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電)
(7) 電源用による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流電圧計出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)	重大事故等対応要領書 「号機間電力融通ケーブル(可搬型)による電力融通」	電源の確保	D/G (3A) 電圧(3号炉) D/G (3B) 電圧(3号炉) D/G (3A) 電力(3号炉) D/G (3B) 電力(3号炉) D/G (3A) 周波数(3号炉) D/G (3B) 周波数(3号炉)		判断基準	電源	・6-A、B母線電圧 ・6-A、B母線電圧(他号炉) ・A、Bディーゼル発電機電圧(他号炉)
(8) 号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流電圧計出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)		電源の確保	6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 D/G (3A) 電圧(3号炉) D/G (3B) 電圧(3号炉) D/G (3A) 電力(3号炉) D/G (3B) 電力(3号炉) D/G (3A) 周波数(3号炉) D/G (3B) 周波数(3号炉)		操作	電源	・6-A、B母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・A、B-直流コントロールセンター母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧
監視計器一覧(4/4)									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.14.2.1 代替電源(交流)による給電手順等									
(5) 号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電	電源	・4-3(4) A、B母線電圧計 ・3-3(4) A1、A2、B1、B2母線電圧計 ・A、B直流電圧計出力電圧計 ・A、B、C、D計装用電源電圧計 ・A、Bディーゼル発電機電圧計(他号炉)		電源の確保	D/G (3A) 電圧(3号炉) D/G (3B) 電圧(3号炉) D/G (3A) 電力(3号炉) D/G (3B) 電力(3号炉) D/G (3A) 周波数(3号炉) D/G (3B) 周波数(3号炉)		操作	電源	・6-A、B母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2母線電圧 ・A、B-直流コントロールセンター母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>									

【大飯】
設備の相違(相違理由②)

【大飯】
設備の相違(相違理由④)

【大飯】
設備の相違(相違理由⑤)

【大飯】
設備の相違(相違理由⑤)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
<p>1.14.2.2 代替電源（直流）による給電手順等</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">(1) 蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電</td> <td>判断基準</td> <td>電源</td> <td>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電源</td> <td>・A、B 直流き電流出力電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2) 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電</td> <td>判断基準</td> <td>電源</td> <td>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電源</td> <td>・A、B 直流き電流出力電圧計</td> </tr> </table>	(1) 蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電	判断基準	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	電源	・A、B 直流き電流出力電圧計	(2) 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電	判断基準	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	電源	・A、B 直流き電流出力電圧計	<p>監視計器一覧 (3/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 a. 所内常設蓄電池式直流電源設備による給電</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「所内常設蓄電池式直流電源設備による給電」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>278kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「125V 充電器 2A 受電」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「125V 充電器 2B 受電」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 b. 常設代替直流電源設備による給電</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「常設代替直流電源設備による給電」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 c. 可搬型代替直流電源設備による給電</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 重大事故等対応手順書 「可搬型代替直流電源設備による給電」</td> <td>判断基準 電源の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>電源車電圧 電源車運転監視 電源車電流 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 a. 所内常設蓄電池式直流電源設備による給電			非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「所内常設蓄電池式直流電源設備による給電」	判断基準 電源の確保	278kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧		操作	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「125V 充電器 2A 受電」	判断基準 電源の確保	4-2C 母線電圧		操作	125V 直流主母線 2A 電圧	非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「125V 充電器 2B 受電」	判断基準 電源の確保	4-2D 母線電圧		操作	125V 直流主母線 2B 電圧	1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 b. 常設代替直流電源設備による給電			非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「常設代替直流電源設備による給電」	判断基準 電源の確保	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧		操作	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧	1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 c. 可搬型代替直流電源設備による給電			非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 重大事故等対応手順書 「可搬型代替直流電源設備による給電」	判断基準 電源の確保	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧		操作	電源車電圧 電源車運転監視 電源車電流 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧	<p>監視計器一覧 (3/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電</td> </tr> <tr> <td>a. 所内常設蓄電池式直流電源設備による給電</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>電源 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧</td> </tr> <tr> <td>b. 可搬型代替直流電源設備による給電</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>電源 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 常設直流電源喪失時の A 直流母線及び B 直流母線受電 (代替非常用発電機によるメタクラ A 系及びメタクラ B 系受電)</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・泊幹線 1L、2L 電圧 ・機志幹線 1L、2L 電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電源 ・A、B-ディーゼル発電機電圧 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧 ・代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">b. 常設直流電源喪失時の A 直流母線及び B 直流母線受電 (後備変圧器によるメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電)</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・代替非常用発電機電圧、電力、周波数</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電源 ・6.6kV 消支線 1、2 号線電圧 ・6.6kV 消支線 1、2 号線電圧表示灯 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電			a. 所内常設蓄電池式直流電源設備による給電	判断基準	電源 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧		操作	電源 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧	b. 可搬型代替直流電源設備による給電	判断基準	電源 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧		操作	電源 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧	(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保			a. 常設直流電源喪失時の A 直流母線及び B 直流母線受電 (代替非常用発電機によるメタクラ A 系及びメタクラ B 系受電)	判断基準	電源 ・泊幹線 1L、2L 電圧 ・機志幹線 1L、2L 電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	操作	電源 ・A、B-ディーゼル発電機電圧 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧 ・代替非常用発電機電圧、電力、周波数	b. 常設直流電源喪失時の A 直流母線及び B 直流母線受電 (後備変圧器によるメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電)	判断基準	電源 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・代替非常用発電機電圧、電力、周波数	操作	電源 ・6.6kV 消支線 1、2 号線電圧 ・6.6kV 消支線 1、2 号線電圧表示灯 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p>
(1) 蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電		判断基準	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																						
	操作	電源	・A、B 直流き電流出力電圧計																																																																																							
(2) 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電	判断基準	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																							
	操作	電源	・A、B 直流き電流出力電圧計																																																																																							
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																								
1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 a. 所内常設蓄電池式直流電源設備による給電																																																																																										
非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「所内常設蓄電池式直流電源設備による給電」	判断基準 電源の確保	278kV 母線電圧 6-2E 母線電圧 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧																																																																																								
	操作	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																								
非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「125V 充電器 2A 受電」	判断基準 電源の確保	4-2C 母線電圧																																																																																								
	操作	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																								
非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「125V 充電器 2B 受電」	判断基準 電源の確保	4-2D 母線電圧																																																																																								
	操作	125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																								
1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 b. 常設代替直流電源設備による給電																																																																																										
非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 非常時操作手順書（設備別） 「常設代替直流電源設備による給電」	判断基準 電源の確保	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																								
	操作	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																								
1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電 c. 可搬型代替直流電源設備による給電																																																																																										
非常時操作手順書（確保ベース） 「電源回復」 重大事故等対応手順書 「可搬型代替直流電源設備による給電」	判断基準 電源の確保	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																								
	操作	電源車電圧 電源車運転監視 電源車電流 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順 (1) 代替直流電源設備による給電																																																																																										
a. 所内常設蓄電池式直流電源設備による給電	判断基準	電源 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																																								
	操作	電源 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧																																																																																								
b. 可搬型代替直流電源設備による給電	判断基準	電源 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																																								
	操作	電源 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧																																																																																								
(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保																																																																																										
a. 常設直流電源喪失時の A 直流母線及び B 直流母線受電 (代替非常用発電機によるメタクラ A 系及びメタクラ B 系受電)	判断基準	電源 ・泊幹線 1L、2L 電圧 ・機志幹線 1L、2L 電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																																								
	操作	電源 ・A、B-ディーゼル発電機電圧 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧 ・代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																																																								
b. 常設直流電源喪失時の A 直流母線及び B 直流母線受電 (後備変圧器によるメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電)	判断基準	電源 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																																																								
	操作	電源 ・6.6kV 消支線 1、2 号線電圧 ・6.6kV 消支線 1、2 号線電圧表示灯 ・6-A、B 母線電圧 ・4-A1、A2、B1、B2 母線電圧 ・A、B 直流コントロールセンタ母線電圧 ・A、B、C、D-計装用交流分電盤電圧																																																																																								

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
	<p>監視計器一覧 (6/8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順 (1)代替所内電気設備による給電 a. ガスタービン発電機、分岐間電力融通ケーブル又は電機車によるパワーセンタ 2G系及びモータコントローラセンタ 2G系給電</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 重大事故等対応要領書 「電機車によるパワーセンタ 2G系及びモータコントローラセンタ 2G系給電」</td> <td>判断基準</td> <td>電源の確保 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電機車運転監視 電機車電圧 電機車負荷数</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 非常時操作手順書 (設備別) 「分岐間電力融通ケーブル (常設) による電力融通」</td> <td>判断基準</td> <td>電源の確保 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電源 6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 重大事故等対応要領書 「分岐間電力融通ケーブル (可搬型) による電力融通」</td> <td>判断基準</td> <td>電源の確保 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>電源 6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順 (1)代替所内電気設備による給電 a. ガスタービン発電機、分岐間電力融通ケーブル又は電機車によるパワーセンタ 2G系及びモータコントローラセンタ 2G系給電			非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 重大事故等対応要領書 「電機車によるパワーセンタ 2G系及びモータコントローラセンタ 2G系給電」	判断基準	電源の確保 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧	操作	電機車運転監視 電機車電圧 電機車負荷数	電源	6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧	非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 非常時操作手順書 (設備別) 「分岐間電力融通ケーブル (常設) による電力融通」	判断基準	電源の確保 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)	操作	電源 6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)	電源	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧	非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 重大事故等対応要領書 「分岐間電力融通ケーブル (可搬型) による電力融通」	判断基準	電源の確保 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)	操作	電源 6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)	電源	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】設備の相違 (相違理由②)</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																												
1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順 (1)代替所内電気設備による給電 a. ガスタービン発電機、分岐間電力融通ケーブル又は電機車によるパワーセンタ 2G系及びモータコントローラセンタ 2G系給電																														
非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 重大事故等対応要領書 「電機車によるパワーセンタ 2G系及びモータコントローラセンタ 2G系給電」	判断基準	電源の確保 6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧																												
	操作	電機車運転監視 電機車電圧 電機車負荷数																												
	電源	6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧																												
非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 非常時操作手順書 (設備別) 「分岐間電力融通ケーブル (常設) による電力融通」	判断基準	電源の確保 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)																												
	操作	電源 6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)																												
	電源	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧																												
非常時操作手順書 (運転ベース) 「電源回復」 重大事故等対応要領書 「分岐間電力融通ケーブル (可搬型) による電力融通」	判断基準	電源の確保 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)																												
	操作	電源 6-2G 母線電圧 4-2G 母線電圧 D/G (3A) 電圧 (3号炉) D/G (3B) 電圧 (3号炉) D/G (3A) 電力 (3号炉) D/G (3B) 電力 (3号炉) D/G (3A) 周波数 (3号炉) D/G (3B) 周波数 (3号炉)																												
	電源	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 GTG 発電機電圧 6-2F-1 母線電圧 6-2F-2 母線電圧																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (8/8)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.14.2.5 重大事故等対応設備 (設計基準設備) の対応手順 (1) 非常用交流電源設備による給電</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「交流/直流電源供給回復」 重大事故等対応要領書 「交流/直流電源供給回復」</td> <td>電源の確保</td> <td>270V 母線電圧 6-22 母線電圧 6-23 母線電圧 6-29 母線電圧 6-24 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>6-22 母線電圧 6-23 母線電圧 6-24 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/G 運転監視</td> <td>B/G (2A) 電圧 B/G (2B) 電圧 B/G (2C) 電圧 B/G (2A) 電力 B/G (2B) 電力 B/G (2C) 電力 B/G (2A) 周波数 B/G (2B) 周波数 B/G (2C) 周波数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>軽油タンク (A) 満量 軽油タンク (B) 満量 軽油タンク (C) 満量 軽油タンク (D) 満量 軽油タンク (E) 満量 軽油タンク (F) 満量 軽油タンク (G) 満量 原子炉補機冷却水系 A 系 系統流量 原子炉補機冷却水系 B 系 系統流量 原子炉補機冷却水系 A 系 冷却水供給圧力 原子炉補機冷却水系 B 系 冷却水供給圧力 原子炉補機冷却水系 A 系 冷却水供給温度 原子炉補機冷却水系 B 系 冷却水供給温度 風圧炉心スプレイ補機冷却水系 冷却水供給圧力 風圧炉心スプレイ補機冷却水系 冷却水供給温度</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.14.2.6 重大事故等対応設備 (設計基準設備) の対応手順 (2) 非常用直流電源設備による給電</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「交流/直流電源供給回復」 重大事故等対応要領書 「交流/直流電源供給回復」</td> <td>電源の確保</td> <td>270V 母線電圧 6-25 母線電圧 6-22 母線電圧 6-29 母線電圧 6-24 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.14.2.5 重大事故等対応設備 (設計基準設備) の対応手順 (1) 非常用交流電源設備による給電			非常時操作手順書 (運転ベース) 「交流/直流電源供給回復」 重大事故等対応要領書 「交流/直流電源供給回復」	電源の確保	270V 母線電圧 6-22 母線電圧 6-23 母線電圧 6-29 母線電圧 6-24 母線電圧	電源	6-22 母線電圧 6-23 母線電圧 6-24 母線電圧		B/G 運転監視	B/G (2A) 電圧 B/G (2B) 電圧 B/G (2C) 電圧 B/G (2A) 電力 B/G (2B) 電力 B/G (2C) 電力 B/G (2A) 周波数 B/G (2B) 周波数 B/G (2C) 周波数		操作	軽油タンク (A) 満量 軽油タンク (B) 満量 軽油タンク (C) 満量 軽油タンク (D) 満量 軽油タンク (E) 満量 軽油タンク (F) 満量 軽油タンク (G) 満量 原子炉補機冷却水系 A 系 系統流量 原子炉補機冷却水系 B 系 系統流量 原子炉補機冷却水系 A 系 冷却水供給圧力 原子炉補機冷却水系 B 系 冷却水供給圧力 原子炉補機冷却水系 A 系 冷却水供給温度 原子炉補機冷却水系 B 系 冷却水供給温度 風圧炉心スプレイ補機冷却水系 冷却水供給圧力 風圧炉心スプレイ補機冷却水系 冷却水供給温度	1.14.2.6 重大事故等対応設備 (設計基準設備) の対応手順 (2) 非常用直流電源設備による給電			非常時操作手順書 (運転ベース) 「交流/直流電源供給回復」 重大事故等対応要領書 「交流/直流電源供給回復」	電源の確保	270V 母線電圧 6-25 母線電圧 6-22 母線電圧 6-29 母線電圧 6-24 母線電圧	電源	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧	<p>監視計器一覧 (7/7)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.14.2.5 重大事故等対応設備 (設計基準設備) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 非常用交流電源設備による給電</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊母線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A, B-ディーゼル発電機電圧 ・ 6-A, B 母線電圧 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.14.2.5 重大事故等対応設備 (設計基準設備) による対応手順			(1) 非常用交流電源設備による給電	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊母線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B 母線電圧 	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ A, B-ディーゼル発電機電圧 ・ 6-A, B 母線電圧 	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・ 泊は重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手段を整理していることから、監視計器も整理する。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																					
1.14.2.5 重大事故等対応設備 (設計基準設備) の対応手順 (1) 非常用交流電源設備による給電																																							
非常時操作手順書 (運転ベース) 「交流/直流電源供給回復」 重大事故等対応要領書 「交流/直流電源供給回復」	電源の確保	270V 母線電圧 6-22 母線電圧 6-23 母線電圧 6-29 母線電圧 6-24 母線電圧																																					
	電源	6-22 母線電圧 6-23 母線電圧 6-24 母線電圧																																					
	B/G 運転監視	B/G (2A) 電圧 B/G (2B) 電圧 B/G (2C) 電圧 B/G (2A) 電力 B/G (2B) 電力 B/G (2C) 電力 B/G (2A) 周波数 B/G (2B) 周波数 B/G (2C) 周波数																																					
	操作	軽油タンク (A) 満量 軽油タンク (B) 満量 軽油タンク (C) 満量 軽油タンク (D) 満量 軽油タンク (E) 満量 軽油タンク (F) 満量 軽油タンク (G) 満量 原子炉補機冷却水系 A 系 系統流量 原子炉補機冷却水系 B 系 系統流量 原子炉補機冷却水系 A 系 冷却水供給圧力 原子炉補機冷却水系 B 系 冷却水供給圧力 原子炉補機冷却水系 A 系 冷却水供給温度 原子炉補機冷却水系 B 系 冷却水供給温度 風圧炉心スプレイ補機冷却水系 冷却水供給圧力 風圧炉心スプレイ補機冷却水系 冷却水供給温度																																					
1.14.2.6 重大事故等対応設備 (設計基準設備) の対応手順 (2) 非常用直流電源設備による給電																																							
非常時操作手順書 (運転ベース) 「交流/直流電源供給回復」 重大事故等対応要領書 「交流/直流電源供給回復」	電源の確保	270V 母線電圧 6-25 母線電圧 6-22 母線電圧 6-29 母線電圧 6-24 母線電圧																																					
	電源	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																					
1.14.2.5 重大事故等対応設備 (設計基準設備) による対応手順																																							
(1) 非常用交流電源設備による給電	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊母線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B 母線電圧 																																					
	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ A, B-ディーゼル発電機電圧 ・ 6-A, B 母線電圧 																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>代替所内電気設備（交流）による給電 (電源元が可搬型代替電源の場合) ・燃料油貯蔵タンク ・タンクローリー（電源車へ給油） ・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>代替所内電気設備（交流）による給電 (電源元が可搬型代替電源の場合) ・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・タンクローリー（空冷式非常用発電装置へ給油） ・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>※2 代替非常用発電装置 ※3 ・2.7トントラジエータ ・No. 2 予備変圧器2次側恒電ケーブル ・No. 1 予備変圧器2次側恒電ケーブル(3号～4号) ・発電機出力制御恒電ケーブル(1, 2号～3, 4号) ・変圧器 ※3 ・別機間電力供給ケーブル(3号～4号) ・ディーゼル発電機 (他号炉) ・タンクローリー ・タンクローリーへの燃料供給に使用</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>代替所内電気設備（交流）による給電 (電源元が可搬型代替電源の場合) ・燃料油貯蔵タンク ・タンクローリー（電源車へ給油） ・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>代替所内電気設備（交流）による給電 (電源元が可搬型代替電源の場合) ・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・タンクローリー（空冷式非常用発電装置へ給油） ・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>※2 代替非常用発電装置 ※3 ・2.7トントラジエータ ・No. 2 予備変圧器2次側恒電ケーブル ・No. 1 予備変圧器2次側恒電ケーブル(3号～4号) ・発電機出力制御恒電ケーブル(1, 2号～3, 4号) ・変圧器 ※3 ・別機間電力供給ケーブル(3号～4号) ・ディーゼル発電機 (他号炉) ・タンクローリー ・タンクローリーへの燃料供給に使用</p> <p>対応手段 ①：専用代替交流電源設備による給電 ②：可搬型代替交流電源設備による給電 ③：号間電力供給ケーブルによる電力融通 ④：代替所内電気設備による給電</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>代替所内電気設備（交流）による給電 (電源元が可搬型代替電源の場合) ・燃料油貯蔵タンク ・タンクローリー（電源車へ給油） ・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>代替所内電気設備（交流）による給電 (電源元が可搬型代替電源の場合) ・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・タンクローリー（空冷式非常用発電装置へ給油） ・代替所内電気設備分電盤 ・代替所内電気設備変圧器</p> <p>※2 代替非常用発電装置 ※3 ・2.7トントラジエータ ・No. 2 予備変圧器2次側恒電ケーブル ・No. 1 予備変圧器2次側恒電ケーブル(3号～4号) ・発電機出力制御恒電ケーブル(1, 2号～3, 4号) ・変圧器 ※3 ・別機間電力供給ケーブル(3号～4号) ・ディーゼル発電機 (他号炉) ・タンクローリー ・タンクローリーへの燃料供給に使用</p> <p>対応手段 ①：専用代替交流電源設備による給電 ②：可搬型代替交流電源設備による給電 ③：号間電力供給ケーブルによる電力融通 ④：代替所内電気設備による給電</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・対応手段を緑枠(実線)とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は、女川のII系非常用母線に相当する交流電源設備はない。</p>

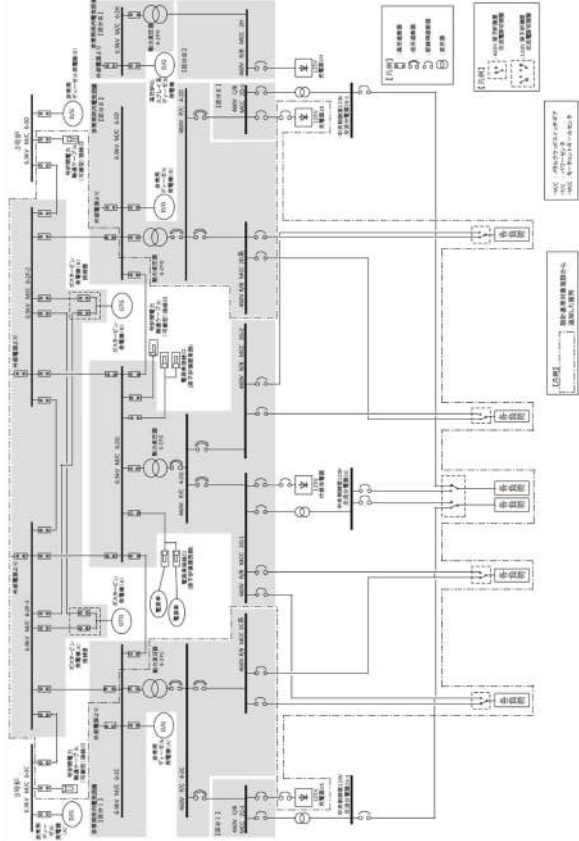
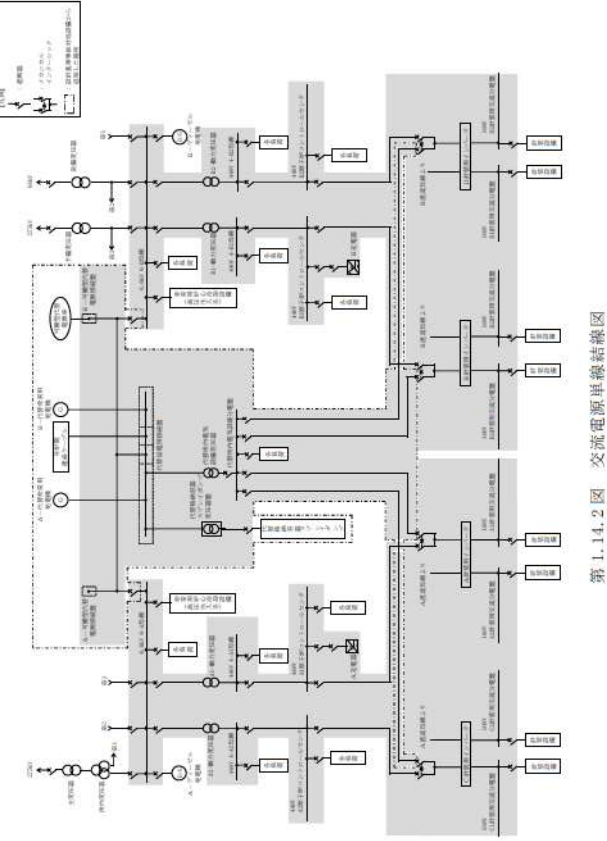
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>第1.14.2図 機能喪失原因対策分析（全直流電源喪失）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>第1.14.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1.14.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段を緑枠（実線）とした。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊には、女川の区分Ⅲに相当する直流電源設備はない。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 758 600 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p data-bbox="1310 646 1344 949">第1.14-2図 交流電源単線結線図</p>	 <p data-bbox="1960 686 1993 965">第1.14.2図 交流電源単線結線図</p>	<p data-bbox="2004 678 2161 877">【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、交流電源単線結線図の基本図を整備した。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

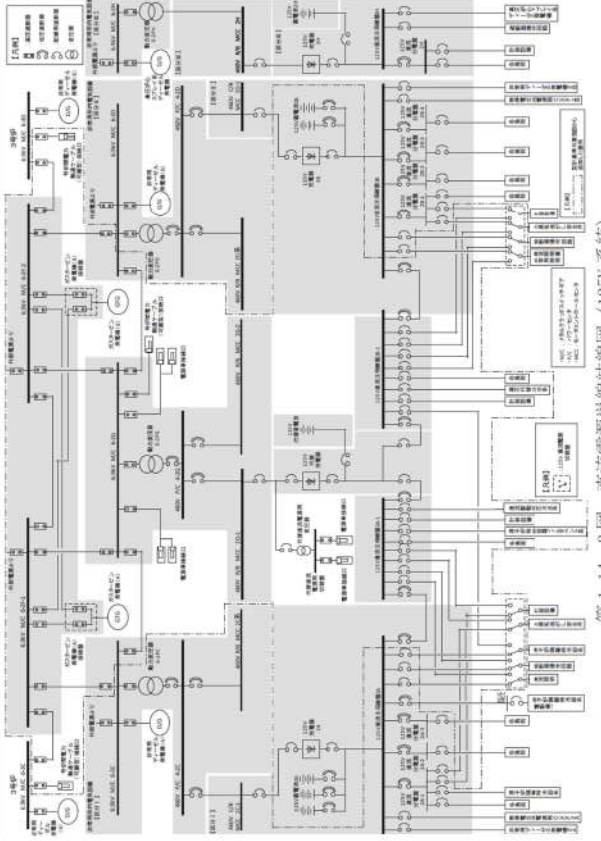
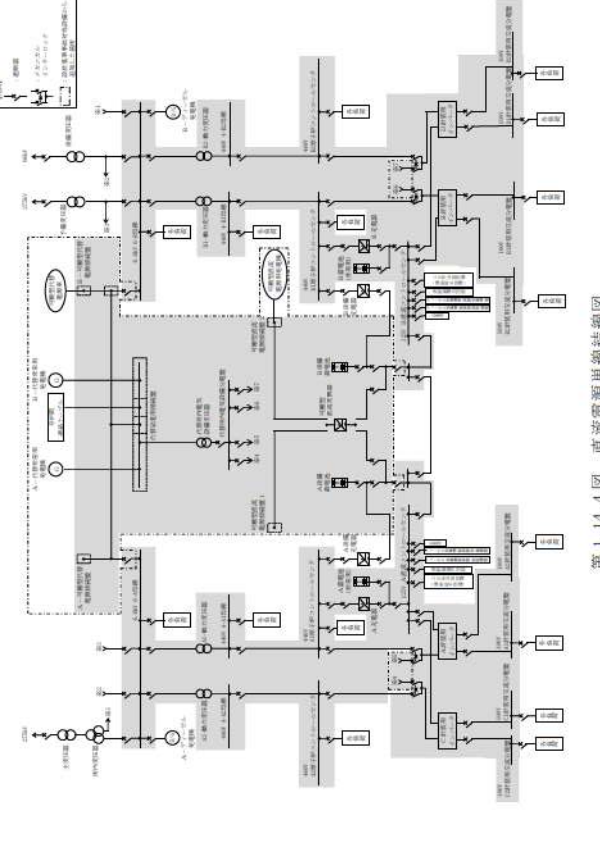
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 758 600 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="833 758 1243 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、交流電源単線結線図（開閉所設備）の基本図を整備した。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・女川に、開閉所設備を使用した給電手順はない。</p>

第1.14.3図 交流電源単線結線図（開閉所設備）

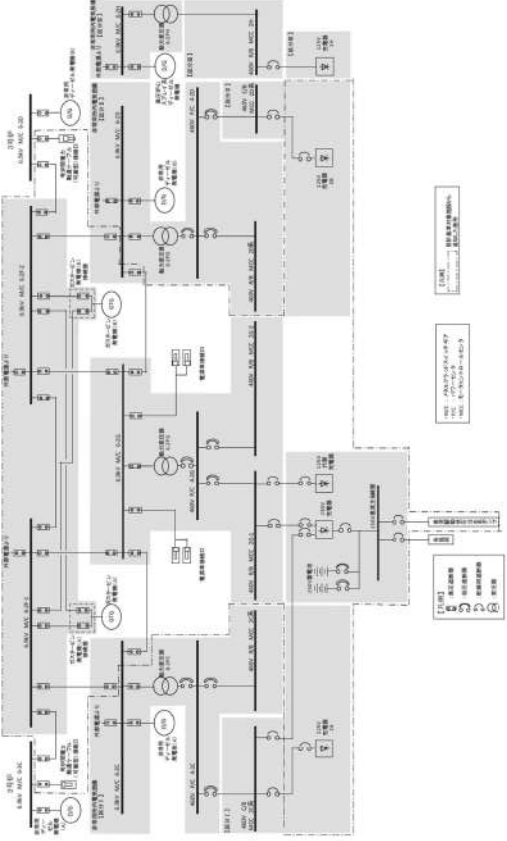
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="190 758 600 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p data-bbox="1317 598 1348 997">第1.14-3図 直流電源単線結線図(125V系統)</p>	 <p data-bbox="1960 678 1991 949">第1.14.4図 直流電源単線結線図</p>	<p data-bbox="2016 694 2161 885">【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、直流電源単線結線図の基本図を整備した。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">第 1.14-4 図 直流電源単線結線図 (250V 系統)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p style="color: red;">【女川】設備の相違（相違理由⑧）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

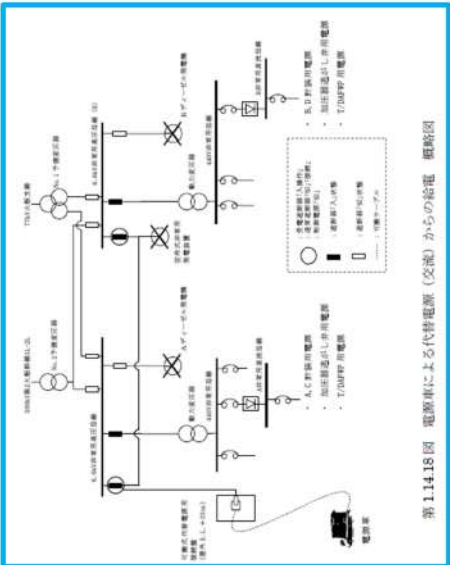
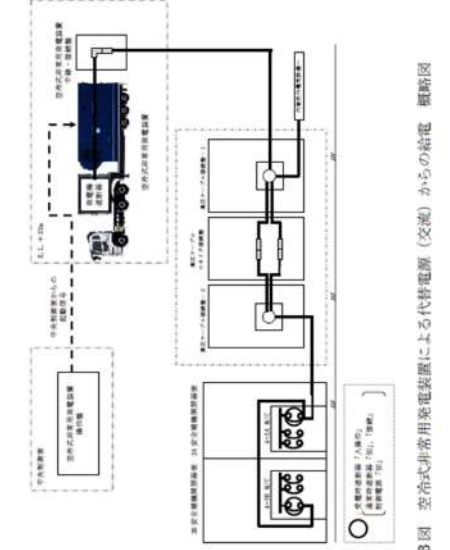
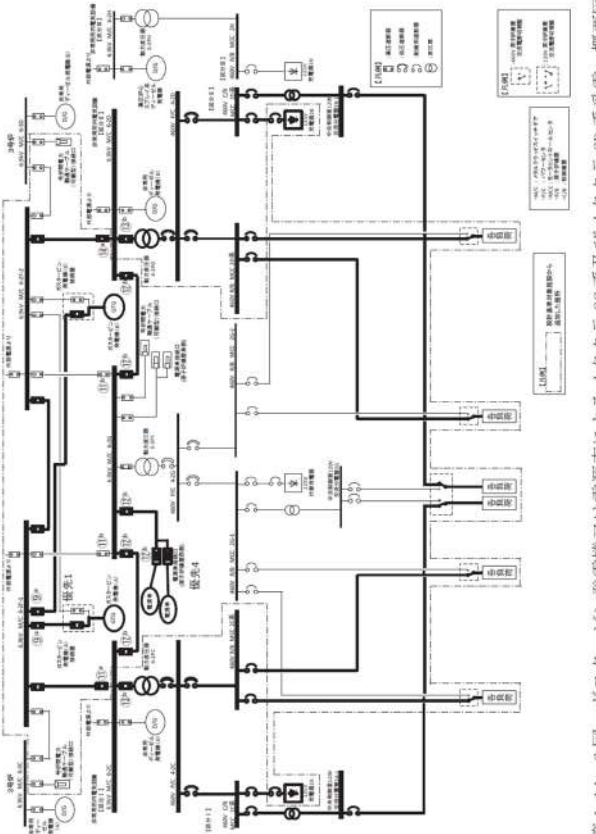
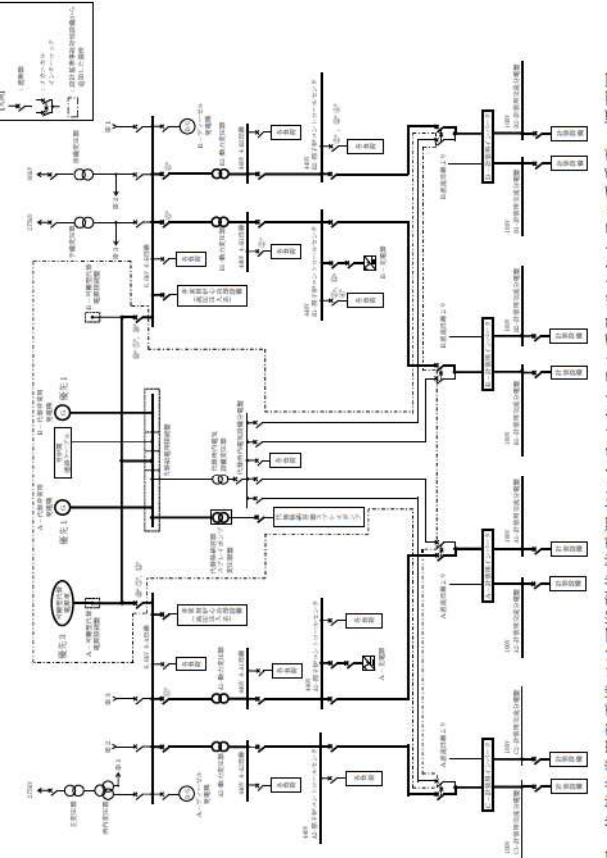
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="730 616 1346 954" style="border: 1px solid black; width: 275px; height: 212px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="808 959 1227 975" style="text-align: center; font-size: small;">1.14-5図：非常時操作手順書（施設ベース）（電源回復）における手順の対応フロー</p>	<div data-bbox="1458 783 1901 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">女川2号炉との比較対象なし</div>	<p data-bbox="2018 683 2159 906" style="font-size: small;">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

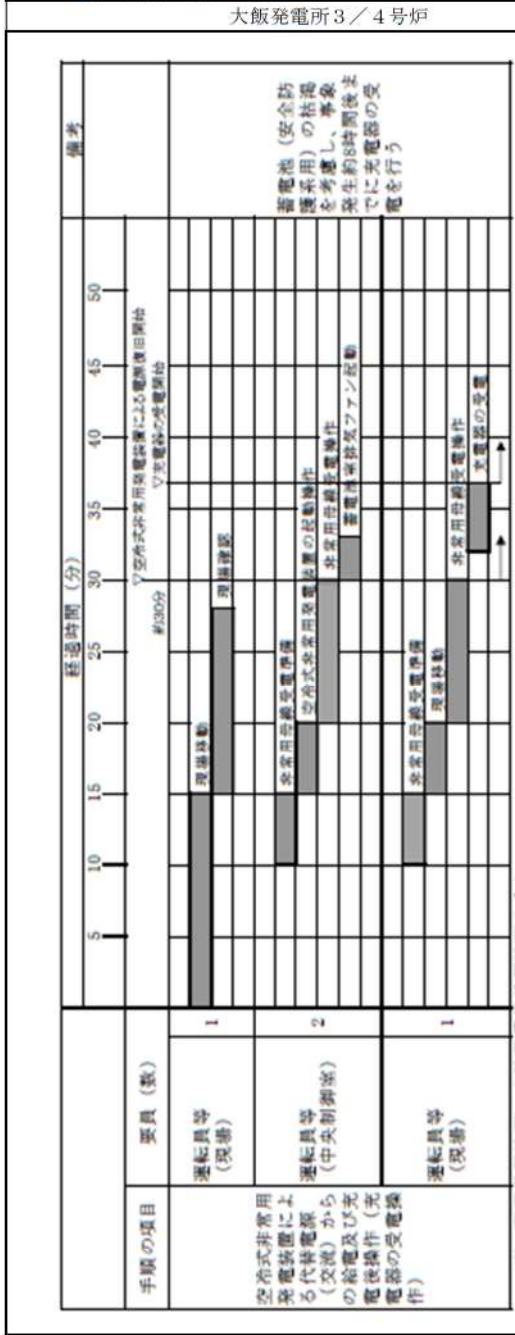
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

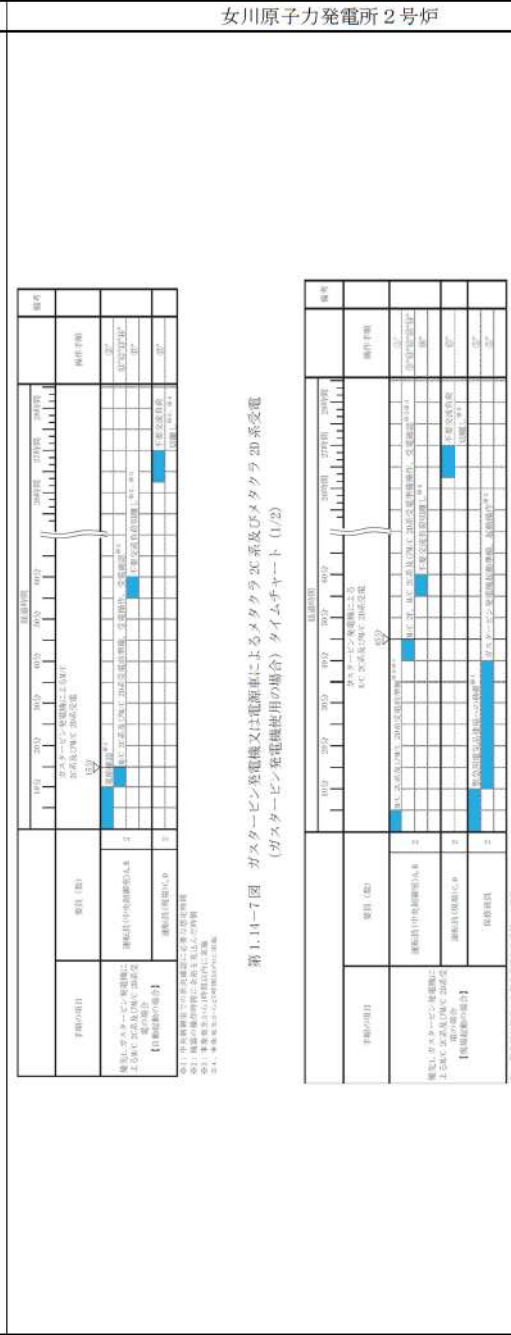
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため第1.14.18図の記載順序を入れ替え】</p>  <p>第1.14.15図 電源車による代替電源（交流）からの給電 概略図</p>  <p>第1.14.18図 空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電 概略図</p>	 <p>第1.14-6図 ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電電 概略図</p>	 <p>第1.14.5図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電電 概略図</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥） 【大飯】記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・概要図と操作内容を紐づけ</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

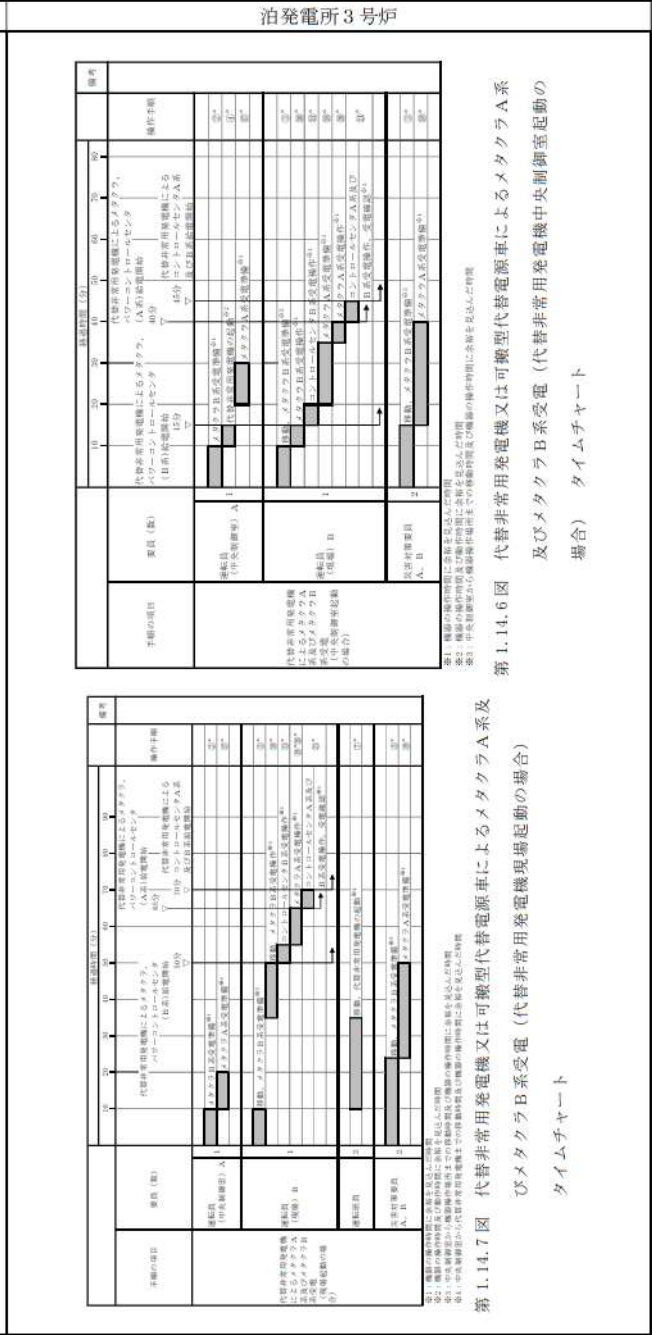
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



第 1.14.4 図 空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電 タイムチャート



第 1.14-8 図 ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラクA系及びメタクラクB系受電 (ガスタービン発電機使用の場合) タイムチャート (2/2)



相違理由

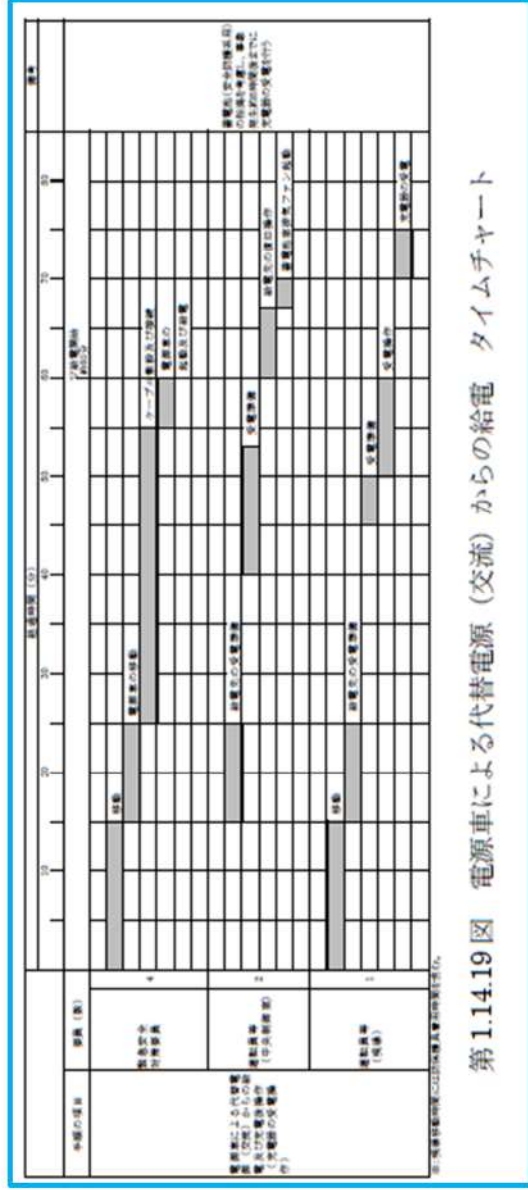
【大飯】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加
 ・泊は、代替非常用発電機の現場起動手順を整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

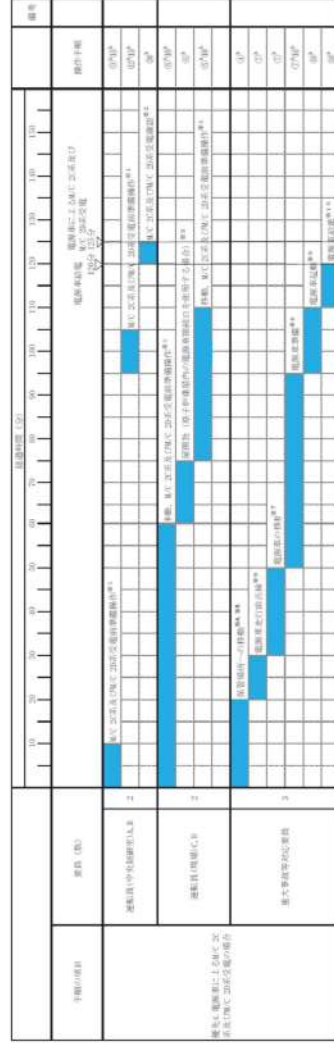
【比較のため第1.14.19図の記載順序入替え】

大飯発電所3／4号炉



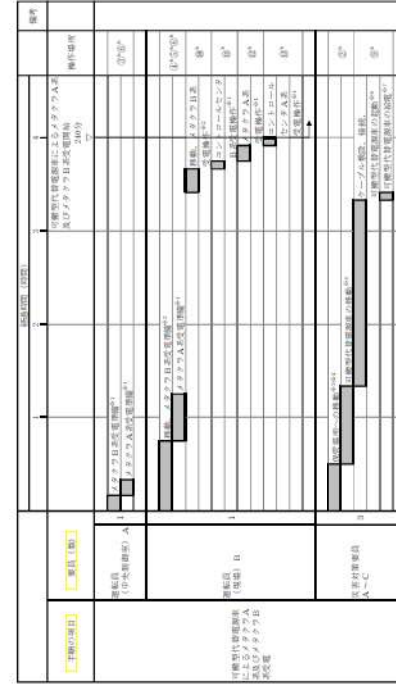
第1.14.19図 電源車による代替電源（交流）からの給電 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.14-9図 ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電
 （電源車使用の場合）タイムチャート

泊発電所3号炉



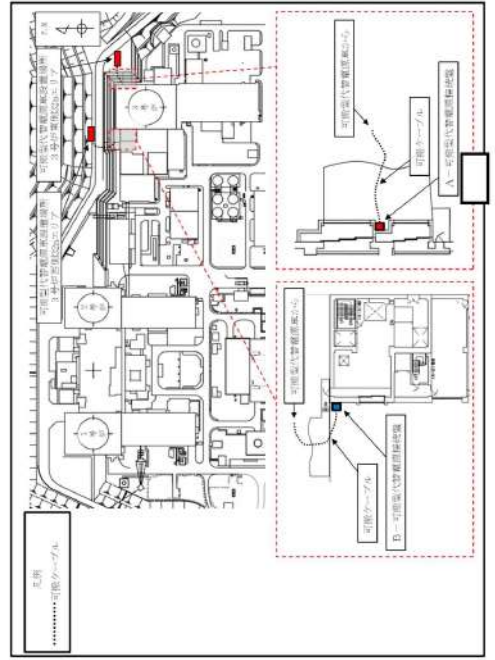
第1.14.8図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電（可搬型代替電源車の場合）タイムチャート

相違理由

- 【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 - ・補足の充実
 - ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため第1.14.20図の記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">第1.14.20図 電源車 ケーブル敷設ルート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>		 <p style="text-align: center;">第1.14.9図 可搬型代替電源車 ケーブル敷設ルート</p> <p style="text-align: right;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

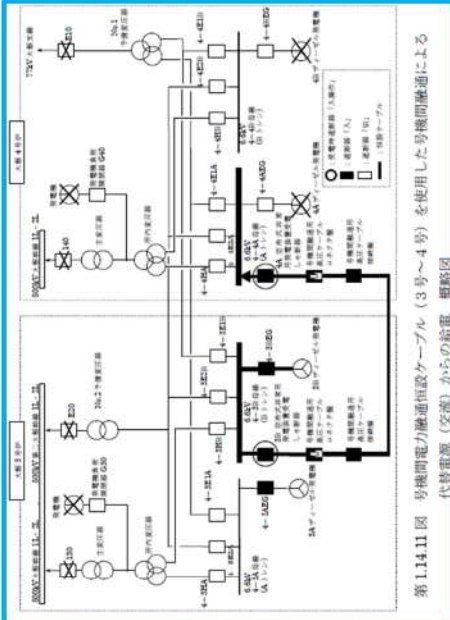
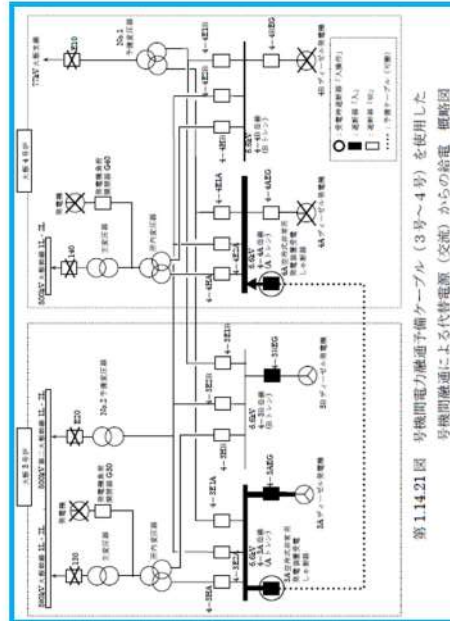
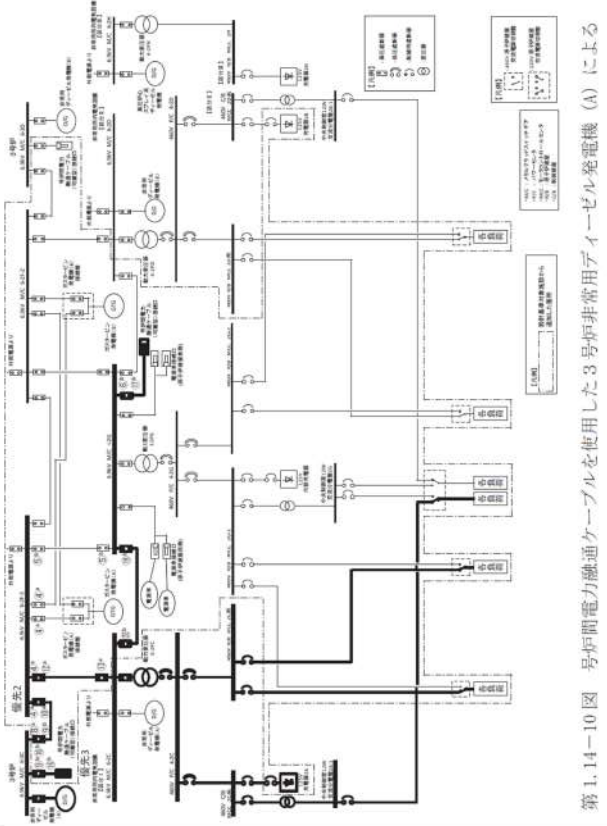
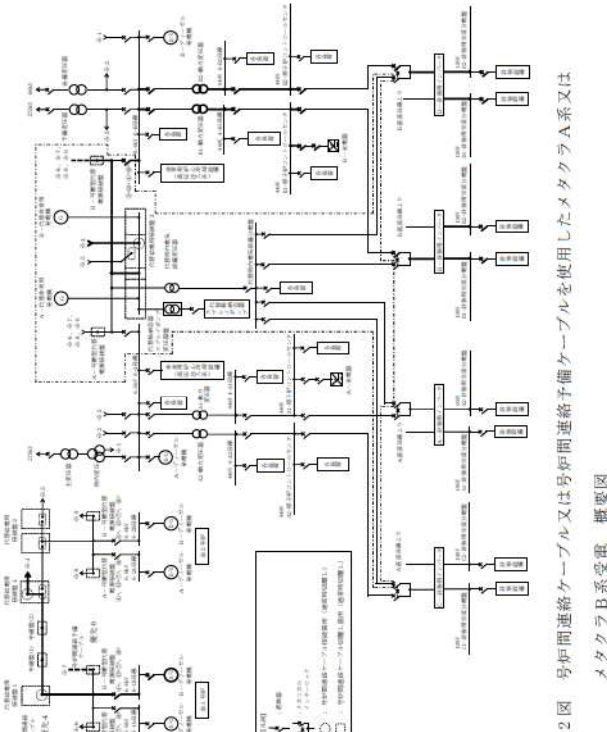
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯3号炉 500kV大飯線第1L-2L 大飯4号炉 500kV大飯線第1L-2L</p> <p>772kV大飯支線 No.1 500kV変圧器 No.2 500kV変圧器</p> <p>400V 3-SAC系統 4Aディーゼル発電機 4Bディーゼル発電機 4Cディーゼル発電機 4Dディーゼル発電機</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>772kV系統 772-10 772-9 772-8 772-7 772-6 772-5 772-4 772-3 772-2 772-1</p> <p>4Aディーゼル発電機 4Bディーゼル発電機 4Cディーゼル発電機 4Dディーゼル発電機</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>第1.14.10図 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電 概要図</p>

第1.14.5図 77kV送電線による代替電源（交流）からの給電 概略図

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

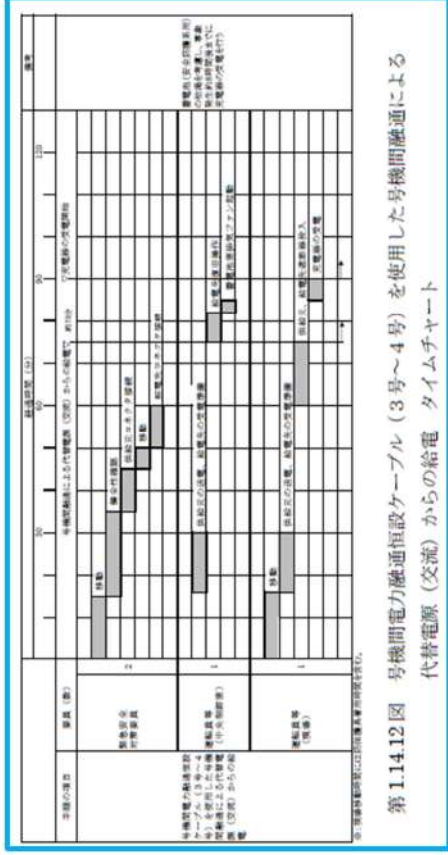
	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため第1.14.11図の記載順序入替え】</p>  <p>第1.14.11図 号機間電力融通ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電 概略図</p> <p>【比較のため第1.14.21図の記載順序入替え】</p>  <p>第1.14.21図 号機間電力融通予備ケーブル(3号~4号)を使用した号機間融通による代替電源(交流)からの給電 概略図</p>	 <p>第1.14-10図 号機間電力融通ケーブルを使用した3号炉非常用ディーゼル発電機(A)によるメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電 概要図</p>	 <p>第1.14.12図 号機間連絡ケーブル又は号機間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電 概要図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ ・泊は、号機間連絡ケーブル及び号機間連絡予備ケーブルの概要図を1つの図で示している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

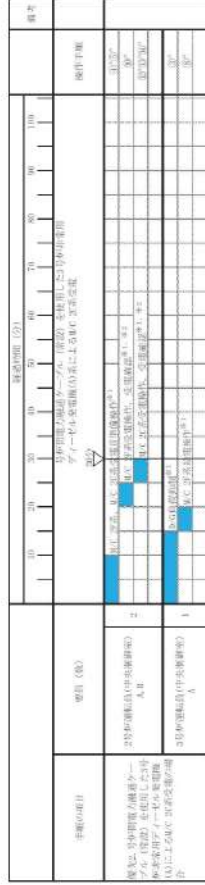
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

【比較のため第1.14.12図の記載順序入替え】

大飯発電所3/4号炉

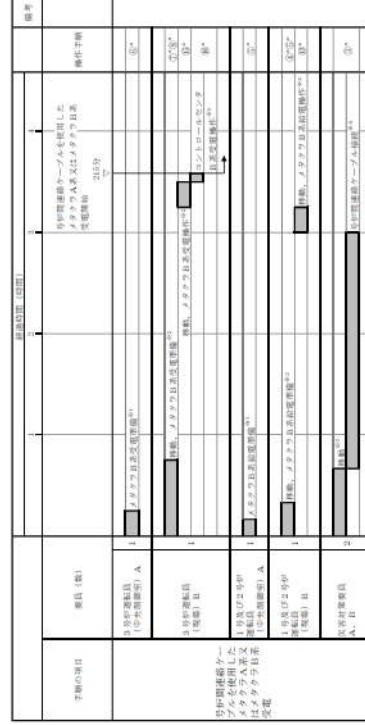


女川原子力発電所2号炉



第1.14.11図 号炉間電力融通ケーブルを使用した3号炉非常用ディーゼル発電機(A)によるメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電 (号炉間電力融通ケーブル(常設)を使用した場合) タイムチャート

泊発電所3号炉



第1.14.13図 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電 (号炉間連絡ケーブルを使用した場合) タイムチャート

相違理由

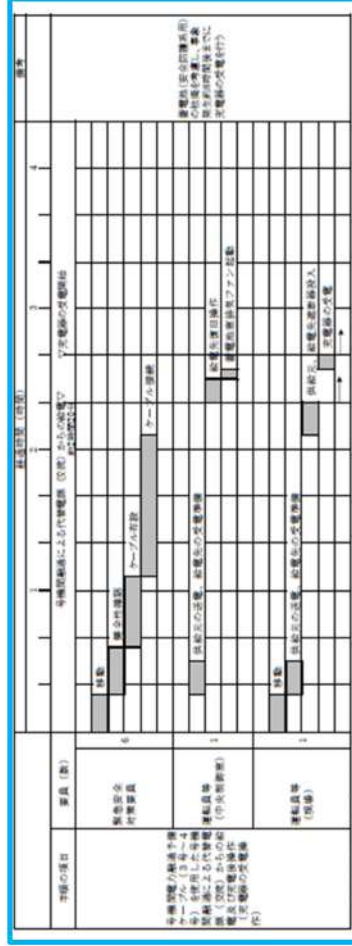
- 【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 - ・補足の充実
 - ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

【比較のため第1.14.22図の記載順序入替え】

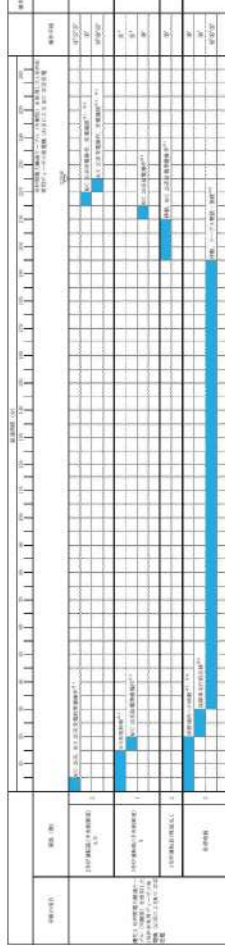
大飯発電所3／4号炉



第1.14.22図 号機間電力融通ケーブル (3号~4号) を使用した号機間融通による代替電源 (交流) からの給電 タイムチャート

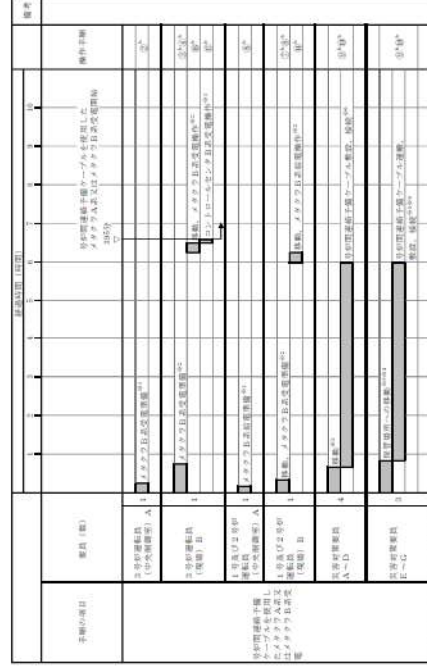
※：準備時間には設備検査時間を含む。

女川原子力発電所2号炉



第1.14-12図 号機間電力融通ケーブルを使用した3号炉非常用ディーゼル発電機 (A) によるスタックワイルド系又はメタクラフ2D系受電 (号機間電力融通ケーブル (可搬型) を使用した場合) タイムチャート

泊発電所3号炉

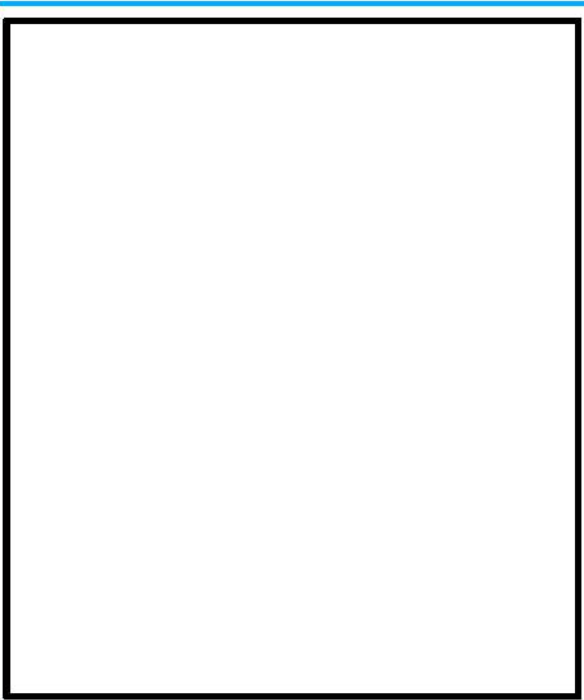
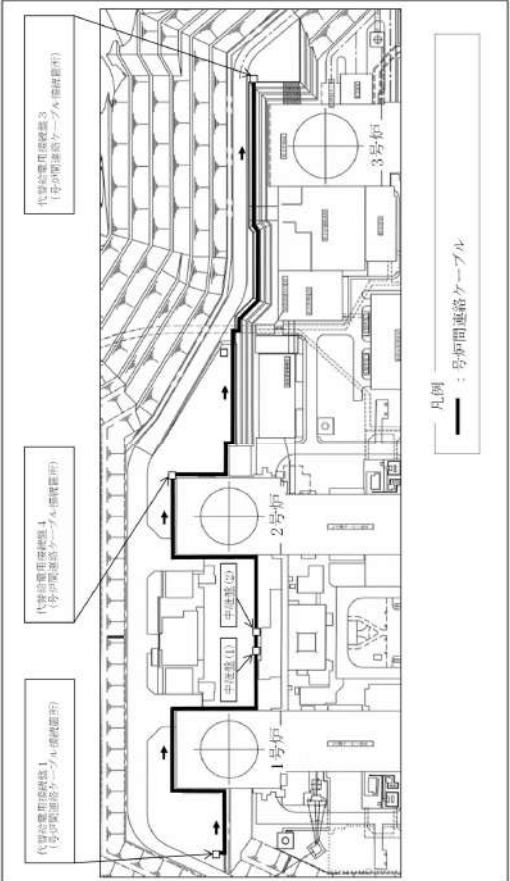


第1.14.14図 号機間連絡ケーブル又は号機間連絡予備ケーブルを使用したメタクラフA系又はメタクラフB系受電 (号機間連絡予備ケーブルを使用した場合) タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

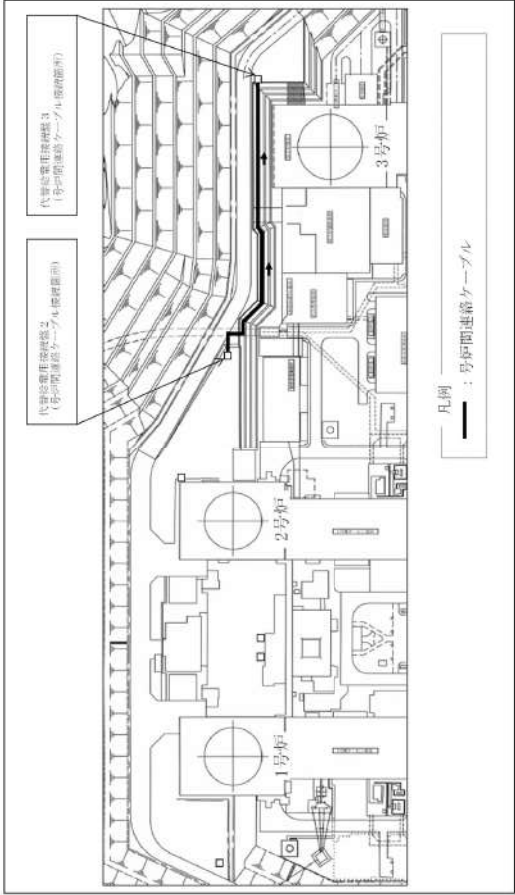
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため第1.14.13図の記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;">  </div> <p style="text-align: center;">第1.14.13図 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通ケーブル機器配置（3,4号炉 E.L.+15.8m）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p>	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">第1.14.15図 号機間連絡ケーブル 機器配置（屋外）（1/2） （1号～3号）</p>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>第1.14.15図 号炉間連絡ケーブル 機器配置（屋外）（2/2） （2号～3号）</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため第1.14.23図の記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"></div> <p style="font-size: small;">第1.14.23図 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通ケーブル敷設ルート（3,4号炉 EL+15.8m）</p> <div style="border: 1px solid gray; width: 100%; height: 15px; margin-top: 5px; font-size: x-small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>		<p style="text-align: center;">第1.14.16図 号炉間連絡予備ケーブル敷設ルート（1/2） （1号～3号）</p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>第1.14.16図 号炉間連絡予備ケーブル敷設ルート (2/2) (2号~3号)</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

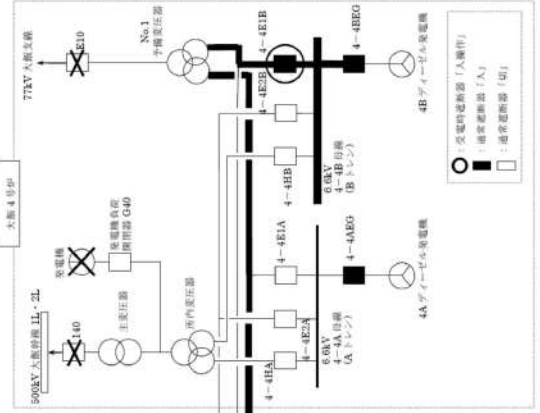
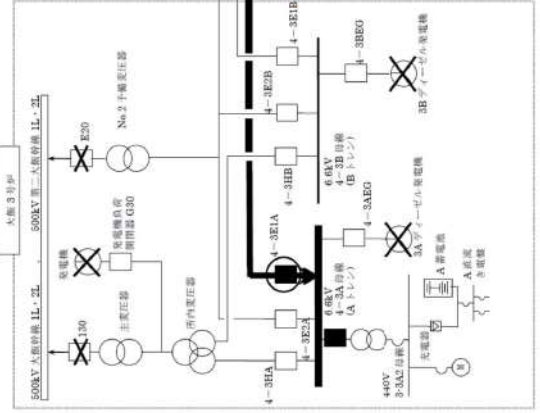
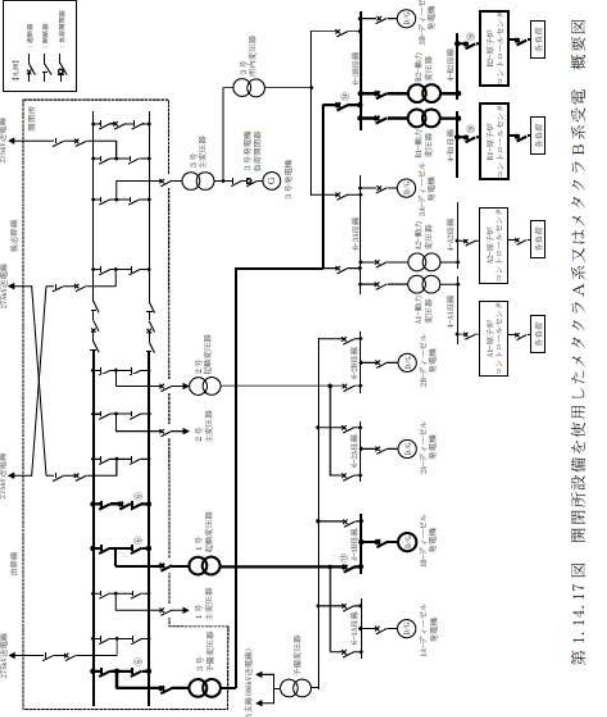
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																							
<div data-bbox="100 383 683 766"> </div> <div data-bbox="100 774 627 821"> <p>第 1.14.7 図 No. 2 予備変圧器 2 次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 概略図</p> </div> <div data-bbox="100 845 683 1133"> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員（名）</th> <th colspan="10">経過時間（分）</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>10</th><th>20</th><th>30</th><th>40</th><th>50</th><th>60</th><th>70</th><th>80</th><th>90</th><th>100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転員等 （号機間融通）</td> <td>2</td> <td colspan="10">号機間融通による代替電源（交流）からの給電の準備</td> <td rowspan="2">運転員等（号機間融通）による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="10">運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運転員等 （号機）</td> <td>1</td> <td colspan="10">運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認</td> <td rowspan="2">運転員（安全設備運用）の指定 1名選出、準備 作業的2時間点と 1名に作業員の交代を行う</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="10">運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="100 1141 627 1204"> <p>第 1.14.8 図 No. 2 予備変圧器 2 次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 タイムチャート</p> </div>	手順の項目	要員（名）	経過時間（分）										備考	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	運転員等 （号機間融通）	2	号機間融通による代替電源（交流）からの給電の準備										運転員等（号機間融通）による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認	1	運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認										運転員等 （号機）	1	運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認										運転員（安全設備運用）の指定 1名選出、準備 作業的2時間点と 1名に作業員の交代を行う	1	運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認											<div data-bbox="1422 766 1937 821" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p>
手順の項目			要員（名）	経過時間（分）										備考																																																												
	10	20		30	40	50	60	70	80	90	100																																																															
運転員等 （号機間融通）	2	号機間融通による代替電源（交流）からの給電の準備										運転員等（号機間融通）による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認																																																														
	1	運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認																																																																								
運転員等 （号機）	1	運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認										運転員（安全設備運用）の指定 1名選出、準備 作業的2時間点と 1名に作業員の交代を行う																																																														
	1	運転員等による代替電源（交流）からの給電及び各種機器の動作確認																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯4号炉</p>  <p>大飯3号炉</p>  <p>第1.14.9図 No.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 概略図</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.14.17図 開閉所設備を使用したメタタラA系又はメタタラB系受電 概要図</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

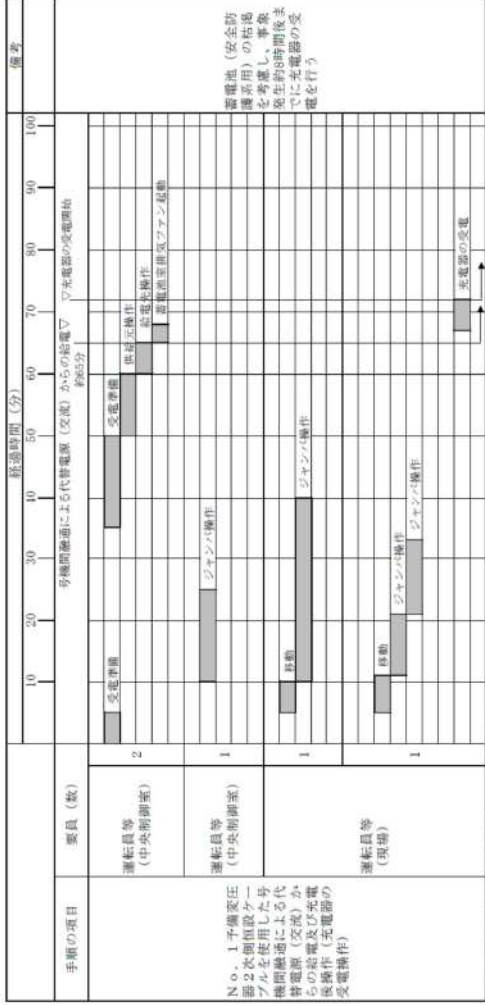
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

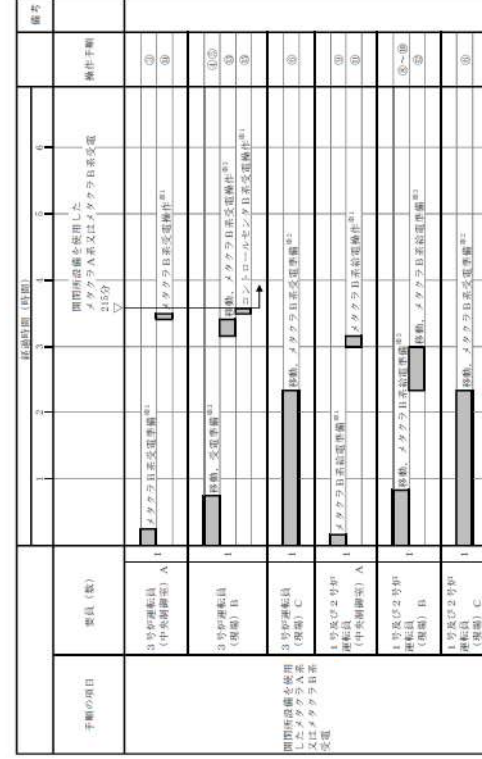
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



第1.14.10図 No. 1 予備変圧器2次側恒設ケープルを使用した号機間融通による代替電源 (交流) からの給電 タイムチャート



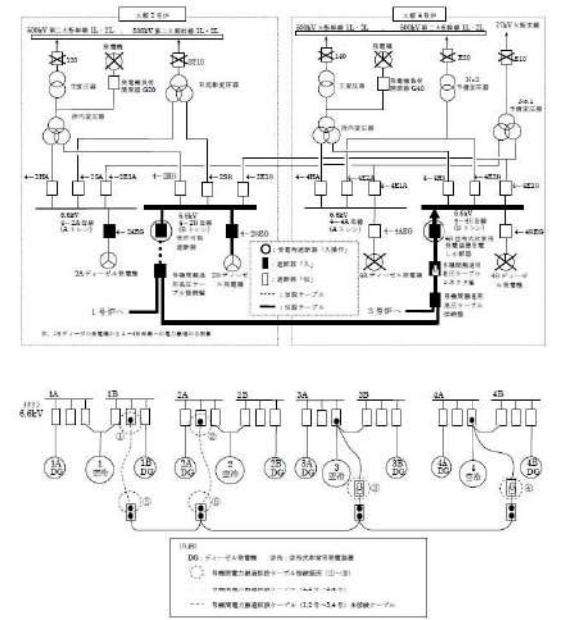
※1：機器の操作時間に赤字を見込んだ時間
 ※2：中央制御室から機器操作員までの移動時間及び機器の操作員に赤字を見込んだ時間
 ※3：中央制御室から機器操作員までの移動時間及び機器の操作員に赤字を見込んだ時間

- 【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 - ・補足の充実
 - ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.14.14図 号機間電力融通用設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 概略図</p> <p>第1.14.15図 号機間電力融通用設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電 タイムチャート</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

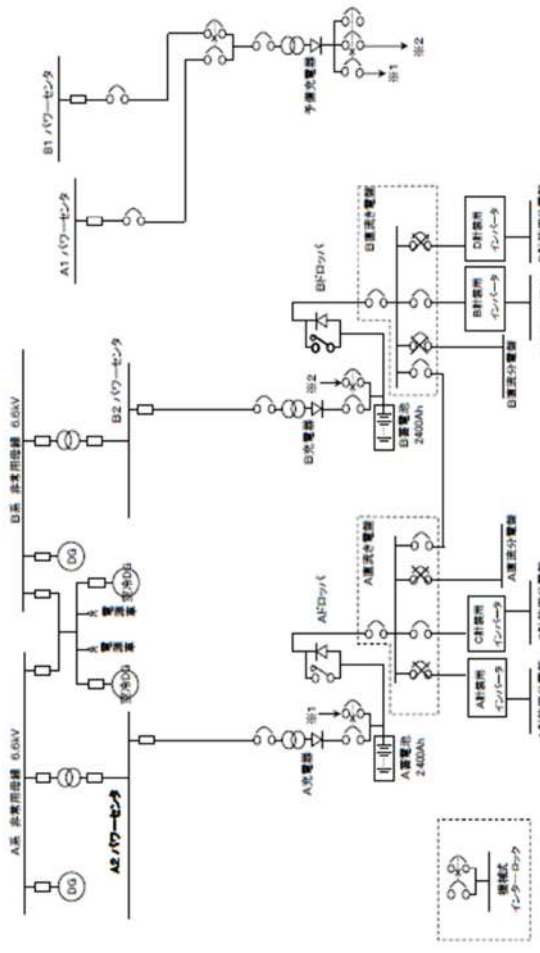
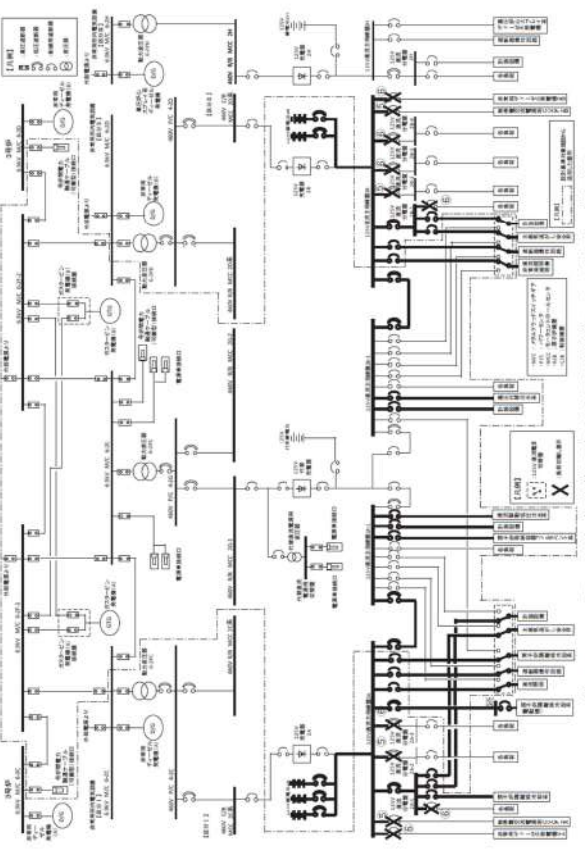
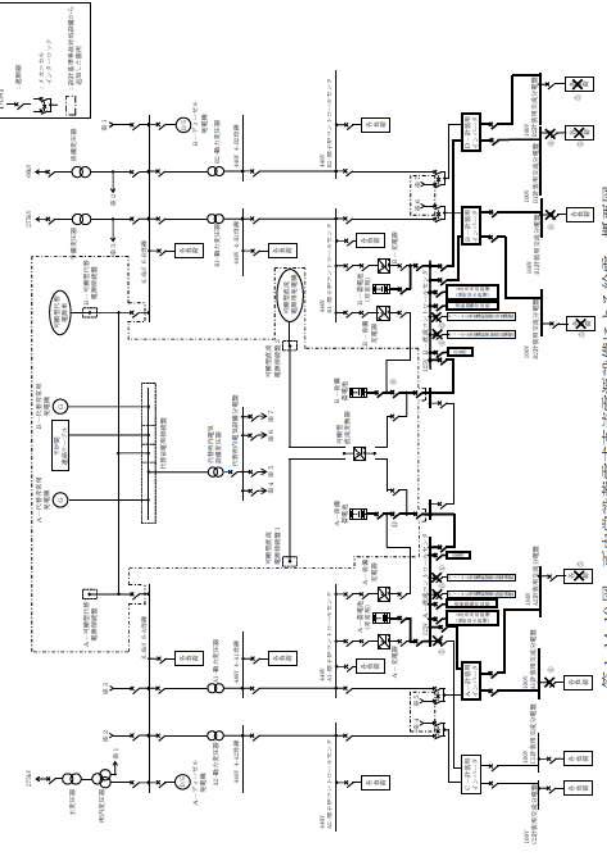
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="183 194 609 699" style="border: 2px solid black; height: 316px; width: 190px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="201 721 591 754" style="font-size: small;"> 図 1.14.16 図 号機間電力搬送用設計ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間搬送ケーブル機器配置（3.4号炉 E.L.+15.8m） </div> <div data-bbox="201 762 591 782" style="border: 1px solid black; font-size: x-small; padding: 2px;"> 詳細みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div> <div data-bbox="183 798 609 1318" style="border: 2px solid black; height: 326px; width: 190px; margin-top: 10px;"></div> <div data-bbox="201 1331 591 1364" style="font-size: small;"> 図 1.14.17 図 号機間電力搬送用設計ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間搬送ケーブル機器配置（1.2号炉 E.L.+7.7m、E.L.+11.3m） </div> <div data-bbox="201 1372 591 1391" style="border: 1px solid black; font-size: x-small; padding: 2px;"> 詳細みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<div data-bbox="1424 742 1935 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2011 724 2154 802" style="font-size: small;"> 【大飯】 設備の相違（相違理由⑤） </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p>  <p>第1.14.25図 蓄電池（安全防護系）による代替電源（直流）からの給電 概略図</p>	 <p>第1.14-13図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 概要図</p>	 <p>第1.14.19図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を組づけ</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
不要直流負荷切離し操作①	運転員等 (中央制御室) 1	約5分 ↓不要直流負荷切離し操作完了 切離し操作	

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
不要直流負荷切離し操作②	運転員等 (現場) 1	約15分 ↓不要直流負荷切離し操作完了 移動 切離し操作	

※：現場移動時には防保護具着用時間を含む。

第 1.14.26 図 蓄電池 (安全防護系) による代替電源 (直流) からの給電 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(時)	備考
所内常設蓄電式直流電源設備による給電	運転員(中央制御室) A 1	1時間負荷切離し 1時間 電源確認① ↓不要直流負荷切離し②、③ 不要直流負荷切離し②、④	8時間 8時間 ②③ ④
	運転員(現場) B, C 2		⑤

※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間
 ※2：機器の稼働時間に余裕を見込んだ時間
 ※3：1時間以内に切離しを実施
 ※4：8時間以内に切離しを実施

第 1.14-14 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電タイムチャート

泊発電所3号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(時間)	備考
所内常設蓄電式直流電源設備による給電	運転員 (中央制御室) A 1	不要な直流負荷切離し操作完了 20分 ↓不要直流負荷切離し操作① 移動、不要直流負荷切離し操作②	不要な直流負荷切離し操作完了 10分 ↓不要直流負荷切離し操作完了 10分 A後常蓄電池投入 100分 B後常蓄電池投入 80分 B後常蓄電池投入 100分 A後常蓄電池投入 100分 B後常蓄電池投入 100分 A後常蓄電池投入 100分 B後常蓄電池投入 100分 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
	運転員 (現場) B 2		⑤ ⑥ ⑦ ⑧

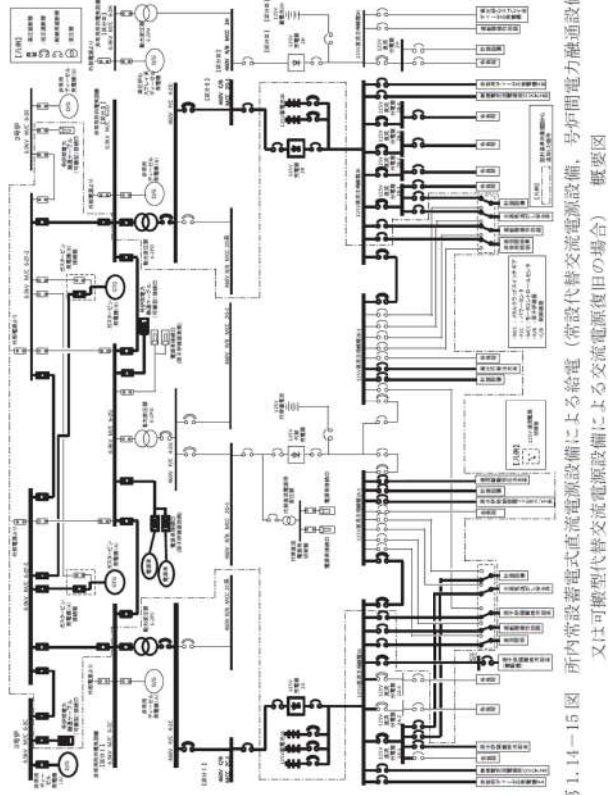
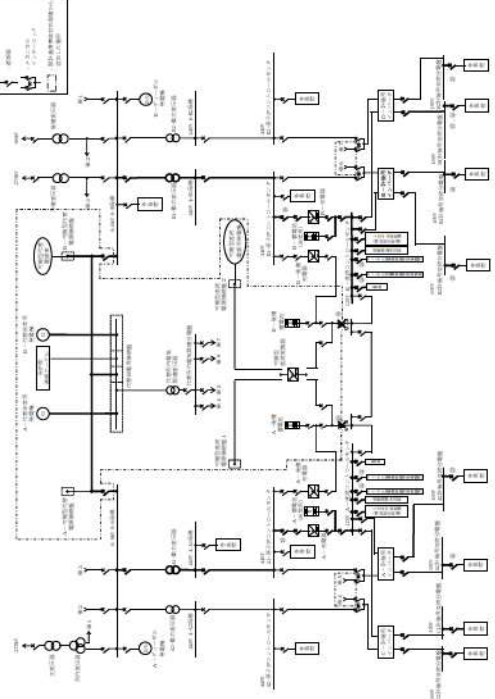
※1：機器の稼働時間に余裕を見込んだ時間
 ※2：中央制御室から機器稼働場所までの稼働時間及び機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間

第 1.14.20 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・タイムチャート
 と操作手順番号
 を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.14-15図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電（常設代替交流電源設備、号炉間電力融通設備又は可搬型代替交流電源設備による交流電源復旧の場合） 概要図</p>	 <p>第1.14-21図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電（常設代替交流電源設備、後備変圧器、可搬型代替交流電源設備、号炉間電力融通設備、開閉所設備による交流電源復旧の場合） 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ ・泊は、交流受電後の充電器から直流母線に給電する概要図や整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

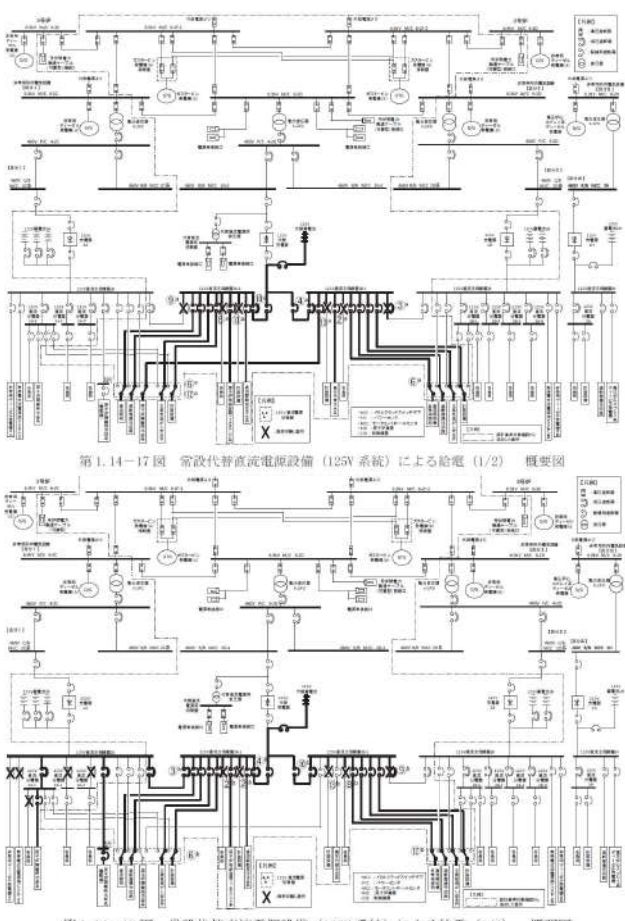
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第 1.14-16 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電（常設代替交流電源設備、号炉間電力融通設備又は可搬型代替交流電源設備による場合）タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での点検確認に必要な想定時間 ※2：機器の作業時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>第 1.14.22 図 所内常設蓄電式直流電源設備による給電（常設代替交流電源設備、後備変圧器、可搬型代替交流電源設備、号炉間電力融通設備、閉閉所設備による場合）タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室からの給電操作場所までの移動時間及び機器の作業時間に余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室からの給電操作場所までの移動時間を想定した時間を見込んだ時間 ※3：中央制御室からの給電操作場所までの移動時間を想定した時間を見込んだ時間 ※4：中央制御室からの給電操作場所までの移動時間を想定した時間を見込んだ時間 ※5：蓄電室給電システムコンタクトローテーションのコンタクト差替え時間 ※6：安全確認装置外高圧入アンプ間動作時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を組む ・補足の充実 ・備考欄の追加 ・泊は、交流受電後の充電器から直流母線に給電するタイムチャートを整理している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

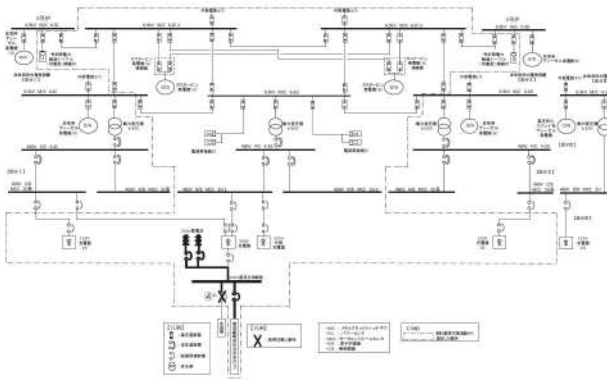
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

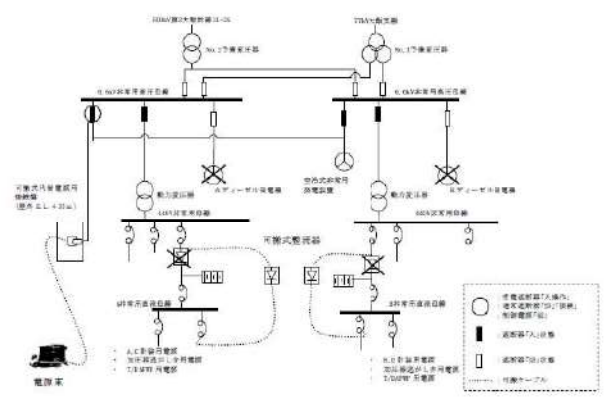
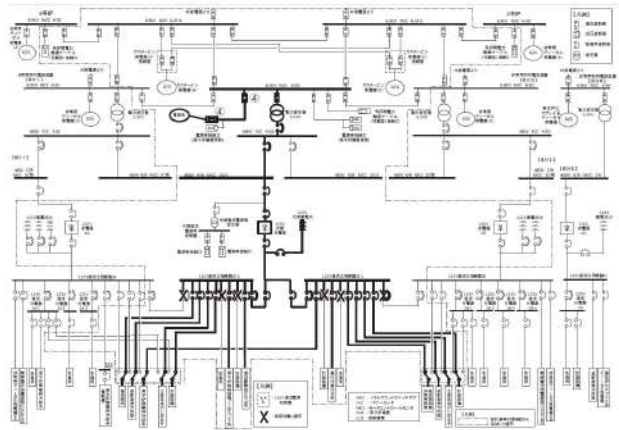
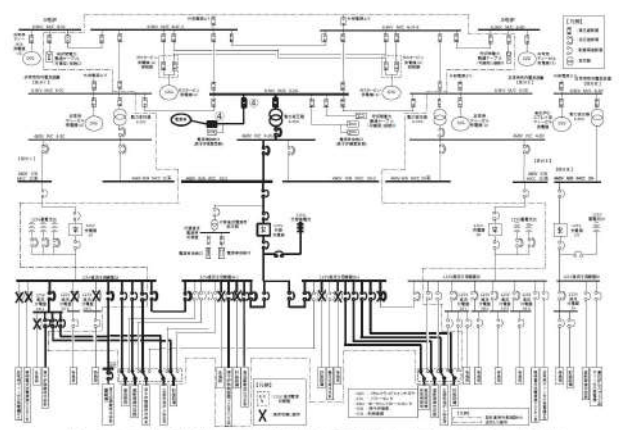
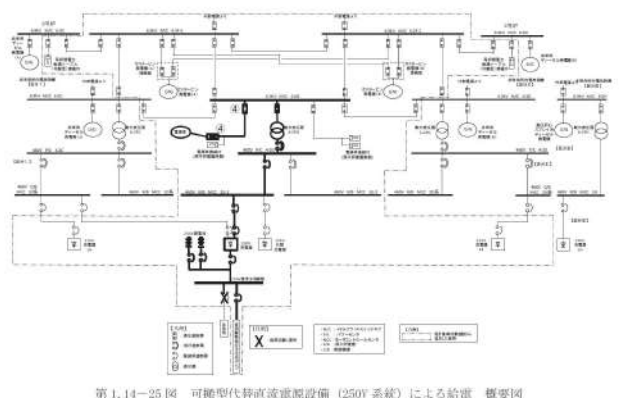
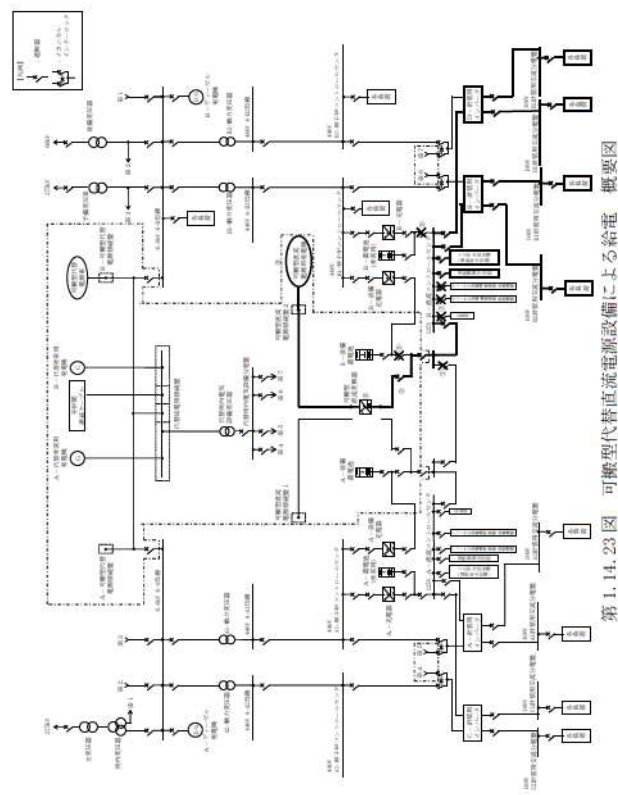
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																										
	 <p>第1.14-19図 常設代替直流電源設備（250V系統）による給電 概要図</p> <table border="1" data-bbox="728 678 1332 805"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="12">給電時間</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>00:00</th><th>00:05</th><th>00:10</th><th>00:15</th><th>00:20</th><th>00:25</th><th>00:30</th><th>00:35</th><th>00:40</th><th>00:45</th><th>00:50</th><th>00:55</th><th>01:00</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設代替直流電源設備以上</td> <td>設備/機能</td> <td colspan="12">[Blue shaded area]</td> <td>設備/機能</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.14-20図 常設代替直流電源設備（250V系統）による給電タイムチャート（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="728 917 1332 1045"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="12">給電時間</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>00:00</th><th>00:05</th><th>00:10</th><th>00:15</th><th>00:20</th><th>00:25</th><th>00:30</th><th>00:35</th><th>00:40</th><th>00:45</th><th>00:50</th><th>00:55</th><th>01:00</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設代替直流電源設備以上</td> <td>設備/機能</td> <td colspan="12">[Blue shaded area]</td> <td>設備/機能</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.14-21図 常設代替直流電源設備（250V系統）による給電タイムチャート（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="728 1157 1332 1284"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="12">給電時間</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>00:00</th><th>00:05</th><th>00:10</th><th>00:15</th><th>00:20</th><th>00:25</th><th>00:30</th><th>00:35</th><th>00:40</th><th>00:45</th><th>00:50</th><th>00:55</th><th>01:00</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常設代替直流電源設備以上</td> <td>設備/機能</td> <td colspan="12">[Blue shaded area]</td> <td>設備/機能</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.14-22図 常設代替直流電源設備（250V系統）による給電タイムチャート</p>			給電時間												備考			00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	01:00		常設代替直流電源設備以上	設備/機能	[Blue shaded area]												設備/機能			給電時間												備考			00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	01:00		常設代替直流電源設備以上	設備/機能	[Blue shaded area]												設備/機能			給電時間												備考			00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	01:00		常設代替直流電源設備以上	設備/機能	[Blue shaded area]												設備/機能	<div data-bbox="1456 742 1892 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2004 750 2150 837" style="color: red;"> 【女川】 設備の相違（相違理由②） </div>
		給電時間												備考																																																																																																																															
		00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	01:00																																																																																																																															
常設代替直流電源設備以上	設備/機能	[Blue shaded area]												設備/機能																																																																																																																															
		給電時間												備考																																																																																																																															
		00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	01:00																																																																																																																															
常設代替直流電源設備以上	設備/機能	[Blue shaded area]												設備/機能																																																																																																																															
		給電時間												備考																																																																																																																															
		00:00	00:05	00:10	00:15	00:20	00:25	00:30	00:35	00:40	00:45	00:50	00:55	01:00																																																																																																																															
常設代替直流電源設備以上	設備/機能	[Blue shaded area]												設備/機能																																																																																																																															

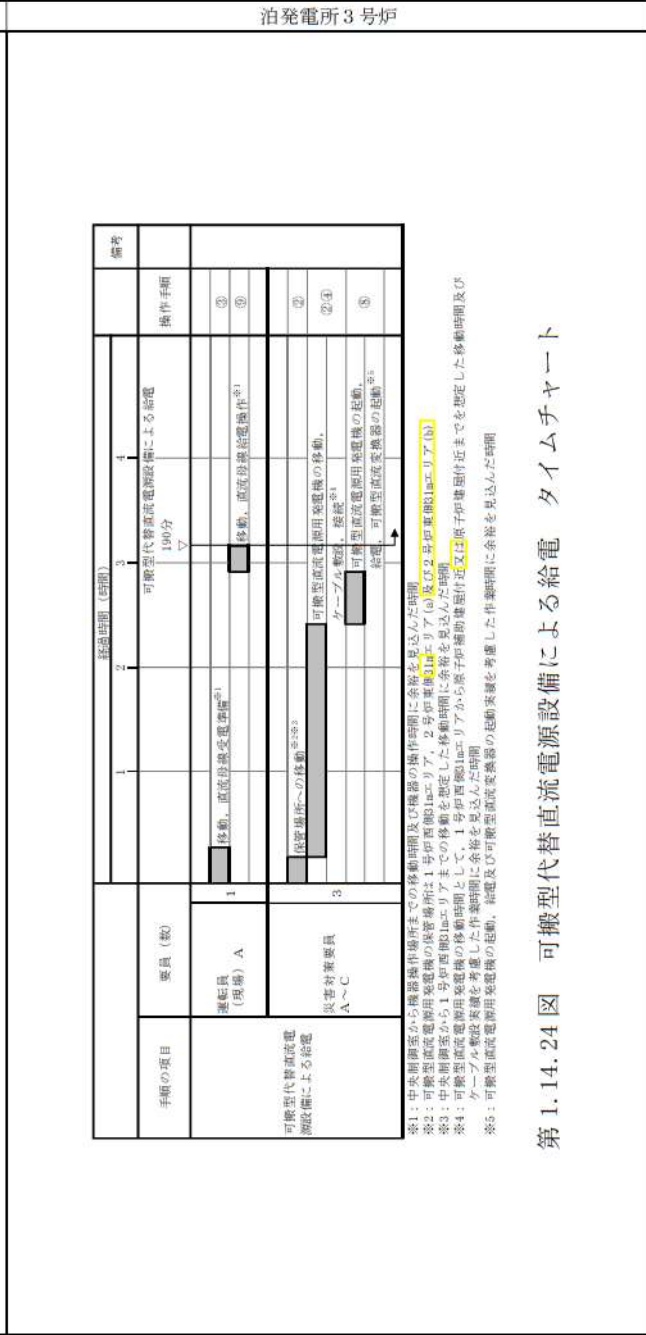
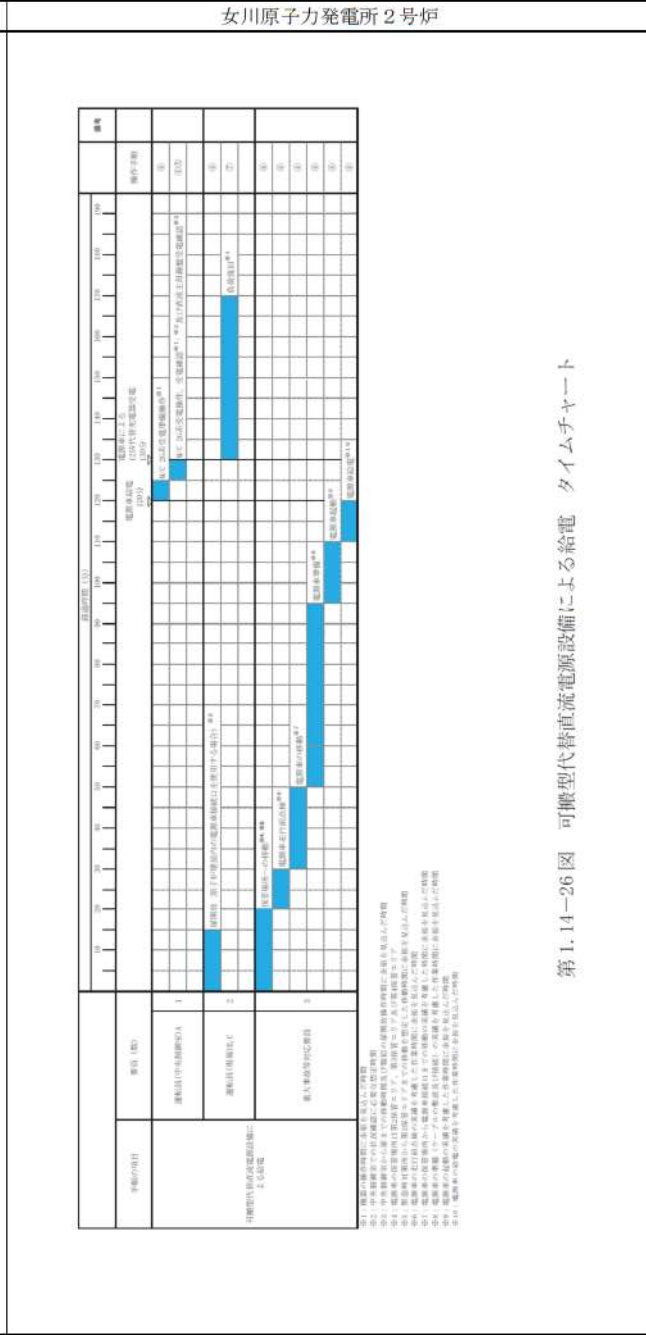
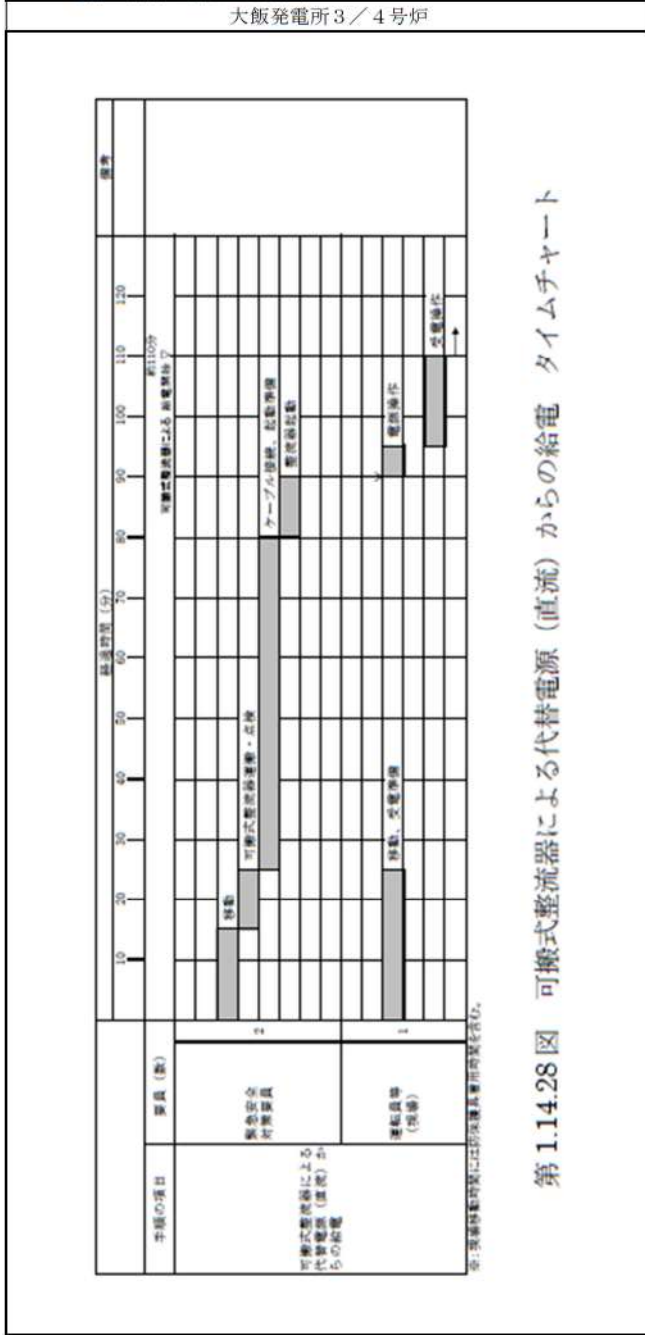
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.14.27図 可換式整流器による代替電源（直流）からの給電 概略図</p>	 <p>第1.14-23図 可換型代替直流電源設備（125V系統）による給電（1/2） 概略図</p>  <p>第1.14-24図 可換型代替直流電源設備（125V系統）による給電（2/2） 概略図</p>  <p>第1.14-25図 可換型代替直流電源設備（250V系統）による給電 概略図</p>	 <p>第1.14.23図 可換型代替直流電源設備による給電 概略図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>

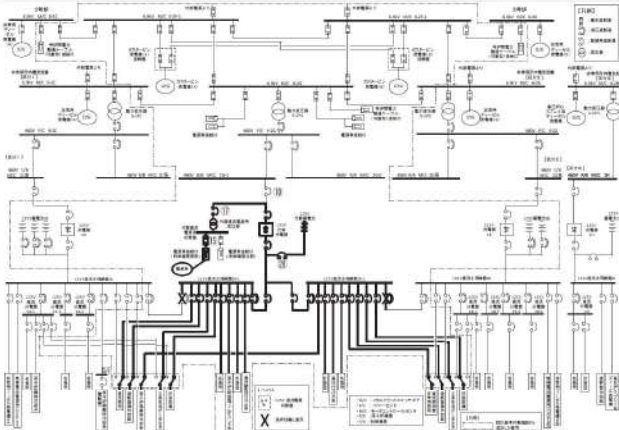
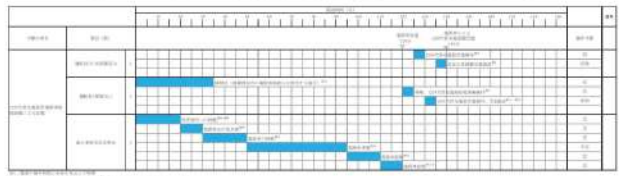
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.14-27図 128V代替充電器用電源接続設備による給電 概要図</p>  <p>第1.14-28図 128V代替充電器用電源接続設備による給電タイムチャート</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p style="color: red;">【女川】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

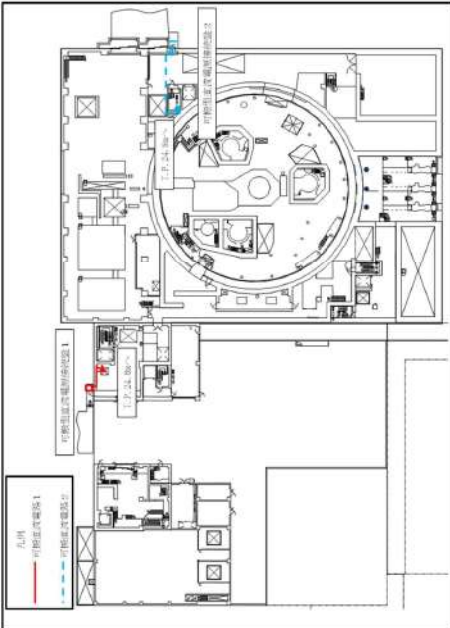
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 386 698 1123" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="190 1139 584 1185" data-label="Caption"> <p>第1.14.29図 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電ケーブル敷設ルート（3,4号炉 E.L.+15.8m）</p> </div> <div data-bbox="125 1198 660 1225" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>		<div data-bbox="1413 545 1832 1171" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1854 523 1886 1136" data-label="Caption"> <p>第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート（1/5）（屋外）</p> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

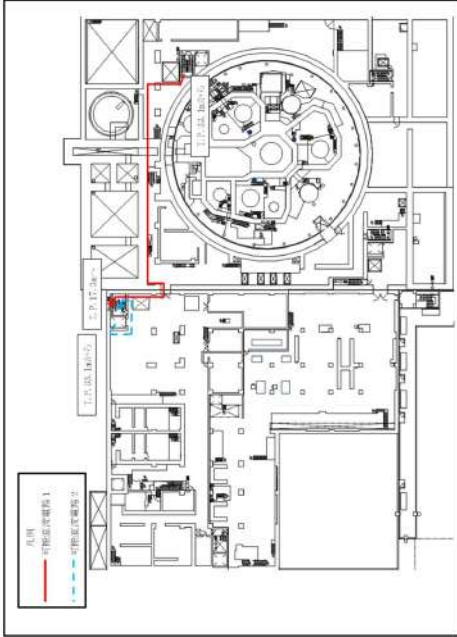
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p style="text-align: right;">第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート (2/5) (T.P.33, 1m)</p>	

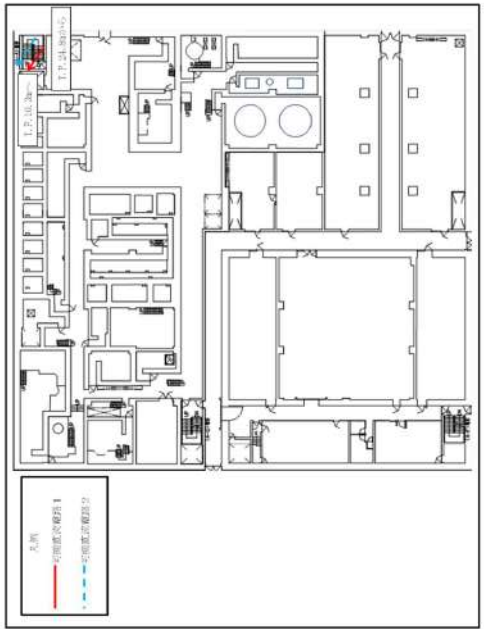
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1854 454 1886 1109">第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート (3/5) (T.P.24.8m)</p>	

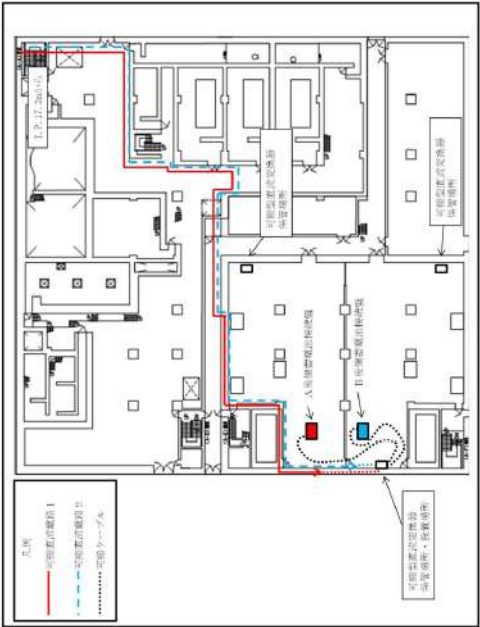
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p data-bbox="1848 486 1892 1149">第1.14.25図 可搬型代替直流電源設備ケーブル敷設ルート(4/5) (T.P.17.3m)</p>	

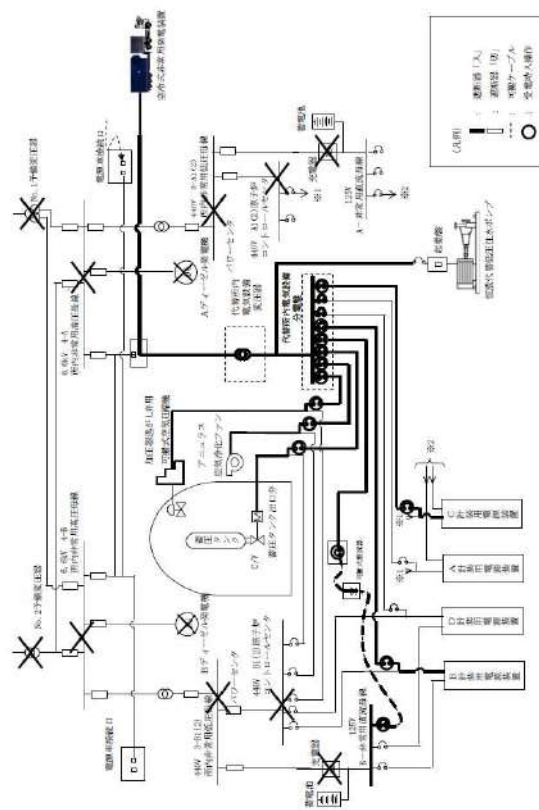
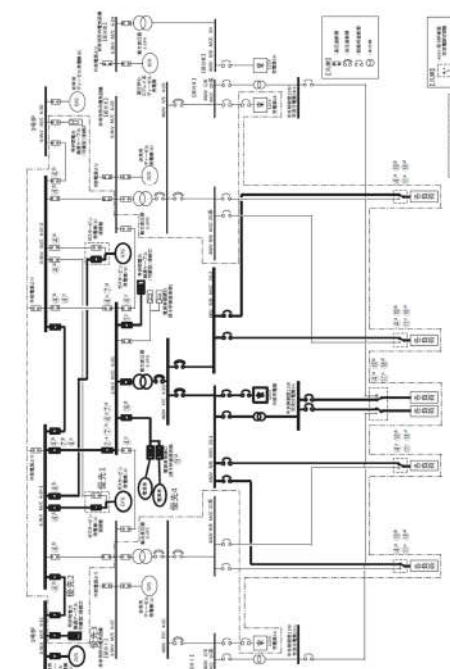
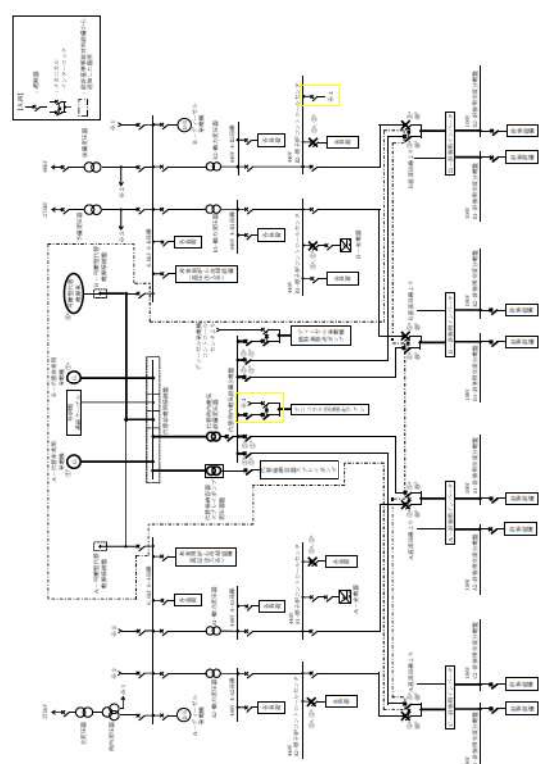
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>第 1.14.25 図 可搬型代替用直流電源設備ケーブル敷設ルート (5/5) (T.P.10.3m)</p>	

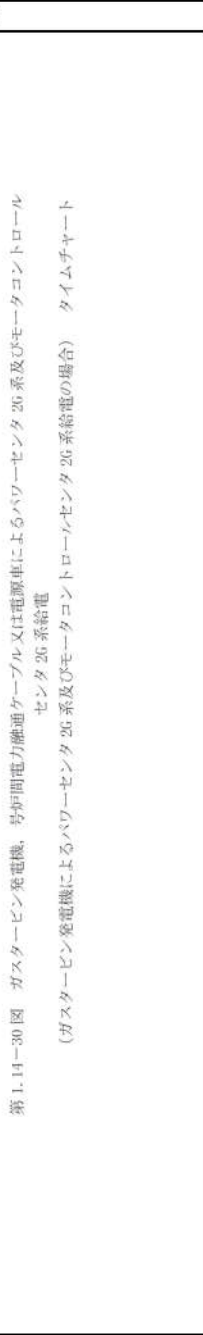
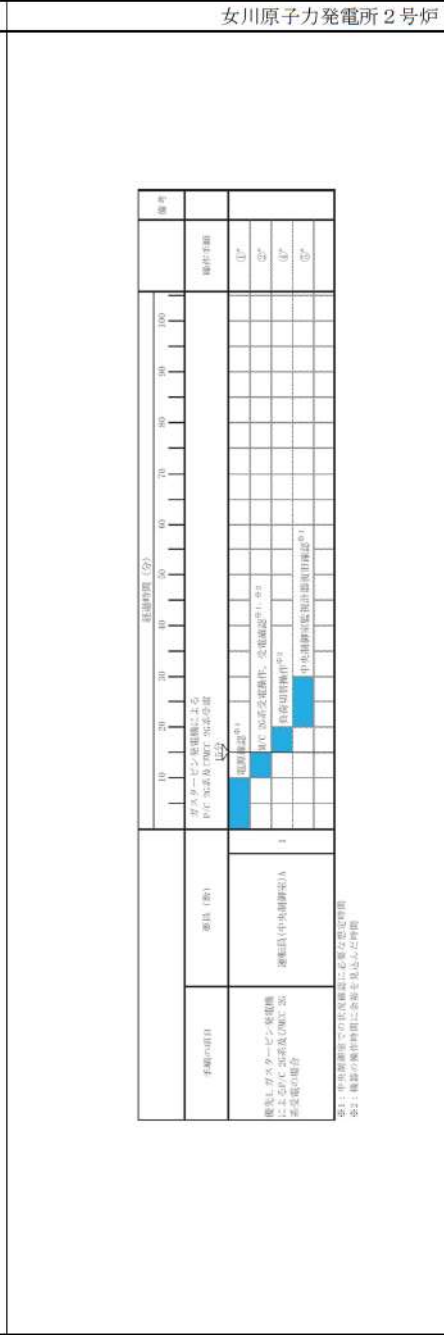
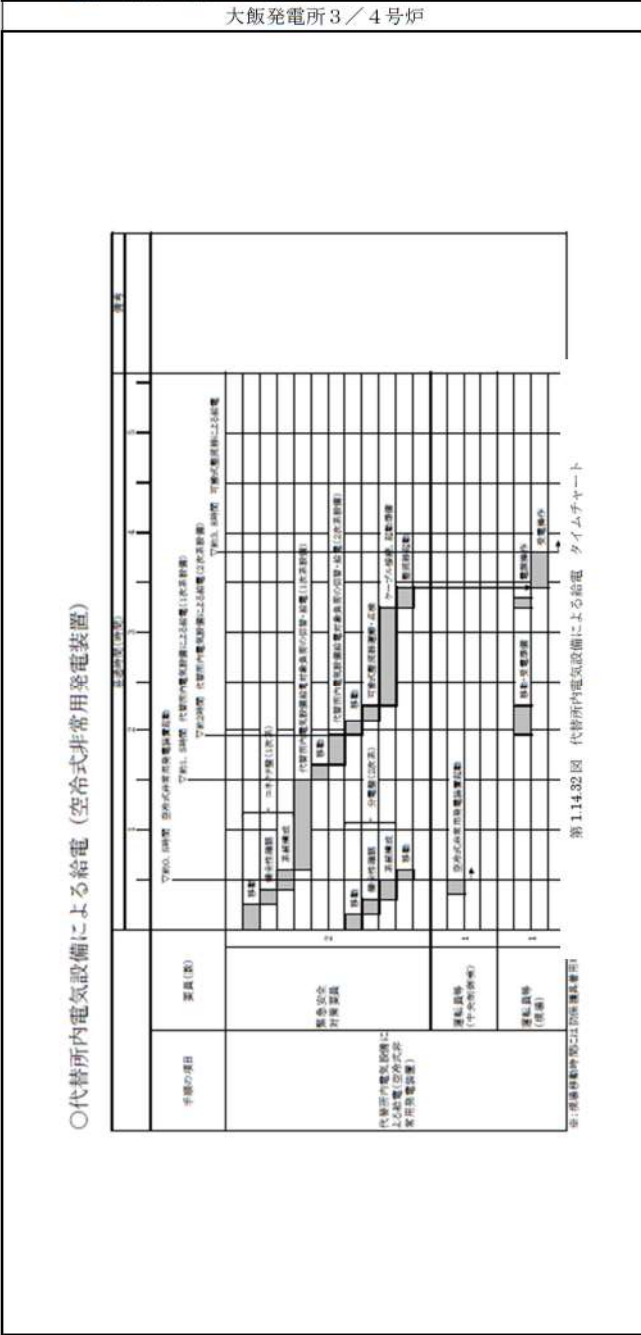
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第 1.14.31 図 代替所内電気設備による給電 概略図</p>	 <p>第 1.14.29 図 ガスタービン発電機、昇圧機電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンター26系給電 概要図</p>	 <p>第 1.14.26 図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電 概要図</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑬）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）

- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

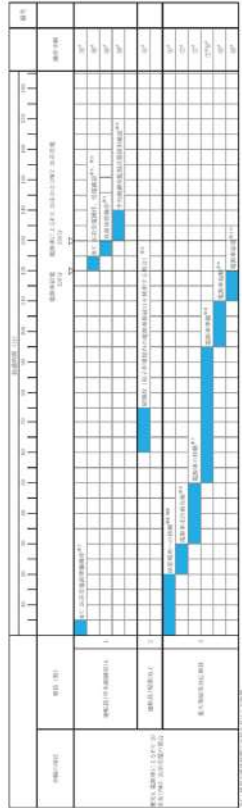
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>○代替所内電気設備による給電（電源車）</p> <p>第1.14.22図 代替所内電気設備による給電 タイムチャート</p>	<p>第1.14.23図 ガスタービン発電機、号中間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンター25系及びモーターコントロールロータリーセンター25系給電 (号中間電力融通ケーブル(常設)を使用した3号炉非常用ディーゼル発電機(A)によるパワーセンター25系及びモーターコントロールロータリーセンター25系給電の場合) タイムチャート</p>	<p>第1.14.28図 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電 (可搬型代替電源車の場合) タイムチャート</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

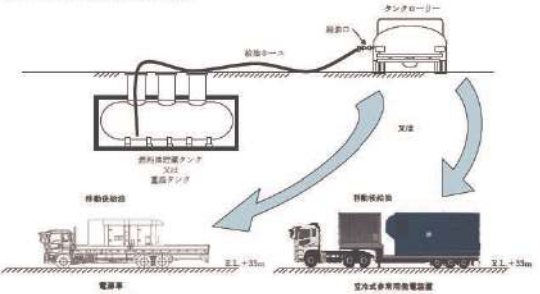
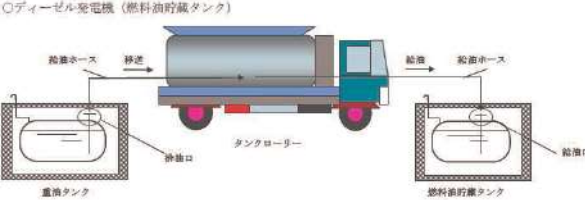
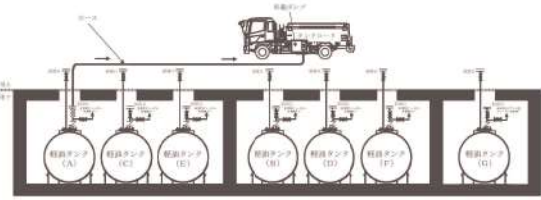
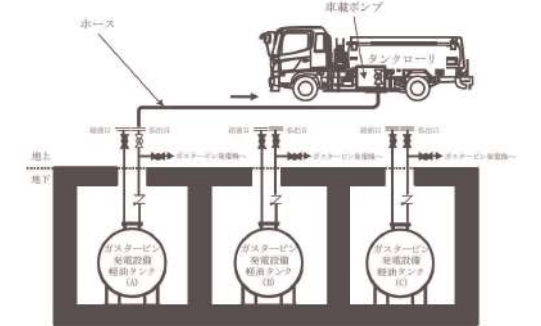
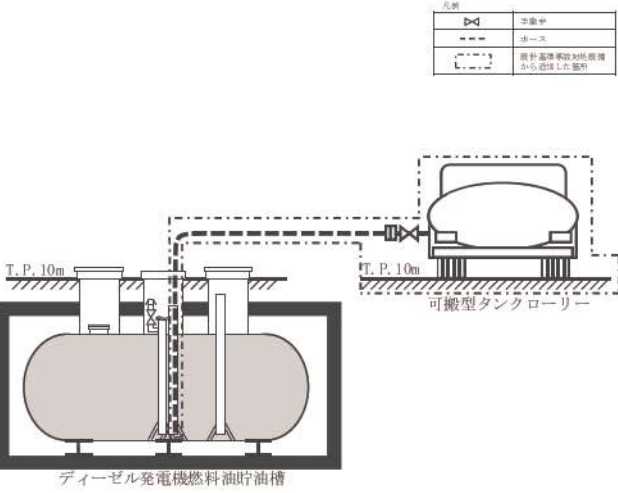
大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.14-33図 ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンター26系及びモーターコントロールセンター26系給電 (電源車によるパワーセンター26系及びモーターコントロールセンター26系給電の場合) タイムチャート</p> <p>① 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。② 図中の横軸は、時間(時)を示す。③ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。④ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑤ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑥ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑦ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑧ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑨ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑩ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑪ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑫ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑬ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑭ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑮ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑯ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑰ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑱ 図中の横軸は、時間(時)を示す。⑲ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。⑳ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉑ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉒ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉓ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉔ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉕ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉖ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉗ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉘ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉙ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉚ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉛ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉜ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉝ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㉞ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㉟ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊱ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊲ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊳ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊴ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊵ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊶ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊷ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊸ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊹ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊺ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊻ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊼ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊽ 図中の横軸は、時間(時)を示す。㊾ 図中の縦軸は、電力出力(MW)を示す。㊿ 図中の横軸は、時間(時)を示す。</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

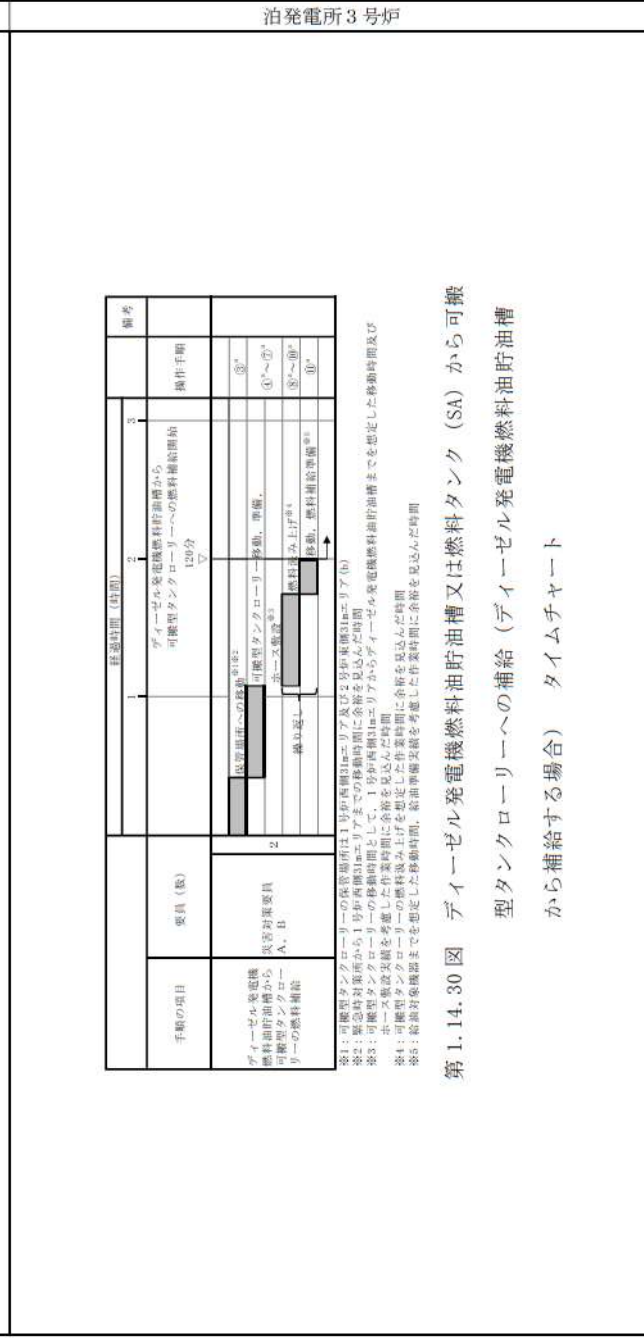
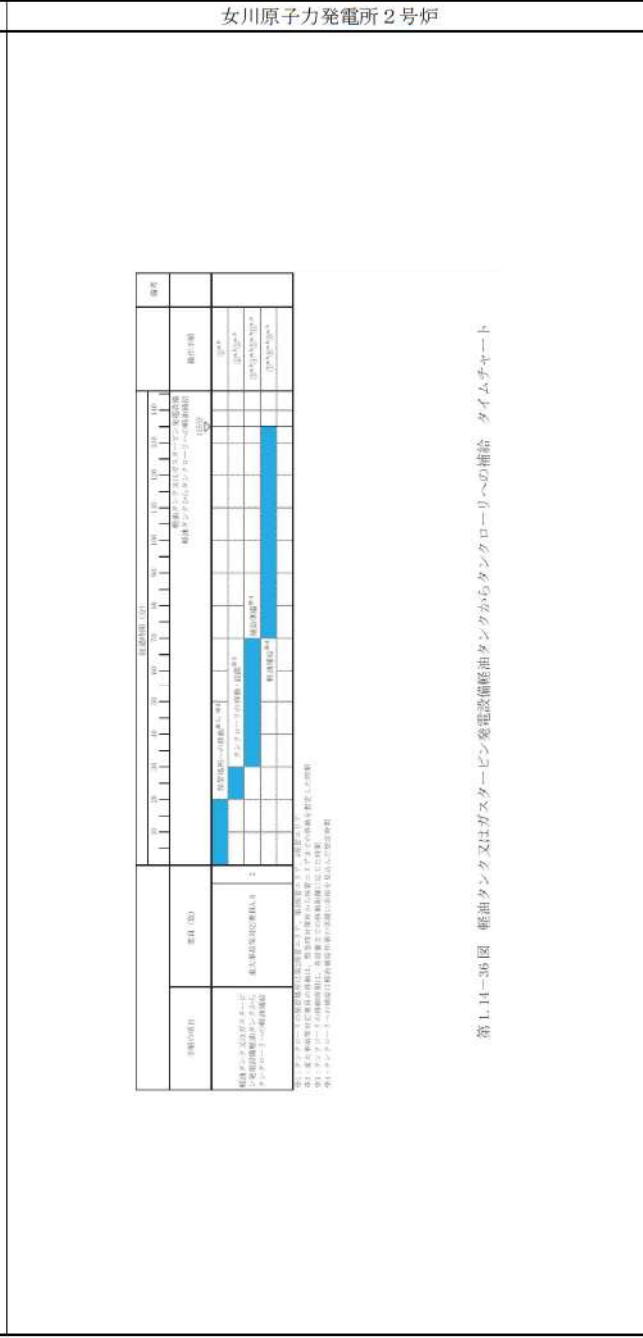
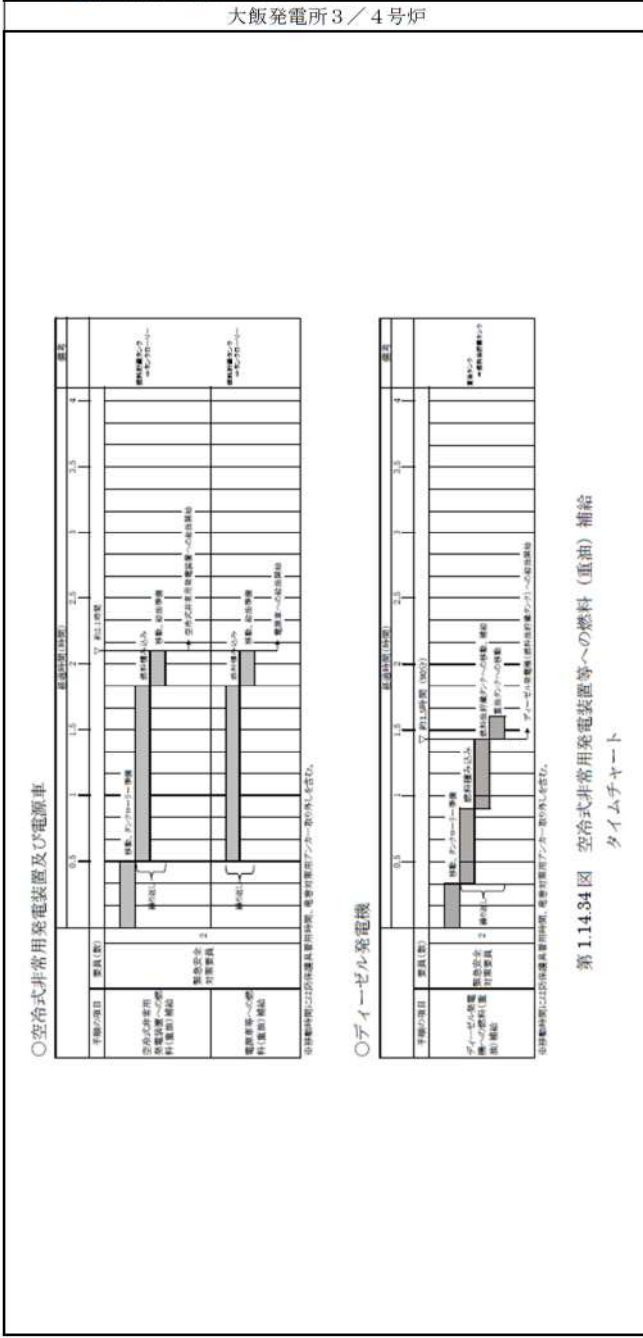
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>○空冷式非常用発電装置及び電源車</p>  <p>○ディーゼル発電機（燃料油貯蔵タンク）</p>  <p>第1.14.33図 空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給 概要図</p>	 <p>第1.14-34図 軽油タンクからタンクローリへの補給 概要図</p>  <p>第1.14-35図 ガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの補給 概要図</p>	 <table border="1" data-bbox="1803 470 1993 550"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>主要部</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ホース</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料設備補給が既述済から省略した箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.14.29図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリへの補給（ディーゼル発電機燃料油貯油槽から補給する場合） 概要図</p>	凡例			主要部		ホース		燃料設備補給が既述済から省略した箇所	
凡例											
	主要部										
	ホース										
	燃料設備補給が既述済から省略した箇所										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



【大飯】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）

- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<div data-bbox="190 758 600 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 311 1982 726"> <p style="text-align: center;">ディーゼル発電機燃料油供給</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①②</td><td>ホース</td><td>ホース接続</td></tr> <tr><td>①③</td><td>ホース</td><td>ホース接続</td></tr> <tr><td>①④①</td><td>B-燃料油手動ポンプ出口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>①④②</td><td>A-燃料油移送ポンプ出口A側継ぎ合</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>①④③</td><td>B-燃料油手動ポンプ入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>①④④</td><td>B-燃料油サービスタンク 油温調整弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>①④⑤</td><td>B-燃料油移送ポンプ出口B側継ぎ合</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>①④⑥</td><td>燃料油移送ポンプ出口連絡シリンダ弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>①④⑦</td><td>DC-6共通電線</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑧</td><td>B-燃料油移送ポンプ</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑨</td><td>B-蓄積タンクヒーター</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑩</td><td>B-空圧圧縮機</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑪</td><td>B-燃料油サービスタンク 油温調整弁 (DLSY-4452)</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑫</td><td>B-清水タンク 補給電線弁 (DLSY-9402)</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑬</td><td>B-清水加熱器</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑭</td><td>B-ディーゼル発電機制御盤</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑮</td><td>B-ディーゼル発電機スースヒーター</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑯</td><td>C-ディーゼル発電機冷却ファン</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑰</td><td>D-ディーゼル発電機冷却ファン</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑱</td><td>B-蓄積タンクアライミングポンプ</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑲</td><td>B-蓄積タンク加熱器</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④⑳</td><td>B-蓄積タンクポンプ</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④㉑</td><td>B-蓄積タンクアライミングポンプ</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④㉒</td><td>B-燃料油移送ポンプ</td><td>①④コネクタを挿入</td></tr> <tr><td>①④㉓</td><td>B-ディーゼル発電機燃料油コントロールセンタ</td><td>切→入</td></tr> <tr><td>①④㉔</td><td>B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td><td>切→入</td></tr> <tr><td>①④㉕</td><td>B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>①④㉖</td><td>B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td><td>入→切</td></tr> <tr><td>①④㉗</td><td>B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td><td>起動→停止</td></tr> </tbody> </table> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①②	ホース	ホース接続	①③	ホース	ホース接続	①④①	B-燃料油手動ポンプ出口弁	全閉→全開	①④②	A-燃料油移送ポンプ出口A側継ぎ合	全閉→全開	①④③	B-燃料油手動ポンプ入口弁	全閉→全開	①④④	B-燃料油サービスタンク 油温調整弁	全閉→全開	①④⑤	B-燃料油移送ポンプ出口B側継ぎ合	全閉→全開	①④⑥	燃料油移送ポンプ出口連絡シリンダ弁	全閉→全開	①④⑦	DC-6共通電線	入→切	①④⑧	B-燃料油移送ポンプ	入→切	①④⑨	B-蓄積タンクヒーター	入→切	①④⑩	B-空圧圧縮機	入→切	①④⑪	B-燃料油サービスタンク 油温調整弁 (DLSY-4452)	入→切	①④⑫	B-清水タンク 補給電線弁 (DLSY-9402)	入→切	①④⑬	B-清水加熱器	入→切	①④⑭	B-ディーゼル発電機制御盤	入→切	①④⑮	B-ディーゼル発電機スースヒーター	入→切	①④⑯	C-ディーゼル発電機冷却ファン	入→切	①④⑰	D-ディーゼル発電機冷却ファン	入→切	①④⑱	B-蓄積タンクアライミングポンプ	入→切	①④⑲	B-蓄積タンク加熱器	入→切	①④⑳	B-蓄積タンクポンプ	入→切	①④㉑	B-蓄積タンクアライミングポンプ	入→切	①④㉒	B-燃料油移送ポンプ	①④コネクタを挿入	①④㉓	B-ディーゼル発電機燃料油コントロールセンタ	切→入	①④㉔	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	切→入	①④㉕	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	停止→起動	①④㉖	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	入→切	①④㉗	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	起動→停止	<div data-bbox="2004 758 2166 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【大飯】 設備の相違（相違理由⑩） </div>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																											
①②	ホース	ホース接続																																																																																											
①③	ホース	ホース接続																																																																																											
①④①	B-燃料油手動ポンプ出口弁	全閉→全開																																																																																											
①④②	A-燃料油移送ポンプ出口A側継ぎ合	全閉→全開																																																																																											
①④③	B-燃料油手動ポンプ入口弁	全閉→全開																																																																																											
①④④	B-燃料油サービスタンク 油温調整弁	全閉→全開																																																																																											
①④⑤	B-燃料油移送ポンプ出口B側継ぎ合	全閉→全開																																																																																											
①④⑥	燃料油移送ポンプ出口連絡シリンダ弁	全閉→全開																																																																																											
①④⑦	DC-6共通電線	入→切																																																																																											
①④⑧	B-燃料油移送ポンプ	入→切																																																																																											
①④⑨	B-蓄積タンクヒーター	入→切																																																																																											
①④⑩	B-空圧圧縮機	入→切																																																																																											
①④⑪	B-燃料油サービスタンク 油温調整弁 (DLSY-4452)	入→切																																																																																											
①④⑫	B-清水タンク 補給電線弁 (DLSY-9402)	入→切																																																																																											
①④⑬	B-清水加熱器	入→切																																																																																											
①④⑭	B-ディーゼル発電機制御盤	入→切																																																																																											
①④⑮	B-ディーゼル発電機スースヒーター	入→切																																																																																											
①④⑯	C-ディーゼル発電機冷却ファン	入→切																																																																																											
①④⑰	D-ディーゼル発電機冷却ファン	入→切																																																																																											
①④⑱	B-蓄積タンクアライミングポンプ	入→切																																																																																											
①④⑲	B-蓄積タンク加熱器	入→切																																																																																											
①④⑳	B-蓄積タンクポンプ	入→切																																																																																											
①④㉑	B-蓄積タンクアライミングポンプ	入→切																																																																																											
①④㉒	B-燃料油移送ポンプ	①④コネクタを挿入																																																																																											
①④㉓	B-ディーゼル発電機燃料油コントロールセンタ	切→入																																																																																											
①④㉔	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	切→入																																																																																											
①④㉕	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	停止→起動																																																																																											
①④㉖	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	入→切																																																																																											
①④㉗	B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	起動→停止																																																																																											

第 1.14.31 図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへの補給 (ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合) 概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div style="text-align: center;"> </div> <p>※1：可搬型タンクローリーの保管場所は1号炉内蔵31mリア及び2号炉内蔵31mリア内。 ※2：緊急時対策所から1号炉内蔵31mリアまでの移動時間に余裕を見込んだ時間 ※3：可搬型タンクローリーの移動時間として、1号炉内蔵31mリアから原子炉補助建屋付近までを想定した移動時間及びホース敷設実績を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※4：可搬型タンクローリーの移動時間として原子炉補助建屋付近から3号出入管理室構内までを想定した移動時間、可搬型タンクローリーの給油準備実績を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※5：可搬型タンクローリーの燃料油移送ポンプ稼働を想定した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※6：給油対象機器までを想定した移動時間、給油準備実績を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間 ※7：中央制御室から機器操作室までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間 ※8：燃料油移送ポンプ受電準備に余裕を見込んだ時間 ※9：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>第1.14.32図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへの補給（ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合） タイムチャート</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑩）</p>


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="192 767 600 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1368 499 1989 1029" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">燃料タンク (SA) (イメージ)</p> <p style="text-align: center;">※燃料タンク (SA) については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">第 1.14.33 図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへの補給 (燃料タンク (SA) から補給する場合) 概要図</p>	<p>【大飯、女川】</p> <p>設備の相違</p> <p>・泊は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク (SA) にて重大事故等対応が可能な備蓄量を確保する方針であることから、燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへ燃料補給する手順を整備する。複数のタンクで燃料を確保する方針は、女川2号炉及び大飯3/4号炉と同様。</p>

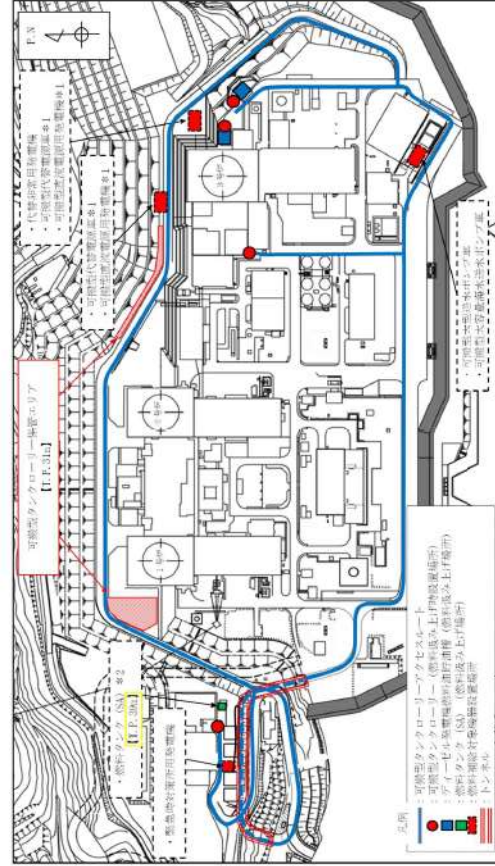
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		 <p>第1.14.34図 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへの補給（燃料タンク（SA）から補給する場合） タイムチャート</p>	<p>【大飯、女川】 設備の相違 ・泊は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク（SA）にて重大事故等対応が可能な備蓄量を確保する方針であることから、燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへ燃料補給する手順を整備する。複数のタンクで燃料を確保する方針は、女川2号炉及び大飯3/4号炉と同様。</p>

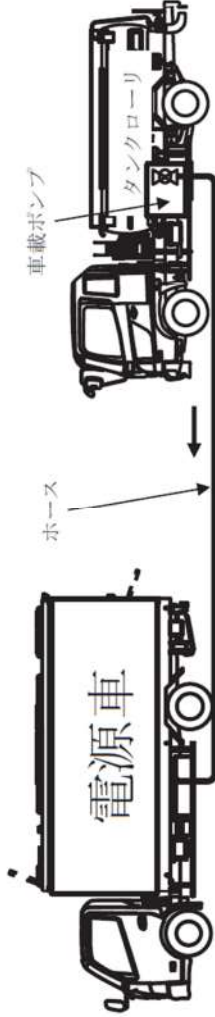
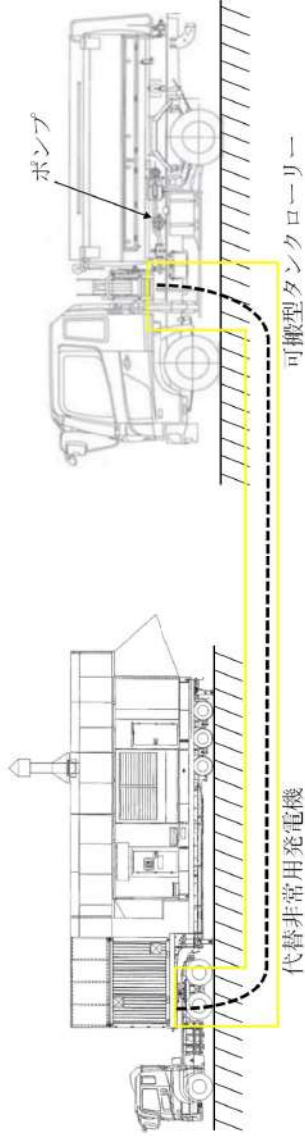
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="100 383 683 1117" style="border: 2px solid black; height: 460px; width: 260px;"></div> <p data-bbox="206 1136 512 1157">第1.14.35図 燃料（重油）給油 アクセスルート</p> <div data-bbox="123 1173 660 1204" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p data-bbox="183 1177 591 1198">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="828 710 1243 758" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p data-bbox="828 710 1243 758">泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	 <p data-bbox="1870 662 1904 1252" style="font-size: small;">※1 可搬型タンクローリー用給油用設備は、設置場所の相違により、アクセス可能な場所が異なる。 ※2 燃料タンク (SA) については、今後の検討により変更となる可能性がある。</p>	<p data-bbox="1960 654 1993 1013" style="text-align: center;">第1.14.35図 燃料給油アクセスルート</p>


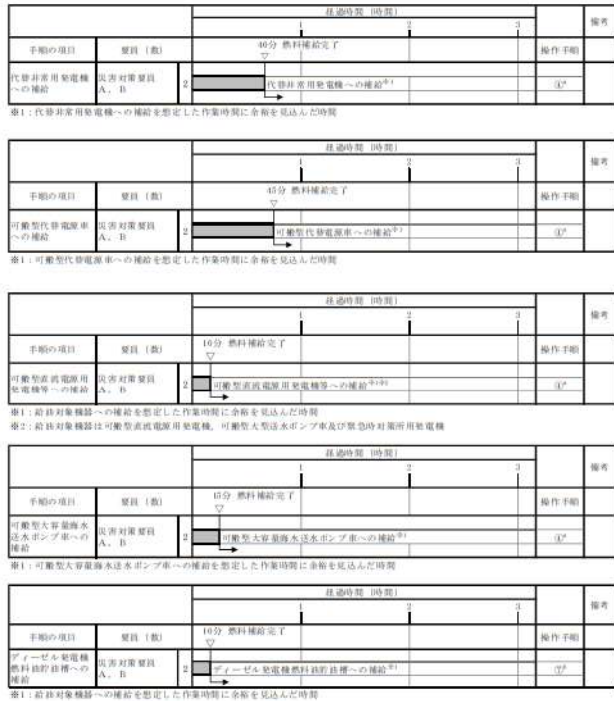
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第 1.14-37 図 タンクローリから各機器への補給 概要図</p>	 <p>第 1.14.36 図 可搬型タンクローリから各機器への補給 概要図</p>	

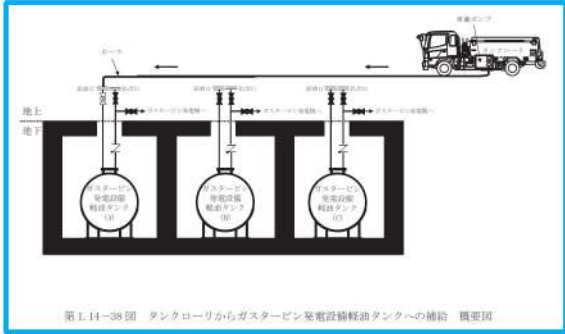
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.14-39図 タンクローリーから各機器への補給 タイムチャート</p>	 <p>第1.14.37図 可搬型タンクローリーから各機器への補給 タイムチャート</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
	<p style="text-align: center;">【比較のため第1.14.39図の記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.14-38図 タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの供給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="728 893 1344 997"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="12">供給時間 (分)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの供給</td> <td>分</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.14-40図 タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの供給 タイムチャート</p>	設備名称	単位	供給時間 (分)												備考	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの供給	分															<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	
設備名称	単位			供給時間 (分)													備考																													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																																	
タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの供給	分																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

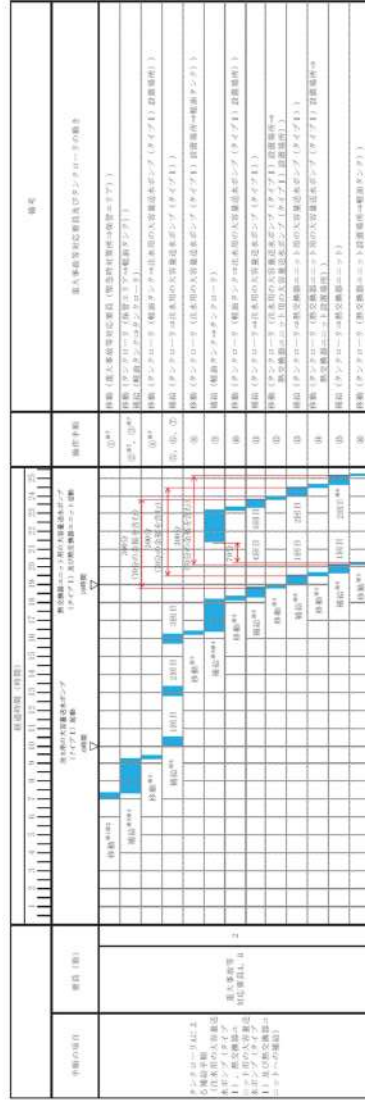
泊3号炉との比較対象なし

大飯発電所3/4号炉

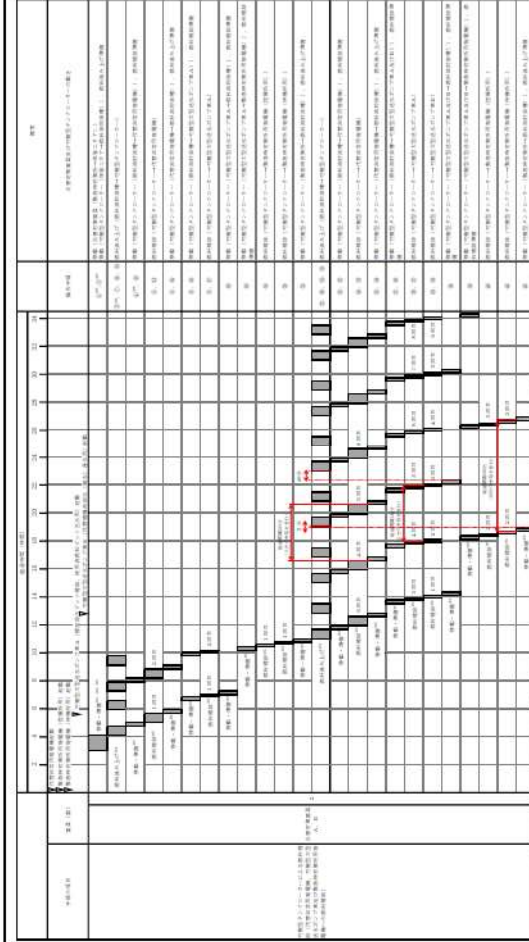
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



第1.14-41図 タンクローリーから各機器への補給約7日間サイクル タイムチャート

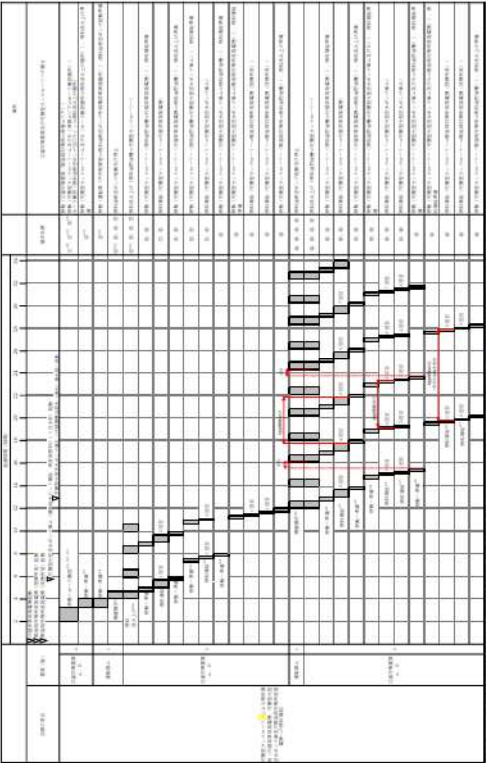


第1.14-38図 可搬型タンクローリーから各機器への補給約7日間サイクル タイムチャート

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の
 反映)
 ・泊は、7日間タイ
 ムチャートを整
 理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	 <p style="text-align: center;">第 1.14.39 図 可搬型タンクローリーから各機器への補給約 7 日間サイクル（ディーゼル発電機燃料油移送が ンプにより補給する場合） タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・泊は、7日間タイ ムチャートを整理</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

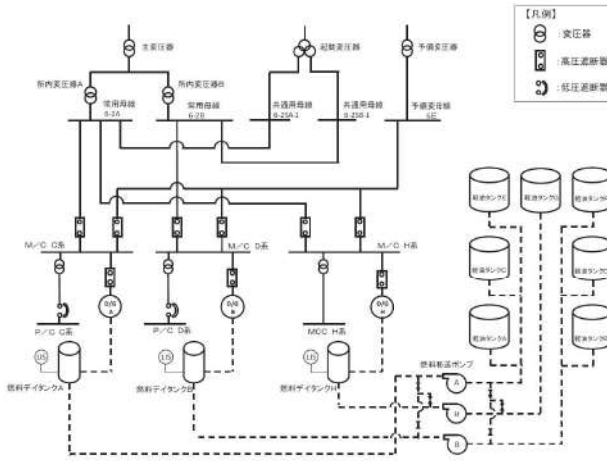
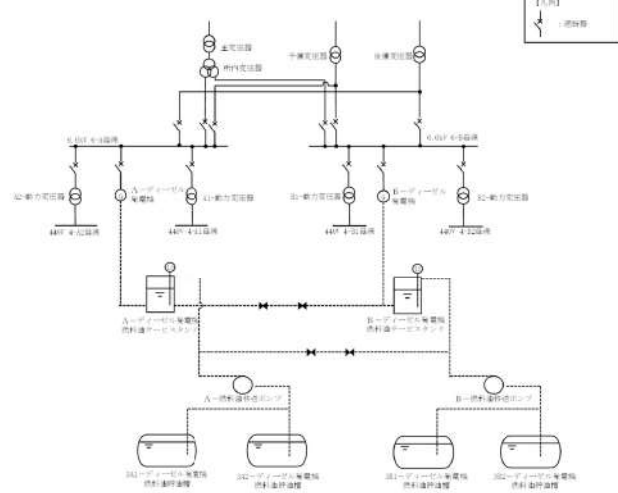
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="846 258 1025 1326" data-label="Figure"> </div> <div data-bbox="1205 316 1234 1270" data-label="Caption"> <p>第 1.14-42 図 タンクローリからガスタービン発電設備軽油タンクへの補給約7日間サイクル タイムチャート</p> </div>	<div data-bbox="1458 754 1899 799" data-label="Text"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<div data-bbox="2011 708 2157 874" data-label="Text"> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は、ガスタービン発電設備軽油タンクを設置していない。</p> </div>

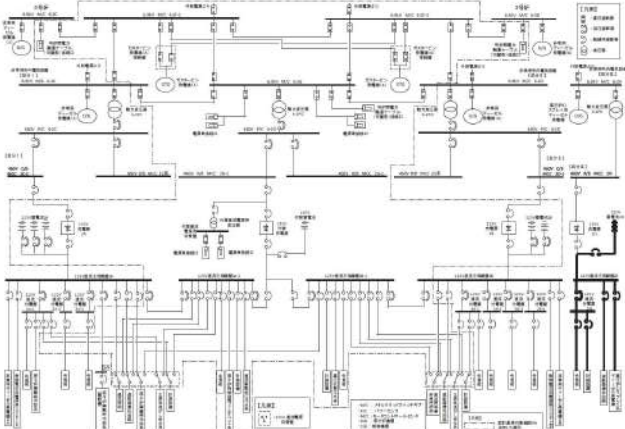
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】 ○：変圧器 □：高圧遮断器 ⚡：低圧遮断器</p> <p>第 1.14-43 図 非常用交流電源設備による給電 概要図</p>	 <p>第 1.14.40 図 非常用交流電源設備による給電 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・泊は、設計基準事故対処設備を用いた手段を整理しているため、概要図も整理する。</p>

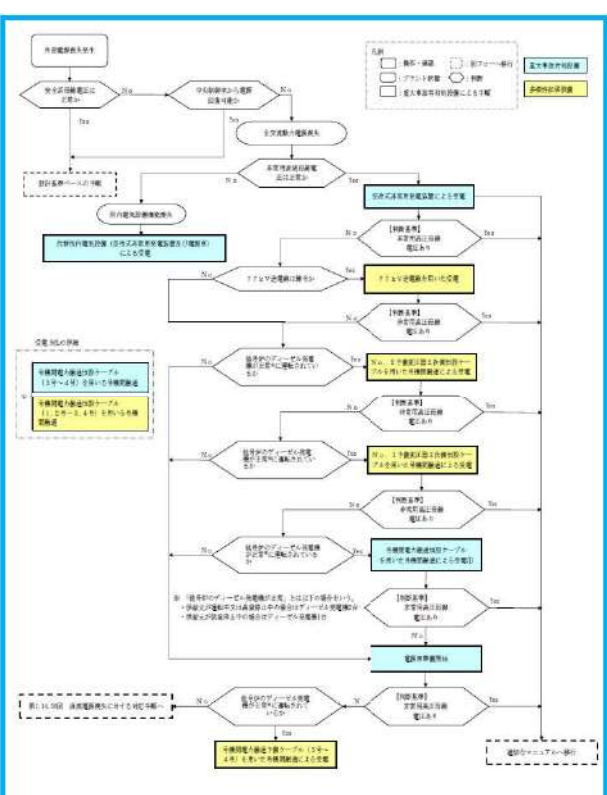
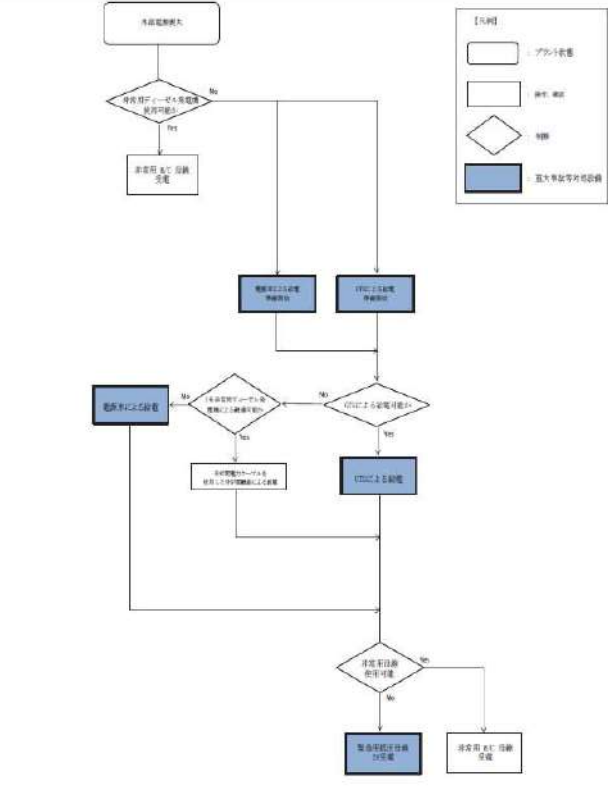
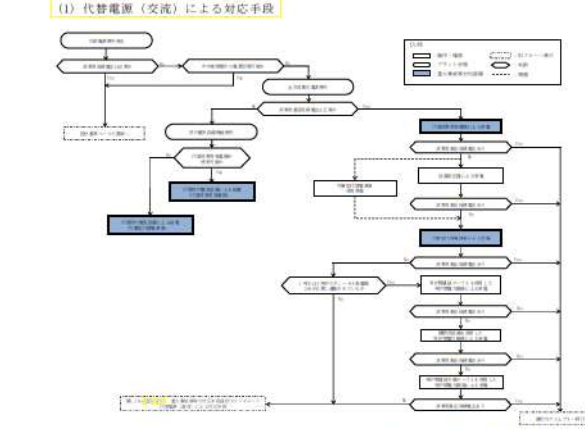
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 981 1220 997">第1.14-44図 非常用直流電源設備による給電 概要図</p>	<p data-bbox="1456 742 1904 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p data-bbox="2016 622 2161 933"> 【女川】 BWR固有の設備 ・女川は、高圧炉心スプレイ系母線用蓄電池2H及び充電器2Hを整備しており、これら設備が重大事故等対処設備（設計基準拡張）となる。 </p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため第1.14.24図の記載順序を入れ替え】</p>  <p>第1.14.24図 全交流動力電源喪失に対する対応手順</p>	 <p>第1.14-45図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート 代替電源（交流）による対応手段</p>	<p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p>  <p>第1.14.41図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート (1/3)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.14.34 図 全交流動力電源喪失に対する対応手順</p> <p>第 1.14.30 図 交流電源喪失に対する対応手順</p>	<p>第 1.14-46 図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート 代替電源（直流）による対応手段</p>	<p>第 1.14.41 図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート (2/3)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(3) 燃料補給に関する対応手段</p> <p>第1.14.41図 重大事故等時の対応手段の選択フローチャート (3/3)</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑩） ・泊は、各機器へ燃料補給するための複数ルートを確認するため、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプによる燃料補給の手段を整備していることから、対応手段の選択フローチャートを整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																										
<p style="text-align: center;">【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】</p> <p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>機器</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">非常用交流電源設備として 機能</td> <td>非常用ディーゼル発電機</td> <td>既設</td> <td rowspan="15">①②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td rowspan="10">③④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策						機器	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	備考	非常用交流電源設備として 機能	非常用ディーゼル発電機	既設	①②					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機	既設					非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ	既設					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	既設					燃料ポンプ	新設					非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ	既設					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	既設					非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ	新設					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設					非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設					非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設					非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設	③④					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設					<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可 用</th> <th>必要 時間 内に 使用 可能 か</th> <th>対応 可能 な 人数 で 使用 可能 か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">非 常 用 交 流 電 源 設 備 に よ る 給 電</td> <td>ディーゼル発電機</td> <td>既設</td> <td rowspan="7">①②⑤</td> <td rowspan="7">-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料ポンプシステム</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機～非常用高圧母線 (6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電 路</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却 海水設備)</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料ポンプ</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料移送ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備(燃料ポンプ系) 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策						対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	既設 可 用	必要 時間 内に 使用 可能 か	対応 可能 な 人数 で 使用 可能 か	備考	非 常 用 交 流 電 源 設 備 に よ る 給 電	ディーゼル発電機	既設	①②⑤	-						ディーゼル発電機燃料ポンプシステム	既設					ディーゼル発電機～非常用高圧母線 (6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電 路	既設					原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却 海水設備)	既設					ディーゼル発電機燃料ポンプ	既設 新設					ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設					ディーゼル発電機設備(燃料ポンプ系) 配管・弁	既設 新設					<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.1-(2)</p> <p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																																																										
機器	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	備考																																																																																																																																																																																																																																					
非常用交流電源設備として 機能	非常用ディーゼル発電機	既設	①②																																																																																																																																																																																																																																									
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電機 設備燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	非常用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	高圧中心スプレイスpray ディーゼル発電機燃料 ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設	③④																																																																																																																																																																																																																																									
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
	船舶用ディーゼル発電機 燃料ポンプ	新設																																																																																																																																																																																																																																										
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																																																										
対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	既設 可 用	必要 時間 内に 使用 可能 か	対応 可能 な 人数 で 使用 可能 か	備考																																																																																																																																																																																																																																			
非 常 用 交 流 電 源 設 備 に よ る 給 電	ディーゼル発電機	既設	①②⑤	-																																																																																																																																																																																																																																								
	ディーゼル発電機燃料ポンプシステム	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	ディーゼル発電機～非常用高圧母線 (6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電 路	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	原子炉補機冷却設備(原子炉補機冷却 海水設備)	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	ディーゼル発電機燃料ポンプ	既設 新設																																																																																																																																																																																																																																										
	ディーゼル発電機燃料移送ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																										
	ディーゼル発電機設備(燃料ポンプ系) 配管・弁	既設 新設																																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】										添付資料1.14.1-(3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (3/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機能</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">既設新設</th> <th rowspan="2">解説 対応番号</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可動</th> <th>必要時に 稼働可能か</th> <th>対応可能な 人数で 稼働可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">手動による電源確保</td> <td>10KV発電機 2台</td> <td>既設</td> <td rowspan="2">610</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>10KV発電機 2台</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">可動型代替電源設備による電源確保</td> <td>10KV発電機 2台及び10KV発電機 2台～125V直流主母線接続電路（燃料）</td> <td>既設</td> <td rowspan="12">610/610/610/610/610/610/610/610/610/610/610/610</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機接続電路</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料供給系統</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料供給系統（燃料供給用）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機燃料供給系統（燃料供給用）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ボース</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型ディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料中心冷却機及びディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）及び非常用高圧母線（0-B）電路（燃料）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）電路（燃料）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-B）電路（燃料）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機接続電路</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料ポンプ</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型ディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料中心冷却機及びディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）電路（燃料）</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ボース（燃料供給）</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>										機能	機器名称	既設新設	解説 対応番号	自主対策						機能	機器名称	常設 可動	必要時に 稼働可能か	対応可能な 人数で 稼働可能か	備考	手動による電源確保	10KV発電機 2台	既設	610	-	-	-	-	-	-	10KV発電機 2台	既設	-	-	-	-	-	-	可動型代替電源設備による電源確保	10KV発電機 2台及び10KV発電機 2台～125V直流主母線接続電路（燃料）	既設	610/610/610/610/610/610/610/610/610/610/610/610	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機接続電路	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン	新設	-	-	-	-	-	-	燃料ポンプ	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機燃料供給系統	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-	ボース	新設	-	-	-	-	-	-	可動型ディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-	燃料中心冷却機及びディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）及び非常用高圧母線（0-B）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-B）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-	燃料ポンプ	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機接続電路	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン	新設	-	-	-	-	-	-	燃料ポンプ	新設	-	-	-	-	-	-	可動型ディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-	燃料中心冷却機及びディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-	ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-	ボース（燃料供給）	既設	-	-	-	-	-	-	<p>審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (3/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対応手段</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">既設新設</th> <th rowspan="2">解説 対応番号</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可動</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">可動型代替電源設備による電源確保</td> <td>代替非常用発電機</td> <td>新設</td> <td rowspan="12">①②③④⑤⑥</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型タンクローリー</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料タンク (SA)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>代替非常用発電機～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧設備電路</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備（燃料油系統）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ボース・接続口</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型代替電源車</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料タンク (SA)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型タンクローリー</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機設備（燃料油系統）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ボース・接続口</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型代替電源接続系統電路</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型代替電源接続系統～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可動型代替電源接続系統～代替格納容器スプレイポンプ変圧設備電路</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">船舶に搭載する電源</td> <td>後備変圧器</td> <td>常設</td> <td rowspan="4">-</td> <td>60分</td> <td>2名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>後備変圧器～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路</td> <td>常設</td> <td>60分</td> <td>2名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>号炉間連絡ケーブル</td> <td>常設</td> <td>号炉間連絡ケーブル 215分</td> <td>号炉間連絡ケーブル 6名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>号炉間連絡ケーブル～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路</td> <td>常設</td> <td>号炉間連絡ケーブル 395分</td> <td>号炉間連絡ケーブル 11名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">船舶に搭載する電源</td> <td>備用所設備</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td>215分</td> <td>6名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>備用所設備～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路</td> <td>常設</td> <td>215分</td> <td>6名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> </tbody> </table>										対応手段	機器名称	既設新設	解説 対応番号	自主対策						対応手段	機器名称	常設 可動	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	可動型代替電源設備による電源確保	代替非常用発電機	新設	①②③④⑤⑥	-	-	-	-	-	-	可動型タンクローリー	新設	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設	-	-	-	-	-	燃料タンク (SA)	新設	-	-	-	-	-	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	新設	-	-	-	-	-	代替非常用発電機～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	既設	-	-	-	-	-	代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧設備電路	新設	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機設備（燃料油系統）配管・弁	既設	-	-	-	-	-	ボース・接続口	新設	-	-	-	-	-	可動型代替電源車	新設	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設	-	-	-	-	-	燃料タンク (SA)	新設	-	-	-	-	-	可動型タンクローリー	新設	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機設備（燃料油系統）配管・弁	既設	-	-	-	-	-	ボース・接続口	新設	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設	-	-	-	-	-	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	新設	-	-	-	-	-	可動型代替電源接続系統電路	新設	-	-	-	-	-	可動型代替電源接続系統～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	既設	-	-	-	-	-	可動型代替電源接続系統～代替格納容器スプレイポンプ変圧設備電路	新設	-	-	-	-	-	船舶に搭載する電源	後備変圧器	常設	-	60分	2名	自主対策とする理由は本文参照	後備変圧器～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	常設	60分	2名	自主対策とする理由は本文参照	号炉間連絡ケーブル	常設	号炉間連絡ケーブル 215分	号炉間連絡ケーブル 6名	自主対策とする理由は本文参照	号炉間連絡ケーブル～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	常設	号炉間連絡ケーブル 395分	号炉間連絡ケーブル 11名	自主対策とする理由は本文参照	船舶に搭載する電源	備用所設備	常設	-	215分	6名	自主対策とする理由は本文参照	備用所設備～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	常設	215分	6名	自主対策とする理由は本文参照	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
機能	機器名称	既設新設	解説 対応番号	自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				機能	機器名称	常設 可動	必要時に 稼働可能か	対応可能な 人数で 稼働可能か	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
手動による電源確保	10KV発電機 2台	既設	610	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	10KV発電機 2台	既設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
可動型代替電源設備による電源確保	10KV発電機 2台及び10KV発電機 2台～125V直流主母線接続電路（燃料）	既設	610/610/610/610/610/610/610/610/610/610/610/610	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン発電機	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン発電機接続電路	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料ポンプ	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン発電機燃料供給系統	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ボース	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	可動型ディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	燃料中心冷却機及びディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）及び非常用高圧母線（0-B）電路（燃料）	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-B）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
燃料ポンプ	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ガスタービン発電機接続電路	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ガスタービン	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
燃料ポンプ	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
可動型ディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
燃料中心冷却機及びディーゼル発電機燃料供給系統（燃料供給用）	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ガスタービン発電機～非常用高圧母線（0-A）電路（燃料）	新設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ボース（燃料供給）	既設	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
対応手段	機器名称	既設新設	解説 対応番号	自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				対応手段	機器名称	常設 可動	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
可動型代替電源設備による電源確保	代替非常用発電機	新設	①②③④⑤⑥	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	可動型タンクローリー	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	燃料タンク (SA)	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	代替非常用発電機～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧設備電路	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ディーゼル発電機設備（燃料油系統）配管・弁	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ボース・接続口	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可動型代替電源車	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
燃料タンク (SA)	新設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
可動型タンクローリー	新設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ディーゼル発電機設備（燃料油系統）配管・弁	既設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ボース・接続口	新設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	新設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
可動型代替電源接続系統電路	新設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
可動型代替電源接続系統～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	既設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
可動型代替電源接続系統～代替格納容器スプレイポンプ変圧設備電路	新設	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
船舶に搭載する電源	後備変圧器	常設	-	60分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	後備変圧器～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	常設		60分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	号炉間連絡ケーブル	常設		号炉間連絡ケーブル 215分	号炉間連絡ケーブル 6名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	号炉間連絡ケーブル～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	常設		号炉間連絡ケーブル 395分	号炉間連絡ケーブル 11名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
船舶に搭載する電源	備用所設備	常設	-	215分	6名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	備用所設備～非常用高圧母線 (0-A) 及び非常用高圧母線 (0-B) 電路	常設		215分	6名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】</p> <p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機名</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">形状 新設</th> <th rowspan="2">機名 対応番号</th> <th colspan="4">自主対策</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可兼</th> <th>必要時に使 用可能か</th> <th>対応可能な 入事で 使用可能か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">可兼又は代替の電源設備による給電</td> <td>電源系→電源用保護用 (予備用電源、電機(電 機))</td> <td>新設</td> <td rowspan="3">C0000000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>電源用保護用(予備用電源 →非常用電源)並列の 系及び非常用電源用保護 用電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>電源用保護用(予備用電源 →緊急用電源)並列の 系電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">母排間電力融通設備による給電</td> <td>母排間電力融通ケーブル (常設)</td> <td>-</td> <td rowspan="6">-</td> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)</td> <td>常設</td> <td>30分</td> <td>0、D系</td> <td>3名</td> <td rowspan="6">自主対策とする 理由(日本電 1.14.1(D)a、 b)参照</td> </tr> <tr> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)</td> <td>可兼</td> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高圧 母線2B系電機</td> <td>常設</td> <td>可兼型ケーブル (220分)</td> <td>可兼型ケーブル (0名)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高 圧母線2B系電機</td> <td>常設</td> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高 圧母線2B系電機</td> <td>常設</td> <td>可兼型ケーブル (220分)</td> <td>可兼型ケーブル (0名)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機</td> <td>常設</td> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機</td> <td>常設</td> <td>可兼型ケーブル (220分)</td> <td>可兼型ケーブル (17名)</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)</td> <td>可兼</td> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)</td> <td>可兼</td> <td>可兼型ケーブル (220分)</td> <td>可兼型ケーブル (0名)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機</td> <td>可兼</td> <td>母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機</td> <td>可兼</td> <td>可兼型ケーブル (220分)</td> <td>可兼型ケーブル (0名)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">所内主要設備電源系当該設備による給電</td> <td>122F 発電機20</td> <td>新設</td> <td rowspan="10">C0000000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>123F 発電機20</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>124F 発電機20</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>125F 発電機20</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>126F 発電機20、20F、125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>127F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>128F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>129F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>130F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>131F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">常設又は代替の電源設備による給電</td> <td>127F 発電機20</td> <td>新設</td> <td rowspan="4">C0000000</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>128F 発電機20</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>129F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>130F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		機名	機器名称	形状 新設	機名 対応番号	自主対策				備考	機能	機器名称	常設 可兼	必要時に使 用可能か	対応可能な 入事で 使用可能か	可兼又は代替の電源設備による給電	電源系→電源用保護用 (予備用電源、電機(電 機))	新設	C0000000	-	-	-	-	-	-	電源用保護用(予備用電源 →非常用電源)並列の 系及び非常用電源用保護 用電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	電源用保護用(予備用電源 →緊急用電源)並列の 系電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	母排間電力融通設備による給電	母排間電力融通ケーブル (常設)	-	-	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	常設	30分	0、D系	3名	自主対策とする 理由(日本電 1.14.1(D)a、 b)参照	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	可兼	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高圧 母線2B系電機	常設	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高 圧母線2B系電機	常設	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高 圧母線2B系電機	常設	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	常設	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	常設	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (17名)	17名	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	可兼	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	可兼	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	可兼	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	可兼	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名	所内主要設備電源系当該設備による給電	122F 発電機20	新設	C0000000	-	-	-	-	-	-	123F 発電機20	新設	-	-	-	-	-	-	124F 発電機20	新設	-	-	-	-	-	-	125F 発電機20	新設	-	-	-	-	-	-	126F 発電機20、20F、125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	127F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	128F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	129F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	130F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	131F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	常設又は代替の電源設備による給電	127F 発電機20	新設	C0000000	-	-	-	-	-	-	128F 発電機20	新設	-	-	-	-	-	-	129F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	130F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設	-	-	-	-	-	-	<p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対応 手段</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">既設 新設</th> <th rowspan="2">解釈 対応 番号</th> <th colspan="4">自主対策</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可兼</th> <th>必要時に使 用可能か</th> <th>対応可能な 入事で 使用可能か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">所内 常設 蓄電 式 直 流 電 源 設 備 に よ る 給 電</td> <td>蓄電池(非常用)</td> <td>既設</td> <td rowspan="6">①②③④⑤⑥</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>後継蓄電池</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>A充電池</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>B充電池</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蓄電池(非常用)及びA充電池→A直 流母線電機</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蓄電池(非常用)及びB充電池→B直 流母線電機</td> <td>既設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">可 兼 型 代 替 蓄 電 式 直 流 電 源 設 備 に よ る 給 電</td> <td>可兼型直流電源用発電機</td> <td>新設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤⑥</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料貯留槽</td> <td>既設 新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料タンク(SA)</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可兼型タンクローリー</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可兼型直流変換器</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可兼型直流電源用発電機→可兼型直 流電源用電機</td> <td>新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可兼型直流電源用発電機→A直流母線及 びB直流母線電機</td> <td>既設 新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	自主対策				備考	対応 手段	機器名称	常設 可兼	必要時に使 用可能か	対応可能な 入事で 使用可能か	所内 常設 蓄電 式 直 流 電 源 設 備 に よ る 給 電	蓄電池(非常用)	既設	①②③④⑤⑥	-	-	-	-	-	後継蓄電池	新設	-	-	-	-	-	A充電池	既設	-	-	-	-	-	B充電池	既設	-	-	-	-	-	蓄電池(非常用)及びA充電池→A直 流母線電機	既設	-	-	-	-	-	蓄電池(非常用)及びB充電池→B直 流母線電機	既設	-	-	-	-	-	可 兼 型 代 替 蓄 電 式 直 流 電 源 設 備 に よ る 給 電	可兼型直流電源用発電機	新設	①②③④⑤⑥	-	-	-	-	-	ディーゼル発電機燃料貯留槽	既設 新設	-	-	-	-	-	燃料タンク(SA)	新設	-	-	-	-	-	可兼型タンクローリー	新設	-	-	-	-	-	ホース	新設	-	-	-	-	-	可兼型直流変換器	新設	-	-	-	-	-	可兼型直流電源用発電機→可兼型直 流電源用電機	新設	-	-	-	-	-	可兼型直流電源用発電機→A直流母線及 びB直流母線電機	既設 新設	-	-	-	-	-	<p>添付資料1.14.1-(4)</p> <p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川審査実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
機名	機器名称					形状 新設	機名 対応番号	自主対策				備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		機能	機器名称	常設 可兼	必要時に使 用可能か			対応可能な 入事で 使用可能か																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
可兼又は代替の電源設備による給電	電源系→電源用保護用 (予備用電源、電機(電 機))	新設	C0000000	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	電源用保護用(予備用電源 →非常用電源)並列の 系及び非常用電源用保護 用電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	電源用保護用(予備用電源 →緊急用電源)並列の 系電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
母排間電力融通設備による給電	母排間電力融通ケーブル (常設)	-	-	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	常設	30分	0、D系	3名	自主対策とする 理由(日本電 1.14.1(D)a、 b)参照																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	可兼		母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高圧 母線2B系電機	常設	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高 圧母線2B系電機	常設		母排間電力融通ケーブル (可兼型)→非常用高圧 母線2系又は非常用高 圧母線2B系電機	常設	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	常設		母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	常設	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (17名)	17名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	母排間電力融通ケーブル (可兼型)	可兼		母排間電力融通ケーブル (可兼型)	可兼	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	可兼		母排間電力融通ケーブル (可兼型)→緊急用低圧 母線2B系電機	可兼	可兼型ケーブル (220分)	可兼型ケーブル (0名)	0名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
所内主要設備電源系当該設備による給電	122F 発電機20	新設	C0000000	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	123F 発電機20	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	124F 発電機20	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	125F 発電機20	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	126F 発電機20、20F、125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	127F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	128F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	129F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	130F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	131F 発電機20及び125F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
常設又は代替の電源設備による給電	127F 発電機20	新設	C0000000	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	128F 発電機20	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	129F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	130F 発電機20→125F 緊急用高 圧母線2A及び125F 緊急用 高圧母線2B→電機(電機)	新設		-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	自主対策				備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				対応 手段	機器名称	常設 可兼	必要時に使 用可能か		対応可能な 入事で 使用可能か																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
所内 常設 蓄電 式 直 流 電 源 設 備 に よ る 給 電	蓄電池(非常用)	既設	①②③④⑤⑥	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	後継蓄電池	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	A充電池	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	B充電池	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	蓄電池(非常用)及びA充電池→A直 流母線電機	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	蓄電池(非常用)及びB充電池→B直 流母線電機	既設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
可 兼 型 代 替 蓄 電 式 直 流 電 源 設 備 に よ る 給 電	可兼型直流電源用発電機	新設	①②③④⑤⑥	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ディーゼル発電機燃料貯留槽	既設 新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	燃料タンク(SA)	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可兼型タンクローリー	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ホース	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可兼型直流変換器	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可兼型直流電源用発電機→可兼型直 流電源用電機	新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可兼型直流電源用発電機→A直流母線及 びB直流母線電機	既設 新設		-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <p style="text-align: center;">【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】</p> <p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 ■：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>機能</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可操</th> <th>必要時間内に使 用可能か①</th> <th>対応可能な人数 で使用可能か②</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">冷たい水による冷却</td> <td>ボイラロータリー発電機</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> </tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>緊急用冷却ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">蒸気による加熱</td> <td>蒸気ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> </tr> <tr><td>ボイラロータリー発電機</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ボイラロータリー</td><td>既設</td></tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					機能	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機能	機器名称	既設 可操	必要時間内に使 用可能か①	対応可能な人数 で使用可能か②	備考	冷たい水による冷却	ボイラロータリー発電機	既設	①②③④⑤	-	-	-	-	-	-	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	緊急用冷却ポンプ	既設	蒸気による加熱	蒸気ポンプ	既設	①②③④⑤	-	-	-	-	-	-	ボイラロータリー発電機	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	ボイラロータリー	既設	<p style="text-align: center;">泊発電所3号炉</p> <p style="text-align: center;">添付資料1.14.1-(6)</p> <p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 ■：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策設備</th> </tr> <tr> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可操</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">燃料 補給 設備 による 補給</td> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</td> <td>既設 新設</td> <td rowspan="6">①②③④⑤</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr><td>燃料タンク (SA)</td><td>新設</td></tr> <tr><td>浮動型タンクローリー</td><td>新設</td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機設備 (燃料油消費) 配管・弁</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>ホース・接続口</td><td>新設</td></tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策設備					対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可操	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	燃料 補給 設備 による 補給	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設 新設	①②③④⑤	-	-	-	-	-	-	燃料タンク (SA)	新設	浮動型タンクローリー	新設	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設	ディーゼル発電機設備 (燃料油消費) 配管・弁	既設 新設	ホース・接続口	新設	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.14.1は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																
機能	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	機能	機器名称	既設 可操	必要時間内に使 用可能か①	対応可能な人数 で使用可能か②	備考																																																																																																											
冷たい水による冷却	ボイラロータリー発電機	既設	①②③④⑤	-	-	-	-	-	-																																																																																																											
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
	緊急用冷却ポンプ	既設																																																																																																																		
蒸気による加熱	蒸気ポンプ	既設	①②③④⑤	-	-	-	-	-	-																																																																																																											
	ボイラロータリー発電機	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
	ボイラロータリー	既設																																																																																																																		
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策設備																																																																																																																
対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可操	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																											
燃料 補給 設備 による 補給	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	既設 新設	①②③④⑤	-	-	-	-	-	-																																																																																																											
	燃料タンク (SA)	新設																																																																																																																		
	浮動型タンクローリー	新設																																																																																																																		
	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	既設																																																																																																																		
	ディーゼル発電機設備 (燃料油消費) 配管・弁	既設 新設																																																																																																																		
	ホース・接続口	新設																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由
添付資料 1.14.1				
<p>設備名</p> <p>設備種別</p> <p>設備位置</p> <p>設備仕様</p> <p>設備容量</p> <p>設備の構成</p> <p>設備の運用</p> <p>設備の保守</p> <p>設備の検査</p> <p>設備の取替</p> <p>設備の廃止</p> <p>設備のその他</p>	<p>設備名</p> <p>設備種別</p> <p>設備位置</p> <p>設備仕様</p> <p>設備容量</p> <p>設備の構成</p> <p>設備の運用</p> <p>設備の保守</p> <p>設備の検査</p> <p>設備の取替</p> <p>設備の廃止</p> <p>設備のその他</p>	<p>設備名</p> <p>設備種別</p> <p>設備位置</p> <p>設備仕様</p> <p>設備容量</p> <p>設備の構成</p> <p>設備の運用</p> <p>設備の保守</p> <p>設備の検査</p> <p>設備の取替</p> <p>設備の廃止</p> <p>設備のその他</p>	<p>設備名</p> <p>設備種別</p> <p>設備位置</p> <p>設備仕様</p> <p>設備容量</p> <p>設備の構成</p> <p>設備の運用</p> <p>設備の保守</p> <p>設備の検査</p> <p>設備の取替</p> <p>設備の廃止</p> <p>設備のその他</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯の比較対象となる泊の添付資料1.14.1は前段で整理している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>

比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.1参照

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																		
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.2</p> <p style="text-align: center;">多様性拡張設備仕様</p> <table border="1" data-bbox="183 236 913 619"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>常設/可搬</th> <th>耐震性</th> <th>公称電圧</th> <th>容量</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77kV送電線</td> <td>常設</td> <td>Cクラス</td> <td>77,000V</td> <td>59MW</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル</td> <td>常設</td> <td>Cクラス</td> <td>6,600V</td> <td>1,600A</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル</td> <td>常設</td> <td>Cクラス</td> <td>6,600V</td> <td>1,200A</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>号機間電力融通恒設ケーブル (1, 2号~3, 4号)</td> <td>常設</td> <td>-</td> <td>6,600V</td> <td>390A</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>電源車</td> <td>可搬</td> <td>転倒評価</td> <td>6,600V</td> <td>610kVA</td> <td>5台</td> </tr> </tbody> </table>	機器名称	常設/可搬	耐震性	公称電圧	容量	数	77kV送電線	常設	Cクラス	77,000V	59MW	1組	No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル	常設	Cクラス	6,600V	1,600A	1組	No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル	常設	Cクラス	6,600V	1,200A	1組	号機間電力融通恒設ケーブル (1, 2号~3, 4号)	常設	-	6,600V	390A	1組	電源車	可搬	転倒評価	6,600V	610kVA	5台	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.2</p> <p style="text-align: center;">自主対策設備仕様</p> <table border="1" data-bbox="1041 236 1892 422"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>常設/可搬</th> <th>耐震性</th> <th>公称電圧</th> <th>容量</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後備変圧器</td> <td>常設</td> <td>Cクラス</td> <td>6.6kV</td> <td>20MVA</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>号炉間連絡ケーブル</td> <td>常設</td> <td>-</td> <td>6.6kV</td> <td>280A</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>号炉間連絡予備ケーブル</td> <td>可搬</td> <td>-</td> <td>6.6kV</td> <td>325A</td> <td>1組</td> </tr> <tr> <td>開閉所設備</td> <td>常設</td> <td>Cクラス</td> <td>300kV</td> <td>2,000A^{*1}</td> <td>2台</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*1 開閉所設備のうち、予備変圧器用遮断器の容量が最低値のため、予備変圧器用遮断器の容量を記載する。</small></p>	機器名称	常設/可搬	耐震性	公称電圧	容量	数	後備変圧器	常設	Cクラス	6.6kV	20MVA	1台	号炉間連絡ケーブル	常設	-	6.6kV	280A	1組	号炉間連絡予備ケーブル	可搬	-	6.6kV	325A	1組	開閉所設備	常設	Cクラス	300kV	2,000A ^{*1}	2台	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由①、②、③、⑤、⑥)</p>
機器名称	常設/可搬	耐震性	公称電圧	容量	数																																																															
77kV送電線	常設	Cクラス	77,000V	59MW	1組																																																															
No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル	常設	Cクラス	6,600V	1,600A	1組																																																															
No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル	常設	Cクラス	6,600V	1,200A	1組																																																															
号機間電力融通恒設ケーブル (1, 2号~3, 4号)	常設	-	6,600V	390A	1組																																																															
電源車	可搬	転倒評価	6,600V	610kVA	5台																																																															
機器名称	常設/可搬	耐震性	公称電圧	容量	数																																																															
後備変圧器	常設	Cクラス	6.6kV	20MVA	1台																																																															
号炉間連絡ケーブル	常設	-	6.6kV	280A	1組																																																															
号炉間連絡予備ケーブル	可搬	-	6.6kV	325A	1組																																																															
開閉所設備	常設	Cクラス	300kV	2,000A ^{*1}	2台																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.3</p> <p style="text-align: center;">空冷式非常用発電装置による交流電源からの給電</p> <p>【空冷式非常用発電装置による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源が喪失した場合に、中央制御室から遠隔起動可能な空冷式非常用発電装置を用いて必要な負荷へ電源を供給する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間（現場） 必要要員数：4名／ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：10分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.3-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>【代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源が喪失した場合に、代替非常用発電機によるメタクラA系及びメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。代替非常用発電機起動完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系及びメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名 操作時間（想定）：45分 操作時間（訓練実績等）：34分</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映） ・泊の添付資料の名称については、本文の手順書名称と合わせた記載とした。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・操作又は作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 ・泊は「実績」及び「模擬」を「訓練実績等」で統一。（女川と同様） ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・大飯は、空冷式非常用発電装置起動後、現場にて運転状態を確認する手順となっていることから、屋外におけるアクセス性、作業環境について記載している。 泊は、女川と同様に中央制御室にて起動状態を確認する手順であることから、屋内作業に関する内</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。屋外の空冷式非常用発電装置の設置場所は作業を行う上で支障となる設備等は無く、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p> <p>操作性：遮断器操作は通常運転時に行う操作と同じであり、操作性に問題はない。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="159 667 392 845"></div> <div data-bbox="407 647 660 845"></div> <div data-bbox="683 667 925 845"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="197 874 358 944"> <p>空冷式非常用発電装置 受電しゃ断器操作 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div data-bbox="459 874 620 944"> <p>空冷式非常用発電装置 受電しゃ断器操作 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div data-bbox="745 896 862 919"> <p>M/C電源確認</p> </div> </div>	<p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1200 624 1377 858"></div> <div data-bbox="1507 647 1783 858"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1144 874 1444 944"> <p>代替非常用発電機受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div> <div data-bbox="1496 874 1796 944"> <p>代替非常用発電機受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>M/C電源確認 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T. P. 10. 3m)</p> </div>	<p>容を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載内容の相違(女川審査実績の反映) ・防護具の装備又は携行について記載。 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.11を再掲】</p> <p>電源車による交流電源からの給電</p> <p>【電源車による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗した場合に、可搬型代替電源として電源車をい必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット（現場）、2名/ユニット（中央） 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：55分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。電源車</p>	<p>添付資料1.14.3-(2)</p> <p>【可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、代替非常用発電機による受電に失敗した場合に、可搬型代替電源によるメタクラA系及びメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。可搬型代替電源車起動完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系及びメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：75分 操作時間（訓練実績等）：65分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） [受電操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：22分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯は、受電準備及び受電操作に関わる内容を纏めて記載している。 ・泊は、可搬型代替電源車による受電準備、受電操作及びケーブル敷設等の作業を運転員と災害対策要員で実施していることから、添付資料1.14.3-(2)、(3)でそれぞれ分けて記載している。受電準備、受電操作及びケーブル敷設等の作業を分けて整理している点では、女川と同様。</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・大飯は、受電準備から電源車起動までを纏めた構成としていることから、一</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>の設置場所及び電源ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備等はなく、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p> <p>操作性：電源車の電源ケーブルから接続口への接続はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>電源車へのケーブル接続状態 (ケーブル接続状態確認)</p> <p>電源ケーブル接続 (コネクタ接続)</p> <p>電源車 (発電機起動)</p> </div>	<p>操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>受電遮断器操作 (安全補機閉器室) (原子炉補助建屋T.F. 10. 3m)</p> <p>受電遮断器操作 (安全補機閉器室) (原子炉補助建屋T.P. 10. 3m)</p> </div>	<p>連の屋外及び屋内作業に関する内容を記載している。</p> <p>・泊は、女川同様に受電準備と可搬型代替電源車起動を分けた構成としていることから、屋内作業に関する内容を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.11を再掲】</p> <p>【電源車による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗した場合に、可搬型代替電源として電源車を用い必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット（現場）、2名/ユニット（中央） 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：55分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。電源車の設置場所及び電源ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備等は無く、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。</p> <p>操作性：電源車の電源ケーブルから接続口への接続はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p>	<p>添付資料1.14.3-(3)</p> <p>【可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電のケーブル敷設、接続及び可搬型代替電源車操作】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、代替非常用発電機による受電に失敗した場合に、可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電の際、可搬型代替電源車と可搬型電源接続盤間にケーブル敷設及び接続し、その後可搬型代替電源車を起動し、必要な遮断器操作によりメタクラA系及びメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 作業場所 屋外 T.P. 31.0m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名 作業時間（想定）：205分 作業時間（訓練実績等）：170分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型代替電源車の設置場所及び高圧ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：ケーブルの接続先は端子またはコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）にて、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・大飯は、受電準備から電源車起動までを纏めた構成としていることから、一連の屋外及び屋内作業に関する内容を記載している。 ・泊は、女川同様に受電準備と可搬型代替電源車起動を分けた構成としていることから、屋外作業に関する内容を記載。</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="118 185 981 405"> </div> <div data-bbox="145 448 376 499"> <p>電源車へのケーブル接続状態 (ケーブル接続状態確認)</p> </div> <div data-bbox="472 448 613 499"> <p>電源ケーブル接続 (コネクタ接続)</p> </div> <div data-bbox="779 448 882 499"> <p>電源車 (発電機起動)</p> </div>	<div data-bbox="1099 185 1473 464"> </div> <div data-bbox="1196 475 1368 526"> <p>高圧ケーブル敷設 (屋外T. P. 31. 0m)</p> </div> <div data-bbox="1509 185 1877 464"> </div> <div data-bbox="1599 475 1776 526"> <p>高圧ケーブル接続 (屋外T. P. 31. 0m)</p> </div> <div data-bbox="1317 533 1659 788"> </div> <div data-bbox="1375 794 1590 844"> <p>可搬型代替電源車起動 (屋外T. P. 31. 0m)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.4-(1)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置での給電対象負荷リスト (空冷式非常用発電装置容量：1,460kW(1,825kVA)×2台) 号機間電力融通恒設ケーブルでの給電対象負荷リスト (ケーブル許容容量：約3,200kW) 号機間電力融通予備ケーブルでの給電対象負荷リスト (ケーブル許容容量：約3,017kW) <p>【全交流電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失+RCPシールLOCA時に必要な負荷】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>77</td> </tr> <tr> <td>計装用電源 (A, B, C, D)</td> <td>充電器 (A, B) に含む</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調ファン</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計 (kW)</td> <td>1,759</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	充電器 (A, B)	77	77	計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む	恒設代替低圧注水ポンプ	145	高圧注入ポンプ	1,400	アニュラス空気浄化ファン	19	中央制御室空調ファン	19	中央制御室循環ファン	11	中央制御室非常用循環ファン	11	合計 (kW)	1,759	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.4-(1)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替非常用発電機での給電対象負荷リスト (代替非常用発電機容量：1,380kW(1,725kVA) × 2台) <p>【全交流電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失+RCPシールLOCA時に必要な負荷】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧注入ポンプ</td> <td>1,098</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>113</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)</td> <td>充電器 A に含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器 B に含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器 A に含む (22)</td> </tr> <tr> <td>充電器 B に含む (22)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>中央制御室給気ファン</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>中央制御室照明等</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ^{※1}</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,645</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 事故シーケンス上の最大負荷としては考慮しないが、代替非常用発電機の出力決定に際しては最大負荷に含める。</p>	負荷名称	負荷容量 (kW)	高圧注入ポンプ	1,098	充電器 (A, B)	113	113	計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器 A に含む (22)	充電器 B に含む (22)	充電器 A に含む (22)	充電器 B に含む (22)	代替格納容器スプレイポンプ	200	アニュラス空気浄化ファン	39	中央制御室給気ファン	21	中央制御室循環ファン	13	中央制御室非常用循環ファン	5	中央制御室照明等	23	中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ^{※1}	7	合計	1,645	<p>【大飯】 設備の相違 ・大飯は、号機間電力融通恒設ケーブル及び予備ケーブルを重大事故等対処設備として整理。 泊は、1号又は2号炉の電源に期待する設備であることから伊方同様に自主対策設備として整理。 ・設備の仕様・分類に差異があるが、重大事故時の対処に必要な設備として、必要な容量を確保している点で同等である。</p> <p>運用の相違 ・必要な負荷値に差異があるが、重大事故時に必要な負荷を選定している点では同じである。</p>
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																				
充電器 (A, B)	77																																																				
	77																																																				
計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む																																																				
恒設代替低圧注水ポンプ	145																																																				
高圧注入ポンプ	1,400																																																				
アニュラス空気浄化ファン	19																																																				
中央制御室空調ファン	19																																																				
中央制御室循環ファン	11																																																				
中央制御室非常用循環ファン	11																																																				
合計 (kW)	1,759																																																				
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																				
高圧注入ポンプ	1,098																																																				
充電器 (A, B)	113																																																				
	113																																																				
計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器 A に含む (22)																																																				
	充電器 B に含む (22)																																																				
	充電器 A に含む (22)																																																				
	充電器 B に含む (22)																																																				
代替格納容器スプレイポンプ	200																																																				
アニュラス空気浄化ファン	39																																																				
中央制御室給気ファン	21																																																				
中央制御室循環ファン	13																																																				
中央制御室非常用循環ファン	5																																																				
中央制御室照明等	23																																																				
中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13																																																				
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ ^{※1}	7																																																				
合計	1,645																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.4-(2)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・電源車での給電対象負荷リスト（電源車容量：488kW(610kVA)</p> <p style="text-align: center;">【プラント監視機能の維持に必要な負荷】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">負荷名称</th> <th style="width: 30%;">負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td style="text-align: center;">77</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">77</td> </tr> <tr> <td>計装用電源 (A, B, C, D)</td> <td style="text-align: center;">充電器 (A, B) に含む</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室空調ファン</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計 (kW)</td> <td style="text-align: center;">214</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	充電器 (A, B)	77	77	計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む	アニュラス空気浄化ファン	19	中央制御室空調ファン	19	中央制御室循環ファン	11	中央制御室非常用循環ファン	11	合計 (kW)	214	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.4-(2)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・可搬型代替電源車での給電対象負荷リスト (可搬型代替電源車容量: 1,760kW(2,200kVA) × 2台 (予備2台))</p> <p style="text-align: center;">【プラント監視機能及び原子炉格納容器冷却等に必要な負荷】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">負荷名称</th> <th style="width: 30%;">負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">充電器 (A, B)</td> <td style="text-align: center;">113</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">113</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)</td> <td style="text-align: center;">充電器Aに含む (22)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">充電器Bに含む (22)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">充電器Aに含む (22)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">充電器Bに含む (22)</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td style="text-align: center;">200</td> </tr> <tr> <td>アニュラス空気浄化ファン</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td>中央制御室給気ファン</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>中央制御室照明等</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>CV水素濃度計電源盤</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">553</td> </tr> </tbody> </table>	負荷名称	負荷容量 (kW)	充電器 (A, B)	113	113	計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器Aに含む (22)	充電器Bに含む (22)	充電器Aに含む (22)	充電器Bに含む (22)	代替格納容器スプレイポンプ	200	アニュラス空気浄化ファン	39	中央制御室給気ファン	21	中央制御室循環ファン	13	中央制御室非常用循環ファン	5	中央制御室照明等	23	中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7	CV水素濃度計電源盤	6	合計	553	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故時の対処に必要な設備として、必要な容量を確保している観点で同等である。</p> <p style="color: red;">運用の相違 ・必要な負荷値に差異があるが、重大事故時等に必要負荷を選定している観点では同じである。</p>
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																
充電器 (A, B)	77																																																
	77																																																
計装用電源 (A, B, C, D)	充電器 (A, B) に含む																																																
アニュラス空気浄化ファン	19																																																
中央制御室空調ファン	19																																																
中央制御室循環ファン	11																																																
中央制御室非常用循環ファン	11																																																
合計 (kW)	214																																																
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																
充電器 (A, B)	113																																																
	113																																																
計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	充電器Aに含む (22)																																																
	充電器Bに含む (22)																																																
	充電器Aに含む (22)																																																
	充電器Bに含む (22)																																																
代替格納容器スプレイポンプ	200																																																
アニュラス空気浄化ファン	39																																																
中央制御室給気ファン	21																																																
中央制御室循環ファン	13																																																
中央制御室非常用循環ファン	5																																																
中央制御室照明等	23																																																
中央制御室非常用循環フィルタ用電気ヒータ	13																																																
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7																																																
CV水素濃度計電源盤	6																																																
合計	553																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.4-(3)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・代替所内電気設備での給電対象負荷リスト（空冷式非常用発電装置） （代替所内電気設備変圧器容量：500kVA）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">負荷名称</th> <th style="width: 30%;">負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>恒設代替低圧排水ポンプ</td><td>145</td></tr> <tr><td>A蓄圧タンク出口弁</td><td>(19)^{*1}</td></tr> <tr><td>B蓄圧タンク出口弁</td><td>(19)^{*1}</td></tr> <tr><td>C蓄圧タンク出口弁</td><td>(19)^{*1}</td></tr> <tr><td>D蓄圧タンク出口弁</td><td>(19)^{*1}</td></tr> <tr><td></td><td>(19)^{*2}</td></tr> <tr><td rowspan="3">計装用電源 (A, B, C, D)</td><td>19</td></tr> <tr><td>19</td></tr> <tr><td>(19)^{*3}</td></tr> <tr><td>アニュラス空気浄化ファン</td><td>19</td></tr> <tr><td>可搬式空気圧縮機 (A, B) (加圧用途がし非用)</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>可搬式整流器</td><td>30</td></tr> <tr><td>合計 (kW)</td><td>220</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 電動弁は、短時間の動作であり、負荷容量には含まない。</p> <p>※2 代替所内電気設備の電源裕度に応じ給電する。 大規模損壊時（イグナイタ約10kW、C/V可搬式水素濃度計関係約3kW）負荷は電源裕度に応じて給電する。</p>	負荷名称	負荷容量 (kW)	恒設代替低圧排水ポンプ	145	A蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}	B蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}	C蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}	D蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}		(19) ^{*2}	計装用電源 (A, B, C, D)	19	19	(19) ^{*3}	アニュラス空気浄化ファン	19	可搬式空気圧縮機 (A, B) (加圧用途がし非用)	3		3	可搬式整流器	30	合計 (kW)	220	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.4-(3)</p> <p style="text-align: center;">交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>・代替所内電気設備での給電対象負荷リスト（代替非常用発電機又は可搬型代替電源車） （代替所内電気設備変圧器容量：300kVA）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">負荷名称</th> <th style="width: 30%;">負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A蓄圧タンク出口弁</td><td>(20.6)^{*1}</td></tr> <tr><td>B蓄圧タンク出口弁</td><td>(20.6)^{*1}</td></tr> <tr><td>C蓄圧タンク出口弁</td><td>(20.6)^{*1}</td></tr> <tr><td rowspan="4">計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)</td><td>22</td></tr> <tr><td>22</td></tr> <tr><td>22</td></tr> <tr><td>22</td></tr> <tr><td>アニュラス空気浄化ファン</td><td>39</td></tr> <tr><td>格納容器水素イグナイタ変圧器盤</td><td>8</td></tr> <tr><td>CV水素濃度計電源盤</td><td>5</td></tr> <tr><td>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</td><td>7</td></tr> <tr><td>合計</td><td>147</td></tr> </tbody> </table> <p>*1 電動弁は、短時間動作であり負荷容量には含まない。</p> <p style="color: red;">（代替格納容器スプレイポンプ変圧器容量：1,000kVA）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">負荷名称</th> <th style="width: 30%;">負荷容量 (kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>代替格納容器スプレイポンプ</td><td>200</td></tr> <tr><td>合計</td><td>200</td></tr> </tbody> </table> <p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑤）</p> <p>【大飯】 設備の相違 （相違理由②）</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・泊は、イグナイタ及びCV水素濃度計盤についても負荷として見積もっている。</p>	負荷名称	負荷容量 (kW)	A蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}	B蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}	C蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}	計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	22	22	22	22	アニュラス空気浄化ファン	39	格納容器水素イグナイタ変圧器盤	8	CV水素濃度計電源盤	5	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7	合計	147	負荷名称	負荷容量 (kW)	代替格納容器スプレイポンプ	200	合計	200	
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																										
恒設代替低圧排水ポンプ	145																																																										
A蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																										
B蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																										
C蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																										
D蓄圧タンク出口弁	(19) ^{*1}																																																										
	(19) ^{*2}																																																										
計装用電源 (A, B, C, D)	19																																																										
	19																																																										
	(19) ^{*3}																																																										
アニュラス空気浄化ファン	19																																																										
可搬式空気圧縮機 (A, B) (加圧用途がし非用)	3																																																										
	3																																																										
可搬式整流器	30																																																										
合計 (kW)	220																																																										
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																										
A蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}																																																										
B蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}																																																										
C蓄圧タンク出口弁	(20.6) ^{*1}																																																										
計装用電源 (安全系) (A, B, C, D)	22																																																										
	22																																																										
	22																																																										
	22																																																										
アニュラス空気浄化ファン	39																																																										
格納容器水素イグナイタ変圧器盤	8																																																										
CV水素濃度計電源盤	5																																																										
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	7																																																										
合計	147																																																										
負荷名称	負荷容量 (kW)																																																										
代替格納容器スプレイポンプ	200																																																										
合計	200																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="185 304 911 1046"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</td> <td rowspan="3">充てんポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低压母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ほう酸ポンプ</td> <td>A 1 原子炉コントロール センタ</td> </tr> <tr> <td>B 1 原子炉コントロール センタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気逃がし弁</td> <td>A 1 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気隔離弁</td> <td>A 1 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A 2 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入 ライン補給弁</td> <td>B 1 原子炉コントロール センタ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線	4-3 (4) B 非常用高压母線	3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低压母線	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線	4-3 (4) B 非常用高压母線	ほう酸ポンプ	A 1 原子炉コントロール センタ	B 1 原子炉コントロール センタ	主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤	B 1 ソレノイド分電盤	主蒸気隔離弁	A 1 ソレノイド分電盤	B 1 ソレノイド分電盤	加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤	B 2 ソレノイド分電盤	緊急ほう酸注入 ライン補給弁	B 1 原子炉コントロール センタ	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照 </div>	
対象条文	供給対象設備	受電元																									
【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線																									
		4-3 (4) B 非常用高压母線																									
		3-3 (4) A 2 又は 3-3 (4) B 2 非常用低压母線																									
	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線																									
		4-3 (4) B 非常用高压母線																									
	ほう酸ポンプ	A 1 原子炉コントロール センタ																									
		B 1 原子炉コントロール センタ																									
	主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤																									
		B 1 ソレノイド分電盤																									
	主蒸気隔離弁	A 1 ソレノイド分電盤																									
		B 1 ソレノイド分電盤																									
	加圧器逃がし弁	A 2 ソレノイド分電盤																									
		B 2 ソレノイド分電盤																									
	緊急ほう酸注入 ライン補給弁	B 1 原子炉コントロール センタ																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		相違理由
添付資料 1.14.5-(2)				
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備				
対象条文	供給対象設備	受電元		
【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A	非常用高圧母線	
		4-3(4)B	非常用高圧母線	
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A	非常用高圧母線	
		4-3(4)B	非常用高圧母線	
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A	非常用高圧母線	
		4-3(4)B	非常用高圧母線	
	加圧器逃がし弁	A2ゾレノイド分電盤		
		B2ゾレノイド分電盤		
【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A	非常用高圧母線	
		4-3(4)B	非常用高圧母線	
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A	非常用高圧母線	
		4-3(4)B	非常用高圧母線	
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A	非常用高圧母線	
		4-3(4)B	非常用高圧母線	
	主蒸気逃がし弁	A1ゾレノイド分電盤		
		B1ゾレノイド分電盤		
	加圧器逃がし弁	A2ゾレノイド分電盤		
		B2ゾレノイド分電盤		
可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤			
比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(3)			
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			
対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ 低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	
	格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ	
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線	
		4-3(4)A 非常用高圧母線	
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤		
	B1ソレノイド分電盤		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(4)			
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			
対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線	
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
	海水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線	
【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線	
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
	海水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	

比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(5)			
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			
対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	
	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	格納容器スプレィポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	
		4-3(4)B 非常用高圧母線	
		3-3(4)A 2又は 3-3(4)B 2 非常用低圧母線	
【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤	
	原子炉格納容器水素燃焼装置	B 1 原子炉コントロールセンタ	
	原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤	
	可搬型格納容器水素ガス濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤	
	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤	
	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤	
		比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5-(6)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="183 303 913 1193"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</td> <td rowspan="2">アニュラス空気浄化ファン</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アニュラス排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アニュラス全量排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アニュラス少量排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）</td> <td>可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤</td> </tr> <tr> <td>アニュラス水素濃度計</td> <td>原子炉格納容器内状態監視盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</td> <td>使用済燃料ピット水位（AM用）</td> <td>B計装用電源 C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ピット水位</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度（AM用）</td> <td>B計装用電源 C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アニュラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ	B 1 原子炉コントロールセンタ	アニュラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	アニュラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	アニュラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤	アニュラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤	【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ピット水位（AM用）	B計装用電源 C計装用電源	可搬式使用済燃料ピット水位	B計装用電源	使用済燃料ピット温度（AM用）	B計装用電源 C計装用電源	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	B計装用電源	使用済燃料ピット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照 </div>	
対象条文	供給対象設備	受電元																																	
【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アニュラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ																																	
		B 1 原子炉コントロールセンタ																																	
	アニュラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																	
		B 4 ソレノイド分電盤																																	
	アニュラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																	
		B 4 ソレノイド分電盤																																	
	アニュラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																	
B 4 ソレノイド分電盤																																			
可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤																																		
アニュラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤																																		
【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ピット水位（AM用）	B計装用電源 C計装用電源																																	
	可搬式使用済燃料ピット水位	B計装用電源																																	
	使用済燃料ピット温度（AM用）	B計装用電源 C計装用電源																																	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	B計装用電源																																	
	使用済燃料ピット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ																																	
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5-(7)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="181 296 913 884"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">【1.13】 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">充てんポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がし弁</td> <td>A 2ソレノイド分電盤 B 2ソレノイド分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.13】 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	高圧注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	4-3 (4) B 非常用高圧母線	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	4-3 (4) B 非常用高圧母線	3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	加圧器逃がし弁	A 2ソレノイド分電盤 B 2ソレノイド分電盤	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照 </div>	
対象条文	供給対象設備	受電元																	
【1.13】 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																	
	高圧注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																	
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																	
	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																	
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																	
		3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線																	
	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																	
加圧器逃がし弁	A 2ソレノイド分電盤 B 2ソレノイド分電盤																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4 号炉	泊発電所 3 号炉	相違理由																																												
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.5-(8)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="181 304 909 1251"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td>1次冷却材高温側温度 (広域)</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度 (広域)</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材圧力</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器水位</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>B直流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧注入流量</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去流量</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内温度</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器圧力 (広域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>AM用格納容器圧力</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位 (狭域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水位</td> <td>B直流き電盤</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>B直流き電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度 (広域)	A計装用電源	1次冷却材低温側温度 (広域)	B計装用電源	1次冷却材圧力	C計装用電源	D計装用電源	加圧器水位	A計装用電源	B計装用電源	原子炉水位	B直流電源	高圧注入流量	A計装用電源	B計装用電源	余熱除去流量	C計装用電源	D計装用電源	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源	格納容器スプレイ積算流量	B計装用電源	格納容器内温度	A計装用電源	B計装用電源	格納容器圧力 (広域)	C計装用電源	D計装用電源	AM用格納容器圧力	B計装用電源	格納容器再循環サンプル水位 (広域)	C計装用電源	D計装用電源	格納容器再循環サンプル水位 (狭域)	C計装用電源	D計装用電源	原子炉格納容器水位	B直流き電盤	原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照 </div>	
対象条文	供給対象設備	受電元																																												
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度 (広域)	A計装用電源																																												
	1次冷却材低温側温度 (広域)	B計装用電源																																												
	1次冷却材圧力	C計装用電源																																												
		D計装用電源																																												
	加圧器水位	A計装用電源																																												
		B計装用電源																																												
	原子炉水位	B直流電源																																												
	高圧注入流量	A計装用電源																																												
		B計装用電源																																												
	余熱除去流量	C計装用電源																																												
		D計装用電源																																												
	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源																																												
	格納容器スプレイ積算流量	B計装用電源																																												
	格納容器内温度	A計装用電源																																												
		B計装用電源																																												
	格納容器圧力 (広域)	C計装用電源																																												
		D計装用電源																																												
	AM用格納容器圧力	B計装用電源																																												
	格納容器再循環サンプル水位 (広域)	C計装用電源																																												
		D計装用電源																																												
格納容器再循環サンプル水位 (狭域)	C計装用電源																																													
	D計装用電源																																													
原子炉格納容器水位	B直流き電盤																																													
原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉		泊発電所 3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(9)			
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			
対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B 直流電源	
	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C 計装用電源	
		D 計装用電源	
	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C 計装用電源	
		D 計装用電源	
	出力領域中性子束	A 計装用電源	
		B 計装用電源	
		C 計装用電源	
		D 計装用電源	
	中間領域中性子束	A 計装用電源	
		B 計装用電源	
	中性子源領域中性子束	A 計装用電源	
		B 計装用電源	
	蒸気発生器水位（狭域）	C 計装用電源	
		D 計装用電源	
	蒸気発生器水位（広域）	A 計装用電源	
		B 計装用電源	
		C 計装用電源	
D 計装用電源			
蒸気発生器補助給水流量	A 計装用電源		
	B 計装用電源		
	C 計装用電源		
	D 計装用電源		
主蒸気圧力	C 計装用電源		
	D 計装用電源		
原子炉補機冷却水サージタンク水位	C 計装用電源		
	D 計装用電源		
		比較対象は泊 3号炉の添付資料1.14.15参照	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
添付資料 1.14.5-(10)					
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備					
対象条文	供給対象設備	受電元			
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	燃料取替用水ピット水位	C計装用電源			
		D計装用電源			
	ほう酸タンク水位	C計装用電源			
		D計装用電源			
	復水ピット水位	C計装用電源			
		D計装用電源			
【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	中央制御室空調ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ			
		B 2 原子炉コントロールセンタ			
	中央制御室循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ			
		B 2 原子炉コントロールセンタ			
	中央制御室非常用循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ			
		B 2 原子炉コントロールセンタ			
	可搬型照明 (SA)	A 1 原子炉コントロールセンタ			
		B 2 原子炉コントロールセンタ			
			比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.14.5-(11)			
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			
対象条文	供給対象設備	受電元	
【1.17】 監視測定等に関する手順等	モニタリングステーション	電源車 (緊急時対策所用)	
	モニタリングポスト		
【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	緊急時対策所分電盤	
	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備電源切替分電盤	
	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤	
	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤	
【1.19】 通信連絡に関する手順等	衛星電話 (固定)	3C1計装用分電盤	
		緊急時対策所分電盤	
	衛星電話 (可搬)	緊急時対策所分電盤	
	緊急時衛星通報システム	緊急時対策所分電盤	
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備 (TV会議システム、IP電話及びIP-FAX)	緊急時対策所分電盤	
	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備電源切替分電盤	
	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤	
	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤	
		比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.15参照	

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.6</p> <p>77kV送電線による交流電源からの給電</p> <p>【77kV送電線による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置による受電に失敗した場合に、77kV送電線を使用した交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間（中央） 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.5</p> <p>後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>【後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、代替非常用発電機による受電に失敗した場合に、後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作を実施する。後備変圧器受電完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系又はメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m, T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：60分 作業時間（訓練実績等）：50分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="309 579 801 651">77kV送電線による交流電源からの給電 (中央制御室)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1182 188 1442 384">  <p data-bbox="1189 408 1435 499">後備変圧器遮断器操作 (中央制御室) (原子炉補助建屋T.P.17.8m) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div data-bbox="1574 177 1800 400">  <p data-bbox="1563 419 1809 491">受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T.P.10.3m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p data-bbox="1328 711 1659 759">受電遮断器操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋T.P.10.3m)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.7-(1)</p> <p>№. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【№. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、№. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：20分 操作時間（実績）：18分 [供給元操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：4分 [給電先操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：1分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="250 1200 510 1398">  <p>№. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通受電準備操作 (中央制御室)</p> </div> <div data-bbox="595 1200 855 1398">  <p>№. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による遮断器投入操作 (中央制御室)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.7-(2)</p> <p>【No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル路を使用した号機間融通を行うための遮断器投入条件作成などを行い、電源給電操作を可能とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：45分 操作時間（実績）：30分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室及び制御建屋に携帯型通話装置を各々1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①遮断器投入条件作成 (制御建屋)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②遮断器投入条件作成 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>③盤内遮断器投入条件作成箇所 (安全補機開閉器室)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.8-(1)</p> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、No. 2 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：3名 操作時間（想定）：20分 操作時間（実績）：18分 [供給元操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：4分 [給電先操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：1分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="286 1141 510 1316"> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通受電準備操作 (中央制御室)</p> </div> <div data-bbox="582 1141 806 1316"> <p>No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による遮断器投入操作 (中央制御室)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.7 参照</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.8-(2)</p> <p>【No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル路を使用した号機間融通を行うための遮断器投入条件作成などを行い、電源給電操作を可能とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：45分 操作時間（実績）：30分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室及び制御建屋に携帯型通話装置を各々1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>①遮断器投入条件作成 (制御建屋)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②遮断器投入条件作成 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③盤内遮断器投入条件付設置所 (安全補機開閉器室)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.7 参照</p> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室に携帯型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="241 300 510 497"> </div> <div data-bbox="593 300 853 497"> </div> </div> <p>号機間電力融通用設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流動力電源給電遮断器操作（安全補機開閉器室）</p> <p>空冷式非常用発電装置受電遮断器操作（安全補機開閉器室）</p>	<p>又は携帯して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1196 325 1373 561"> </div> <div data-bbox="1514 344 1778 545"> </div> </div> <p>受電遮断器操作（安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋T.P.10.3m）</p> <p>受電遮断器操作（安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋T.P.10.3m）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.9-(2)</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流動力電源の給電のため、必要な設備へ電力を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：2名（現場） 作業時間（模擬）：60分以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先はコネクタ化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全系補機開閉器室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル敷設 (安全補機開閉器室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ケーブル接続（コネクタ） (安全補機開閉器室)</p> </div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.6-(2)</p> <p>【号炉間連絡ケーブルの接続】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、可搬型代替電源車による受電が失敗した場合に、号炉間連絡ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電の際、号炉間連絡ケーブルの接続を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外 T.P. 31.0m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：2名 作業時間（想定）：180分 作業時間（訓練実績等）：156分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：屋外の号機間連絡ケーブル接続場所は作業を行う上で支障となる設備等はない。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子にしていることから、容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）にて、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>号炉間連絡ケーブル接続 (屋外 T.P. 31m)</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・代替交流電源による給電の優先順位の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・大飯の号機間電力融通恒設ケーブル接続作業は、すべて屋内作業であるのに対し、泊は屋外作業である。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・接続先が端子となっているのは、高浜と同様。</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>4. 供給元プラントが運転中又は高温停止中の場合のケーブル接続パターン及び想定負荷 供給元プラントが運転中又は高温停止中（モード1, 2, 3, 4）の場合、ディーゼル発電機1台（図中①）は供給元プラントの必要負荷に供給するとともに、もう1台（図中②）は供給先プラントのSA負荷に対し供給する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="392 694 705 997"> <p>運転中 供給先：SA事故を想定 SA時必要な負荷(空冷D/Gs容量範囲に準拠)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>空冷機(A/B)</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内仕組駆動装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉駆動装置用蒸気発生装置駆動装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内蒸気発生装置駆動装置</td><td></td></tr> <tr><td>フェーズド蒸気発生装置</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内空冷機</td><td></td></tr> <tr><td>原子炉下部サブシステム</td><td></td></tr> <tr><td>可変圧縮機供給系統内蒸気発生装置</td><td></td></tr> <tr><td>A, B, C, D計測装置</td><td></td></tr> <tr><td>輸送機(空冷)</td><td></td></tr> <tr><td>空冷機制御(C/A)</td><td></td></tr> <tr><td>燃料中継装置用ポンプ</td><td>145</td></tr> <tr><td>燃料注入ポンプ</td><td>1400</td></tr> <tr><td>フェーズド冷却ファン</td><td>19</td></tr> <tr><td>中央制御室冷却ファン</td><td>19</td></tr> <tr><td>中央制御室蒸気ファン</td><td>11</td></tr> <tr><td>中央制御室保安冷却ファン</td><td>11</td></tr> <tr><td>合計(A)</td><td>1,759</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="716 694 985 997"> <p>運転中 供給元：DB事故を想定 非常用炉心冷却設備動作時に必要な負荷</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>負荷名称</th> <th>負荷容量(kW)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>蒸気発生ポンプ</td><td>352</td></tr> <tr><td>制御室冷却装置</td><td>141</td></tr> <tr><td>燃料注入ポンプ</td><td>1,362</td></tr> <tr><td>燃料供給ポンプ</td><td>968</td></tr> <tr><td>燃料供給系統内ポンプ</td><td>545</td></tr> <tr><td>空冷機駆動装置冷却ファン</td><td>118</td></tr> <tr><td>原子炉供給系統内ポンプ</td><td>690</td></tr> <tr><td>海水ポンプ</td><td>952</td></tr> <tr><td>送風機</td><td>196</td></tr> <tr><td>原子炉コントロールセンター</td><td>699</td></tr> <tr><td>送風機</td><td>158</td></tr> <tr><td>原子炉コントロールセンター</td><td>84</td></tr> <tr><td>合計(B)</td><td>6,347</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>SA時の必要な負荷容量(供給先) 1,759kW < 7,100kW(DG1台あたりの容量) DB事故時に必要な負荷容量(供給元) 6,347kW < 7,100kW(DG1台あたりの容量)</p>	負荷名称	負荷容量(kW)	空冷機(A/B)		原子炉供給系統内仕組駆動装置		原子炉駆動装置用蒸気発生装置駆動装置		原子炉供給系統内蒸気発生装置駆動装置		フェーズド蒸気発生装置		原子炉供給系統内空冷機		原子炉下部サブシステム		可変圧縮機供給系統内蒸気発生装置		A, B, C, D計測装置		輸送機(空冷)		空冷機制御(C/A)		燃料中継装置用ポンプ	145	燃料注入ポンプ	1400	フェーズド冷却ファン	19	中央制御室冷却ファン	19	中央制御室蒸気ファン	11	中央制御室保安冷却ファン	11	合計(A)	1,759	負荷名称	負荷容量(kW)	蒸気発生ポンプ	352	制御室冷却装置	141	燃料注入ポンプ	1,362	燃料供給ポンプ	968	燃料供給系統内ポンプ	545	空冷機駆動装置冷却ファン	118	原子炉供給系統内ポンプ	690	海水ポンプ	952	送風機	196	原子炉コントロールセンター	699	送風機	158	原子炉コントロールセンター	84	合計(B)	6,347	<p>泊発電所 3号炉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 運用の相違 ・大飯は、他号炉ディーゼル発電機による号機間融通において、供給元のプラント運転状態に応じて、号機間融通を行う条件（要求する健全ディーゼル発電機の台数）が異なる。(1台又は2台) 泊は、1号又は2号炉からのディーゼル発電機による号機間電力融通において、伊方と同様にディーゼル発電機は2台が健全である場合に限定している。</p>
負荷名称	負荷容量(kW)																																																																			
空冷機(A/B)																																																																				
原子炉供給系統内仕組駆動装置																																																																				
原子炉駆動装置用蒸気発生装置駆動装置																																																																				
原子炉供給系統内蒸気発生装置駆動装置																																																																				
フェーズド蒸気発生装置																																																																				
原子炉供給系統内空冷機																																																																				
原子炉下部サブシステム																																																																				
可変圧縮機供給系統内蒸気発生装置																																																																				
A, B, C, D計測装置																																																																				
輸送機(空冷)																																																																				
空冷機制御(C/A)																																																																				
燃料中継装置用ポンプ	145																																																																			
燃料注入ポンプ	1400																																																																			
フェーズド冷却ファン	19																																																																			
中央制御室冷却ファン	19																																																																			
中央制御室蒸気ファン	11																																																																			
中央制御室保安冷却ファン	11																																																																			
合計(A)	1,759																																																																			
負荷名称	負荷容量(kW)																																																																			
蒸気発生ポンプ	352																																																																			
制御室冷却装置	141																																																																			
燃料注入ポンプ	1,362																																																																			
燃料供給ポンプ	968																																																																			
燃料供給系統内ポンプ	545																																																																			
空冷機駆動装置冷却ファン	118																																																																			
原子炉供給系統内ポンプ	690																																																																			
海水ポンプ	952																																																																			
送風機	196																																																																			
原子炉コントロールセンター	699																																																																			
送風機	158																																																																			
原子炉コントロールセンター	84																																																																			
合計(B)	6,347																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.12-(2)を再掲】</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通、号機間電力融通恒設ケーブルを使用した号機間融通、電源車による受電に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通予備ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、予備ケーブル敷設及び接続作業を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名（現場） 作業時間（模擬）：2.4時間以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全系補機開閉器室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="107 997 358 1189">  <p>ケーブル運搬（安全補機開閉器室）</p> </div> <div data-bbox="369 997 638 1157">  <p>ケーブル敷設（安全補機開閉器室）</p> </div> <div data-bbox="369 1173 638 1364">  <p>ケーブル接続（端子） （安全補機開閉器室）</p> </div>	<p>添付資料1.14.6-(3)</p> <p>【号炉間連絡予備ケーブルの敷設及び接続】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、開閉所設備による受電に失敗した場合に、号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電の際、号炉間連絡予備ケーブルの敷設及び接続を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外 T.P. 31.0m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：7名 作業時間（想定）：360分 作業時間（訓練実績等）：325分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：屋外の予備ケーブル接続場所は作業を行う上で支障となる設備等は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子にしていることから、容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）にて、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1243 1029 1422 1173">  <p>号炉間連絡予備ケーブル</p> </div> <div data-bbox="1489 1029 1668 1204">  <p>号炉間連絡予備ケーブル敷設 （屋外 T.P. 31m）</p> </div> <div data-bbox="1355 1220 1579 1436">  <p>号炉間連絡予備ケーブル接続 （屋外 T.P. 31m） （作業風景は類似作業）</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・代替交流電源による給電の優先順位の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・大飯の号機間電力融通予備ケーブル接続作業は、すべて屋内作業であるのに対し、泊は屋外作業である。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.10-(2)</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通恒設ケーブル（1、2号～3、4号）を使用した号機間融通による交流動力電源給電のために必要なケーブル敷設及び接続作業を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名（現場） 作業時間（模擬）：2.7時間以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 作業性：ケーブルの接続先は端子化（1.2号）及びコネクタ化（3.4号）されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、3.4号安全補機開閉器室1.2号メタクラ室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="264 869 504 1050"> <p>ケーブル接続（端子及びコネクタ） （安全補機開閉器室）</p> </div> <div data-bbox="586 869 824 1050"> <p>ケーブル敷設 （安全補機開閉器室）</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. ケーブル接続パターン 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）の場合、必要な箇所のケーブル解結線を行う。</p> <div data-bbox="376 231 987 448" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 1号～3号の場合 ①を解結、①、②を結線し、③のコネクタを接続する。</p> <p>(2) 2号～3号の場合 ②を解結、②、③を結線し、④のコネクタを接続する。</p> <p>(3) 1号～4号の場合 ①を解結、①、④を結線し、①のコネクタを接続する。</p> <p>(4) 2号～4号の場合 ②を解結、②、④を結線し、④のコネクタを接続する。</p>  </div>	<div data-bbox="1339 762 1592 815" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 比較対象なし </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.8-(1)を再掲】</p> <p>N o. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【N o. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、N o. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、N o. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、必要な遮断器操作を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：3名 操作時間（想定）：20分 操作時間（実績）：18分</p> <p>[供給元操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：4分</p> <p>[給電先操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：1分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p>	<p>添付資料1.14.7</p> <p>開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>【開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、号炉間連絡ケーブルによる受電に失敗した場合に、開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系の受電前準備として、パワーコントロールセンタ及びコントロールセンタの負荷抑制のため、あらかじめ定められた負荷以外の遮断器の「切」操作及び保護リレーのロックを実施する。受電前準備完了後、必要な遮断器操作によりメタクラA系又はメタクラB系を受電する。</p> <p>2. 操作場所 屋外 T.P. 85.0m 1号又は2号炉原子炉補助建屋 T.P. 9.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：6名 操作時間（想定）：中央 15分 現場 140分 操作時間（訓練実績等）：中央 9分 現場 110分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>[受電側操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：中央 5分 現場 20分 操作時間（訓練実績等）：中央 1分 現場 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>[給電側操作] 必要要員数：2名 操作時間（想定）：中央 10分 現場 40分 操作時間（訓練実績等）：中央 5分 現場 28分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携帯していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、夜間や事故環境下においても作業可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由③） 【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違 ・代替交流電源による給電の優先順位の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.8-(1)を再掲】</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.8-(2)の該当箇所を再掲】</p> <p>操 作 性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。</p> <p>操 作 性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="302 1053 526 1220"> <p>No.1予備変圧器2次側取組ケーブルを使用した号機間電生電導編操作 (中央制御室)</p> </div> <div data-bbox="593 1053 817 1220"> <p>No.1予備変圧器2次側取組ケーブルを使用した号機間電生による遮断器投入操作 (中央制御室)</p> </div> </div>	<p>操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操 作 性：保護リレーのロック操作は工具等不要であり、容易に操作可能である。275kV母線の遮断器操作は、遮断器に工具が備え付けられており、容易かつ確実に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置、無線連絡設備(携帯型)及び衛星電話設備(携帯型)を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1176 1101 1444 1300"> <p>開閉所設備遮断器操作 (屋外 T.P.85m)</p> </div> <div data-bbox="1523 1093 1691 1316"> <p>保護リレーロック操作 (1号機 2次系継電器室) (原子炉補助建屋 T.P.9.8m)</p> </div> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載。</p> <p>【大飯】運用の相違 ・泊は、起動変圧器受電遮断器投入前に保護リレー動作防止のため、保護リレーのロックを実施し、遮断器投入後保護リレーのロックを解除する。 ・大飯はインターロック解除処置を行い、No.1予備変圧器1次側の開放、供給元母線のNo.1予備変圧器受電遮断器投入及び給電先のNo.1予備変圧器受電遮断器を投入する。受電前に保護リレー及びインターロック等の処置を実施することに大飯と実質的な相違はない。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊の遮断器操作は、現場にて専用工具を使用し操作するため、現場配備している。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊の場合、屋外作業も発生することから、屋外における連絡手段についても記載。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯 3 / 4号炉の添付資料 1.14.8-(2)を再掲】</p> <p>【No. 1予備変圧器 2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 No. 1予備変圧器 2次側恒設ケーブル路を使用した号機間融通を行うための遮断器投入条件作成などを行い、電源給電操作を可能とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：45分 操作時間（実績）：30分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：遮断器投入条件作成を行う箇所には、タグを設置しており、容易に投入条件を作成することが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全補機開閉器室及び制御建屋に携行型通話装置を各々1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>①遮断器投入条件作成 (制御建屋)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②遮断器投入条件作成 (安全補機開閉器室)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③盤内遮断器投入条件作成箇所 (安全補機開閉器室)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊は添付資料1.14.7に纏めて記載 </div>	<p>【大飯】記載方針の相違 ・泊は、遮断器投入前の処置及び受電操作までを纏めた記載としている。</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.11</p> <p>電源車による交流電源からの給電</p> <p>【電源車による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通に失敗した場合に、可搬型代替電源として電源車を用い必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名／ユニット（現場）、2名／ユニット（中央） 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：55分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト・携行照明等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。電源車の設置場所及び電源ケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備等は無く、また、夜間作業員はヘッドライト・携行照明等を携行することとしており作業は実施可能である。 操作性：電源車の電源ケーブルから接続口への接続はコネクタ化されており、建屋内の回路は恒設化されていることから、容易かつ確実に接続操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>	<p>比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.3-(2), (3)参照</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.12-(2)</p> <p>【号機間融通による電源給電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、空冷式非常用発電装置（常設）、予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通、号機間電力融通恒設ケーブルを使用した号機間融通、電源車による受電に失敗し、他号炉のディーゼル発電機による給電が成功した場合に、号機間電力融通予備ケーブルを使用した号機間融通による交流動力電源給電のため、予備ケーブル敷設及び接続作業を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名（現場） 作業時間（模擬）：2.4時間以内</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：屋内作業時のアクセス性は、ヘッドライト・携帯照明等を携行しているため、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業用の照明設備として、ヘッドライト・携帯照明等を携行することで作業可能である。作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 作業性：ケーブルの接続先は端子化されており容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、安全系補機開閉器室に携行型通話装置を1台敷設することにより、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="273 826 528 1018">  <p>ケーブル敷設（安全補機開閉器室）</p> </div> <div data-bbox="539 826 817 1018">  <p>ケーブル敷設（安全補機開閉器室）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="551 1018 806 1193">  <p>ケーブル接続（端子） （安全補機開閉器室）</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料1.14.6参照</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.2「3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」を掲載】</p> <p>3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 (1) 必要な負荷以外の切離し操作</p> <p>a. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から8時間以内に125V直流主母線盤2A, 125V直流主母線盤2B, 125V直流分電盤2A-1, 125V直流分電盤2B-1, 125V直流分電盤2A-3, 125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の不要な直流負荷の切離し操作を実施する。</p> <p>b. 作業場所 制御建屋 地下1階(非管理区域)</p> <p>c. 必要要員数及び操作時間 125V直流主母線盤2A, 125V直流主母線盤2B, 125V直流分電盤2A-1, 125V直流分電盤2B-1, 125V直流分電盤2A-3, 125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の不要な直流負荷の切離し操作に必要な要員数, 時間は以下のとおり。</p> <p>必要要員数：2名(運転員(現場) 2名)</p> <p>想定時間：60分(訓練実績等)</p>	<p>添付資料1.14.8-(1)</p> <p>所内常設蓄電式直流電源設備による給電 【不要な直流負荷の切離し操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から, 1時間以内及び8.5時間以内に, A直流母線及びB直流母線の不要な直流負荷の切離しを行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m, T.P. 10. 3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>[不要な直流負荷切離し(1時間以内)]</p> <p>必要要員数：2名 操作時間(想定)：中央 10分 現場 20分 操作時間(訓練実績等)：中央 6分 現場 13分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>[不要な直流負荷切離し(8.5時間以内)]</p> <p>必要要員数：1名 操作時間(想定)：現場 30分 操作時間(訓練実績等)：現場 24分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 運用の相違</p> <p>・女川は, 事象発生から1時間以内の負荷切離しはすべて中央制御室で実施するのに対し, 泊は, 隣接する計装盤室においても実施する。</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <p>・女川の電路構成は, 125V充電器2Aより125V直流主母線盤2A及び125V直流主母線盤2A-1, 3へ給電し, 125V充電器2Bより125V直流主母線盤2B及び125V直流主母線盤2B-1, 3, 4へ給電する。</p> <p>・泊の電路構成は, A充電器によりA直流母線へ給電し, B充電器によりB直流母線へ給電する。 (大飯と同様)</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

1.14 電源の確保に関する手順等


大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 操作の成立性について 【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）により、建屋内常用照明消灯時における作業性を確保している。放射性物質が放出される可能性があることから、操作は防護具（全面マスク、個人線量計及びゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に実施可能である。 連絡手段：通常の連絡手段として電力保安通信用電話設備（PHS端末）及び送受話器（ページング）を配備しており、重大事故等の環境下において、通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により中央制御室に連絡することが可能である。</p>  <p>必要な負荷以外の切離し操作</p>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行しているため、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>  <p>不要直流負荷の切離し操作 （安全系計装盤室） （原子炉補助建屋 T. P. 17. 8m）</p>  <p>不要直流負荷の切離し操作 （安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m）</p>	<p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載箇所の相違 ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.13</p> <p>不要直流負荷①切離し操作</p> <p>【不要直流負荷①切離し】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、長期間の電源喪失に備えるため、直流電源の延命処置として、中央にて不要直流電源負荷切離しを行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：2分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト・懐中電灯等を携帯していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等であり、また、運転員はヘッドライト・懐中電灯等を携帯していることから事故環境下においても作業可能である。中央制御室にはバッテリー内蔵照明を設置している。</p> <p>操作性：通常行うスイッチ操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：通常時の通信手段としてPHSを携帯しており連続通話で約6時間使用可能である。</p> <div data-bbox="327 970 768 1246" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離し操作 (中央制御室)</p>	<div data-bbox="1041 762 1921 815" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.8-(1) 参照</p> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14. 8-(2)</p> <p>【後備蓄電池による代替電源（直流）からの給電】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失発生から13時間後及び17時間後に後備蓄電池を投入することで、全交流動力電源喪失発生から蓄電池（非常用）及び後備蓄電池にて24時間以上にわたり非常用直流母線へ代替電源（直流）を給電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 5分 操作時間（訓練実績等） : 2分</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：中央制御室の操作であることから、アクセス性に問題はない。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。 操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：中央制御室での操作のため、中央制御室から現場間の連絡は必要ない。</p> <div style="text-align: center;">  <p>後備蓄電池による受電操作 （中央制御室） （原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m）</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑦）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.2「3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電」を掲載】</p> <p>(2) 125V蓄電池2A及び125V蓄電池2B給電を24時間継続するため切り離していた125V直流負荷の復旧操作</p> <p>a. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から、125V蓄電池2A及び125V蓄電池2B給電を24時間継続するため切り離していた125V直流主母線盤2A、125V直流主母線盤2B、125V直流分電盤2A-1、125V直流分電盤2B-1、125V直流分電盤2A-3、125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の直流負荷の復旧操作を実施する。</p> <p>b. 作業場所 制御建屋 地下1階（非管理区域）</p> <p>c. 必要要員数及び操作時間 125V直流主母線盤2A、125V直流主母線盤2B、125V直流分電盤2A-1、125V直流分電盤2B-1、125V直流分電盤2A-3、125V直流分電盤2B-3及び125V直流分電盤2B-4の直流負荷の復旧操作に必要な要員数、時間は以下のとおり。 必要要員数：2名（運転員（現場）2名） 想定時間：30分（訓練実績等）</p> <p>d. 操作の成立性について 【比較のため下段の記載より再掲】 移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）により、建屋内常用照明消灯時における作業性を確保している。放射性物質が放出される可能性があることから、操作は防護具（全面マスク、個人線量計及びゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>移動経路：可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を携行しており、建屋内常用照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に実施可能である。 連絡手段：通常の連絡手段として電力保安通信用電話設備（PHS 端末）及び送受話器（ページング）を配備しており、重大事故等の環境下において、通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により中央制御室に連絡することが可能である。</p>	<p>添付資料1.14.8-(3)</p> <p>【蓄電池（非常用）及び後備蓄電池給電を24時間継続するため切り離していた直流負荷の復旧操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失事象発生から、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池給電を24時間継続するため切り離していた、A直流母線及びB直流母線の直流負荷の復旧操作を実施する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m、T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <table border="0"> <tr> <td>必要要員数</td> <td>: 2名</td> </tr> <tr> <td>操作時間（想定）</td> <td>: 中央 5分 現場 55分</td> </tr> <tr> <td>操作時間（訓練実績等）</td> <td>: 中央 5分 現場 43分</td> </tr> </table> <p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行しているため、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	必要要員数	: 2名	操作時間（想定）	: 中央 5分 現場 55分	操作時間（訓練実績等）	: 中央 5分 現場 43分	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川の回路構成は、125V充電器2Aより125V直流主母線盤2A及び125V直流主母線盤2A-1、3へ給電し、125V充電器2Bより125V直流主母線盤2B及び125V直流主母線盤2B-1、3、4へ給電する。 ・泊の回路構成は、A充電器によりA直流母線へ給電し、B充電器によりB直流母線へ給電する。 （大飯と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載箇所の相違 ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p>
必要要員数	: 2名							
操作時間（想定）	: 中央 5分 現場 55分							
操作時間（訓練実績等）	: 中央 5分 現場 43分							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																											
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.14-(1)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離しリスト</p> <p>3号炉 A直流電機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3A直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>21.0</td> <td>SB0時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-3A1メタスタ</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3A1パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3A2パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3Aタービン駆補助給水ポンプ駆動盤</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3A計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.4</td> <td>3C計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要(不要直流負荷切離しリスト)参照</td> </tr> <tr> <td>3C計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>Cインバータ室</td> <td>93.4</td> <td>3C1,3C2計装用分電盤で制御を実施(不要直流負荷切離しリスト)参照</td> </tr> <tr> <td>3Aディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3Aディーゼル発電機制御盤</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3A直流電機負荷遮断停止回路制御電源</td> <td>○</td> <td>Cインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>217.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	3A直流分電盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	21.0	SB0時に停止している機器の制御電源のため不要	4-3A1メタスタ	○	Cインバータ室	2.4		3-3A1パワーセンタ	○	Cインバータ室	1.4		3-3A2パワーセンタ	○	Cインバータ室	1.3		3Aタービン駆補助給水ポンプ駆動盤	○	Cインバータ室	1.0		3A計装用電源盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	3C計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要(不要直流負荷切離しリスト)参照	3C計装用電源盤	△	Cインバータ室	93.4	3C1,3C2計装用分電盤で制御を実施(不要直流負荷切離しリスト)参照	3Aディーゼル発電機励磁機盤	○	Cインバータ室	0.1		3Aディーゼル発電機制御盤	○	Cインバータ室	2.2		試験箱	○	Cインバータ室	0.0		3A直流電機負荷遮断停止回路制御電源	○	Cインバータ室	1.0		合計負荷電流			217.0		<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷切離しリスト (1/8)</p> <p>A-蓄電池（非常用）（1時間以内の切離し）</p> <p>安全系FDプロセッサ（トレシA）（保守用）（SFM4.1, 2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能なため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SB0時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDプロセッサ（トレシA）（保守用）（SFM4.3, 4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能なため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SB0時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDプロセッサ（トレシA）（保守用）（SFM4.5, 6）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能なため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SB0時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDプロセッサ（トレシA）（保守用）（SFM4.7）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能なため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SB0時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御装置（トレシAグループ2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V（1系）</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V（2系）</td> <td>△</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>C-計装用インバータ負荷切離しにより停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御装置（トレシAグループ3）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC100V（1系）</td> <td>×</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要</td> </tr> <tr> <td>AC100V（2系）</td> <td>△</td> <td>A-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>C-計装用インバータ負荷切離しにより停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要	AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要	AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要	AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要	AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	AC100V（1系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要	AC100V（2系）	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	AC100V（1系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要	AC100V（2系）	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電	<p>【大飯】 設備の相違 ・大飯は、全交流動力電源喪失発生から1時間以内に実施する直流負荷切離し操作は、中央制御室のみで実施可能。 ・泊は、中央制御室及び中央制御室に隣接する安全系計装盤室での操作を実施する。（伊方と同様）</p>
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
3A直流分電盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	21.0	SB0時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																									
4-3A1メタスタ	○	Cインバータ室	2.4																																																																																																																																																										
3-3A1パワーセンタ	○	Cインバータ室	1.4																																																																																																																																																										
3-3A2パワーセンタ	○	Cインバータ室	1.3																																																																																																																																																										
3Aタービン駆補助給水ポンプ駆動盤	○	Cインバータ室	1.0																																																																																																																																																										
3A計装用電源盤	×	中央制御室(A直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	3C計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要(不要直流負荷切離しリスト)参照																																																																																																																																																									
3C計装用電源盤	△	Cインバータ室	93.4	3C1,3C2計装用分電盤で制御を実施(不要直流負荷切離しリスト)参照																																																																																																																																																									
3Aディーゼル発電機励磁機盤	○	Cインバータ室	0.1																																																																																																																																																										
3Aディーゼル発電機制御盤	○	Cインバータ室	2.2																																																																																																																																																										
試験箱	○	Cインバータ室	0.0																																																																																																																																																										
3A直流電機負荷遮断停止回路制御電源	○	Cインバータ室	1.0																																																																																																																																																										
合計負荷電流			217.0																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要																																																																																																																																																									
AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電																																																																																																																																																									
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要																																																																																																																																																									
AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電																																																																																																																																																									
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要																																																																																																																																																									
AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電																																																																																																																																																									
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
AC100V（主系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能なため不要																																																																																																																																																									
AC100V（後備系）	-	A-安全系計装盤室	-	SB0時停電																																																																																																																																																									
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
AC100V（1系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要																																																																																																																																																									
AC100V（2系）	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電																																																																																																																																																									
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
AC100V（1系）	×	A-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要																																																																																																																																																									
AC100V（2系）	△	A-安全系計装盤室	0.0	C-計装用インバータ負荷切離しにより停電																																																																																																																																																									
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.14-(2)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離しリスト</p> <p>3号炉 B直流電機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3B直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>20.7</td> <td>SB0時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-3Bメタスタ</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3B1パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-3B2パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3Bタービン駆補助給水ポンプ駆動盤</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3B計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>Bインバータ室</td> <td>93.4</td> <td>3B1,3B2計装用分電盤で制御を実施(不要直流負荷切離しリスト)参照</td> </tr> <tr> <td>3C計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.4</td> <td>3B計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要(不要直流負荷切離しリスト)参照</td> </tr> <tr> <td>3Bディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3Bディーゼル発電機制御盤</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3B直流電機負荷遮断停止回路制御電源</td> <td>○</td> <td>Bインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>216.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	3B直流分電盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	20.7	SB0時に停止している機器の制御電源のため不要	4-3Bメタスタ	○	Bインバータ室	2.4		3-3B1パワーセンタ	○	Bインバータ室	1.4		3-3B2パワーセンタ	○	Bインバータ室	1.3		3Bタービン駆補助給水ポンプ駆動盤	○	Bインバータ室	1.0		3B計装用電源盤	△	Bインバータ室	93.4	3B1,3B2計装用分電盤で制御を実施(不要直流負荷切離しリスト)参照	3C計装用電源盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	3B計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要(不要直流負荷切離しリスト)参照	3Bディーゼル発電機励磁機盤	○	Bインバータ室	0.1		3Bディーゼル発電機制御盤	○	Bインバータ室	2.2		試験箱	○	Bインバータ室	0.0		3B直流電機負荷遮断停止回路制御電源	○	Bインバータ室	1.0		合計負荷電流			216.0																																																																																													
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																									
3B直流分電盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	20.7	SB0時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																									
4-3Bメタスタ	○	Bインバータ室	2.4																																																																																																																																																										
3-3B1パワーセンタ	○	Bインバータ室	1.4																																																																																																																																																										
3-3B2パワーセンタ	○	Bインバータ室	1.3																																																																																																																																																										
3Bタービン駆補助給水ポンプ駆動盤	○	Bインバータ室	1.0																																																																																																																																																										
3B計装用電源盤	△	Bインバータ室	93.4	3B1,3B2計装用分電盤で制御を実施(不要直流負荷切離しリスト)参照																																																																																																																																																									
3C計装用電源盤	×	中央制御室(B直流電機負荷遮断停止操作盤)	93.4	3B計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要(不要直流負荷切離しリスト)参照																																																																																																																																																									
3Bディーゼル発電機励磁機盤	○	Bインバータ室	0.1																																																																																																																																																										
3Bディーゼル発電機制御盤	○	Bインバータ室	2.2																																																																																																																																																										
試験箱	○	Bインバータ室	0.0																																																																																																																																																										
3B直流電機負荷遮断停止回路制御電源	○	Bインバータ室	1.0																																																																																																																																																										
合計負荷電流			216.0																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																												
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.14-(3)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離しリスト</p> <p>4号炉 A直流電圧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4A直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(A直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)</td> <td>17.4</td> <td>SBO時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-4A1スタタ</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4A1パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4A2パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Aタービン駆動補助給水ポンプ駆動盤</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4A計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(A直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)</td> <td>95.4</td> <td>4C計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要「不要直流負荷切離しリスト」参照</td> </tr> <tr> <td>4C計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>コインバータ室</td> <td>93.4</td> <td>4C1、4C2計装用分電盤で閉路を発生「不要直流負荷切離しリスト」参照</td> </tr> <tr> <td>4Aディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Aディーゼル発電機制御盤</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4A直流電圧監視負荷遮断停止回路制御電源</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>218.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	4A直流分電盤	×	中央制御室(A直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	17.4	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要	4-4A1スタタ	○	コインバータ室	2.4		3-4A1パワーセンタ	○	コインバータ室	1.4		3-4A2パワーセンタ	○	コインバータ室	1.3		4Aタービン駆動補助給水ポンプ駆動盤	○	コインバータ室	1.0		4A計装用電源盤	×	中央制御室(A直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	95.4	4C計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要「不要直流負荷切離しリスト」参照	4C計装用電源盤	△	コインバータ室	93.4	4C1、4C2計装用分電盤で閉路を発生「不要直流負荷切離しリスト」参照	4Aディーゼル発電機励磁機盤	○	コインバータ室	0.1		4Aディーゼル発電機制御盤	○	コインバータ室	2.2		試験箱	○	コインバータ室	0.0		4A直流電圧監視負荷遮断停止回路制御電源	○	コインバータ室	1.0		合計負荷電流			218.6		<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.9-(2)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷切離しリスト (2/8)</p> <p>B-蓄電池（非常用）（1時間以内の切離し）</p> <p>安全系FDPプロセッサ（トレンB）（保守用）（3SFB1, 2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ（トレンB）（保守用）（3SFB3, 4）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ（トレンB）（保守用）（3SFB5, 6）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ（トレンB）（保守用）（3SFB7）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>運転コンソールにて監視操作可能のため不要。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ（トレンB）（運転用）（3SFB2）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>他の運転コンソールにて監視が可能である。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系FDPプロセッサ（トレンB）（運転用）（3SFB3）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>他の運転コンソールにて監視が可能である。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御監視盤(トレンBグループ2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（1系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（2系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>安全系現場制御監視盤(トレンBグループ3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V（1系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>MC100V（2系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>原子炉安全保護盤(チャンネルIV)炉外核計装信号処理部</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計装用電源 AC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>その他の原子炉安全保護盤で必要な監視が可能であるため不要。</td> </tr> <tr> <td>制御用電源 AC100V（主系）</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計装用電源 AC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> <tr> <td>制御用電源 AC100V（後備系）</td> <td>-</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>-</td> <td>SBO時停電</td> </tr> </tbody> </table> <p>共通要因故障対策盤（自動制御盤）（CMFP）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MC100V</td> <td>×</td> <td>B-安全系計装盤室</td> <td>0.0</td> <td>原子炉が停止しているため不要。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。	MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。	MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（1系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。	MC100V（2系）	×	B-安全系計装盤室	0.0		用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V（1系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。	MC100V（2系）	×	B-安全系計装盤室	0.0		用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	計装用電源 AC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	その他の原子炉安全保護盤で必要な監視が可能であるため不要。	制御用電源 AC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0		計装用電源 AC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	制御用電源 AC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	MC100V	×	B-安全系計装盤室	0.0	原子炉が停止しているため不要。	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、全交流動力電源喪失発生から1時間以内に実施する直流負荷切離し操作は、中央制御室のみで実施可能。 泊は、中央制御室及び中央制御室に隣接する安全系計装盤室での操作を実施する。（伊方と同様）
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
4A直流分電盤	×	中央制御室(A直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	17.4	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																																																																																										
4-4A1スタタ	○	コインバータ室	2.4																																																																																																																																																																																																																											
3-4A1パワーセンタ	○	コインバータ室	1.4																																																																																																																																																																																																																											
3-4A2パワーセンタ	○	コインバータ室	1.3																																																																																																																																																																																																																											
4Aタービン駆動補助給水ポンプ駆動盤	○	コインバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
4A計装用電源盤	×	中央制御室(A直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	95.4	4C計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要「不要直流負荷切離しリスト」参照																																																																																																																																																																																																																										
4C計装用電源盤	△	コインバータ室	93.4	4C1、4C2計装用分電盤で閉路を発生「不要直流負荷切離しリスト」参照																																																																																																																																																																																																																										
4Aディーゼル発電機励磁機盤	○	コインバータ室	0.1																																																																																																																																																																																																																											
4Aディーゼル発電機制御盤	○	コインバータ室	2.2																																																																																																																																																																																																																											
試験箱	○	コインバータ室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
4A直流電圧監視負荷遮断停止回路制御電源	○	コインバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
合計負荷電流			218.6																																																																																																																																																																																																																											
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	他の運転コンソールにて監視が可能である。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（1系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（2系）	×	B-安全系計装盤室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（1系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	関連補機停止しており、当該盤に期待しないため不要。																																																																																																																																																																																																																										
MC100V（2系）	×	B-安全系計装盤室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
計装用電源 AC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0	その他の原子炉安全保護盤で必要な監視が可能であるため不要。																																																																																																																																																																																																																										
制御用電源 AC100V（主系）	×	B-安全系計装盤室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
計装用電源 AC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
制御用電源 AC100V（後備系）	-	B-安全系計装盤室	-	SBO時停電																																																																																																																																																																																																																										
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
MC100V	×	B-安全系計装盤室	0.0	原子炉が停止しているため不要。																																																																																																																																																																																																																										
<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.14-(4)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷①切離しリスト</p> <p>4号炉 B直流電圧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4B直流分電盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(B直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)</td> <td>26.1</td> <td>SBO時に停止している機器の制御電源のため不要</td> </tr> <tr> <td>4-4B1スタタ</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4B1パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3-4B2パワーセンタ</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動盤</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4B計装用電源盤</td> <td>△</td> <td>コインバータ室</td> <td>93.4</td> <td>4B1、4B2計装用分電盤で閉路を発生「不要直流負荷切離しリスト」参照</td> </tr> <tr> <td>4D計装用電源盤</td> <td>×</td> <td>中央制御室(B直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)</td> <td>93.4</td> <td>4D計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要「不要直流負荷切離しリスト」参照</td> </tr> <tr> <td>4Bディーゼル発電機励磁機盤</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4Bディーゼル発電機制御盤</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試験箱</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4A直流電圧監視負荷遮断停止回路制御電源</td> <td>○</td> <td>コインバータ室</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計負荷電流</td> <td></td> <td></td> <td>216.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">○：NFB「入」確認 △：下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	4B直流分電盤	×	中央制御室(B直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	26.1	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要	4-4B1スタタ	○	コインバータ室	2.4		3-4B1パワーセンタ	○	コインバータ室	1.4		3-4B2パワーセンタ	○	コインバータ室	1.3		4Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動盤	○	コインバータ室	1.0		4B計装用電源盤	△	コインバータ室	93.4	4B1、4B2計装用分電盤で閉路を発生「不要直流負荷切離しリスト」参照	4D計装用電源盤	×	中央制御室(B直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	93.4	4D計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要「不要直流負荷切離しリスト」参照	4Bディーゼル発電機励磁機盤	○	コインバータ室	0.1		4Bディーゼル発電機制御盤	○	コインバータ室	2.2		試験箱	○	コインバータ室	0.0		4A直流電圧監視負荷遮断停止回路制御電源	○	コインバータ室	1.0		合計負荷電流			216.0																																																																																																																																																														
用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																																																																																																																																																																										
4B直流分電盤	×	中央制御室(B直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	26.1	SBO時に停止している機器の制御電源のため不要																																																																																																																																																																																																																										
4-4B1スタタ	○	コインバータ室	2.4																																																																																																																																																																																																																											
3-4B1パワーセンタ	○	コインバータ室	1.4																																																																																																																																																																																																																											
3-4B2パワーセンタ	○	コインバータ室	1.3																																																																																																																																																																																																																											
4Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動盤	○	コインバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
4B計装用電源盤	△	コインバータ室	93.4	4B1、4B2計装用分電盤で閉路を発生「不要直流負荷切離しリスト」参照																																																																																																																																																																																																																										
4D計装用電源盤	×	中央制御室(B直流電圧監視負荷遮断停止操作盤)	93.4	4D計装用インバータにより必要な監視が可能のため不要「不要直流負荷切離しリスト」参照																																																																																																																																																																																																																										
4Bディーゼル発電機励磁機盤	○	コインバータ室	0.1																																																																																																																																																																																																																											
4Bディーゼル発電機制御盤	○	コインバータ室	2.2																																																																																																																																																																																																																											
試験箱	○	コインバータ室	0.0																																																																																																																																																																																																																											
4A直流電圧監視負荷遮断停止回路制御電源	○	コインバータ室	1.0																																																																																																																																																																																																																											
合計負荷電流			216.0																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																	
<p style="text-align: center;">比較対象は大飯3 / 4号炉の添付資料 1.14.14-(1)～(4)参照</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.14.9-(3)</p> <p style="text-align: center;">不要直流負荷切離しリスト (3/8)</p> <p>A-蓄電池（非常用）（1時間以内の切離し）</p> <table border="1" data-bbox="1093 295 1848 798"> <caption>A-直流コントロールセンタ</caption> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-補助燃焼室直流分電盤</td> <td>△</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>20.4</td> <td>A-補助燃焼室直流分電盤で切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>A-6.6kVメタクラ</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンA</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-計装用インバータ</td> <td>△</td> <td>中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>62.9</td> <td>A1、A2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>C-計装用インバータ</td> <td>×</td> <td>中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>0.0</td> <td>A-計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要。「不要直流負荷切離しリスト (6/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）</td> <td>×</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）</td> <td>×</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>D3共通電源</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンA</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>6.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A1-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A2-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)</td> <td>○</td> <td>A-安全補機制御室</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計負荷電流 (A)</td> <td>99.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p> <p>B-蓄電池（非常用）（1時間以内の切離し）</p> <table border="1" data-bbox="1093 885 1848 1412"> <caption>B-直流コントロールセンタ</caption> <thead> <tr> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷 (A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B-補助燃焼室直流分電盤</td> <td>△</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>13.2</td> <td>B-補助燃焼室直流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>B-6.6kVメタクラ</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンB</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-計装用インバータ</td> <td>△</td> <td>中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>46.8</td> <td>B1、B2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (7/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>D-計装用インバータ</td> <td>△</td> <td>中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)</td> <td>51.7</td> <td>D1、D2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (8/8)」参照。</td> </tr> <tr> <td>B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）</td> <td>×</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）</td> <td>×</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td>全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。</td> </tr> <tr> <td>D3共通電源</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンB</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B1-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B2-パワーコントロールセンタ</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-A設備直流電源分電盤</td> <td>—</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>0.0</td> <td>A系より給電</td> </tr> <tr> <td>津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)</td> <td>○</td> <td>B-安全補機制御室</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計負荷電流 (A)</td> <td>124.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NFB「入」確認 △：上流又は下流のNFBにて「切」 ×：NFB「切」または「切」確認</p>	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	A-補助燃焼室直流分電盤	△	A-安全補機制御室	20.4	A-補助燃焼室直流分電盤で切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。	A-6.6kVメタクラ	○	A-安全補機制御室	1.6		タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンA	○	A-安全補機制御室	2.4		A-計装用インバータ	△	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	62.9	A1、A2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。	C-計装用インバータ	×	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	0.0	A-計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要。「不要直流負荷切離しリスト (6/8)」参照。	A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	A-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	A-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	D3共通電源	○	A-安全補機制御室	0.0		補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンA	○	A-安全補機制御室	6.9		A1-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機制御室	0.1		A2-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機制御室	0.3		津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	A-安全補機制御室	4.5		合計負荷電流 (A)			99.1		用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考	B-補助燃焼室直流分電盤	△	B-安全補機制御室	13.2	B-補助燃焼室直流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。	B-6.6kVメタクラ	○	B-安全補機制御室	1.6		タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンB	○	B-安全補機制御室	2.4		B-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	46.8	B1、B2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (7/8)」参照。	D-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	51.7	D1、D2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (8/8)」参照。	B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	B-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	B-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。	D3共通電源	○	B-安全補機制御室	0.0		補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンB	○	B-安全補機制御室	3.5		B1-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機制御室	0.1		B2-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機制御室	0.2		B-A設備直流電源分電盤	—	B-安全補機制御室	0.0	A系より給電	津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	B-安全補機制御室	4.5		合計負荷電流 (A)			124.0		<p>【大飯】 設備の相違 ・大飯は、全交流動力電源喪失発生から1時間以内 に実施する直流負荷切離し 操作は、中央制御室のみ で実施可能。 ・泊は、中央制御室及び中 央制御室に隣接する安全 系計装盤室での操作を実 施する。(伊方と同様)</p>
	用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																														
A-補助燃焼室直流分電盤	△	A-安全補機制御室	20.4	A-補助燃焼室直流分電盤で切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。																																																																																																																																															
A-6.6kVメタクラ	○	A-安全補機制御室	1.6																																																																																																																																																
タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンA	○	A-安全補機制御室	2.4																																																																																																																																																
A-計装用インバータ	△	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	62.9	A1、A2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (5/8)」参照。																																																																																																																																															
C-計装用インバータ	×	中央制御室 (A-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	0.0	A-計装用インバータにより必要な監視が可能なため不要。「不要直流負荷切離しリスト (6/8)」参照。																																																																																																																																															
A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	A-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	A-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
D3共通電源	○	A-安全補機制御室	0.0																																																																																																																																																
補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンA	○	A-安全補機制御室	6.9																																																																																																																																																
A1-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機制御室	0.1																																																																																																																																																
A2-パワーコントロールセンタ	○	A-安全補機制御室	0.3																																																																																																																																																
津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	A-安全補機制御室	4.5																																																																																																																																																
合計負荷電流 (A)			99.1																																																																																																																																																
用途名称	給電対象	操作場所	負荷 (A)	備考																																																																																																																																															
B-補助燃焼室直流分電盤	△	B-安全補機制御室	13.2	B-補助燃焼室直流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (4/8)」参照。																																																																																																																																															
B-6.6kVメタクラ	○	B-安全補機制御室	1.6																																																																																																																																																
タービン駆動補助給水ポンプ起動盤 トレンB	○	B-安全補機制御室	2.4																																																																																																																																																
B-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	46.8	B1、B2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (7/8)」参照。																																																																																																																																															
D-計装用インバータ	△	中央制御室 (B-直流コントロールセンタ遠隔操作盤)	51.7	D1、D2-計装用交流分電盤にて切離しを実施。「不要直流負荷切離しリスト (8/8)」参照。																																																																																																																																															
B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	×	B-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	×	B-安全補機制御室	0.0	全交流動力電源喪失から8.5時間以内に切離し。																																																																																																																																															
D3共通電源	○	B-安全補機制御室	0.0																																																																																																																																																
補助給水ポンプ出口流量調節弁盤 トレンB	○	B-安全補機制御室	3.5																																																																																																																																																
B1-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機制御室	0.1																																																																																																																																																
B2-パワーコントロールセンタ	○	B-安全補機制御室	0.2																																																																																																																																																
B-A設備直流電源分電盤	—	B-安全補機制御室	0.0	A系より給電																																																																																																																																															
津波及び内部漏水事象制御盤 (地下排水設備)	○	B-安全補機制御室	4.5																																																																																																																																																
合計負荷電流 (A)			124.0																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	添付資料 1.14.9-(4)																																																																										
	不要直流負荷切離しリスト (4/8)																																																																										
	A-蓄電池（非常用）（8.5時間以内の切離し）	<p>【大飯】 運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、全交流動力電源喪失発生から8時間以降に実施する直流負荷切離し操作は、すべて計装用分電盤であるのに対し、泊は、直流分電盤においても実施する。(伊方と同様) 																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">A-補助建屋直流分電盤</td> <td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI)</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>0.68</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII)</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>0.68</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-電気式タービン保安装置分電盤</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-制御用空気圧縮機盤</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>0.96</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA 1</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA 2</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA 3</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンA 4</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>4.62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)</td> <td>○</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>6.16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-共通要因故障対策操作盤</td> <td>×</td> <td>A-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計負荷 (A)</td> <td>20.38</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NB「入」確認 △：上流又は下流のNBにて「切」 ×：NB「切」または「切」確認</p>		設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	A-補助建屋直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI)	○	A-安全補機閉器室	0.68		原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII)	○	A-安全補機閉器室	0.68		A-電気式タービン保安装置分電盤	○	A-安全補機閉器室	0.00		A-制御用空気圧縮機盤	○	A-安全補機閉器室	0.96		ゾレノイド分電盤トレンA 1	○	A-安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンA 2	○	A-安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンA 3	○	A-安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンA 4	○	A-安全補機閉器室	1.82		A-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)	○	A-安全補機閉器室	4.62		A-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)	○	A-安全補機閉器室	6.16		A-共通要因故障対策操作盤	×	A-安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。	合計負荷 (A)				20.38						
設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																						
A-補助建屋直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI)	○	A-安全補機閉器室	0.68																																																																							
	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII)	○	A-安全補機閉器室	0.68																																																																							
	A-電気式タービン保安装置分電盤	○	A-安全補機閉器室	0.00																																																																							
	A-制御用空気圧縮機盤	○	A-安全補機閉器室	0.96																																																																							
	ゾレノイド分電盤トレンA 1	○	A-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	ゾレノイド分電盤トレンA 2	○	A-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	ゾレノイド分電盤トレンA 3	○	A-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	ゾレノイド分電盤トレンA 4	○	A-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	A-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)	○	A-安全補機閉器室	4.62																																																																							
	A-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)	○	A-安全補機閉器室	6.16																																																																							
	A-共通要因故障対策操作盤	×	A-安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。																																																																						
	合計負荷 (A)				20.38																																																																						
		B-蓄電池（非常用）（8.5時間以内の切離し）																																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備名称</th> <th>用途名称</th> <th>給電対象</th> <th>操作場所</th> <th>負荷(A)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">B-補助建屋直流分電盤</td> <td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI)</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>原子炉が停止しているため不要。</td> </tr> <tr> <td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII)</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>原子炉が停止しているため不要。</td> </tr> <tr> <td>B-電気式タービン保安装置分電盤</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>タービンが停止しているため不要。</td> </tr> <tr> <td>B-制御用空気圧縮機盤</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB 1</td> <td>○</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB 2</td> <td>○</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB 3</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>ゾレノイド分電盤トレンB 4</td> <td>○</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>1.82</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)・2/3T(6T)用)</td> <td>○</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>4.62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)</td> <td>○</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>3.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-共通要因故障対策操作盤</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td>3号予備変圧器受電区分盤</td> <td>×</td> <td>B-安全補機閉器室</td> <td>0.00</td> <td>補機に期待しないため不要。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計負荷 (A)</td> <td>13.12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○：NB「入」確認 △：上流又は下流のNBにて「切」 ×：NB「切」または「切」確認</p>	設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考	B-補助建屋直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI)	×	B-安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII)	×	B-安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。	B-電気式タービン保安装置分電盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	タービンが停止しているため不要。	B-制御用空気圧縮機盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。	ゾレノイド分電盤トレンB 1	○	B-安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンB 2	○	B-安全補機閉器室	1.82		ゾレノイド分電盤トレンB 3	×	B-安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。	ゾレノイド分電盤トレンB 4	○	B-安全補機閉器室	1.82		B-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)・2/3T(6T)用)	○	B-安全補機閉器室	4.62		B-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)	○	B-安全補機閉器室	3.04		B-共通要因故障対策操作盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。	3号予備変圧器受電区分盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。	合計負荷 (A)				13.12		
設備名称	用途名称	給電対象	操作場所	負荷(A)	備考																																																																						
B-補助建屋直流分電盤	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI)	×	B-安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。																																																																						
	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII)	×	B-安全補機閉器室	0.00	原子炉が停止しているため不要。																																																																						
	B-電気式タービン保安装置分電盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	タービンが停止しているため不要。																																																																						
	B-制御用空気圧縮機盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。																																																																						
	ゾレノイド分電盤トレンB 1	○	B-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	ゾレノイド分電盤トレンB 2	○	B-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	ゾレノイド分電盤トレンB 3	×	B-安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。																																																																						
	ゾレノイド分電盤トレンB 4	○	B-安全補機閉器室	1.82																																																																							
	B-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)・2/3T(6T)用)	○	B-安全補機閉器室	4.62																																																																							
	B-AM設備直流電源分電盤 (3T(6T)用)	○	B-安全補機閉器室	3.04																																																																							
	B-共通要因故障対策操作盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	1時間以内の負荷切離しにおいて、中央制御室内の制御盤にて実施済。補機に期待しないため不要。																																																																						
	3号予備変圧器受電区分盤	×	B-安全補機閉器室	0.00	補機に期待しないため不要。																																																																						
	合計負荷 (A)				13.12																																																																						

比較対象なし

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため大飯3/4号炉の添付資料1.14.16-(1)を再掲】

不要直流負荷の切離リスト

項目	設備名称	用途名称	切離方法	備考
電源供給設備	送電用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)	手動切離	送電用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)の切離は、送電用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)の切離による。
	送電用交流分電盤(トランス)A2(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A2(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A3(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A3(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A4(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A4(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A5(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A5(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A6(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A6(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A7(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A7(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A8(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A8(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A9(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A9(1200V用)	手動切離	
	送電用交流分電盤(トランス)A10(1200V用)	送電用交流分電盤(トランス)A10(1200V用)	手動切離	
制御設備	制御用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A2(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A2(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A3(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A3(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A4(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A4(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A5(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A5(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A6(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A6(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A7(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A7(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A8(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A8(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A9(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A9(1200V用)	手動切離	
	制御用交流分電盤(トランス)A10(1200V用)	制御用交流分電盤(トランス)A10(1200V用)	手動切離	
計装設備	計装用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A1(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A2(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A2(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A3(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A3(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A4(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A4(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A5(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A5(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A6(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A6(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A7(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A7(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A8(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A8(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A9(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A9(1200V用)	手動切離	
	計装用交流分電盤(トランス)A10(1200V用)	計装用交流分電盤(トランス)A10(1200V用)	手動切離	

不要直流負荷切離しリスト (5/8)
 A-蓄電池 (非常用) (8.5時間以内の切離し)

泊発電所3号炉


添付資料1.14.9-(5)

設備名称	用途名称	切離方法	操作場所	負荷 (VA)	備考
A 1-計装用交流分電盤	A 1-制御用分電盤(下部用)	×	A-安全補機用分電盤	0.0	黒字印が停止しているため不要。
	A 2-新南川地帯用分電盤(上部用)	×	A-安全補機用分電盤	0.0	黒字印が停止しているため不要。
	A 1-1次高圧材ポンプ用分電盤	×	A-安全補機用分電盤	0.0	黒字印が停止しているため不要。
	A-原子炉安全保護装置(チャネル1)	○	A-安全補機用分電盤	118.9	補機に期待しないため不要。
	A-ディゼル発電機用分電盤	×	A-安全補機用分電盤	0.0	補機に期待しないため不要。
	A-2次側用分電盤	×	A-安全補機用分電盤	0.0	補機に期待しないため不要。
	A-電気式タービン保安装置分電盤	×	A-安全補機用分電盤	0.0	タービンが停止しているため不要。
	A-直流コントロールセンタ	○	A-安全補機用分電盤	6.0	
	A-6.0kVメタタカ	○	A-安全補機用分電盤	3.0	
	A 1-計装用交流分電盤電圧計	○	A-安全補機用分電盤	—	
A 2-計装用交流分電盤	AM設備計装用電源切離装置	○	A-安全補機用分電盤	1317.1	
	黒字印安全保護装置(チャネル1)	○	A-安全補機用分電盤	3243.4	
	黒字印安全保護装置(チャネル1)	○	A-安全補機用分電盤	71.1	
	工学的安全保護装置(トレンA)	○	A-安全補機用分電盤	1430.1	
	安全保護装置(トレンA)	○	A-安全補機用分電盤	1500.0	
	安全保護装置(トレンA、グループ1) [1系]	×	A-安全補機用分電盤	0.0	関連補機停止しており、当該機に期待しないため不要。
	安全保護装置(トレンA、グループ2) [1系]	×	A-安全補機用分電盤	0.0	関連補機停止しており、当該機に期待しないため不要。
	安全保護装置(トレンA、グループ3) [1系]	×	A-安全補機用分電盤	0.0	関連補機停止しており、当該機に期待しないため不要。
	安全保護装置(トレンA、グループ4) [1系]	○	A-安全補機用分電盤	372.7	
	安全保護装置(トレンA)	○	A-安全補機用分電盤	456.9	
安全保護装置(トレンA)	○	A-安全補機用分電盤	456.9		
安全保護装置(トレンA)	×	A-安全補機用分電盤	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	
安全保護装置(トレンA)	×	A-安全補機用分電盤	0.0	運転コンソールにて監視操作可能のため不要。	
A 1-計装用交流分電盤電圧計	○	A-安全補機用分電盤	—		
合計(非常用 (VA))				8976.1	
合計(非常用 (VA))				62.9	

相違理由
【大飯】
 運用の相違
 ・切離し対象負荷に差異があるが、不要な負荷を選定している点については同じである。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.15</p> <p>不要直流負荷②切離し操作</p> <p>【不要直流負荷②切離し】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、長期間の電源喪失に備えるため、直流電源の延命処置として、現地にて不要直流電源負荷切離しを行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名／ユニット 操作時間（想定）：15分 操作時間（実績）：14分（移動含む）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト・懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等であり、また、運転員はヘッドライト・懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：通常時の通信手段としてPHSを携行しており連続通話で約6時間使用可能である。また、使用できない場合は携行型通話装置を使用し中央制御室と連絡を行う。</p> <div style="text-align: center;">  <p>不要直流負荷②切離し操作 （インバータ室）</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.9 参照</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

不図面記載者の抄録リスト

注1

項目	項目名	項目内容	備考
大口供給設備	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
送電設備	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備

項目	項目名	項目内容	備考
大口供給設備	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
送電設備	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備
	送電設備	送電設備	送電設備

添付資料 1.14.16-(1)

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.9 参照

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

不要箇条記載の省略し方

13号

項目	対象設備	備考	相違点	備考
炉内機器設備	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
炉外機器設備	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室

項目	対象設備	備考	相違点	備考
炉内機器設備	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
炉外機器設備	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室
	燃焼室	燃焼室	燃焼室	燃焼室

添付資料 1.14.16-(2)

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.9 参照

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

本要旨を基幹的記載し、

項目	項目名	項目内容	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考
設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備
		設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備	設備

添付資料 1.14.16-(4)

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料 1.14.9 参照

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.17-(1)</p> <p>可搬式整流器による直流電源からの給電</p> <p>【可搬式整流器による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 可搬式整流器は、全交流動力電源喪失時に蓄電池（安全防護系）の電圧が低下する前まで（24時間以内）に、蓄電池（安全防護系）に代わり電源車と組み合わせて直流電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：1名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：25分 操作時間（実績）：20分</p> <p>[受電（電源）操作] 必要要員数：1名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：5分 操作時間（実績）：3分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、充電器室付近に携行型通話装置を敷設することにより、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.10-(1)</p> <p>可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>【可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器による直流母線の受電操作】</p> <p>1. 操作概要 全交流動力電源喪失時、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池によるA直流母線及びB直流母線の受電ができない場合に、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器の起動完了後、遮断器操作によりA直流母線及びB直流母線を受電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 [受電準備] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：20分 操作時間（訓練実績等）：15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>[受電操作] 必要要員数：1名 操作時間（想定）：15分 操作時間（訓練実績等）：11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常運転時に行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川審査実績の反映）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉		相違理由
 <p data-bbox="479 424 618 475">直流電源受電操作 (充電器室)</p>	 <p data-bbox="1099 459 1402 536">不要直流負荷切離し操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p>	 <p data-bbox="1491 459 1832 563">可搬型直流電源用発電機及び 可搬型直流変換器による受電操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.17-(2)</p> <p>【可搬式整流器による受電操作】</p> <p>1. 操作概要 可搬式整流器は、全交流動力電源喪失時に蓄電池（安全防護系）の電圧が低下する前まで（24時間以内）に、蓄電池（安全防護系）に代わり電源車と組み合わせて、直流電源を給電する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット（現場） 操作時間（想定）：90分 操作時間（実績）：50分</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：アクセスルートに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。</p> <p>操作性：可搬式整流器の電源ケーブルの接続は、交流接続元（充電器盤）が端子接続、直流接続元（直流き電盤）も端子接続となっているため、確実に接続操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置にて、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.10-(2)</p> <p>【可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器のケーブル敷設及び接続】</p> <p>1. 作業概要 全交流動力電源喪失時、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池によるA直流母線及びB直流母線の受電ができない場合に、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器のケーブル敷設及び接続を実施する。</p> <p>2. 作業場所 屋外 T.P. 31.0m 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名 作業時間（想定）：175分 作業時間（訓練実績等）：140分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 可搬型直流電源用発電機の設置場所及びケーブル敷設場所は作業を行う上で支障となる設備は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、夜間や事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：ケーブルの接続先は端子にしていることから、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置、無線連絡設備（携帯型）又は衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・大飯の可搬式整流器接続作業は、屋内作業であるのに対し、泊の可搬型直流電源用発電機接続は屋内及び屋外作業である。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(入力)出力ケーブル接続</p>  <p>(充電器入力開閉器1次側へ接続)</p>   <p>(直流電源用発電機2次側へ接続)</p>    <p>可搬式整流器の運搬 (安全補機開閉器室)</p> <p>可搬式整流器へのケーブル接続 (安全補機開閉器室)</p> <p>電源ケーブル接続</p>	 <p>可搬型直流電源用発電機ケーブル接続 (屋外 T.P. 31m)</p>  <p>可搬型直流電源用発電機ケーブル敷設 (屋外 T.P. 31m)</p>  <p>可搬型直流変換器 直流出力ケーブル敷設作業 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m)</p>  <p>可搬型直流変換器 直流出力ケーブル接続作業 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m)</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.18-(1)</p> <p>代替所内電気設備による電源からの給電</p> <p>【代替所内電気設備による受電系統構成作業／受電操作（空冷式非常用発電装置）】</p> <p>1 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：3名/ユニット（緊急安全対策要員2名、運転員等（現場）1名） 1名/ユニット（運転員等（中央制御室））</p> <p>操作時間（模擬）：約2時間以内（交流給電開始） 操作時間（模擬）：約3.8時間以内（直流給電開始）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.11-(1)</p> <p>代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電</p> <p>【代替非常用発電機による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電系統構成作業／給電操作】</p> <p>1. 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、代替非常用発電機による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電の際、給電系統構成を行い、その後、代替非常用発電機を起動し、給電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10, 3m, T.P. 17. 8m 屋外T.P. 31m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>(1) 災害対策要員</p> <p>【系統構成】</p> <p>必要要員数 : 2名</p> <p>作業時間（想定） : 115分 作業時間（訓練実績等） : 96分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（1次系設備）】</p> <p>必要要員数 : 2名 作業時間（想定） : 90分 作業時間（訓練実績等） : 69分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員</p> <p>【系統構成】</p> <p>必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 30分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替非常用発電機起動】</p> <p>必要要員数 : 2名 操作時間（想定） : 20分 操作時間（訓練実績等） : 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（2次系設備, 1次系設備）】</p> <p>必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 70分 操作時間（訓練実績等） : 57分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・大飯は、系統構成及び空冷式非常用発電装置起動に関わる内容をまとめて記載している。</p> <p>・泊は、系統構成及び代替非常用発電機起動等の操作を災害対策要員と運転員で実施していることから、それぞれ分けて記載している。給電までの一連の作業内容及び操作内容は大飯と同様。</p> <p>【大飯】 設備の相違(相違理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 操作の成立性</p> <p>アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。</p> <p>作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作場所及び受電系統構成作業等を行う場所は、作業を行う上で支障となる設備等はなく、作業は実施可能である。</p> <p>操作性：受電系統切替箇所はコネクタ化されていること及び、電源切替箇所はNFB操作であることから、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="241 624 533 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>設備未設置のため 写真なし</p> </div> <div data-bbox="582 624 853 786" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>設備未設置のため 写真なし</p> </div> </div>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：通常行うNFB操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1128 624 1388 963" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1451 687 1814 900" style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1115 978 1397 1075" style="text-align: center;"> <p>代替所内電気設備対象負荷の 切替・給電操作 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div data-bbox="1485 978 1776 1053" style="text-align: center;"> <p>代替所内電気設備対象負荷の 切替・給電操作 (原子炉補助建屋 T. P. 17. 8m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】設備の相違 ・大飯の受電系統切替箇所は、コネクタ化されている。</p> <p>・泊の受電系統切替は、通常行うNFB操作により可能。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.18-(2)</p> <p>代替所内電気設備による電源からの給電</p> <p>【代替所内電気設備による受電系統構成作業／受電操作（電源車）】</p> <p>1 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、必要な負荷へ電源を給電する。</p> <p>2 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：3名/ユニット（緊急安全対策要員2名、運転員等（現場）1名） 2名/ユニット（緊急安全対策要員） 操作時間（模擬）：約2.2時間以内（交流給電開始） 操作時間（模擬）：約4時間以内（直流給電開始）</p> <p>3 操作の成立性 アクセス性：屋外作業時のアクセス性は、夜間においてもヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから問題ない。屋内作業時のアクセスについてもルート上に設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：屋内作業場所の室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作場所及</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.11-(2)</p> <p>【可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電系統構成作業／給電操作】</p> <p>1. 操作概要 所内電気設備2系統が同時機能喪失した場合に、可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備給電の際、給電系統構成を行い、その後、可搬型代替電源車を起動し、給電する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m 屋外 T.P. 31.0m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>(1) 災害対策要員 【系統構成、ケーブル敷設、接続及び可搬型代替電源車起動】 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 310分 作業時間（訓練実績等） : 263分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（1次系設備）】 必要要員数 : 3名 作業時間（想定） : 70分 作業時間（訓練実績等） : 52分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員 【系統構成】 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 30分 操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【代替所内電気設備対象負荷の切替・給電（2次系設備、1次系設備）】 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 70分 操作時間（訓練実績等） : 59分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、夜間や事故環境下においても作業可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川実績の反映) ・大飯は、系統構成及び電源車起動に関わる内容をまとめて記載している。 ・泊は、系統構成及び電源車起動等の作業又は操作を災害対策要員と運転員で実施していることから、それぞれ分けて記載している。給電までの一連の作業内容及び操作内容は大飯と同様。</p> <p>【大飯】 設備の相違(相違理由③)</p>






赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>び受電系統構成作業等を行う場所は、作業を行う上で支障となる設備等はなく、作業は実施可能である。</p> <p>操作性：受電系統切替箇所はコネクタ化されていること及び、電源切替箇所はNFB操作であることから、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置により、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="241 448 533 611" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 設備未設置のため 写真なし </div> <div data-bbox="577 448 853 611" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 設備未設置のため 写真なし </div> </div>	<p>操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>操作性：通常行うNFB操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置、無線連絡設備（携帯型）及び衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1128 421 1386 764">  </div> <div data-bbox="1447 488 1809 700">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1117 778 1397 874" style="text-align: center;"> 代替所内電気設備対象負荷の 切替・給電操作 （安全補機開閉器室） （原子炉補助建屋T.P. 10. 3m） </div> <div data-bbox="1485 778 1771 850" style="text-align: center;"> 代替所内電気設備対象負荷の 切替・給電操作 （原子炉補助建屋 T. P. 17. 8m） </div> </div>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】設備の相違 ・大飯の受電系統切替箇所は、コネクタ化されている。 ・泊の受電系統切替は、通常行うNFB操作により可能。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ホースの接続はコネクタ式となっている、また電源車への燃料ホースはタンクローリーに常時接続されたものを使用するため、容易かつ確実に接続操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>タンクローリーへの燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>空冷式非常用発電装置への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>タンクローリーより燃料ホース引出し (防護具着用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電源車への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> </div>	<p>ホース接続は継手接続式となっているため、容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）及び衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に発電所対策本部へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>可搬型タンクローリーへのホース接続(継手接続式) (屋外 T.P31m)</p> </div>	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は、可搬型タンクローリーから空冷式発電装置等へ燃料補給する際のホース接続作業の容易性を記載。 ・泊はディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへ燃料補給する際のホース接続作業の容易性を記載。代替非常用発電機等へ燃料補給する際のホース接続作業に関する内容は、「添付資料 1.14.13」にて整理する。記載方針としては、女川と同様。 <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 774 674 826" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.12-(2)</p> <p>【ディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより補給する場合】</p> <p>1. 操作概要 可搬型タンクローリー給油ポンプによるディーゼル発電機燃料油貯油槽からの燃料補給ができない場合に、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを使用して可搬型タンクローリーへ燃料補給を行うため、ホース接続、敷設、系統構成及びディーゼル発電機燃料油移送ポンプの起動・停止操作を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 災害対策要員 【ホース接続、敷設】 必要要員数 : 2名 操作時間（想定） : 40分※ ※今後の検討により変更となる可能性がある。</p> <p>(2) 運転員 【系統構成、ポンプ受電準備、ポンプ起動】 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 60分 操作時間（訓練実績等） : 42分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>【ポンプ停止】 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 5分 操作時間（訓練実績等） : 1分</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：ホース接続は継手接続式であり、容易に接続可能である。 弁操作及び遮断器操作にあたっては通常行う操作と同じであり、容易かつ確実に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑩)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1151 156 1391 336" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1272 347 1666 416" style="text-align: center;"> <p>ホース接続(継手接続式)及びホース敷設 (ディーゼル発電機燃料油サービスタンク室) (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div> <div data-bbox="1559 156 1798 336" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1140 427 1391 608" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1115 624 1413 692" style="text-align: center;"> <p>燃料補給系統構成 (ディーゼル発電機室) (ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m)</p> </div> <div data-bbox="1559 427 1798 608" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1503 624 1868 715" style="text-align: center;"> <p>燃料補給系統構成 (ディーゼル発電機燃料油サービスタンク室) (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p> </div> <div data-bbox="1151 726 1391 906" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1106 916 1424 1007" style="text-align: center;"> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 受電準備 (安全補機開閉器室) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p> </div> <div data-bbox="1559 726 1798 906" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1518 916 1836 1007" style="text-align: center;"> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 起動操作 (ディーゼル発電機制御盤室) (周辺補機棟 T.P. 10.3m)</p> </div>	

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.14.12-(3)</p> <p>【燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリー給油ポンプにより補給する場合】</p> <p>1. 操作概要 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプによるディーゼル発電機燃料油貯油槽からの燃料補給ができない場合に、燃料タンク (SA) から可搬型タンクローリーへ燃料の補給を行う。</p> <p>2. 操作場所 屋外 (燃料タンク (SA) 付近)</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 2名 操作時間 (想定) : 120分 操作時間 (訓練実績等) : 96分* (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。) ※: 今後の検討により変更となる可能性がある。</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: 夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備等は無い。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行することとしており作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具 (全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 操作性: 可搬型タンクローリー及びホースは容易に移動でき、可搬型タンクローリーへのホース接続は継手接続式となっているため、容易かつ確実に接続可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備 (携帯型) 及び衛星電話設備 (携帯型) を携帯しており、確実に発電所対策本部へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1288 1050 1653 1257" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型タンクローリーへのホース接続 (継手接続式) (屋外 T.P31m)</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：タンクローリー及び燃料ホースは容易に移動でき、空冷式非常用発電装置への燃料ホースの接続はコネクタ式となっている、また電源車への燃料ホースはタンクローリーに常時接続されたものを使用するため、容易かつ確実に接続操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置及び衛星携帯電話にて、確実に連絡可能である。</p>	<p>作業性：可搬型タンクローリー及びホースは容易に移動でき、代替非常用発電機及び可搬型代替電源車へのホース接続はクイックカプラ式となっている。また可搬型直流電源用発電機等へのホースは可搬型タンクローリーに常時接続されたものを使用するため、容易かつ確実に接続可能である。燃料補給については、一般車両への燃料補給と同等であるため容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）及び衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に発電所対策本部へ連絡することが可能である。</p>	<p>・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <p>・泊は燃料補給の容易性を記載。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="123 148 969 363"> </div> <div data-bbox="185 371 342 448"> <p>タンクローリーへの 燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div data-bbox="479 384 607 435"> <p>燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div data-bbox="723 371 931 448"> <p>空冷式非常用発電装置への 燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div> <div data-bbox="230 459 470 646"> </div> <div data-bbox="201 667 495 719"> <p>タンクローリーより燃料ホース引出し (防護具着用)</p> </div> <div data-bbox="678 456 934 651"> </div> <div data-bbox="698 667 911 719"> <p>電源車への燃料ホース接続 (防護具着用)</p> </div>	<div data-bbox="1243 180 1760 379"> </div> <div data-bbox="1303 387 1630 435"> <p>可搬型タンクローリーホース引出し (屋外 T.P. 31m)</p> </div> <div data-bbox="1243 456 1391 639"> </div> <div data-bbox="1169 647 1462 743"> <p>代替非常用発電機の給油口への 接続 (クイックカブラ式) (代替非常用発電機) (屋外 T.P. 31m)</p> </div> <div data-bbox="1541 456 1688 639"> </div> <div data-bbox="1469 647 1762 743"> <p>可搬型代替電源車の給油口への 接続 (クイックカブラ式) (可搬型代替電源車) (屋外 T.P. 31m)</p> </div> <div data-bbox="1243 778 1384 959"> </div> <div data-bbox="1191 967 1440 1062"> <p>可搬型直流電源用発電機 給油口 (可搬型直流電源用発電機) (屋外 T.P. 31m)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>【女川2号炉の添付資料1.14.3を掲載】</p>	<p>添付資料1.14.14-(1)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト</p>	<p>代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト (1/3)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>自動起動防止対象負荷リスト</p>	<p>自動起動防止対象負荷リスト</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>自動起動防止措置又は切離しのタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="17">中央制御室</td> <td>M/C 20</td> <td>燃料油のサブドレインポンプ</td> <td>1000.0</td> <td rowspan="17">非常用母線受電前^{※1}</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>燃費熱除去ポンプ(A)</td> <td>540.0</td> </tr> <tr> <td>F/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>F/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(C)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>330.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(A)</td> <td>350.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>燃費熱除去ポンプ(B)</td> <td>540.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>燃費熱除去ポンプ(C)</td> <td>540.0</td> </tr> <tr> <td>F/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>F/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>235.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ(D)</td> <td>420.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>330.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(B)</td> <td>350.0</td> </tr> <tr> <td>M/C 20</td> <td>タービン補機冷却水ポンプ(G)</td> <td>350.0</td> </tr> </tbody> </table>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング	中央制御室	M/C 20	燃料油のサブドレインポンプ	1000.0	非常用母線受電前 ^{※1}	M/C 20	燃費熱除去ポンプ(A)	540.0	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0	M/C 20	燃費熱除去ポンプ(B)	540.0	M/C 20	燃費熱除去ポンプ(C)	540.0	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(G)	350.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>操作要処置又は電源処置のタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A-MC</td><td>A-充電ポンプ</td><td>680.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>B1-充電ポンプ</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>A-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>310.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>B-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>310.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>A-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>290.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>B-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>290.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>A-格納容器スプレイポンプ</td><td>750.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>A-高圧注入ポンプ</td><td>1170.0</td><td></td></tr> <tr><td>A-MC</td><td>A-電動補助給水ポンプ</td><td>400.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A1-加圧器後備ヒータ</td><td>270.0</td><td></td></tr> <tr><td>A2-PCC</td><td>A2-加圧器後備ヒータ</td><td>215.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-空調用冷凍機</td><td>136.0</td><td></td></tr> <tr><td>A2-PCC</td><td>B-空調用冷凍機</td><td>136.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-余熱除去ポンプ</td><td>290.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-使用済燃料ピットポンプ</td><td>160.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-安全補機閉閉器室給気ファン</td><td>185.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-格納容器再循環ファン</td><td>185.0</td><td></td></tr> <tr><td>A2-PCC</td><td>B-格納容器再循環ファン</td><td>185.0</td><td></td></tr> <tr><td>A2-PCC</td><td>A-制御棒駆動装置冷却ファン</td><td>132.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-軸受冷却水ポンプ</td><td>250.0</td><td></td></tr> <tr><td>A2-PCC</td><td>A-制御用空気圧縮機</td><td>150.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-PCC</td><td>A-2次系補給水ポンプ</td><td>110.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-RCC</td><td>A-中央制御室給気ファン</td><td>22.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-RCC</td><td>A-中央制御室循環ファン</td><td>15.0</td><td></td></tr> <tr><td>A1-RCC</td><td>A-中央制御室非常用循環ファン</td><td>5.5</td><td></td></tr> <tr><td>A1-RCC</td><td>A-中央制御室非常用循環ファン用電気ヒータ</td><td>12.5</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>B2-充電ポンプ</td><td>680.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>C-充電ポンプ</td><td>680.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>310.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>310.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>290.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td><td>290.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>B-格納容器スプレイポンプ</td><td>750.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>B-高圧注入ポンプ</td><td>1170.0</td><td></td></tr> <tr><td>B-MC</td><td>B-電動補助給水ポンプ</td><td>400.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>B1-加圧器後備ヒータ</td><td>270.0</td><td></td></tr> <tr><td>B2-PCC</td><td>B2-加圧器後備ヒータ</td><td>215.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>C-空調用冷凍機</td><td>136.0</td><td></td></tr> <tr><td>B2-PCC</td><td>D-空調用冷凍機</td><td>136.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>B-余熱除去ポンプ</td><td>290.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>B-使用済燃料ピットポンプ</td><td>160.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>B-安全補機閉閉器室給気ファン</td><td>185.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>C-格納容器再循環ファン</td><td>185.0</td><td></td></tr> <tr><td>B2-PCC</td><td>D-格納容器再循環ファン</td><td>185.0</td><td></td></tr> <tr><td>B2-PCC</td><td>B-制御棒駆動装置冷却ファン</td><td>132.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-PCC</td><td>B-軸受冷却水ポンプ</td><td>250.0</td><td></td></tr> <tr><td>B2-PCC</td><td>B-制御用空気圧縮機</td><td>150.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-RCC</td><td>B-中央制御室給気ファン</td><td>22.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-RCC</td><td>B-中央制御室循環ファン</td><td>15.0</td><td></td></tr> <tr><td>B1-RCC</td><td>B-中央制御室非常用循環ファン</td><td>5.5</td><td></td></tr> <tr><td>B1-RCC</td><td>B-中央制御室非常用循環ファン用電気ヒータ</td><td>12.5</td><td></td></tr> <tr><td>B2-RCC</td><td>B-エアニューラス空気浄化ファン</td><td>37.0</td><td></td></tr> <tr><td>B2-RCC</td><td>B-エアニューラス空気浄化フィルタ用電気ヒータ</td><td>44.0</td><td></td></tr> </tbody> </table>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作要処置又は電源処置のタイミング	A-MC	A-充電ポンプ	680.0		A-MC	B1-充電ポンプ	—		A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0		A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0		A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0		A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0		A-MC	A-格納容器スプレイポンプ	750.0		A-MC	A-高圧注入ポンプ	1170.0		A-MC	A-電動補助給水ポンプ	400.0		A1-PCC	A1-加圧器後備ヒータ	270.0		A2-PCC	A2-加圧器後備ヒータ	215.0		A1-PCC	A-空調用冷凍機	136.0		A2-PCC	B-空調用冷凍機	136.0		A1-PCC	A-余熱除去ポンプ	290.0		A1-PCC	A-使用済燃料ピットポンプ	160.0		A1-PCC	A-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0		A1-PCC	A-格納容器再循環ファン	185.0		A2-PCC	B-格納容器再循環ファン	185.0		A2-PCC	A-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0		A1-PCC	A-軸受冷却水ポンプ	250.0		A2-PCC	A-制御用空気圧縮機	150.0		A1-PCC	A-2次系補給水ポンプ	110.0		A1-RCC	A-中央制御室給気ファン	22.0		A1-RCC	A-中央制御室循環ファン	15.0		A1-RCC	A-中央制御室非常用循環ファン	5.5		A1-RCC	A-中央制御室非常用循環ファン用電気ヒータ	12.5		B-MC	B2-充電ポンプ	680.0		B-MC	C-充電ポンプ	680.0		B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0		B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0		B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0		B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0		B-MC	B-格納容器スプレイポンプ	750.0		B-MC	B-高圧注入ポンプ	1170.0		B-MC	B-電動補助給水ポンプ	400.0		B1-PCC	B1-加圧器後備ヒータ	270.0		B2-PCC	B2-加圧器後備ヒータ	215.0		B1-PCC	C-空調用冷凍機	136.0		B2-PCC	D-空調用冷凍機	136.0		B1-PCC	B-余熱除去ポンプ	290.0		B1-PCC	B-使用済燃料ピットポンプ	160.0		B1-PCC	B-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0		B1-PCC	C-格納容器再循環ファン	185.0		B2-PCC	D-格納容器再循環ファン	185.0		B2-PCC	B-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0		B1-PCC	B-軸受冷却水ポンプ	250.0		B2-PCC	B-制御用空気圧縮機	150.0		B1-RCC	B-中央制御室給気ファン	22.0		B1-RCC	B-中央制御室循環ファン	15.0		B1-RCC	B-中央制御室非常用循環ファン	5.5		B1-RCC	B-中央制御室非常用循環ファン用電気ヒータ	12.5		B2-RCC	B-エアニューラス空気浄化ファン	37.0		B2-RCC	B-エアニューラス空気浄化フィルタ用電気ヒータ	44.0																																																																																																																																																																																																																																																																					
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
中央制御室	M/C 20	燃料油のサブドレインポンプ	1000.0	非常用母線受電前 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	燃費熱除去ポンプ(A)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	燃費熱除去ポンプ(B)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	燃費熱除去ポンプ(C)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(G)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作要処置又は電源処置のタイミング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
A-MC	A-充電ポンプ	680.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	B1-充電ポンプ	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	A-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	B-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	A-格納容器スプレイポンプ	750.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	A-高圧注入ポンプ	1170.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A-MC	A-電動補助給水ポンプ	400.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A1-加圧器後備ヒータ	270.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A2-PCC	A2-加圧器後備ヒータ	215.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A2-PCC	B-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-余熱除去ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-使用済燃料ピットポンプ	160.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A2-PCC	B-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A2-PCC	A-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-軸受冷却水ポンプ	250.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A2-PCC	A-制御用空気圧縮機	150.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-PCC	A-2次系補給水ポンプ	110.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-RCC	A-中央制御室給気ファン	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-RCC	A-中央制御室循環ファン	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-RCC	A-中央制御室非常用循環ファン	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
A1-RCC	A-中央制御室非常用循環ファン用電気ヒータ	12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	B2-充電ポンプ	680.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	C-充電ポンプ	680.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	310.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	C-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	D-原子炉補機冷却水ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	B-格納容器スプレイポンプ	750.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	B-高圧注入ポンプ	1170.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B-MC	B-電動補助給水ポンプ	400.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	B1-加圧器後備ヒータ	270.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-PCC	B2-加圧器後備ヒータ	215.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	C-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-PCC	D-空調用冷凍機	136.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	B-余熱除去ポンプ	290.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	B-使用済燃料ピットポンプ	160.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	B-安全補機閉閉器室給気ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	C-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-PCC	D-格納容器再循環ファン	185.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-PCC	B-制御棒駆動装置冷却ファン	132.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-PCC	B-軸受冷却水ポンプ	250.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-PCC	B-制御用空気圧縮機	150.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-RCC	B-中央制御室給気ファン	22.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-RCC	B-中央制御室循環ファン	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-RCC	B-中央制御室非常用循環ファン	5.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B1-RCC	B-中央制御室非常用循環ファン用電気ヒータ	12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-RCC	B-エアニューラス空気浄化ファン	37.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
B2-RCC	B-エアニューラス空気浄化フィルタ用電気ヒータ	44.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動によりガスタービン発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>切離し対象負荷リスト</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>自動起動防止措置又は切離しのタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>SPCP(B)補助給水ポンプ</td><td>3.7</td><td rowspan="25">自動対応終了後^{※2}</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>給水ポンプ(B)補助給水ポンプ</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>SPCP(A)補助給水ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>グラント蒸気排熱機(B)</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>新(軸受)ジャッキダポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>新(軸受)ジャッキダポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(A)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(B)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(C)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(D)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(E)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(F)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(G)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(H)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(I)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(J)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(K)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(L)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(M)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(N)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(O)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(P)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(Q)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(R)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(S)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(T)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(U)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(V)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(W)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(X)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(Y)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(Z)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(1)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(2)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(3)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(4)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(5)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(6)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(7)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(8)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(9)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(10)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(11)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(12)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(13)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(14)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(15)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(16)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(17)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(18)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(19)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(20)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(21)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(22)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(23)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(24)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(25)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(26)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(27)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(28)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(29)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(30)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(31)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(32)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(33)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(34)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(35)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(36)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(37)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(38)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(39)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(40)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(41)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(42)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(43)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(44)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(45)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(46)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(47)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(48)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(49)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(50)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(51)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(52)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(53)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(54)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(55)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(56)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(57)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(58)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(59)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(60)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(61)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(62)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(63)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(64)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(65)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(66)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(67)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(68)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(69)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(70)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(71)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(72)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(73)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(74)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(75)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(76)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(77)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(78)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(79)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(80)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(81)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(82)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(83)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(84)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(85)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(86)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(87)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(88)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(89)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(90)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(91)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(92)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(93)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(94)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(95)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(96)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(97)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(98)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(99)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>中央制御室</td><td>1号機 M/C 20-2</td><td>燃費熱除去ポンプ(100)</td><td>540.0</td></tr> </tbody> </table>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング	中央制御室	1号機 M/C 20-2	SPCP(B)補助給水ポンプ	3.7	自動対応終了後 ^{※2}	中央制御室	1号機 M/C 20-2	給水ポンプ(B)補助給水ポンプ	3.5	中央制御室	1号機 M/C 20-2	SPCP(A)補助給水ポンプ	3.7	中央制御室	1号機 M/C 20-2	グラント蒸気排熱機(B)	15.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	新(軸受)ジャッキダポンプ	3.7	中央制御室	1号機 M/C 20-2	新(軸受)ジャッキダポンプ	3.7	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(A)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(B)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(C)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(D)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(E)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(F)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(G)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(H)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(I)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(J)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(K)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(L)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(M)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(N)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(O)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(P)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(Q)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(R)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(S)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(T)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(U)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(V)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(W)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(X)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(Y)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(Z)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(1)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(2)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(3)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(4)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(5)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(6)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(7)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(8)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(9)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(10)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(11)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(12)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(13)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(14)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(15)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(16)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(17)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(18)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(19)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(20)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(21)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(22)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(23)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(24)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(25)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(26)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(27)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(28)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(29)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(30)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(31)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(32)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(33)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(34)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(35)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(36)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(37)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(38)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(39)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(40)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(41)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(42)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(43)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(44)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(45)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(46)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(47)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(48)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(49)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(50)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(51)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(52)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(53)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(54)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(55)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(56)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(57)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(58)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(59)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(60)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(61)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(62)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(63)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(64)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(65)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(66)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(67)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(68)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(69)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(70)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(71)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(72)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(73)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(74)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(75)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(76)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(77)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(78)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(79)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(80)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(81)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(82)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(83)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(84)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(85)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(86)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(87)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(88)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(89)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(90)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(91)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(92)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(93)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(94)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(95)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(96)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(97)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(98)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(99)	540.0	中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(100)	540.0	<p>※2 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動により代替非常用発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施</p>	
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
中央制御室	1号機 M/C 20-2	SPCP(B)補助給水ポンプ	3.7	自動対応終了後 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
中央制御室	1号機 M/C 20-2	給水ポンプ(B)補助給水ポンプ	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	SPCP(A)補助給水ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	グラント蒸気排熱機(B)	15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	新(軸受)ジャッキダポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	新(軸受)ジャッキダポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(A)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(B)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(C)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(D)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(E)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(F)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(G)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(H)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(I)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(J)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(K)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(L)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(M)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(N)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(O)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(P)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(Q)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(R)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(S)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(T)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(U)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(V)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(W)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(X)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(Y)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(Z)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(1)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(2)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(3)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(4)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(5)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(6)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(7)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(8)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(9)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(10)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(11)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(12)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(13)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(14)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(15)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(16)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(17)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(18)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(19)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(20)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(21)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(22)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(23)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(24)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(25)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(26)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(27)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(28)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(29)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(30)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(31)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(32)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(33)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(34)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(35)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(36)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(37)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(38)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(39)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(40)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(41)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(42)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(43)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(44)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(45)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(46)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(47)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(48)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(49)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(50)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(51)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(52)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(53)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(54)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(55)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(56)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(57)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(58)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(59)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(60)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(61)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(62)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(63)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(64)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(65)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(66)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(67)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(68)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(69)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(70)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(71)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(72)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(73)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(74)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(75)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(76)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(77)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(78)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(79)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(80)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(81)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(82)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(83)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(84)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(85)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(86)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(87)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(88)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(89)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(90)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(91)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(92)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(93)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(94)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(95)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(96)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(97)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(98)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(99)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
中央制御室	1号機 M/C 20-2	燃費熱除去ポンプ(100)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>※2 有効性評価（資源の評価）では事象発生1時間後まで運転を行う評価としている</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>※3 有効性評価（資源の評価）では事象発生27時間後まで運転を行う評価としている</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		<p>【女川】 設備の相違による対象負荷の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>・代替非常用発電機による非常用高圧母線受電時の自動起動防止処置対象負荷をリスト化し記載。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】

ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト
 自動起動防止対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング
中央制御室	M/C 20	原圧部のスプレッドポンプ	1200.0	非常用母線受電前※1
	M/C 20	炉内冷却スプレッドポンプ(A)	540.0	
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0	
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0	
	M/C 20	炉内冷却スプレッドポンプ(B)	540.0	
	M/C 20	炉内冷却スプレッドポンプ(C)	540.0	
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	
	F/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0	
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	330.0	
M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0		
M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(D)	330.0		

※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動によりガスタービン発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施

切離し対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング
中央制御室	T/F M/C 20-2	3P/CP(B)補助給水ポンプ	3.7	起動対応終了後※2
	T/F M/C 20-2	3P-設計(B)補助給水ポンプ	3.5	
	T/F M/C 20-2	3P/CP(A)補助給水ポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	プラント監視装置機(B)	15.0	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	T/F M/C 20-2	炉内冷却スプレッドポンプ	3.7	
	制御室	T/F M/C 20-1	250V充電器	
T/F M/C 20-1		燃料油ドレンポンプ(A)	0.20	
T/F M/C 20-1		燃料油ドレンポンプ(A)	0.2	
T/F M/C 20-1		燃料油ドレンポンプ(A)	0.40	
T/F M/C 20-1		非常用ディーゼル発電機冷却空気圧縮機(A-1)	15.00	
T/F M/C 20-1		非常用ディーゼル発電機冷却空気圧縮機(A-2)	15.00	
T/F M/C 20-1		炉水加熱器(A)	45.0	
T/F M/C 20-1		炉水加熱器(A)	40.0	
T/F M/C 20-1		炉水加熱器ポンプ(A)	1.0	
T/F M/C 20-1		炉水加熱器ポンプ(B)	1.0	
原子炉建屋(原子炉棟外)	T/F M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(B)	0.20	事象発生27時間※3以内
	T/F M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(B)	0.2	
	T/F M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(B)	0.40	
	T/F M/C 20-1	非常用ディーゼル発電機冷却空気圧縮機(B-1)	15.00	
	T/F M/C 20-1	非常用ディーゼル発電機冷却空気圧縮機(B-2)	15.00	
	T/F M/C 20-1	炉水加熱器(B)	45.0	
	T/F M/C 20-1	炉水加熱器(B)	40.0	
	T/F M/C 20-1	炉水加熱器ポンプ(B)	1.0	
	T/F M/C 20-1	炉水加熱器ポンプ(B)	1.0	
	T/F M/C 20-1	炉水加熱器ポンプ(B)	11.0	

※2 有効性評価（資源の評価）では事象発生1時間後まで運転を行う評価としている
 ※3 有効性評価（資源の評価）では事象発生27時間後まで運転を行う評価としている

泊発電所3号炉

添付資料1.14.14-(2)

代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト (2/3)
 切離し対象負荷リスト

操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作機器又は電源切離しのタイミング
原子炉補助建屋	A/B	DCA-4B	A-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	—
	A/B	DCA-4D	A-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	—
	A/B	DCB-4B	B-ディーゼル発電機制御盤（発電機盤）	—
	A/B	DCB-4D	B-ディーゼル発電機制御盤（励磁機盤）	—
	A/B	PCC-A1-2B	A 1-原子炉コントロールセンター	609.6
	A/B	PCC-A1-3C	A-ヒートトランス変圧器	144.0
	A/B	PCC-A2-2B	A 2-原子炉コントロールセンター	609.6
	A/B	PCC-A2-5B	A-タービンコントロールセンター	488.0
	A/B	PCC-B1-2B	B 1-原子炉コントロールセンター	609.6
	A/B	PCC-B1-3C	B-ヒートトランス変圧器	144.0
	A/B	PCC-B2-2B	B 2-原子炉コントロールセンター	609.6
	A/B	PCC-B2-5B	B-タービンコントロールセンター	488.0
	A/B	PCC-B2-6A	計装用後備定電圧装置E	144.0
	A/B	RCC-A1-3D	A-充電器盤	85.9
	A/B	RCC-A1-4D	A-ディーゼル発電機コントロールセンター	60.8
	A/B	RCC-A1-5E	A-空調用冷水ポンプ	30.0
	A/B	RCC-A1-6B	A-安全補機室冷却ファン	5.5
	A/B	RCC-A1-12D	A-主蒸気逃がし弁元弁 (V-MS-518A)	2.0
	A/B	RCC-A1-14C	A-原子炉補機冷却水サーージタンク密電気ヒータ用ファン	0.05
	A/B	RCC-A1-14E	E 1-計装用インバータ	48.0
	A/B	RCC-A1-15A	セメント固化装置機器・配管ヒータ電源盤	8.8
	A/B	RCC-A1-15C	E 3-計装用インバータ	48.0
	A/B	RCC-A1-16B	A-湧水ピットポンプ	5.5
	A/B	RCC-A1-17A	A-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電盤	12.0
	A/B	RCC-A1-17B	C-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電盤	7.2
	A/B	RCC-A1-17E	充電器盤（3系統目）	30.4
	A/B	RCC-A1-18A	A-非管理区域空調機器密電気ヒータ用ファン	0.3
	A/B	RCC-A1-18E	計装用後備定電圧装置F	48.0
	A/B	RCC-A2-3E	A-ほう酸ポンプ	11.0
	A/B	RCC-A2-4E	B-空調用冷水ポンプ	30.0
	A/B	RCC-A2-5A	A-電動補助給水ポンプ密給気ファン	3.7
	A/B	RCC-A2-5B	A-制御用空気圧縮機密給気ファン	3.7
A/B	RCC-A2-5E	A-エアニュース空気浄化ファン	37.0	
A/B	RCC-A2-10A	B-主蒸気逃がし弁元弁 (V-MS-518B)	2.0	
A/B	RCC-A2-14E	A-運転保安照明用変圧器	80.0	
A/B	RCC-A2-15B	計装用後備定電圧装置AC	20.0	
A/B	RCC-A2-15C	A-1次系補給水ポンプ	30.0	
A/B	RCC-A2-16A	A-タービン動補助給水ポンプ密給気ファン	7.5	
A/B	RCC-A2-16B	A-蓄電池室排気ファン	5.5	
A/B	RCC-A2-16E	E 2-計装用インバータ	48.0	
A/B	RCC-A2-17A	A-原子炉容器室冷却ファン	22.0	
A/B	RCC-A2-17B	A-制御用空気圧縮機密電気ヒータ用ファン	0.05	
A/B	RCC-A2-17E	F 1-計装用定電圧装置	48.0	
A/B	RCC-A2-18A	B-非管理区域空調機器密電気ヒータ用ファン	0.3	

※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動により代替非常用発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施

【女川】
設備の相違による対象負荷の相違

【大飯】
記載方針の相違（女川審査実績の反映）

・代替非常用発電機による非常用高圧母線受電時の自動起動防止処置対象負荷をリスト化し記載。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																					
<p style="text-align: center;">【女川2号炉の添付資料1.14.1を掲載】</p> <p style="text-align: center;">ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト 自動起動防止対象負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="257 303 851 566"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>自動起動防止措置又は切離しのタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">中央制御室</td><td>M/C 20</td><td>高圧部コンプレッサポンプ</td><td>1000.0</td><td rowspan="15">非常用母線受電前^{※1}</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>炉内乾燥装置ポンプ(A)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>P/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td><td>235.0</td></tr> <tr><td>P/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(C)</td><td>235.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td><td>420.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(A)</td><td>420.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>タービン補機冷却水ポンプ(A)</td><td>330.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>タービン補機冷却水ポンプ(A)</td><td>350.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>炉内乾燥装置ポンプ(B)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>炉内乾燥装置ポンプ(C)</td><td>540.0</td></tr> <tr><td>P/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td><td>235.0</td></tr> <tr><td>P/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(D)</td><td>235.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(B)</td><td>420.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>原子炉補機冷却水ポンプ(D)</td><td>420.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>タービン補機冷却水ポンプ(B)</td><td>330.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>タービン補機冷却水ポンプ(B)</td><td>350.0</td></tr> <tr><td>M/C 20</td><td>タービン補機冷却水ポンプ(C)</td><td>350.0</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動によりガスタービン発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施</p> <p style="text-align: center;">切離し対象負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="257 670 851 1268"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>自動起動防止措置又は切離しのタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">中央制御室</td><td>7号 M/C 20-2</td><td>SPCP(B)補助給水ポンプ</td><td>3.7</td><td rowspan="20">初動対応終了後^{※2}</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>炉内冷却水ポンプ</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>炉内冷却水ポンプ</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>グラウンド蒸気排気機(A)</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第1軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第2軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第3軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第4軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第5軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第6軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第7軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第8軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第9軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第10軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第11軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第12軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第13軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第14軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第15軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>7号 M/C 20-2</td><td>第16軸受ジャッキング装置ポンプ</td><td>3.7</td></tr> <tr><td rowspan="10">制御室</td><td>7号 M/C 20-1</td><td>250V充電器</td><td>130.0</td><td rowspan="10">事象発生27時間^{※3}以内</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>燃料油ドレンポンプ(A)</td><td>0.20</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>燃料油ドレンポンプ(A)</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>燃料油ドレンポンプ(A)</td><td>0.40</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>非常用ディーゼル発電機受電装置圧縮機(A-1)</td><td>15.00</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>非常用ディーゼル発電機受電装置圧縮機(A-2)</td><td>15.00</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>暖水加熱器(A)</td><td>45.0</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>暖水加熱器(A)</td><td>40.0</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>暖水加熱器(A)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>8号 M/C 20-1</td><td>暖水加熱器(A)</td><td>11.0</td></tr> </tbody> </table> <p>※2 有効性評価（資源の評価）では事象発生1時間後まで運転を行う評価としている ※3 有効性評価（資源の評価）では事象発生27時間後まで運転を行う評価としている</p>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング	中央制御室	M/C 20	高圧部コンプレッサポンプ	1000.0	非常用母線受電前 ^{※1}	M/C 20	炉内乾燥装置ポンプ(A)	540.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0	M/C 20	炉内乾燥装置ポンプ(B)	540.0	M/C 20	炉内乾燥装置ポンプ(C)	540.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(C)	350.0	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング	中央制御室	7号 M/C 20-2	SPCP(B)補助給水ポンプ	3.7	初動対応終了後 ^{※2}	7号 M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ	3.3	7号 M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ	3.3	7号 M/C 20-2	グラウンド蒸気排気機(A)	15.0	7号 M/C 20-2	第1軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第2軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第3軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第4軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第5軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第6軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第7軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第8軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第9軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第10軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第11軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第12軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第13軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第14軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第15軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	7号 M/C 20-2	第16軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7	制御室	7号 M/C 20-1	250V充電器	130.0	事象発生27時間 ^{※3} 以内	8号 M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(A)	0.20	8号 M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(A)	2.2	8号 M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(A)	0.40	8号 M/C 20-1	非常用ディーゼル発電機受電装置圧縮機(A-1)	15.00	8号 M/C 20-1	非常用ディーゼル発電機受電装置圧縮機(A-2)	15.00	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	45.0	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	40.0	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	1.0	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	11.0	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.14-(3)</p> <p style="text-align: center;">代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト (3/3) 切離し対象負荷リスト</p> <table border="1" data-bbox="1052 263 1892 845"> <thead> <tr> <th>操作場所</th> <th>電源</th> <th>機器名称</th> <th>負荷容量 (kW)</th> <th>操作時処置又は電源処置のタイミング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">原子炉補助建屋</td><td>A/B RCC-B1-3D</td><td>B-充電器整</td><td>85.9</td><td rowspan="18">非常用母線受電前^{※1}</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-4D</td><td>B-ディーゼル発電機コントロールセンタ</td><td>60.8</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-5E</td><td>C-空調用冷水ポンプ</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-6B</td><td>B-安全補機室冷却ファン</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-14C</td><td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ用ファン</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-15A</td><td>セメント固化装置機器・配管ヒータ電源整</td><td>14.4</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-15B</td><td>セメント固化装置混練機駆動用電源整</td><td>25.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-16B</td><td>B-湧水ピットポンプ</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-17A</td><td>B-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電盤</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-17E</td><td>後備充電器整</td><td>30.4</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-18A</td><td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B1-18E</td><td>計装用後備変圧器 F</td><td>48.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-3E</td><td>B-ほう酸ポンプ</td><td>11.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-4E</td><td>D-空調用冷水ポンプ</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-5A</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-5B</td><td>B-制御用空気圧縮機室給気ファン</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-10A</td><td>C-主蒸気逃し弁元弁 (V-MS-518C)</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-14E</td><td>B-運転保安照明用変圧器</td><td>60.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-15B</td><td>計装用後備変圧器BD</td><td>20.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-15C</td><td>B-1次系補給水ポンプ</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-16A</td><td>B-タービン動機給水ポンプ室給気ファン</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-16B</td><td>B-蓄電池室排気ファン</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-16E</td><td>計装用後備定電圧装置E直送変圧器</td><td>72.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-17A</td><td>B-原子炉容器室冷却ファン</td><td>22.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-17B</td><td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ用ファン</td><td>0.05</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-17E</td><td>F2-計装用定電圧装置</td><td>48.0</td></tr> <tr><td>A/B RCC-B2-18A</td><td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン</td><td>0.3</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 母線電圧の回復に伴う機器の自動起動により代替非常用発電機容量を超過しないよう非常用母線受電前に自動起動防止措置を実施</p>	操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作時処置又は電源処置のタイミング	原子炉補助建屋	A/B RCC-B1-3D	B-充電器整	85.9	非常用母線受電前 ^{※1}	A/B RCC-B1-4D	B-ディーゼル発電機コントロールセンタ	60.8	A/B RCC-B1-5E	C-空調用冷水ポンプ	30.0	A/B RCC-B1-6B	B-安全補機室冷却ファン	5.5	A/B RCC-B1-14C	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ用ファン	0.05	A/B RCC-B1-15A	セメント固化装置機器・配管ヒータ電源整	14.4	A/B RCC-B1-15B	セメント固化装置混練機駆動用電源整	25.0	A/B RCC-B1-16B	B-湧水ピットポンプ	5.5	A/B RCC-B1-17A	B-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電盤	12.0	A/B RCC-B1-17E	後備充電器整	30.4	A/B RCC-B1-18A	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン	0.3	A/B RCC-B1-18E	計装用後備変圧器 F	48.0	A/B RCC-B2-3E	B-ほう酸ポンプ	11.0	A/B RCC-B2-4E	D-空調用冷水ポンプ	30.0	A/B RCC-B2-5A	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン	3.7	A/B RCC-B2-5B	B-制御用空気圧縮機室給気ファン	3.7	A/B RCC-B2-10A	C-主蒸気逃し弁元弁 (V-MS-518C)	2.0	A/B RCC-B2-14E	B-運転保安照明用変圧器	60.0	A/B RCC-B2-15B	計装用後備変圧器BD	20.0	A/B RCC-B2-15C	B-1次系補給水ポンプ	30.0	A/B RCC-B2-16A	B-タービン動機給水ポンプ室給気ファン	7.5	A/B RCC-B2-16B	B-蓄電池室排気ファン	5.5	A/B RCC-B2-16E	計装用後備定電圧装置E直送変圧器	72.0	A/B RCC-B2-17A	B-原子炉容器室冷却ファン	22.0	A/B RCC-B2-17B	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ用ファン	0.05	A/B RCC-B2-17E	F2-計装用定電圧装置	48.0	A/B RCC-B2-18A	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン	0.3	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p>【女川】 設備の相違による対象負荷の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替非常用発電機による非常用高圧母線受電時の自動起動防止処置対象負荷をリスト化し記載。
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング																																																																																																																																																																																																																																																			
中央制御室	M/C 20	高圧部コンプレッサポンプ	1000.0	非常用母線受電前 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																			
	M/C 20	炉内乾燥装置ポンプ(A)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(C)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(A)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	330.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(A)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	炉内乾燥装置ポンプ(B)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	炉内乾燥装置ポンプ(C)	540.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	P/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	235.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(B)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	原子炉補機冷却水ポンプ(D)	420.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	330.0																																																																																																																																																																																																																																																				
M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(B)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																					
M/C 20	タービン補機冷却水ポンプ(C)	350.0																																																																																																																																																																																																																																																					
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	自動起動防止措置又は切離しのタイミング																																																																																																																																																																																																																																																			
中央制御室	7号 M/C 20-2	SPCP(B)補助給水ポンプ	3.7	初動対応終了後 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																			
	7号 M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ	3.3																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	炉内冷却水ポンプ	3.3																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	グラウンド蒸気排気機(A)	15.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第1軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第2軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第3軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第4軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第5軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第6軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第7軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第8軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第9軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第10軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第11軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第12軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第13軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第14軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第15軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	7号 M/C 20-2	第16軸受ジャッキング装置ポンプ	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
制御室	7号 M/C 20-1	250V充電器	130.0	事象発生27時間 ^{※3} 以内																																																																																																																																																																																																																																																			
	8号 M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(A)	0.20																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(A)	2.2																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	燃料油ドレンポンプ(A)	0.40																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	非常用ディーゼル発電機受電装置圧縮機(A-1)	15.00																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	非常用ディーゼル発電機受電装置圧縮機(A-2)	15.00																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	45.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	40.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	1.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	8号 M/C 20-1	暖水加熱器(A)	11.0																																																																																																																																																																																																																																																				
操作場所	電源	機器名称	負荷容量 (kW)	操作時処置又は電源処置のタイミング																																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉補助建屋	A/B RCC-B1-3D	B-充電器整	85.9	非常用母線受電前 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																			
	A/B RCC-B1-4D	B-ディーゼル発電機コントロールセンタ	60.8																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-5E	C-空調用冷水ポンプ	30.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-6B	B-安全補機室冷却ファン	5.5																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-14C	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ用ファン	0.05																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-15A	セメント固化装置機器・配管ヒータ電源整	14.4																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-15B	セメント固化装置混練機駆動用電源整	25.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-16B	B-湧水ピットポンプ	5.5																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-17A	B-放射線監視設備サンプリングパッケージ分電盤	12.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-17E	後備充電器整	30.4																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-18A	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン	0.3																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B1-18E	計装用後備変圧器 F	48.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B2-3E	B-ほう酸ポンプ	11.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B2-4E	D-空調用冷水ポンプ	30.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B2-5A	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B2-5B	B-制御用空気圧縮機室給気ファン	3.7																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B2-10A	C-主蒸気逃し弁元弁 (V-MS-518C)	2.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	A/B RCC-B2-14E	B-運転保安照明用変圧器	60.0																																																																																																																																																																																																																																																				
A/B RCC-B2-15B	計装用後備変圧器BD	20.0																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-15C	B-1次系補給水ポンプ	30.0																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-16A	B-タービン動機給水ポンプ室給気ファン	7.5																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-16B	B-蓄電池室排気ファン	5.5																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-16E	計装用後備定電圧装置E直送変圧器	72.0																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-17A	B-原子炉容器室冷却ファン	22.0																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-17B	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ用ファン	0.05																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-17E	F2-計装用定電圧装置	48.0																																																																																																																																																																																																																																																					
A/B RCC-B2-18A	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ用ファン	0.3																																																																																																																																																																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p>【比較のため大飯3 / 4号炉の添付資料添付資料 1.14.5-(1)を再掲】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 50%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</td> <td rowspan="3">充てんポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>3-3 (4) A2又は 3-3 (4) B2 非常用低圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ほう酸ポンプ</td> <td>A1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>A1 ソレノイド分電盤 B1 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>主蒸気隔離弁</td> <td>A1 ソレノイド分電盤 B1 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A2 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急ほう酸注入ライン補給弁</td> <td>B1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	4-3 (4) B 非常用高圧母線	3-3 (4) A2又は 3-3 (4) B2 非常用低圧母線	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	4-3 (4) B 非常用高圧母線	ほう酸ポンプ	A1 原子炉コントロールセンタ	B1 原子炉コントロールセンタ	主蒸気逃がし弁	A1 ソレノイド分電盤 B1 ソレノイド分電盤	主蒸気隔離弁	A1 ソレノイド分電盤 B1 ソレノイド分電盤	加圧器逃がし弁	A2 ソレノイド分電盤	B2 ソレノイド分電盤	緊急ほう酸注入ライン補給弁	B1 原子炉コントロールセンタ	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等</td> <td rowspan="15">・原子炉出力抑制（自動） ・原子炉出力抑制（手動） ・ほう酸水注入</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備</td> <td rowspan="2">0-A 非常用高圧母線</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>B-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0-B 非常用高圧母線</td> <td>C-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>A-ほう酸ポンプ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>B-ほう酸ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td rowspan="3">化学体積制御設備弁</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td rowspan="5">1次冷却設備弁 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁 2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備</td> <td rowspan="2">A-直流母線 B-直流母線</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	・原子炉出力抑制（自動） ・原子炉出力抑制（手動） ・ほう酸水注入	非常用交流電源設備	0-A 非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ	A-充てんポンプ	B-充てんポンプ	0-B 非常用高圧母線	C-充てんポンプ	B-電動補助給水ポンプ	A2-原子炉コントロールセンタ	A-ほう酸ポンプ	B2-原子炉コントロールセンタ	B-ほう酸ポンプ	A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁	A2-原子炉コントロールセンタ	B1-原子炉コントロールセンタ	B2-原子炉コントロールセンタ	1次冷却設備弁 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁 2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁	非常用交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	A-直流母線 B-直流母線							<p>添付資料1.14.15-(1)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																								
【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																																																								
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																								
		3-3 (4) A2又は 3-3 (4) B2 非常用低圧母線																																																								
	電動補助給水ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																																																								
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																																																								
	ほう酸ポンプ	A1 原子炉コントロールセンタ																																																								
		B1 原子炉コントロールセンタ																																																								
	主蒸気逃がし弁	A1 ソレノイド分電盤 B1 ソレノイド分電盤																																																								
	主蒸気隔離弁	A1 ソレノイド分電盤 B1 ソレノイド分電盤																																																								
	加圧器逃がし弁	A2 ソレノイド分電盤																																																								
B2 ソレノイド分電盤																																																										
緊急ほう酸注入ライン補給弁	B1 原子炉コントロールセンタ																																																									
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																						
【1.1】 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための手順等	・原子炉出力抑制（自動） ・原子炉出力抑制（手動） ・ほう酸水注入	非常用交流電源設備	0-A 非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ																																																						
				A-充てんポンプ																																																						
			B-充てんポンプ																																																							
			0-B 非常用高圧母線	C-充てんポンプ																																																						
				B-電動補助給水ポンプ																																																						
			A2-原子炉コントロールセンタ	A-ほう酸ポンプ																																																						
			B2-原子炉コントロールセンタ	B-ほう酸ポンプ																																																						
			A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁																																																						
			A2-原子炉コントロールセンタ																																																							
			B1-原子炉コントロールセンタ																																																							
		B2-原子炉コントロールセンタ	1次冷却設備弁 非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁 2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁																																																							
		非常用交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備		A-直流母線 B-直流母線																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（設計方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																		
<p>【比較のため添付資料1.14.5-(2)を再掲】</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</td> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気逃がし弁</td> <td>A1ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B1ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）</td> <td>可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	加圧器逃がし弁	A2ソレノイド分電盤	B2ソレノイド分電盤	【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤	B1ソレノイド分電盤	加圧器逃がし弁	A2ソレノイド分電盤	B2ソレノイド分電盤	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）	可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.15-(2)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24">【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="24"></td> <td rowspan="12">非常用交流電源設備</td> <td>0-A非常用高圧母線</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> </tr> <tr> <td>0-B非常用高圧母線</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> </tr> <tr> <td>4-A1非常用高圧母線</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> </tr> <tr> <td>4-B1非常用高圧母線</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>0-A非常用高圧母線</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>0-B非常用高圧母線</td> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">非常用交流電源設備 併設代替交流電源設備 室内設置電式直流電源設備</td> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="2">A-直流母線</td> <td>1次冷却設備非</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）非</td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）非</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B-直流母線</td> <td>1次冷却設備非</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）非</td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）非</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">添付資料1.14.15-(3)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24">【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等</td> <td rowspan="24"></td> <td rowspan="12">非常用交流電源設備</td> <td>0-A非常用高圧母線</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> </tr> <tr> <td>0-B非常用高圧母線</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> </tr> <tr> <td>4-A1非常用高圧母線</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> </tr> <tr> <td>4-B1非常用高圧母線</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>余熱除去設備非</td> </tr> <tr> <td>0-A非常用高圧母線</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>0-B非常用高圧母線</td> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">非常用交流電源設備 併設代替交流電源設備 室内設置電式直流電源設備</td> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="2">A-直流母線</td> <td>1次冷却設備非</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）非</td> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）非</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B-直流母線</td> <td>1次冷却設備非</td> <td>非常用中心冷却設備（高圧注入系）非</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）非</td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）非</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等		非常用交流電源設備	0-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ	0-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ	4-A1非常用高圧母線	A-余熱除去ポンプ	4-B1非常用高圧母線	B-余熱除去ポンプ	A1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	B1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	A2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	B2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	A1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	B1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	A2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	B2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	0-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ	0-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ	非常用交流電源設備 併設代替交流電源設備 室内設置電式直流電源設備		A-直流母線	1次冷却設備非	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	2次冷却設備（主蒸気設備）非	2次冷却設備（補助給水設備）非	B-直流母線	1次冷却設備非	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	2次冷却設備（主蒸気設備）非	2次冷却設備（補助給水設備）非	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等		非常用交流電源設備	0-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ	0-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ	4-A1非常用高圧母線	A-余熱除去ポンプ	4-B1非常用高圧母線	B-余熱除去ポンプ	A1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	B1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	A2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	B2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	A1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	B1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	A2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	B2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非	0-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ	0-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ	非常用交流電源設備 併設代替交流電源設備 室内設置電式直流電源設備		A-直流母線	1次冷却設備非	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	2次冷却設備（補助給水設備）非	2次冷却設備（主蒸気設備）非	B-直流母線	1次冷却設備非	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非	2次冷却設備（主蒸気設備）非	2次冷却設備（補助給水設備）非	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																																																																		
【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																																																																																																		
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																																																																		
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																																																																																																		
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																																																																		
	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																																																																																																		
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																																																																		
	加圧器逃がし弁	A2ソレノイド分電盤																																																																																																																																		
		B2ソレノイド分電盤																																																																																																																																		
	【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																																																																																																	
			4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																																																																	
		余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線																																																																																																																																	
			4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																																																																	
電動補助給水ポンプ		4-3(4)A 非常用高圧母線																																																																																																																																		
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																																																																		
主蒸気逃がし弁		A1ソレノイド分電盤																																																																																																																																		
		B1ソレノイド分電盤																																																																																																																																		
加圧器逃がし弁		A2ソレノイド分電盤																																																																																																																																		
		B2ソレノイド分電盤																																																																																																																																		
可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）		可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用）分電盤																																																																																																																																		
対象条文		対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																																																															
【1.2】 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等		非常用交流電源設備	0-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ																																																																																																																																
			0-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ																																																																																																																																
			4-A1非常用高圧母線	A-余熱除去ポンプ																																																																																																																																
			4-B1非常用高圧母線	B-余熱除去ポンプ																																																																																																																																
			A1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																
			B1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																
			A2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																
			B2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																
			A1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																
			B1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																
			A2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																
			B2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																
		0-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ																																																																																																																																	
		0-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ																																																																																																																																	
		非常用交流電源設備 併設代替交流電源設備 室内設置電式直流電源設備		A-直流母線	1次冷却設備非	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																														
					2次冷却設備（主蒸気設備）非	2次冷却設備（補助給水設備）非																																																																																																																														
				B-直流母線	1次冷却設備非	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																														
					2次冷却設備（主蒸気設備）非	2次冷却設備（補助給水設備）非																																																																																																																														
				対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																																																												
				【1.3】 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等		非常用交流電源設備	0-A非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ																																																																																																																												
		0-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ																																																																																																																																	
		4-A1非常用高圧母線	A-余熱除去ポンプ																																																																																																																																	
		4-B1非常用高圧母線	B-余熱除去ポンプ																																																																																																																																	
		A1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																	
B1-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																			
A2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																			
B2-原子炉コントロールセンタ	非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																																			
A1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																			
B1-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																			
A2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																			
B2-原子炉コントロールセンタ	余熱除去設備非																																																																																																																																			
0-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ																																																																																																																																			
0-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ																																																																																																																																			
非常用交流電源設備 併設代替交流電源設備 室内設置電式直流電源設備		A-直流母線	1次冷却設備非			非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																														
			2次冷却設備（補助給水設備）非			2次冷却設備（主蒸気設備）非																																																																																																																														
		B-直流母線	1次冷却設備非			非常用中心冷却設備（高圧注入系）非																																																																																																																														
			2次冷却設備（主蒸気設備）非			2次冷却設備（補助給水設備）非																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため添付資料1.14.5-(3)を再掲】

添付資料1.14.15-(4)

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	受電元
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	格納容器スプレイポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線
高圧注入ポンプ	非常用高圧母線	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線
電動補助給水ポンプ	非常用高圧母線	4-3(4)A 非常用高圧母線
		4-3(4)B 非常用高圧母線
主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤	
		B1ソレノイド分電盤

対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等		非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ
			6-A非常用高圧母線	A-充てんポンプ
			6-B非常用高圧母線	C-充てんポンプ
			6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ
			6-B非常用高圧母線	B-高圧注入ポンプ
			4-A1非常用低圧母線	A-余熱除去ポンプ
			4-B1非常用低圧母線	B-余熱除去ポンプ
			A1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備（余熱除去系）弁
			A2-原子炉コントロールセンタ	
		B1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）弁	
		B2-原子炉コントロールセンタ		
		A1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）弁	
		B1-原子炉コントロールセンタ		
		6-A非常用高圧母線	B-充てんポンプ	
		6-B非常用高圧母線	A-高圧注入ポンプ	
		6-B非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ	
		A1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁	
		B1-原子炉コントロールセンタ		
		A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁	
B2-原子炉コントロールセンタ				
A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁			
A2-原子炉コントロールセンタ				
B1-原子炉コントロールセンタ	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）弁			
A-直流母線	2次冷却設備（補助給水設備）弁			
B-直流母線				
A-直流母線	2次冷却設備（主蒸気設備）弁			
B-直流母線				
代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ			
代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ			

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため添付資料 1.14.5-(4)を再掲】

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備		
対象条文	供給対象設備	受電元
【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等	電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	海水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線
【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線
	原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	海水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線 4-3(4)B 非常用高圧母線

添付資料 1.14.15-(5)

審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備		
【1.5】 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉補機冷却水ポンプ及び原子炉補機冷却水ポンプによる除熱 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）送水 タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-原子炉補機冷却水ポンプ B-原子炉補機冷却水ポンプ A-原子炉補機冷却水ポンプ B-原子炉補機冷却水ポンプ		
			6-B非常用高圧母線	C-原子炉補機冷却水ポンプ D-原子炉補機冷却水ポンプ C-原子炉補機冷却水ポンプ D-原子炉補機冷却水ポンプ		
			非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-電動補助給水ポンプ A-高圧注入ポンプ	
				6-B非常用高圧母線	B-電動補助給水ポンプ	
			非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	A1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 弁	
				A2-原子炉コントロールセンタ		
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	B1-原子炉コントロールセンタ	2次冷却設備（主蒸気設備）弁 2次冷却設備（補助給水設備）弁		
			B2-原子炉コントロールセンタ			
		【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器スプレイ設備による原子炉格納容器内の除熱・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内の冷却 可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スレイポンプ B-格納容器スレイポンプ C-原子炉補機冷却水ポンプ D-原子炉補機冷却水ポンプ C-原子炉補機冷却水ポンプ D-原子炉補機冷却水ポンプ
					6-B非常用高圧母線	
					A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 弁
					B1-原子炉コントロールセンタ	
B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スレイ設備弁					
代替格納容器スレイポンプ変圧器					代替格納容器スレイポンプ	
常設代替交流電源設備	A1-原子炉コントロールセンタ			原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 弁		
	A2-原子炉コントロールセンタ					
	B1-原子炉コントロールセンタ			原子炉格納容器スレイ設備弁		
	B2-原子炉コントロールセンタ					
	代替格納容器スレイポンプ変圧器			代替格納容器スレイポンプ		
	可搬型代替交流電源設備			代替格納容器スレイポンプ変圧器	代替格納容器スレイポンプ	
代所内電気設備	代替格納容器スレイポンプ変圧器	代替格納容器スレイポンプ				

【大飯】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.15-(6)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 50%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;"> 【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 </td> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ ・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器へのスプレイ ・可搬型大型送水ポンプ兼を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 </td> <td rowspan="9" style="vertical-align: top;"> 非常用交流電源設備 </td> <td>6-A非常用高圧母線</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-B非常用高圧母線</td> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td rowspan="3">原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;"> 常設代替交流電源設備 </td> <td rowspan="5"></td> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td rowspan="3">原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非</td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ ・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器へのスプレイ ・可搬型大型送水ポンプ兼を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ		B-格納容器スプレイポンプ		C-原子炉補機冷却水ポンプ		D-原子炉補機冷却水ポンプ		C-原子炉補機冷却水ポンプ		6-B非常用高圧母線	D-原子炉補機冷却水ポンプ		C-原子炉補機冷却水ポンプ		D-原子炉補機冷却水ポンプ	A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	B1-原子炉コントロールセンタ	B2-原子炉コントロールセンタ	B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	常設代替交流電源設備		A1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非	A2-原子炉コントロールセンタ	B1-原子炉コントロールセンタ	B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ	
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																															
【1.7】 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ ・C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器へのスプレイ ・可搬型大型送水ポンプ兼を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却 	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ																																															
				B-格納容器スプレイポンプ																																															
				C-原子炉補機冷却水ポンプ																																															
				D-原子炉補機冷却水ポンプ																																															
				C-原子炉補機冷却水ポンプ																																															
			6-B非常用高圧母線	D-原子炉補機冷却水ポンプ																																															
				C-原子炉補機冷却水ポンプ																																															
				D-原子炉補機冷却水ポンプ																																															
			A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																															
		B1-原子炉コントロールセンタ																																																	
		B2-原子炉コントロールセンタ																																																	
		B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁																																																
		代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																
		常設代替交流電源設備		A1-原子炉コントロールセンタ	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 非																																														
				A2-原子炉コントロールセンタ																																															
B1-原子炉コントロールセンタ																																																			
B2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁																																																		
代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																		
可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																	
代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧設備	代替格納容器スプレイポンプ																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため添付資料1.14.5-(5)を再掲】</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> <td rowspan="2">4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> <td rowspan="2">4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器スプレイポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> <td rowspan="2">4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">充てんポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常用高圧母線</td> <td rowspan="2">4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3(4)B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等</td> <td>静的触媒式水素再結合装置温度監視装置</td> <td>原子炉格納容器内状態監視盤</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水素燃焼装置</td> <td>B1原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置</td> <td>原子炉格納容器内状態監視盤</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器水素ガス濃度計</td> <td>原子炉格納容器内状態監視盤</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ</td> <td>可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置</td> <td>可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線	【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤	原子炉格納容器水素燃焼装置	B1原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤	可搬型格納容器水素ガス濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤	格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置	可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤	<p>添付資料1.14.15-(7)</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等</td> <td rowspan="10"> ・格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水 ・充てんポンプによる原子炉格納容器への注水 ・B-格納容器スプレイポンプ（初期-03連絡ライン使用）による原子炉格納容器への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 ・B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器への注水 </td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備</td> <td>6-A非常用高圧母線</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ A-高圧注入ポンプ A-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>6-B非常用高圧母線</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ B-高圧注入ポンプ C-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>4-A1非常用低圧母線</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> </tr> <tr> <td>4-B1非常用低圧母線</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> </tr> <tr> <td>A1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>化学体積制御設備弁</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備弁</td> </tr> <tr> <td>B2-原子炉コントロールセンタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6-A非常用高圧母線</td> <td>B-充てんポンプ</td> </tr> <tr> <td>6-B非常用高圧母線</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等</td> <td rowspan="10"> ・原子炉格納容器内水素検出装置による原子炉格納容器内の水素濃度監視 ・格納容器水素イグナイタによる原子炉格納容器内の水素濃度低減 ・可搬型格納容器内水素濃度計用コネクタによる原子炉格納容器内の水素濃度監視 </td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>4-B1非常用低圧母線</td> <td>格納容器水素イグナイタ</td> </tr> <tr> <td>CV水素濃度計電源盤</td> <td>可搬型ガスサンプル冷却器用冷却ポンプ 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置</td> </tr> <tr> <td>B1-原子炉コントロールセンタ</td> <td>格納容器排気ガスサンプリング圧縮装置</td> </tr> <tr> <td>A-直流母線</td> <td>格納容器排気ガス試料採取設備弁</td> </tr> <tr> <td>B-直流母線</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AI設備直流電源分電盤</td> <td>原子炉格納容器内水素検出装置温度監視装置</td> </tr> <tr> <td>B-AI設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AI設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B-AI設備直流電源分電盤</td> <td>格納容器水素イグナイタ温度監視装置</td> </tr> </tbody> </table> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	・格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水 ・充てんポンプによる原子炉格納容器への注水 ・B-格納容器スプレイポンプ（初期-03連絡ライン使用）による原子炉格納容器への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 ・B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器への注水	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ A-高圧注入ポンプ A-充てんポンプ	6-B非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ B-高圧注入ポンプ C-充てんポンプ	4-A1非常用低圧母線	A-余熱除去ポンプ	4-B1非常用低圧母線	B-余熱除去ポンプ	A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁	B1-原子炉コントロールセンタ		A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁	B2-原子炉コントロールセンタ		6-A非常用高圧母線	B-充てんポンプ	6-B非常用高圧母線		【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	・原子炉格納容器内水素検出装置による原子炉格納容器内の水素濃度監視 ・格納容器水素イグナイタによる原子炉格納容器内の水素濃度低減 ・可搬型格納容器内水素濃度計用コネクタによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	4-B1非常用低圧母線	格納容器水素イグナイタ	CV水素濃度計電源盤	可搬型ガスサンプル冷却器用冷却ポンプ 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置	B1-原子炉コントロールセンタ	格納容器排気ガスサンプリング圧縮装置	A-直流母線	格納容器排気ガス試料採取設備弁	B-直流母線		A-AI設備直流電源分電盤	原子炉格納容器内水素検出装置温度監視装置	B-AI設備直流電源分電盤		A-AI設備直流電源分電盤		B-AI設備直流電源分電盤	格納容器水素イグナイタ温度監視装置	
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																				
【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																																																																																				
	高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																			
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																				
	余熱除去ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																			
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																				
	格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																			
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																				
	充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線	4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																			
		4-3(4)B 非常用高圧母線																																																																																				
	【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	静的触媒式水素再結合装置温度監視装置	原子炉格納容器内状態監視盤																																																																																			
原子炉格納容器水素燃焼装置		B1原子炉コントロールセンタ																																																																																				
原子炉格納容器水素燃焼装置温度監視装置		原子炉格納容器内状態監視盤																																																																																				
可搬型格納容器水素ガス濃度計		原子炉格納容器内状態監視盤																																																																																				
格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ		可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤																																																																																				
可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置		可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置分電盤																																																																																				
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																		
【1.8】 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等	・格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水 ・高圧注入ポンプ又は余熱除去ポンプによる原子炉格納容器への注水 ・充てんポンプによる原子炉格納容器への注水 ・B-格納容器スプレイポンプ（初期-03連絡ライン使用）による原子炉格納容器への注水 ・代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 ・B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器への注水	非常用交流電源設備	6-A非常用高圧母線	A-格納容器スプレイポンプ A-高圧注入ポンプ A-充てんポンプ																																																																																		
			6-B非常用高圧母線	B-格納容器スプレイポンプ B-高圧注入ポンプ C-充てんポンプ																																																																																		
			4-A1非常用低圧母線	A-余熱除去ポンプ																																																																																		
			4-B1非常用低圧母線	B-余熱除去ポンプ																																																																																		
			A1-原子炉コントロールセンタ	化学体積制御設備弁																																																																																		
			B1-原子炉コントロールセンタ																																																																																			
			A2-原子炉コントロールセンタ	原子炉格納容器スプレイ設備弁																																																																																		
			B2-原子炉コントロールセンタ																																																																																			
			6-A非常用高圧母線	B-充てんポンプ																																																																																		
			6-B非常用高圧母線																																																																																			
【1.9】 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等	・原子炉格納容器内水素検出装置による原子炉格納容器内の水素濃度監視 ・格納容器水素イグナイタによる原子炉格納容器内の水素濃度低減 ・可搬型格納容器内水素濃度計用コネクタによる原子炉格納容器内の水素濃度監視	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	4-B1非常用低圧母線	格納容器水素イグナイタ																																																																																		
			CV水素濃度計電源盤	可搬型ガスサンプル冷却器用冷却ポンプ 可搬型代替ガスサンプリング圧縮装置																																																																																		
			B1-原子炉コントロールセンタ	格納容器排気ガスサンプリング圧縮装置																																																																																		
			A-直流母線	格納容器排気ガス試料採取設備弁																																																																																		
			B-直流母線																																																																																			
			A-AI設備直流電源分電盤	原子炉格納容器内水素検出装置温度監視装置																																																																																		
			B-AI設備直流電源分電盤																																																																																			
			A-AI設備直流電源分電盤																																																																																			
			B-AI設備直流電源分電盤	格納容器水素イグナイタ温度監視装置																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
<p>【比較のため添付資料1.14.5-(6)を再掲】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</td> <td rowspan="2">アンユラス空気浄化ファン</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンユラス排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンユラス全量排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンユラス少量排気弁</td> <td>A 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 4 ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>可搬式空気圧縮機 (代替制御用空気供給用)</td> <td>可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)分電盤</td> </tr> <tr> <td>アンユラス水素濃度計</td> <td>原子炉格納容器内状態監視盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</td> <td>使用済燃料ピット水位(AM用)</td> <td>B計装用電源 C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ピット水位</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度(AM用)</td> <td>B計装用電源 C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アンユラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ	B 1 原子炉コントロールセンタ	アンユラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	アンユラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	アンユラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤	B 4 ソレノイド分電盤	可搬式空気圧縮機 (代替制御用空気供給用)	可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)分電盤	アンユラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤	【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ピット水位(AM用)	B計装用電源 C計装用電源	可搬式使用済燃料ピット水位	B計装用電源	使用済燃料ピット温度(AM用)	B計装用電源 C計装用電源	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	B計装用電源	使用済燃料ピット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等</td> <td rowspan="3">・アンユラス空気浄化設備による水素排出 ・アンユラス部の水素濃度監視</td> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>A 2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>A-アンユラス空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>B 2-原子炉コントロールセンタ</td> <td>B-アンユラス空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>C1水素濃度計電源盤</td> <td>可搬型アンユラス水素濃度計観測ユニット</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等</td> <td rowspan="4">・使用済燃料ピットの監視 ・代替電源による給電</td> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td>A-直流母線 B-直流母線</td> <td rowspan="2">アンユラス空気浄化設備ダンパ・弁</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td>SPP監視設備電源盤</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td>B 1-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">使用済燃料ピット監視設備(監視計器)</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td>B-AM設備直流電源分離盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	・アンユラス空気浄化設備による水素排出 ・アンユラス部の水素濃度監視	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	A 2-原子炉コントロールセンタ	A-アンユラス空気浄化ファン	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	B 2-原子炉コントロールセンタ	B-アンユラス空気浄化ファン	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	C1水素濃度計電源盤	可搬型アンユラス水素濃度計観測ユニット	【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	・使用済燃料ピットの監視 ・代替電源による給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	アンユラス空気浄化設備ダンパ・弁	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	SPP監視設備電源盤	所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備	B 1-計装用交流分電盤	使用済燃料ピット監視設備(監視計器)	所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備	B-AM設備直流電源分離盤	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																													
【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	アンユラス空気浄化ファン	A 1 原子炉コントロールセンタ																																																													
		B 1 原子炉コントロールセンタ																																																													
	アンユラス排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																																													
		B 4 ソレノイド分電盤																																																													
	アンユラス全量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																																													
		B 4 ソレノイド分電盤																																																													
	アンユラス少量排気弁	A 4 ソレノイド分電盤																																																													
B 4 ソレノイド分電盤																																																															
可搬式空気圧縮機 (代替制御用空気供給用)	可搬式空気圧縮機(代替制御用空気供給用)分電盤																																																														
アンユラス水素濃度計	原子炉格納容器内状態監視盤																																																														
【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	使用済燃料ピット水位(AM用)	B計装用電源 C計装用電源																																																													
	可搬式使用済燃料ピット水位	B計装用電源																																																													
	使用済燃料ピット温度(AM用)	B計装用電源 C計装用電源																																																													
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	B計装用電源																																																													
	使用済燃料ピット監視カメラ	A 1 原子炉コントロールセンタ																																																													
	使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置	A 2 原子炉コントロールセンタ																																																													
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																											
【1.10】 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等	・アンユラス空気浄化設備による水素排出 ・アンユラス部の水素濃度監視	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	A 2-原子炉コントロールセンタ	A-アンユラス空気浄化ファン																																																											
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	B 2-原子炉コントロールセンタ	B-アンユラス空気浄化ファン																																																											
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備	C1水素濃度計電源盤	可搬型アンユラス水素濃度計観測ユニット																																																											
【1.11】 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等	・使用済燃料ピットの監視 ・代替電源による給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	アンユラス空気浄化設備ダンパ・弁																																																											
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	SPP監視設備電源盤																																																												
		所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備	B 1-計装用交流分電盤	使用済燃料ピット監視設備(監視計器)																																																											
		所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替交流電源設備	B-AM設備直流電源分離盤																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>【比較のため添付資料1.14.5-(7)を再掲】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 35%;">供給対象設備</th> <th style="width: 35%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧注入ポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">充てんポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>4-3 (4) B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>4-3 (4) A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器逃がし弁</td> <td>A 2ソレノイド分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2ソレノイド分電盤</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	高圧注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	4-3 (4) B 非常用高圧母線	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	4-3 (4) B 非常用高圧母線	3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線	格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線	加圧器逃がし弁	A 2ソレノイド分電盤	B 2ソレノイド分電盤	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.15-(9)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等</td> <td>・燃料取扱用水ピットから補助給水ピットへの切替え</td> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備 常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧制御</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ 原子炉格納容器スプレイ設備弁</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	・燃料取扱用水ピットから補助給水ピットへの切替え	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧制御	代替格納容器スプレイポンプ 原子炉格納容器スプレイ設備弁	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																												
【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																												
	高圧注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																												
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																												
	充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																												
		4-3 (4) B 非常用高圧母線																												
		3-3 (4) A 2又は 3-3 (4) B 2 非常用低圧母線																												
格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高圧母線																													
加圧器逃がし弁	A 2ソレノイド分電盤																													
	B 2ソレノイド分電盤																													
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																										
【1.13】 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等	・燃料取扱用水ピットから補助給水ピットへの切替え	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 代替所内電気設備 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧制御	代替格納容器スプレイポンプ 原子炉格納容器スプレイ設備弁																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>【比較のため添付資料1.14.5-(8)を再掲】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対象条文</th> <th style="width: 40%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td>1次冷却材高温側温度(広域)</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材低温側温度(広域)</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1次冷却材圧力</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器水位</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位</td> <td>B直流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧注入流量</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">余熱除去流量</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>恒設代替低圧注水積算流量</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ積算流量</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内温度</td> <td>A計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器圧力(広域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>AM用格納容器圧力</td> <td>B計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位(広域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器再循環サンプル水位(狭域)</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水位</td> <td>B直流き電盤</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>B直流き電盤</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度(広域)	A計装用電源	1次冷却材低温側温度(広域)	B計装用電源	1次冷却材圧力	C計装用電源	D計装用電源	加圧器水位	A計装用電源	B計装用電源	原子炉水位	B直流電源	高圧注入流量	A計装用電源	B計装用電源	余熱除去流量	C計装用電源	D計装用電源	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源	格納容器スプレイ積算流量	B計装用電源	格納容器内温度	A計装用電源	B計装用電源	格納容器圧力(広域)	C計装用電源	D計装用電源	AM用格納容器圧力	B計装用電源	格納容器再循環サンプル水位(広域)	C計装用電源	D計装用電源	格納容器再循環サンプル水位(狭域)	C計装用電源	D計装用電源	原子炉格納容器水位	B直流き電盤	原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤	<p style="text-align: center;">添付資料1.14.15-(10)</p> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">対象条文</th> <th style="width: 10%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">電源設備</th> <th style="width: 10%;">給電経路</th> <th style="width: 60%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">・格チャンネル又は格ループによる計測 ・代替パラメータによる補正</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td>1次冷却材温度(広域-高臨側)</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td>1次冷却材温度(広域-低臨側)</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td>加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td>原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>A2-計装用交流分電盤</td> <td>高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>B2-計装用交流分電盤</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器再循環サンプル水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>C2-計装用交流分電盤</td> <td>原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>D2-計装用交流分電盤</td> <td>格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>代替格納容器スプレイ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・格チャンネル又は格ループによる計測 ・代替パラメータによる補正	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-高臨側)	B2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-低臨側)	C2-計装用交流分電盤	1次冷却材圧力(広域)	D2-計装用交流分電盤	A2-計装用交流分電盤	加圧器水位	B2-計装用交流分電盤	原子炉容器水位	A2-計装用交流分電盤	高圧注入流量	B2-計装用交流分電盤	低圧注入流量	C2-計装用交流分電盤	格納容器再循環サンプル水位(広域)	D2-計装用交流分電盤	格納容器内温度	C2-計装用交流分電盤	原子炉格納容器圧力	D2-計装用交流分電盤	格納容器圧力(AM用)	A-AM設備直流電源分電盤	代替格納容器スプレイ出口積算流量	A-AM設備直流電源分電盤	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	A-AM設備直流電源分電盤		A-AM設備直流電源分電盤		A-AM設備直流電源分電盤		A-AM設備直流電源分電盤		A-AM設備直流電源分電盤		A-AM設備直流電源分電盤		A-AM設備直流電源分電盤		<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																													
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	1次冷却材高温側温度(広域)	A計装用電源																																																																																													
	1次冷却材低温側温度(広域)	B計装用電源																																																																																													
	1次冷却材圧力	C計装用電源																																																																																													
		D計装用電源																																																																																													
	加圧器水位	A計装用電源																																																																																													
		B計装用電源																																																																																													
	原子炉水位	B直流電源																																																																																													
	高圧注入流量	A計装用電源																																																																																													
		B計装用電源																																																																																													
	余熱除去流量	C計装用電源																																																																																													
		D計装用電源																																																																																													
	恒設代替低圧注水積算流量	B計装用電源																																																																																													
	格納容器スプレイ積算流量	B計装用電源																																																																																													
	格納容器内温度	A計装用電源																																																																																													
		B計装用電源																																																																																													
	格納容器圧力(広域)	C計装用電源																																																																																													
		D計装用電源																																																																																													
	AM用格納容器圧力	B計装用電源																																																																																													
	格納容器再循環サンプル水位(広域)	C計装用電源																																																																																													
		D計装用電源																																																																																													
格納容器再循環サンプル水位(狭域)	C計装用電源																																																																																														
	D計装用電源																																																																																														
原子炉格納容器水位	B直流き電盤																																																																																														
原子炉下部キャビティ水位	B直流き電盤																																																																																														
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																											
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・格チャンネル又は格ループによる計測 ・代替パラメータによる補正	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-高臨側)																																																																																											
			B2-計装用交流分電盤	1次冷却材温度(広域-低臨側)																																																																																											
			C2-計装用交流分電盤	1次冷却材圧力(広域)																																																																																											
			D2-計装用交流分電盤																																																																																												
			A2-計装用交流分電盤	加圧器水位																																																																																											
			B2-計装用交流分電盤	原子炉容器水位																																																																																											
			A2-計装用交流分電盤	高圧注入流量																																																																																											
			B2-計装用交流分電盤	低圧注入流量																																																																																											
			C2-計装用交流分電盤	格納容器再循環サンプル水位(広域)																																																																																											
			D2-計装用交流分電盤	格納容器内温度																																																																																											
		C2-計装用交流分電盤	原子炉格納容器圧力																																																																																												
		D2-計装用交流分電盤	格納容器圧力(AM用)																																																																																												
		A-AM設備直流電源分電盤	代替格納容器スプレイ出口積算流量																																																																																												
		A-AM設備直流電源分電盤	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																												
		A-AM設備直流電源分電盤																																																																																													
		A-AM設備直流電源分電盤																																																																																													
		A-AM設備直流電源分電盤																																																																																													
		A-AM設備直流電源分電盤																																																																																													
		A-AM設備直流電源分電盤																																																																																													
		A-AM設備直流電源分電盤																																																																																													
A-AM設備直流電源分電盤																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p>【比較のため添付資料 1.14.5-(9)を再掲】</p> <table border="1" data-bbox="147 244 943 1145"> <thead> <tr> <th colspan="3">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</th> </tr> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td>可搬型格納容器水素ガス濃度</td> <td>B 直流電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">出力領域中性子束</td> <td>A 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間領域中性子束</td> <td>A 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中性子源領域中性子束</td> <td>A 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器水位（広域）</td> <td>A 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">蒸気発生器補助給水流量</td> <td>A 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>B 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主蒸気圧力</td> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>C 計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D 計装用電源</td> </tr> </tbody> </table>	審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B 直流電源	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C 計装用電源	D 計装用電源	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C 計装用電源	D 計装用電源	出力領域中性子束	A 計装用電源	B 計装用電源	C 計装用電源	D 計装用電源	中間領域中性子束	A 計装用電源	B 計装用電源	中性子源領域中性子束	A 計装用電源	B 計装用電源	蒸気発生器水位（狭域）	C 計装用電源	D 計装用電源	蒸気発生器水位（広域）	A 計装用電源	B 計装用電源	C 計装用電源	D 計装用電源	蒸気発生器補助給水流量	A 計装用電源	B 計装用電源	C 計装用電源	D 計装用電源	主蒸気圧力	C 計装用電源	D 計装用電源	原子炉補機冷却水サージタンク水位	C 計装用電源	D 計装用電源	<p>添付資料1.14.15-(11)</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="1043 244 1897 970"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="20">・柱チャンネル又は柱グループによる計装 ・代替パラメータによる推定</td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>C 2-計装用交換分電盤</td> <td>格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交換分電盤</td> <td>格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>A 1-計装用交換分電盤</td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> </tr> <tr> <td>A 1-計装用交換分電盤</td> <td>格納容器内水素濃度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備</td> <td>A-AM設備直流電源分層盤</td> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分層盤</td> <td>格納容器水素イグナイタ温度</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分層盤</td> <td>アンニラス水素濃度（可搬型）</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分層盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>C 2-計装用交換分電盤</td> <td>格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交換分電盤</td> <td>格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交換分電盤</td> <td rowspan="4">出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交換分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 1-計装用交換分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交換分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1-計装用交換分電盤</td> <td rowspan="4">中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交換分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 1-計装用交換分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交換分電盤</td> </tr> <tr> <td>D 1-計装用交換分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交換分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A 1-計装用交換分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交換分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 1-計装用交換分電盤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交換分電盤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・柱チャンネル又は柱グループによる計装 ・代替パラメータによる推定	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	C 2-計装用交換分電盤	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	D 2-計装用交換分電盤	格納容器水位	A 1-計装用交換分電盤	原子炉下部キャビティ水位	A 1-計装用交換分電盤	格納容器内水素濃度	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備	A-AM設備直流電源分層盤	原子炉格納容器内水素処理装置温度	A-AM設備直流電源分層盤	格納容器水素イグナイタ温度	A-AM設備直流電源分層盤	アンニラス水素濃度（可搬型）	A-AM設備直流電源分層盤		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	C 2-計装用交換分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	D 2-計装用交換分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C 2-計装用交換分電盤	出力領域中性子束	D 2-計装用交換分電盤	A 1-計装用交換分電盤	A 2-計装用交換分電盤	B 1-計装用交換分電盤	中間領域中性子束	B 2-計装用交換分電盤	C 1-計装用交換分電盤	C 2-計装用交換分電盤	D 1-計装用交換分電盤		D 2-計装用交換分電盤		A 1-計装用交換分電盤		A 2-計装用交換分電盤		B 1-計装用交換分電盤		B 2-計装用交換分電盤		<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
審査基準における要求事項ごとの給電対象設備																																																																																																			
対象条文	供給対象設備	受電元																																																																																																	
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	可搬型格納容器水素ガス濃度	B 直流電源																																																																																																	
	格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	C 計装用電源																																																																																																	
		D 計装用電源																																																																																																	
	格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	C 計装用電源																																																																																																	
		D 計装用電源																																																																																																	
	出力領域中性子束	A 計装用電源																																																																																																	
		B 計装用電源																																																																																																	
		C 計装用電源																																																																																																	
		D 計装用電源																																																																																																	
	中間領域中性子束	A 計装用電源																																																																																																	
		B 計装用電源																																																																																																	
	中性子源領域中性子束	A 計装用電源																																																																																																	
		B 計装用電源																																																																																																	
	蒸気発生器水位（狭域）	C 計装用電源																																																																																																	
		D 計装用電源																																																																																																	
	蒸気発生器水位（広域）	A 計装用電源																																																																																																	
		B 計装用電源																																																																																																	
		C 計装用電源																																																																																																	
		D 計装用電源																																																																																																	
	蒸気発生器補助給水流量	A 計装用電源																																																																																																	
B 計装用電源																																																																																																			
C 計装用電源																																																																																																			
D 計装用電源																																																																																																			
主蒸気圧力	C 計装用電源																																																																																																		
	D 計装用電源																																																																																																		
原子炉補機冷却水サージタンク水位	C 計装用電源																																																																																																		
	D 計装用電源																																																																																																		
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																																																															
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	・柱チャンネル又は柱グループによる計装 ・代替パラメータによる推定	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	C 2-計装用交換分電盤	格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																															
			D 2-計装用交換分電盤	格納容器水位																																																																																															
			A 1-計装用交換分電盤	原子炉下部キャビティ水位																																																																																															
			A 1-計装用交換分電盤	格納容器内水素濃度																																																																																															
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備	A-AM設備直流電源分層盤	原子炉格納容器内水素処理装置温度																																																																																															
			A-AM設備直流電源分層盤	格納容器水素イグナイタ温度																																																																																															
			A-AM設備直流電源分層盤	アンニラス水素濃度（可搬型）																																																																																															
			A-AM設備直流電源分層盤																																																																																																
		非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電池式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	C 2-計装用交換分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																																																															
			D 2-計装用交換分電盤	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																															
			C 2-計装用交換分電盤	出力領域中性子束																																																																																															
			D 2-計装用交換分電盤																																																																																																
			A 1-計装用交換分電盤																																																																																																
			A 2-計装用交換分電盤																																																																																																
			B 1-計装用交換分電盤	中間領域中性子束																																																																																															
			B 2-計装用交換分電盤																																																																																																
		C 1-計装用交換分電盤																																																																																																	
		C 2-計装用交換分電盤																																																																																																	
		D 1-計装用交換分電盤																																																																																																	
		D 2-計装用交換分電盤																																																																																																	
A 1-計装用交換分電盤																																																																																																			
A 2-計装用交換分電盤																																																																																																			
B 1-計装用交換分電盤																																																																																																			
B 2-計装用交換分電盤																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉		相違理由																																																											
<p>【比較のため添付資料 1.14.5-(10)を再掲】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対象条文</th> <th style="width: 30%;">供給対象設備</th> <th style="width: 40%;">受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">【1.15】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="2">燃料取替用水ビット水位</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ほう酸タンク水位</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">復水ビット水位</td> <td>C計装用電源</td> </tr> <tr> <td>D計装用電源</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.15】 事故時の計装に関する手順等	燃料取替用水ビット水位	C計装用電源	D計装用電源	ほう酸タンク水位	C計装用電源	D計装用電源	復水ビット水位	C計装用電源	D計装用電源	<p style="text-align: center;">審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対象条文</th> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">電源設備</th> <th style="width: 15%;">給電経路</th> <th style="width: 40%;">給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">【1.16】 事故時の計装に関する手順等</td> <td rowspan="20">・柱チャンネル又は柱レールによる計装 ・代替パラメータによる推定</td> <td rowspan="20">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>A 1-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="3">中性子新領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="3">補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> </tr> <tr> <td>D 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>A 2-計装用交流分電盤</td> <td rowspan="2">補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>B 2-計装用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B 1-計装用交流分電盤</td> <td>使用済燃料ビット監視カメラ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備</td> <td rowspan="2"></td> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>使用済燃料ビット水位（M用）</td> </tr> <tr> <td>A-AM設備直流電源分電盤</td> <td>使用済燃料ビット温度（M用）</td> </tr> </tbody> </table>		対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.16】 事故時の計装に関する手順等	・柱チャンネル又は柱レールによる計装 ・代替パラメータによる推定	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A 1-計装用交流分電盤	中性子新領域中性子束	A 2-計装用交流分電盤	B 1-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（狭域）	A 2-計装用交流分電盤	B 2-計装用交流分電盤	A 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（広域）	B 2-計装用交流分電盤	C 2-計装用交流分電盤	補助給水流量	B 2-計装用交流分電盤	C 2-計装用交流分電盤	D 2-計装用交流分電盤	主蒸気ライン圧力	D 2-計装用交流分電盤	C 2-計装用交流分電盤	原子炉補機冷却水サージタンク水位	D 2-計装用交流分電盤	A 2-計装用交流分電盤	燃料取替用水ビット水位	B 2-計装用交流分電盤	A 2-計装用交流分電盤	ほう酸タンク水位	B 2-計装用交流分電盤	A 2-計装用交流分電盤	補助給水ビット水位	B 2-計装用交流分電盤	B 1-計装用交流分電盤	使用済燃料ビット監視カメラ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備		A-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ビット水位（M用）	A-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ビット温度（M用）	<p>添付資料 1.14.15-(12)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
対象条文	供給対象設備	受電元																																																												
【1.15】 事故時の計装に関する手順等	燃料取替用水ビット水位	C計装用電源																																																												
		D計装用電源																																																												
	ほう酸タンク水位	C計装用電源																																																												
		D計装用電源																																																												
	復水ビット水位	C計装用電源																																																												
		D計装用電源																																																												
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																																										
【1.16】 事故時の計装に関する手順等	・柱チャンネル又は柱レールによる計装 ・代替パラメータによる推定	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備	A 1-計装用交流分電盤	中性子新領域中性子束																																																										
			A 2-計装用交流分電盤																																																											
			B 1-計装用交流分電盤																																																											
			B 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（狭域）																																																										
			A 2-計装用交流分電盤																																																											
			B 2-計装用交流分電盤																																																											
			A 2-計装用交流分電盤	蒸気発生器水位（広域）																																																										
			B 2-計装用交流分電盤																																																											
			C 2-計装用交流分電盤	補助給水流量																																																										
			B 2-計装用交流分電盤																																																											
			C 2-計装用交流分電盤																																																											
			D 2-計装用交流分電盤	主蒸気ライン圧力																																																										
			D 2-計装用交流分電盤																																																											
			C 2-計装用交流分電盤	原子炉補機冷却水サージタンク水位																																																										
			D 2-計装用交流分電盤																																																											
			A 2-計装用交流分電盤	燃料取替用水ビット水位																																																										
			B 2-計装用交流分電盤																																																											
			A 2-計装用交流分電盤	ほう酸タンク水位																																																										
			B 2-計装用交流分電盤																																																											
			A 2-計装用交流分電盤	補助給水ビット水位																																																										
B 2-計装用交流分電盤																																																														
B 1-計装用交流分電盤	使用済燃料ビット監視カメラ																																																													
非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備		A-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ビット水位（M用）																																																											
		A-AM設備直流電源分電盤	使用済燃料ビット温度（M用）																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																															
<p>【比較のため添付資料 1.14.5-(10)を再掲】</p> <table border="1" data-bbox="156 247 940 774"> <tr> <td rowspan="4">【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等</td> <td>中央制御室空調ファン</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>中央制御室循環ファン</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>中央制御室非常用循環ファン</td> <td>A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>可搬型照明 (SA)</td> <td>A 1 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ</td> </tr> </table>	【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	中央制御室空調ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	中央制御室循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	中央制御室非常用循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	可搬型照明 (SA)	A 1 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ	<p>添付資料 1.14.15-(13)</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="1041 231 1892 901"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等</td> <td rowspan="4">・居住性の確保 ・汚染の持ち込み防止 ・放射性物質の濃度低減</td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>A 1 - 原子炉コントロールセンタ</td> <td>A - 中央制御室給気ファン A - 中央制御室循環ファン A - 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調装置ダンプ</td> </tr> <tr> <td>A 2 - 原子炉コントロールセンタ</td> <td>A - アニオス空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td>B 1 - 原子炉コントロールセンタ</td> <td>B - 中央制御室給気ファン B - 中央制御室循環ファン B - 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調装置ダンプ</td> </tr> <tr> <td>B 2 - 原子炉コントロールセンタ</td> <td>B - アニオス空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.17】 監視測定等に関する手順等</td> <td rowspan="4">・モニタリングポスト、モニタリングステーションの代替交流電源からの給電</td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>AM設備監視操作盤</td> <td>可搬型照明 (SA)</td> </tr> <tr> <td>A - 直流母線</td> <td>中央制御室空調装置ダンプ</td> </tr> <tr> <td>B - 直流母線</td> <td>アニオス空気浄化設備ダンプ・非</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電池直流電源設備</td> <td>モニタリングポスト モニタリングステーション</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等</td> <td rowspan="4">・居住性の確保 ・必要な指示及び通信連絡 ・代替電源設備からの給電</td> <td rowspan="4">非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>緊急時対策所 指探用200V分電盤</td> <td>可搬型緊急時対策所 空気浄化ファン</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 指探用100V分電盤</td> <td>データ表示端末</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所 通信設備分電盤</td> <td>データ収集計算機 BSS伝送サーバ</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>SPDS/TSC用 切換器分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	・居住性の確保 ・汚染の持ち込み防止 ・放射性物質の濃度低減	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	A 1 - 原子炉コントロールセンタ	A - 中央制御室給気ファン A - 中央制御室循環ファン A - 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調装置ダンプ	A 2 - 原子炉コントロールセンタ	A - アニオス空気浄化ファン	B 1 - 原子炉コントロールセンタ	B - 中央制御室給気ファン B - 中央制御室循環ファン B - 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調装置ダンプ	B 2 - 原子炉コントロールセンタ	B - アニオス空気浄化ファン	【1.17】 監視測定等に関する手順等	・モニタリングポスト、モニタリングステーションの代替交流電源からの給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	AM設備監視操作盤	可搬型照明 (SA)	A - 直流母線	中央制御室空調装置ダンプ	B - 直流母線	アニオス空気浄化設備ダンプ・非	所内常設蓄電池直流電源設備	モニタリングポスト モニタリングステーション	【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	・居住性の確保 ・必要な指示及び通信連絡 ・代替電源設備からの給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	緊急時対策所 指探用200V分電盤	可搬型緊急時対策所 空気浄化ファン	緊急時対策所 指探用100V分電盤	データ表示端末	緊急時対策所 通信設備分電盤	データ収集計算機 BSS伝送サーバ	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	SPDS/TSC用 切換器分電盤	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等		中央制御室空調ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																														
		中央制御室循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																														
		中央制御室非常用循環ファン	A 2 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																														
	可搬型照明 (SA)	A 1 原子炉コントロールセンタ B 2 原子炉コントロールセンタ																																															
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																													
【1.16】 原子炉制御室の居住性等に関する手順等	・居住性の確保 ・汚染の持ち込み防止 ・放射性物質の濃度低減	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	A 1 - 原子炉コントロールセンタ	A - 中央制御室給気ファン A - 中央制御室循環ファン A - 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調装置ダンプ																																													
			A 2 - 原子炉コントロールセンタ	A - アニオス空気浄化ファン																																													
			B 1 - 原子炉コントロールセンタ	B - 中央制御室給気ファン B - 中央制御室循環ファン B - 中央制御室非常用循環ファン 中央制御室空調装置ダンプ																																													
			B 2 - 原子炉コントロールセンタ	B - アニオス空気浄化ファン																																													
【1.17】 監視測定等に関する手順等	・モニタリングポスト、モニタリングステーションの代替交流電源からの給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	AM設備監視操作盤	可搬型照明 (SA)																																													
			A - 直流母線	中央制御室空調装置ダンプ																																													
			B - 直流母線	アニオス空気浄化設備ダンプ・非																																													
			所内常設蓄電池直流電源設備	モニタリングポスト モニタリングステーション																																													
【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	・居住性の確保 ・必要な指示及び通信連絡 ・代替電源設備からの給電	非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	緊急時対策所 指探用200V分電盤	可搬型緊急時対策所 空気浄化ファン																																													
			緊急時対策所 指探用100V分電盤	データ表示端末																																													
			緊急時対策所 通信設備分電盤	データ収集計算機 BSS伝送サーバ																																													
			非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	SPDS/TSC用 切換器分電盤																																													
<p>【比較のため添付資料 1.14.5-(11)を再掲】</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="156 885 940 1316"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>受電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">【1.17】 監視測定等に関する手順等</td> <td>モニタリングステーション</td> <td rowspan="2">電源車 (緊急時対策所用)</td> </tr> <tr> <td>モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等</td> <td>緊急時対策所可搬型空気浄化ファン</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> <td>3号データ伝送設備 電源 切替分電盤</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ伝送システム</td> <td>4号データ伝送設備 電源 切替分電盤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SPDS表示装置</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	受電元	【1.17】 監視測定等に関する手順等	モニタリングステーション	電源車 (緊急時対策所用)	モニタリングポスト	【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	緊急時対策所分電盤	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備 電源 切替分電盤	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備 電源 切替分電盤		SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤																																
対象条文	供給対象設備	受電元																																															
【1.17】 監視測定等に関する手順等	モニタリングステーション	電源車 (緊急時対策所用)																																															
	モニタリングポスト																																																
【1.18】 緊急時対策所の居住性等に関する手順等	緊急時対策所可搬型空気浄化ファン	緊急時対策所分電盤																																															
	安全パラメータ表示システム (SPDS)	3号データ伝送設備 電源 切替分電盤																																															
	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備 電源 切替分電盤																																															
	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<p>【比較のため添付資料1.14.5-(11)を再掲】</p> <table border="1" data-bbox="152 220 943 783"> <tr> <td rowspan="2">衛星電話（固定）</td> <td>3C1計装用分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td>衛星電話（可搬）</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時衛星通報システム</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【1.19】 通信連絡に関する手順等</td> <td>統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備（TV会議システム、IP電話及びIP-FAX）</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム（SPDS）</td> <td>3号データ伝送設備電源切替分電盤</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ伝送システム</td> <td>4号データ伝送設備電源切替分電盤</td> </tr> <tr> <td>SPDS表示装置</td> <td>緊急時対策所分電盤</td> </tr> </table>	衛星電話（固定）	3C1計装用分電盤	緊急時対策所分電盤	衛星電話（可搬）	緊急時対策所分電盤	緊急時衛星通報システム	緊急時対策所分電盤	【1.19】 通信連絡に関する手順等	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備（TV会議システム、IP電話及びIP-FAX）	緊急時対策所分電盤	安全パラメータ表示システム（SPDS）	3号データ伝送設備電源切替分電盤	安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤	SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤	<p>添付資料 1.14.15-(14)</p> <p>審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="1043 245 1899 887"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>対応手段</th> <th>電源設備</th> <th>給電経路</th> <th>給電対象設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">【1.19】 通信連絡に関する手順等</td> <td rowspan="2">・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備</td> <td rowspan="2">非常用交直流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td rowspan="2">緊急時対策所通信機器電源 緊急時対策所用発電機</td> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">緊急時対策所用発電機</td> <td>緊急時対策所用発電機</td> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用発電機</td> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【1.19】 通信連絡に関する手順等</td> <td rowspan="4">・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備</td> <td rowspan="4">非常用交直流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備</td> <td rowspan="4">緊急時対策所用発電機</td> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用分電盤</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備	【1.19】 通信連絡に関する手順等	・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備	非常用交直流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	緊急時対策所通信機器電源 緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤	緊急時対策所用分電盤	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤	【1.19】 通信連絡に関する手順等	・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備	非常用交直流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤	緊急時対策所用分電盤	緊急時対策所用分電盤	緊急時対策所用分電盤	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・対応手段名及び給電対象設備へ給電する電源設備の項目を追加。</p>
衛星電話（固定）		3C1計装用分電盤																																								
	緊急時対策所分電盤																																									
衛星電話（可搬）	緊急時対策所分電盤																																									
緊急時衛星通報システム	緊急時対策所分電盤																																									
【1.19】 通信連絡に関する手順等	統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備（TV会議システム、IP電話及びIP-FAX）	緊急時対策所分電盤																																								
	安全パラメータ表示システム（SPDS）	3号データ伝送設備電源切替分電盤																																								
安全パラメータ伝送システム	4号データ伝送設備電源切替分電盤																																									
SPDS表示装置	緊急時対策所分電盤																																									
対象条文	対応手段	電源設備	給電経路	給電対象設備																																						
【1.19】 通信連絡に関する手順等	・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備	非常用交直流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	緊急時対策所通信機器電源 緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤																																						
				緊急時対策所用分電盤																																						
	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤																																							
		緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤																																							
【1.19】 通信連絡に関する手順等	・発電所内の通信連絡設備 ・発電所外の通信連絡設備	非常用交直流電源設備 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備	緊急時対策所用発電機	緊急時対策所用分電盤																																						
				緊急時対策所用分電盤																																						
				緊急時対策所用分電盤																																						
				緊急時対策所用分電盤																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

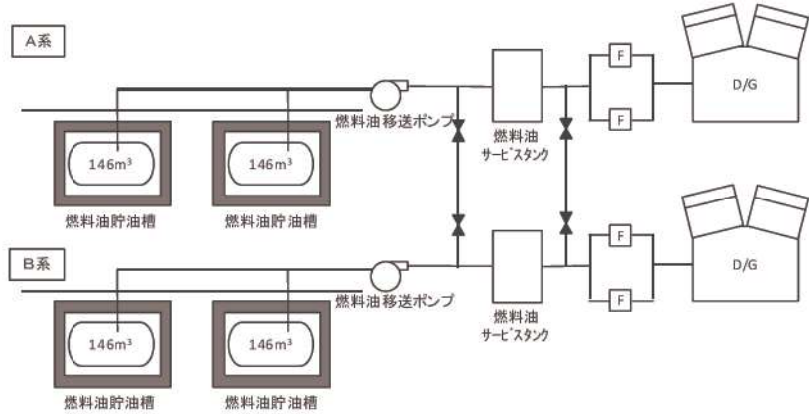
大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.14.16</p> <p style="text-align: center; color: red;">重大事故等時における燃料補給に係る複数ルートの確保について</p> <p>泊3号炉重大事故等対策有効性評価において、その機能に期待する重大事故等対処設備のうち、重大事故等発生後7日間運転を継続させるために燃料補給が必要となる設備は、代替非常用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策所用発電機（以下「代替非常用発電機等」という。）である。</p> <p>代替非常用発電機等に燃料を補給するため、可搬型タンクローリー（以下「タンクローリー」という。）によりディーゼル発電機燃料油貯油槽（以下「燃料油貯油槽」という。）から直接燃料を汲み上げた後、タンクローリーを代替非常用発電機等の付近に移動し、燃料を補給する手段を整備している。</p> <p>この直接汲み上げ方式の場合、タンクローリーをT.P.31m以上にある保管場所から燃料油貯油槽付近まで移動する必要があるが、燃料油貯油槽までのアクセスルートは原子炉建屋東側を通る1つのルートのみであることから、設置許可基準規則第四十三条（重大事故等対処設備）第3項第六号の要求である「想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。」に適合するため、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ（以下「燃料油移送ポンプ」という。）を用いて燃料移送ルートを建屋内に確保することで、代替非常用発電機等に燃料補給するための複数のルートを確保する。</p>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>1. 設置許可基準規則（抜粋） （第四十三条第3項第六号）</p> <div data-bbox="1084 256 1856 448" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 可搬型重大事故等対処設備に関しては、第一項に定めるもののほか、次に掲げるものでなければならない。</p> <p>六 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> </div> <p>2. 泊3号炉43条まとめ資料（抜粋）</p> <div data-bbox="1077 552 1856 908" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1.1.10.4 操作性及び試験・検査性</p> <p>(1) 操作性の確保</p> <p>d. 発電所内の屋外道路及び屋内通路の確保</p> <p><u>想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、発電所内の道路及び通路が確保できるよう、以下の設計とする。</u></p> <p><u>屋外及び屋内において、想定される重大事故等の対処に必要な可搬型重大事故等対処設備の保管場所から設置場所及び接続場所まで運搬するための経路、又は他の設備の被害状況を把握するための経路（以下「アクセスルート」という。）は、自然現象、外部人為事象、溢水及び火災を想定しても、運搬、移動に支障をきたすことのないよう、迂回路も考慮して複数のアクセスルートを確保する。</u></p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <p>・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p>3. 代替非常用発電機等への燃料補給手段</p> <p>重大事故等発生時、代替非常用発電機等を運転した後、約7日間運転を継続させるため、代替非常用発電機等の燃料が枯渇する前にタンクローリーにより燃料を補給する必要がある。</p> <p>タンクローリーは、T.P. 31m以上の高台に保管しており、燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げる場合、燃料油貯油槽付近まで移動する必要があるが、原子炉建屋の東側を通るルートのみであり、複数のルートが確保できない。このため、西側ルートとして、非常用発電設備のディーゼル発電機（以下「DG」という。）の燃料を移送するために設けている燃料油移送ポンプを用いることで、原子炉建屋西側まで燃料を移送する2ルート目を確保する。</p> <p>(1) DG燃料系統</p> <p>DGが運転中は、燃料油貯油槽から燃料油移送ポンプによりディーゼル発電機燃料油サービスタック（以下「燃料油サービスタック」という。）に燃料を移送し、DG機関付けの燃料循環ポンプにより、DG機関に燃料を供給する設備構成となっている。（図-1参照）</p>  <p style="text-align: center;">図-1 DG燃料系統 概要図</p>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

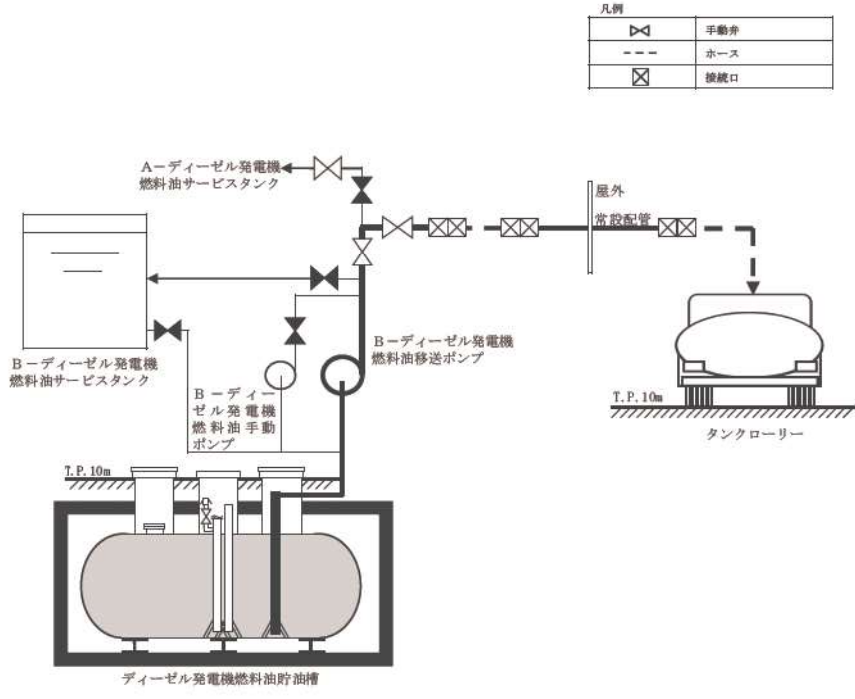
1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(2) タンクローリーによる直接汲み上げ（第1ルート）</p> <p>タンクローリーによる直接汲み上げに係る概要図を図-2に、アクセスルートを図-3に示す。原子炉建屋の東側を通るルートより、タンクローリーを燃料油貯油槽付近まで移動し、タンクローリーに取り付けたホースを燃料油貯油槽の給油口に挿入するとともに、タンクローリー付きの給油ポンプにより、燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げる。</p> <p>汲み上げ作業完了後、タンクローリーを代替非常用発電機等の付近に移動し、燃料を補給する。</p> <p>a. 要員数：災害対策要員2名 b. 想定時間：約2時間</p> <div data-bbox="1142 399 1859 845" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">ディーゼル発電機燃料油貯油槽</p> <p style="text-align: center;">タンクローリー</p> </div> <p style="text-align: center;">図-2 タンクローリーによる直接汲み上げ手段 概要図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1048 199 1899 686" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1057 691 1482 715">*1 燃料タンク (SA) については、今後の稼働により変更となる可能性がある。</p> <p data-bbox="1144 735 1738 759" style="text-align: center;">図-3 タンクローリーによる直接汲み上げ手段 アクセスルート</p>	<p data-bbox="1944 199 2150 454">【大飯】 設備の相違 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>

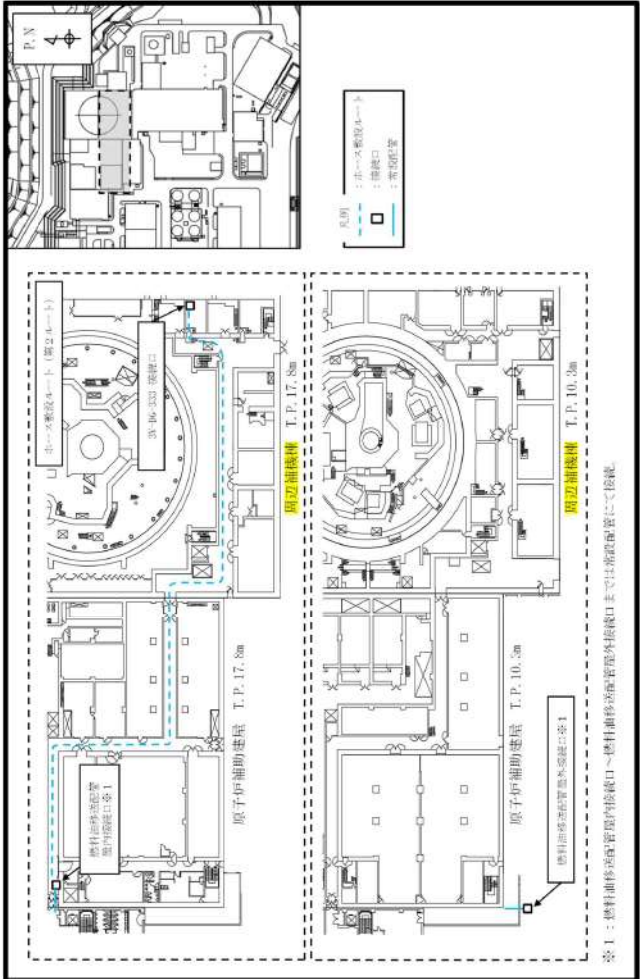
1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p>(3) 燃料油移送ポンプによる汲み上げ（第2ルート）</p> <p>燃料油移送ポンプによる汲み上げに係る概要図を図-4に、アクセスルートを図-5、建屋内ホース敷設ルートを図-6に示す。</p> <p>燃料油移送ポンプから燃料油サービスタンクへの移送ラインにホースを取り付け、タンクローリーの移動先である原子炉補助建屋西側までホースを建屋内に敷設し、燃料油移送配管屋内接続口に接続する。その後、燃料油移送配管屋外接続口にホースを接続し、タンクローリーまでホースを敷設する。</p> <p>準備作業完了後、燃料油移送ポンプを運転し、燃料油貯油槽からタンクローリーへ燃料を汲み上げる。</p> <p>汲み上げ作業完了後、タンクローリーによる直接汲み上げ手段と同様に、タンクローリーを代替非常用発電機等の付近に移動し、燃料を補給する。</p> <p>a. 要員数：運転員（現場）1名、災害対策要員2名 b. 想定時間：約3時間</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">☒</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">---</td> <td>ホース</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">☒</td> <td>接続口</td> </tr> </tbody> </table> </div>  <p style="text-align: center;">図-4 燃料油移送ポンプによる汲み上げ手段 概要図</p>	凡例		☒	手動弁	---	ホース	☒	接続口	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 設備の相違 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>
凡例										
☒	手動弁									
---	ホース									
☒	接続口									

1.14 電源の確保に関する手順等

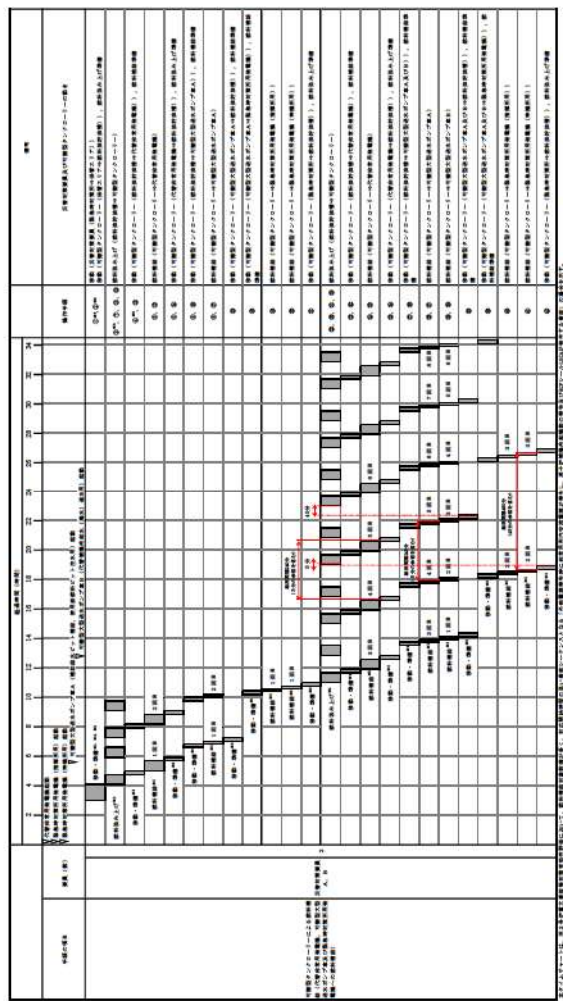
大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">図-5 燃料油移送ポンプによる汲み上げ手段 アクセスルート</p>	<p>【大飯】 設備の相違 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。</p>

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	 <p data-bbox="1317 1187 1621 1214">図-6 建屋内ホース敷設ルート</p>	<p data-bbox="1944 201 2024 225">【大飯】</p> <p data-bbox="1944 233 2024 256">設備の相違</p> <ul data-bbox="1944 264 2152 456" style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p>(4) 複数設備への燃料補給対応</p> <p>複数の燃料補給対象設備に期待する重大事故等を想定した場合であっても、タンクローリー1台を用いることで、代替非常用発電機等の運転を継続するために必要な燃料補給について、重大事故等発生後7日間の対応が可能である。要員及びタンクローリーの動きの一例を示したタイムチャートを図-7及び図-8に示す。</p>  <p style="text-align: center;">図-7 タンクローリーから各設備への燃料補給サイクル タイムチャート (タンクローリーによる直接汲み上げ手段を用いる場合)</p>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

比較対象なし

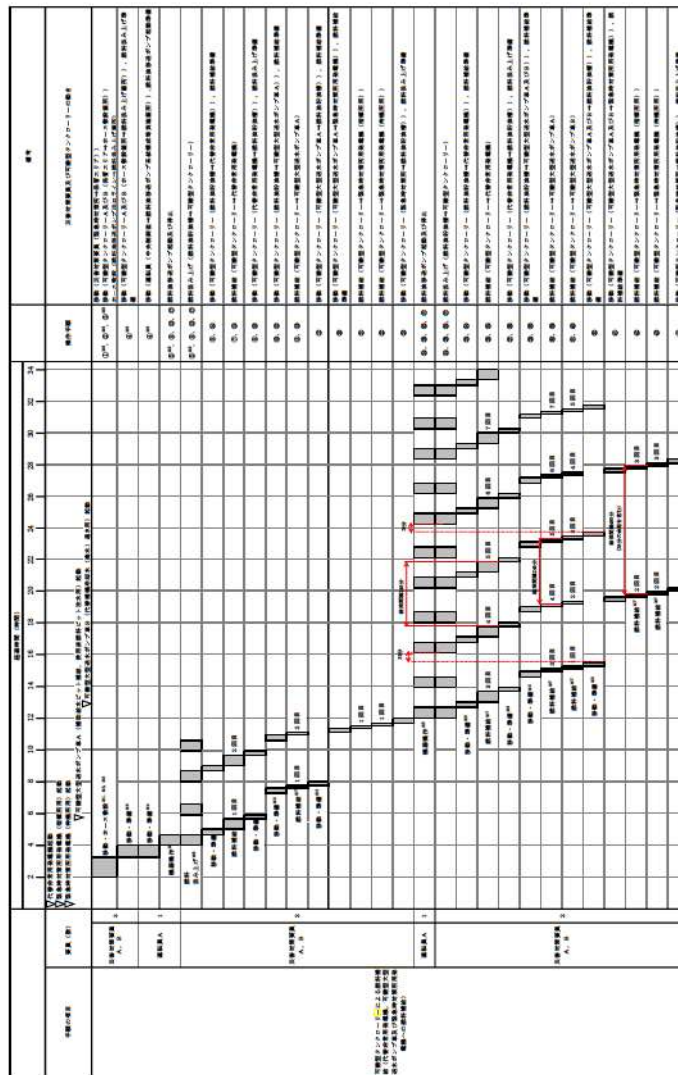


図-8 タンクローリーから各設備への燃料補給サイクル タイムチャート
 (燃料油移送ポンプによる汲み上げ手段を用いる場合)

【大飯】
 設備の相違
 ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>4. まとめ</p> <p>設置許可基準規則第四十三条に適合するため、タンクローリーによる直接汲み上げ手段及び燃料油移送ポンプによる汲み上げ手段の2つの手段を整備することにより、代替非常用発電機等へ燃料補給するための複数のアクセスルートを確認する。</p> <p>2つの手段の優先順位は、作業性や必要要員数、作業に要する時間等を考慮し、タンクローリーのみを用いて燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げるタンクローリーによる直接汲み上げ手段を優先する。</p> <p>上記のアクセスルートの確保ができない等、直接汲み上げ手段が使用できない場合は、燃料油移送ポンプによる汲み上げ手段を使用する。</p> <p>また、発電所内に、50kL程度の燃料を追加で確保するため、燃料タンク（SA）を燃料油貯油槽と離れた場所に整備し、更なる燃料補給手段の信頼性向上を図る方針としており、状況に応じて当該タンクからのタンクローリーによる直接汲み上げができる手段を確認する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>【大飯】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型タンクローリーから燃料油貯油槽までのアクセスルートを複数確保するために、美浜同様に燃料油移送ポンプを用いた補給手段を整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<div data-bbox="421 762 674 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1. 14. 17</p> <p style="text-align: center;">解釈一覧</p> <p style="text-align: center;">1. 弁番号及び弁名称一覧</p> <table border="1" data-bbox="1057 316 1890 475"> <thead> <tr> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3V-DG-311B</td> <td>B-燃料油手動ポンプ出口弁</td> <td>ディーゼル発電機建屋T.P.6.2m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-312A</td> <td>A-燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-309B</td> <td>B-燃料油サービスタンク入口弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-317B</td> <td>B-燃料油サービスタンク油面制御元弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-312B</td> <td>B-燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> <tr> <td>3V-DG-333</td> <td>燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁</td> <td>周辺補機棟T.P.17.8m</td> </tr> </tbody> </table>	弁番号	弁名称	操作場所	3V-DG-311B	B-燃料油手動ポンプ出口弁	ディーゼル発電機建屋T.P.6.2m	3V-DG-312A	A-燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-309B	B-燃料油サービスタンク入口弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-317B	B-燃料油サービスタンク油面制御元弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-312B	B-燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m	3V-DG-333	燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁	周辺補機棟T.P.17.8m	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p>
弁番号	弁名称	操作場所																					
3V-DG-311B	B-燃料油手動ポンプ出口弁	ディーゼル発電機建屋T.P.6.2m																					
3V-DG-312A	A-燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-309B	B-燃料油サービスタンク入口弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-317B	B-燃料油サービスタンク油面制御元弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-312B	B-燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					
3V-DG-333	燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁	周辺補機棟T.P.17.8m																					

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SAT115-9 r.6.0
提出年月日	令和5年5月31日

泊発電所3号炉

「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の
重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を
実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」
に係る適合状況説明資料
比較表

1.15 事故時の計装に関する手順等

令和5年5月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
比較結果等を取りまとめた資料			
1. 先行審査実績を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)			
1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由			
<ul style="list-style-type: none"> a. 大飯3 / 4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : 下記1件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを重大事故等対処設備に位置付けた。【比較表 p1. 15-92, 93, 103】 c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし d. 当社が自主的に変更したもの : なし 			
1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由			
<ul style="list-style-type: none"> a. 大飯3 / 4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : 下記3件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等のために監視が必要なパラメータとして、技術的能力に係る審査基準 1.11 及び 1.12 のパラメータも抽出対象とした。 (使用済燃料ピット関連パラメータを追加) 【比較表 p1. 15-5, 33, 60, 90, 91, 99, 101, 103, 104】 ・ 第 1.15.3 図 (パラメータ記録時に使用する設備の系統概要図) を追加した。【比較表 p1. 15-106】 ・ 第 1.15.4 図 (交流 / 直流の単線結線図) を交流及び直流の単線結線図に書き分けた。【比較表 p1. 15-107, 108】 c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし d. 当社が自主的に変更したもの : 下記2件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来から第 1.15.3 表で重要代替監視パラメータに位置付けていた原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイト温度を第 1.15.2 表及び第 1.15.3 図へ反映した。 【比較表 p1. 15-57, 104】 ・ 記録に係る重大事故等対処設備であるデータ収集計算機及びデータ表示端末は、技術的能力 1.18 及び 1.19 まとめ資料内の表現と整合を図るため、設備名称をデータ伝送設備 (発電所内) とした。【比較表 p1. 15-14, 15, 48, 50, 60, 100, 101, 106】 			
1-3) バックフィット関連事項			
なし			
2. まとめ資料との比較結果の概要			
2-1) 設備、運用又は体制の相違			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備、運用又は体制の主な相違を表 1 に示す。また、重大事故等対処設備一覧を表 3 に示す。 			
2-2) 記載方針の相違			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載方針の主な相違を表 2 に示す。 			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>表1：設備、運用又は体制の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
①	(電源供給に係る自主対策設備) 可搬型バッテリー(炉外核計装装置、放射線監視盤)	—	可搬型バッテリー(炉外核計装装置用、放射線監視装置用)	泊では、電源を供給できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において長期間連続監視することができないものの、代替電源による給電ができない場合において、炉外核計装装置及び放射線監視装置のパラメータを把握するために可搬型バッテリー(炉外核計装装置用、放射線監視装置用)により電源供給する手段を整備している。(大飯と同様) (例：比較表p1.15-2)			
②	(記録に係る重大事故等対処設備) 可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用)	—	可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	泊では、重大事故等時において、海水を通水して原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合は、原子炉格納容器外の原子炉補機冷却水配管に可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)を取付け、原子炉格納容器内の冷却状況を計測、記録する手段を整備している。(大飯も同様) (例：比較表p1.15-3)			
③	(多重化された計器) 多重化された計器の他チャンネル又は他ループの計器	多重化された計器の他チャンネルの計器	多重化された計器の他チャンネル又は他ループの計器	PWRは、原子炉で加熱された1次冷却材を蒸気発生器において2次冷却材と熱交換を行う複数のループで構成しており、一部のパラメータ(※)については当該ループのパラメータを他ループの同様パラメータにより推定が可能である。(例：比較表p1.15-9) ※1次冷却材温度(広域-高温側)、1次冷却材温度(広域-低温側)、1次冷却材圧力(広域)、 主蒸気ライン圧力			
④	(記録に係る重大事故等対処設備) ・安全パラメータ表示システム(SPDS) ・SPDS表示装置	・安全パラメータ表示システム(SPDS) (データ収集装置、SPDS伝送装置及びSPDS表示装置により構成)	・データ伝送設備(発電所内) (データ収集計算機及びデータ表示端末により構成)	女川では、安全パラメータ表示システム(SPDS)のうち、データ収集装置でパラメータの値を収集、SPDS伝送装置で記録し、SPDS表示装置により記録したパラメータを確認できる設備構成としている。泊では、データ伝送設備(発電所内)のうち、データ収集計算機でパラメータの値を収集、記録し、データ表示端末により記録したパラメータを確認できる設備構成としている。大飯と泊の設備構成は同様。(例：比較表p1.15-14)			
⑤	(記録に係る自主対策設備) プラント計算機	プロセス計算機 中央制御室記録計	プラント計算機	・女川は、エリア放射線モニタを中央制御室記録計でのみ記録しているため、記録に係る設備として中央制御室記録計を記載している。 ・泊では、中央制御室の記録計だけで記録するパラメータはなく、プラント計算機で記録することから記録計は記載していない。(先行PWRも同様) (例：比較表p1.15-15)			
⑥	(記録用紙へ記録する現場指示計) 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	—(現場指示計なし)	原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)	泊では、重大事故等時において、原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合に、原子炉補機冷却水系統の沸騰防止のために窒素ポンペにより加圧することから原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)を設置し、記録については、記録用紙へ記録する。(先行PWRも同様) (例：比較表p1.15-15)			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
No.	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
⑦	(計器故障時の重要代替監視パラメータ指示値の確認者) 記載なし	運転員(中央制御室) A	運転員(中央制御室) A又は運転員(現場) B	泊では、重要代替監視パラメータを計測する設備に現場の計器(原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)、格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)もあるため、運転員(現場) Bも記載。(例:比較表 p1. 15-19)			
⑧	(計器故障時、計測範囲超過時の代替パラメータによる推定作業の実施者) 記載なし	発電所対策本部の重大事故等対策要員(運転員を除く。)	運転員(中央制御室) A	<ul style="list-style-type: none"> 女川では、重要代替監視パラメータの指示値から主要パラメータを推定する作業は、発電所対策本部の指示の下、重大事故等対策要員(運転員を除く。)が実施するため、指揮系統が異なる。 泊では、この主要パラメータの推定作業を速やかに実施できる運転員(中央制御室) Aが実施する。運転員(中央制御室) Aはあらかじめ定めた手順に従い、速やかに実施が可能である。(例:比較表 p1. 15-19) 			
⑨	(可搬型計測器による計測の実施体制) 発電所対策本部の緊急安全対策要員2名	運転員(中央制御室) 1名 発電所対策本部の重大事故等対策要員(運転員を除く。) 1名※ ※重大事故等対策要員(運転員を除く。)が中央制御室に到着するまでの間は、運転員(中央制御室) Aにて実施する。	災害対策要員1名 (初動対応で中央制御室に駐在)	<ul style="list-style-type: none"> 女川は、発電所対策本部の重大事故等対策要員(運転員を除く。)が到着するまでは、運転員(中央制御室)が対応し、到着後は2名で対応する。 大飯は、発電所対策本部の緊急安全対策要員2名で対応する。 泊は、夜間休日においても発電所内に常駐する要員である災害対策要員が1名で対応する。1名作業となっていることについては川内と同様。(例:比較表 p1. 15-39) 			
⑩	(重大事故等対処設備の補助パラメータ) -	重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備	重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備	泊では、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備に位置付けている。(女川実績の反映)(例:比較表 p1. 15-92)			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>表2：記載方針の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
①	(電源設備の総称) —	常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 常設代替直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備 非常用交流電源設備 非常用直流電源設備 燃料補給設備	常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備 非常用交流電源設備 非常用直流電源設備 燃料補給設備	大飯は電源設備を個別の設備名称で記載しているのに対し、泊は電源設備の総称を記載している。(女川実績の反映) (例：比較表p1.15-1)			
②	(パラメータ抽出の対象) 技術的能力に係る審査基準 1.1～1.10, 1.13, 1.14	技術的能力に係る審査基準 1.1～1.14	技術的能力に係る審査基準 1.1～1.14	泊では、重大事故等時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等のために監視が必要なパラメータとして、技術的能力 1.11, 1.12 に係るパラメータも抽出している。(女川実績の反映) (例：比較表p1.15-5)			
③	(計器故障時の手順着手の判断基準) 主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器の故障が疑われた場合	重大事故等に対処するために発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータを計測する重要計器が故障した場合	重大事故等に対処するために発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータを計測する重要計器又は常用計器が故障した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・女川は常用計器が故障した場合に当該パラメータを推定するための代替パラメータを設定しているが、常用計器は自主対策設備であるため手順着手の判断基準に記載していない。(常用計器：制御棒位置指示系) ・泊も常用計器が故障した場合に当該パラメータを推定するための代替パラメータを設定しており、自主対策設備であっても使用可能であれば使用する対応手段とし、広くパラメータを使用することとしているため、手順着手の判断基準は重要計器又は常用計器が故障した場合としている。(先行PWRと同様) (比較表p1.15-18) (常用計器：第1.15.3表の炉心出口温度ほか) ・女川と泊では、炉型の相違に伴い設備構成及び対応手段が大きく異なることから、主要パラメータ(重要計器及び常用計器)の構成も異なるが、有効性評価で監視機能を期待しているパラメータを重要計器としていることに相違ない。 			
④	(原子炉格納容器内の水素処理装置を監視するパラメータ) 静的触媒式水素再結合装置温度、原子炉格納容器水素燃焼装置温度を第1.15.3表(代替パラメータによる主要パラメータの推定)にのみ重要代替パラメータとして記載	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置を第1.15-3表(代替パラメータによる主要パラメータの推定)の他、重要代替監視パラメータとして必要な箇所に記載	原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度を第1.15.3表(代替パラメータによる主要パラメータの推定)の他、重要代替監視パラメータとして必要な箇所に記載	泊では、原子炉格納容器内の水素処理装置を監視するパラメータである原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度は重要代替監視パラメータとして、まとめ資料内の必要な箇所に記載している。(女川実績の反映) (例：比較表p1.15-57)			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表3：重大事故等対処設備一覧（1/2）				
設備	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	
重要監視パラメータ/重要代替監視パラメータ	(常設) 1次冷却材高温側温度 (広域) 1次冷却材低温側温度 (広域) 1次冷却材圧力 加圧器水位 原子炉水位 高圧注入流量 余熱除去流量 恒設代替低圧注水積算流量 格納容器スプレイ積算流量 格納容器内温度 格納容器圧力(広域) AM用格納容器圧力 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 原子炉格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 静的触媒式水素再結合装置温度 原子炉格納容器水素燃焼装置温度 アンユラス水素濃度 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器補助給水流量 主蒸気圧力 原子炉補機冷却水サージタンク水位 燃料取替用水ピット水位 ほう酸タンク水位 復水ピット水位	(常設) 原子炉圧力容器温度 原子炉圧力 原子炉圧力 (SA) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 高圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイ流量 原子炉格納容器下部注水流量 ドライウェル温度 圧力抑制室内空気温度 サプレッションプール水温度 原子炉格納容器下部温度 ドライウェル圧力 圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位 原子炉格納容器下部水位 ドライウェル水位 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C) 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) 起動領域モニタ 平均出力領域モニタ フィルタ装置水位 (広帯域) フィルタ装置入口圧力 (広帯域) フィルタ装置出口圧力 (広帯域) フィルタ装置水温度 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置出口水素濃度	(常設) 1次冷却材温度 (広域-高温側) 1次冷却材温度 (広域-低温側) 1次冷却材圧力 (広域) 加圧器水位 原子炉容器水位 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力 (AM用) 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 原子炉格納容器内水素処理装置温度 格納容器水素イグナイト温度 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 蒸気発生器水位 (狭域) 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水流量 主蒸気ライン圧力 原子炉補機冷却水サージタンク水位 燃料取替用水ピット水位 ほう酸タンク水位 補助給水ピット水位 使用済燃料ピット水位 (AM用) 使用済燃料ピット温度 (AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表3：重大事故等対処設備一覧（2/2）				
設備	大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	
重要監視パラメータ／重要代替監視パラメータ（続き）	（可搬型） 可搬型格納容器水素ガス濃度 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）	（常設） 耐圧強化ベント系放射線モニタ 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 原子炉補機冷却水系系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 復水貯蔵タンク水位 高圧代替注水系ポンプ出口圧力 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 代替循環冷却ポンプ出口圧力 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力 低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 復水移送ポンプ出口圧力 原子炉建屋内水素濃度 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 格納容器内雰囲気酸素濃度 使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） 使用済燃料プール水位／温度（ガイドバルブ式） 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） 使用済燃料プール監視カメラ	（可搬型） 格納容器内水素濃度 アンユラス水素濃度（可搬型） 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型） 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度 使用済燃料ピット水位（可搬型） 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置	
補助パラメータ（重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ）	—	6-2F-1母線電圧 6-2F-2母線電圧 6-2C母線電圧 6-2D母線電圧 6-2H母線電圧 4-2C母線電圧 4-2D母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧 250V直流主母線電圧 HPCS125V直流主母線電圧 高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力	6-A，B母線電圧 A，B-直流コントロールセンタ母線電圧 A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	
記録装置	安全パラメータ表示システム（SPDS） SPDS表示装置 可搬型温度計測装置	安全パラメータ表示システム（SPDS）	データ伝送設備（発電所内） 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）	
その他	可搬型計測器	可搬型計測器	可搬型計測器	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 設備の選定と対応手順</p> <p>(1) 設備の選定と対応手段の考え方</p> <p>(2) 設備の選定と対応手段の選定の結果</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失</p> <p>(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>a. 全交流動力電源喪失時の代替電源の供給</p> <p>b. 直流電源喪失時の代替電源の供給</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失</p> <p>(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備からの給電</p> <p>b. 常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は号炉間電力融通設備からの給電</p> <p>c. 代替所内電気設備による給電</p> <p>d. 常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備又は125V代替充電器用電源車接続設備からの給電</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p style="text-align: center;"><目次></p> <p>1.15.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>(2) 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>a. 代替パラメータによる推定</p> <p>b. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>c. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>1.15.2.2 計測に必要な電源の喪失</p> <p>(1) 全交流動力電源喪失及び直流電源喪失</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備からの給電</p> <p>b. 常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、後備変圧器、号炉間電力融通設備又は開閉所設備からの給電</p> <p>c. 代替所内電気設備による給電</p> <p>d. 可搬型代替直流電源設備からの給電</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 章立ての相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は計測範囲（把握能力）を超えた場合の対応手段の優先順位について記載している。（詳細は1.15-41参照）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違） ・女川2号炉では所内常設蓄電式直流電源設備による給電ができない場合の手</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">＜比較のため入れ替え＞</p> <p>d. 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）による電源の供給</p> <p>e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>1.15.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順 1.15.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p>	<p>【伊方3号炉1.14まとめ資料より転載】</p> <p>d. 代替電源（直流）による給電対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 全交流動力電源が喪失した場合において、交流動力電源又は代替電源（交流）による非常用直流母線への給電が復旧する見込みがない場合及び蓄電池（非常用）からの給電ができない場合、代替電源（直流）により非常用直流母線へ給電する手段がある。 代替電源（直流）による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池（重大事故等対処用） 可搬型直流電源装置（75kVA 電源車及び可搬型整流器による構成） <p>1.14.2.4 代替電源（直流）による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池（重大事故等対処用）による代替電源（直流）からの給電 蓄電池（非常用）は、全交流動力電源喪失時において、事象発生後、2時間以内に中央制御室に隣接する計装盤室において簡易な操作で不要な負荷を切離すことにより8時間、その後、事象発生から8時間以内に不要な負荷を切離し、蓄電池（重大事故等対処用）へ切替えることで24時間にわたって給電を確保する。</p> <p>(2) 可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電 全交流動力電源喪失時に、蓄電池（重大事故等対処用）からの給電にて母線電圧が低下する前（事象発生後約24時間）に、可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電を行う。</p> <p>e. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>f. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>1.15.2.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順 1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p>	<p>e. 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）からの給電</p> <p>f. 可搬型計測器によるパラメータ計測又は監視</p> <p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>1.15.2.3 重大事故等時のパラメータを記録する手順 1.15.2.4 その他の手順項目にて考慮する手順</p>	<p>段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、これら電源による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊3号炉では所内常設蓄電池式直流電源設備（蓄電池（非常用）と後備蓄電池）による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型直流代替電源設備（可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器）による給電により対応する。（伊方3と同様） 女川2号炉では125V蓄電池2A,2Bによる直流母線給電ができない場合かつ電源車から代替所内電気設備を経由し125V充電器へ給電できない場合に、電源車を125V代替充電器用電源車接続設備に接続し125V代替充電器へ給電する手段を整備している（自主対策の相違）。 <p>（以降、「設備の相違（電源設備の相違）」と記載する）</p> <p>【大飯】 章立ての相違</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由①）（大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">＜比較のため入れ替え＞</p> <p>添付資料 1.15.1 重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表</p> <p>添付資料 1.15.3 重大事故等の対処に必要なパラメータの選定</p> <p>添付資料 1.15.4 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>添付資料 1.15.5 可搬型計測器による監視パラメータ計測手順</p> <p>添付資料 1.15.8 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理</p> <p>添付資料 1.15.13 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について</p> <p>添付資料 1.15.2 多様性拡張設備仕様</p> <p>添付資料 1.15.6 可搬型バッテリーによる炉外核計装盤への電源供給</p> <p>添付資料 1.15.7 可搬型バッテリーによる放射線監視盤への電源供給</p> <p>添付資料 1.15.9 原子炉圧力容器の水位の推定手段について</p> <p>添付資料 1.15.10 炉心出口温度の監視について</p> <p>添付資料 1.15.11 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>添付資料 1.15.12 重大事故等時の監視パラメータの記録について</p> <p>添付資料 1.15.14 手順のリンク先について</p>	<p>添付資料 1.15.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表</p> <p>添付資料 1.15.2 重大事故等の対処に必要なパラメータの選定</p> <p>添付資料 1.15.3 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>添付資料 1.15.4 重大事故等対策の成立性</p> <p>添付資料 1.15.5 可搬型計測器の必要個数整理</p> <p>添付資料 1.15.6 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について</p> <p>添付資料 1.15.7 原子炉水温と原子炉圧力容器温度の相関について</p> <p>添付資料 1.15.8 圧力抑制室水位による LOCA 事象の検知について</p> <p>添付資料 1.15.9 圧力容器ベDESTAL内ドライウェル温度検出器による原子炉圧力容器破損判断について</p>	<p>添付資料 1.15.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表</p> <p>添付資料 1.15.2 重大事故等の対処に必要なパラメータの選定</p> <p>添付資料 1.15.3 重大事故等対処に係る監視事項</p> <p>添付資料 1.15.4 重大事故等対策の成立性</p> <p>添付資料 1.15.5 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）の必要個数整理</p> <p>添付資料 1.15.6 代替パラメータにて重大事故等対処時の判断基準を判断した場合の影響について</p> <p>添付資料 1.15.7 自主対策設備仕様</p> <p>添付資料 1.15.8 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（炉外核計装信号処理部）への電源供給</p> <p>添付資料 1.15.9 可搬型バッテリーによる原子炉安全保護盤（放射線監視設備信号処理部）への電源供給</p> <p>添付資料 1.15.10 原子炉容器の水位の推定手段について</p> <p>添付資料 1.15.11 炉心出口温度の監視について</p> <p>添付資料 1.15.12 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>添付資料 1.15.13 重大事故等時の監視パラメータの記録について</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違 【女川】設備構成の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 ・設備構成の相違に伴う添付資料の構成の相違。 【大飯】 設備名称の相違 添付資料番号の相違</p> <p>【大飯】 資料構成の相違（女川実績の反映） ・泊では、手順のリンク先は本文に記載しているため、添付資料を作成していない。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p><要求事項> 発電用原子炉設置者において、重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1. 「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合においても当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <p>a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確化すること。（最高計測可能温度等）</p> <p>b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力（最高計測可能温度等）を超えた場合の発電用原子炉施設の状態を推定すること。</p> <p>i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位を推定すること。</p> <p>ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を推定すること。</p> <p>iii) 推定するために必要なパラメータについて、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。</p> <p>c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。</p> <p>d) 直流電源喪失時に、特に重要なパラメータを計測又は監視を行う手順等（テスター又は換算表等）を整備すること。</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器の故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p>【要求事項】 発電用原子炉設置者において、重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合においても当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <p>a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確化すること。（最高計測可能温度等）</p> <p>b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力（最高計測可能温度等）を超えた場合の発電用原子炉施設の状態を推定すること。</p> <p>i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位を推定すること。</p> <p>ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を推定すること。</p> <p>iii) 推定するために必要なパラメータについて、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。</p> <p>c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。</p> <p>d) 直流電源喪失時に、特に重要なパラメータを計測又は監視を行う手順等（テスター又は換算表等）を整備すること。</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータの推定に有効な情報を把握するため、計器の故障（検出器の測定値不良、ケーブルの断線等）時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p>	<p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <p><要求事項> 発電用原子炉設置者において、重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <p>a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確化すること。（最高計測可能温度等）</p> <p>b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力（最高計測可能温度等）を超えた場合の発電用原子炉施設の状態を推定すること。</p> <p>i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位を推定すること。</p> <p>ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を推定すること。</p> <p>iii) 推定するために必要なパラメータについて、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。</p> <p>c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。</p> <p>d) 直流電源喪失時に、特に重要なパラメータを計測又は監視を行う手順等（テスター又は換算表等）を整備すること。</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータの推定に有効な情報を把握するため、計器の故障（検出器の測定値不良、ケーブルの断線等）時の対応、計器の計測範囲を超えた場合への対応、計器電源の喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15.1 設備の選定と対応手順 (1) 設備の選定と対応手段の考え方 重大事故等発生時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を実施するため、発電用原子炉施設（以下「原子炉施設」という。）の状態を把握することが重要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを整理し、検討した炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために監視することが必要なパラメータを明確にする（第1.15.1図）。</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態を監視する主要パラメータは、事象の判別を行う運転手順書の判断基準、炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書の適用条件、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順書の適用条件及び技術的能力に係る審査基準1.1～1.10、1.13、1.14のパラメータより選定する。</p> <p>技術的能力に係る審査基準1.11、1.12、1.16～1.19については、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した使用済燃料ピット、監視測定、緊急時対策所及び通信連絡等の対応手順として整備する。</p> <p>選定した主要パラメータ（パラメータの分類：原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保及びアニユラス内の水素濃度）は、以下のとおり分類する（第1.15.1図）。</p> <p>また、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータ（以下「主要パラメータ」という。）を推定する</p>	<p>1.15.1 対応手段と設備の選定 (1) 対応手段と設備の選定の考え方 重大事故等時において、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を実施するため、発電用原子炉施設の状態を把握することが重要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを、「技術的能力に係る審査基準」（以下「審査基準」という。）1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いられるパラメータを抽出する（以下「抽出パラメータ」という。）。なお、「審査基準」1.16～1.19の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるための手順ではないため、各々の手順において整理する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.15.3）</p> <p>抽出パラメータのうち、当該重大事故等の炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータ*¹（以下「主要パラメータ」という。）及び主要パラメータを計測するための重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>※1 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保、原子炉建屋内の水素濃度、原子炉格納容器内の酸素濃度、使用済燃料プールの監視。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータ</p>	<p>1.15.1 対応手段と設備の選定 (1) 対応手段と設備の選定の考え方 重大事故等時において、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を実施するため、発電用原子炉施設の状態を把握することが重要である。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを、「技術的能力に係る審査基準」（以下「審査基準」という。）1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いられるパラメータを抽出する（以下「抽出パラメータ」という。）。なお、「審査基準」1.16～1.19の手順着手の判断基準及び操作手順に用いられるパラメータについては、炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるための手順ではないため、各々の手順において整理する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料1.15.3）</p> <p>抽出パラメータのうち、当該重大事故等の炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータ*¹（以下「主要パラメータ」という。）及び主要パラメータを計測するための重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>※1 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保、アニユラス部の水素濃度、使用済燃料ピットの監視。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータ</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・以下、大飯は発電用原子炉施設を原子炉施設と記載。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・相違理由②</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ために必要なパラメータ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて推定する対応手段を整備する（第1.15.2図）。（以下「機能喪失原因対策分析」という。）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ③ 補助的な監視パラメータ 原子炉施設の状況や重大事故等対処設備の運転状態等を補助的に監視するパラメータをいう。 </p> <p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び多様性拡張設備*1を選定する（第1.15.1表）。</p> <p>※1 多様性拡張設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、技術的能力審査基準（以下「審査基準」という。）だけでなく、設置許可基準規則第五十八条及び技術基準規則第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、多様性拡張設備との関係を明確にする。</p>	<p>タ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて対応する手段を整備し、重大事故等対処設備を選定する（第1.15-1図、第1.15-2図）（以下「機能喪失原因対策分析」という。）。</p> <p>さらに、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等、想定される重大事故等の対応に必要なパラメータの記録手順及びそのために必要となる重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することができないパラメータについては、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータ（以下「補助パラメータ」という。）に分類し、第1.15-4表に整理する。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯）については、各条文の「設置許可基準規則」第四十三条への適合方針のうち、(2)操作性（「設置許可基準規則」第四十三条第1項二）にて、適合性を整理する。</p> <p>【島根2号炉まとめ資料より転載】</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯等）については、各条文の「設置許可基準規則」第四十三条への適合方針のうち、(2)操作性（「設置許可基準規則」第四十三条第1項二）にて、適合性を整理する。</p> <p>重大事故等対処設備のほかに、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び自主対策設備*2を選定する。</p> <p>※2 自主対策設備：技術基準上の全ての要求事項を満たすことや全てのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「審査基準」だけでなく、「設置許可基準規則」第五十八条及び「技術基準規則」第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、自主対策設備との関係を明確にする。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.15.1）</p>	<p>タ（以下「代替パラメータ」という。）を用いて対応する手段を整備し、重大事故等対処設備を選定する（第1.15.1図、第1.15.2図）（以下「機能喪失原因対策分析」という。）。</p> <p>さらに、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等、想定される重大事故等の対応に必要なパラメータの記録手順及びそのために必要となる重大事故等対処設備を選定する。</p> <p>抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することができないパラメータについては、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータ（以下「補助パラメータ」という。）に分類し、第1.15.4表に整理する。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転・動作状態を表示する設備（ランプ表示灯等）については、各条文の「設置許可基準規則」第四十三条への適合方針のうち、(2)操作性（「設置許可基準規則」第四十三条第1項二）にて、適合性を整理する。</p> <p>重大事故等対処設備のほかに、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び自主対策設備*2を選定する。</p> <p>※2 自主対策設備：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「審査基準」だけでなく、「設置許可基準規則」第五十八条及び「技術基準規則」第七十三条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、自主対策設備との関係を明確にする。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料1.15.1）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違 ・泊は重大事故等対処設備の操作はハードウェア又はソフトウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯以外に画面表示がある（柏崎、東二、島根も同様）。女川はハードウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯のみ。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 自主対策設備の表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">比較のため1.15-5へ再掲</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために把握することが必要な原子炉施設の状態を監視する主要パラメータは、事象の判別を行う運転手順書の判断基準、炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書の適用条件、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順書の適用条件及び技術的能力に係る審査基準1.1～1.10、1.13、1.14のパラメータより選定する。</p> <p>技術的能力に係る審査基準1.11、1.12、1.16～1.19については、炉心損傷防止対策及び原子炉格納容器破損防止対策を成功させるための手順とは別に整理した使用済燃料ピット、監視測定、緊急時対策所及び通信連絡等の対応手順として整備する。</p> <p>選定した主要パラメータ（パラメータの分類：原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率、未臨界の維持又は監視、最終ヒートシンクの確保、格納容器バイパスの監視、水源の確保及びアニュラス内の水素濃度）は、以下のとおり分類する（第1.15.1図）。</p>	<p>主要パラメータは以下のとおり分類する。</p>	<p>主要パラメータは以下のとおり分類する。</p>	<p>【大飯】 記載箇所の相違</p>
<p>① 重要な監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測するパラメータをいう。</p> <p>② 有効な監視パラメータ 主要パラメータのうち、多様性拡張設備の計器で計測されるが、計測することが困難となった場合でも重大事故等対処設備の計器で計測される代替パラメータを有するものをいう。</p>	<p>・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p>	<p>・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p> <p>・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 自主対策設備の表現の相違</p>
<p style="text-align: right;">比較のため1.15-6へ再掲</p> <p>③ 補助的な監視パラメータ 原子炉施設の状態や重大事故等対処設備の運転状態等を補助的に監視するパラメータをいう。</p>	<p>代替パラメータは以下のとおり分類する。</p>	<p>代替パラメータは以下のとおり分類する。</p>	<p>【大飯】 記載箇所の相違</p>
<p>さらに、次のとおり重要代替パラメータを選定する。</p> <p>④ 重要代替パラメータ 重要な監視パラメータの代替パラメータのうち重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器（当該重要な監視パラメータの他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器含む。）並びに有効な監視パラメータの代替パラメータを計測する重大事故等対処設備と</p>	<p>・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p>	<p>・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>しての要求事項を満たした計器により計測されるパラメータをいう。</p> <p style="text-align: center;">比較のため 1.15-10 より再掲</p> <p>① 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器 重大事故等対処設備として選定する計器</p> <p>② 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器 重大事故等対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備の計器</p> <p>③ 重要代替計器 代替パラメータを計測する計器で、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした設備</p> <p>④ 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器で、重大事故等対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備</p> <p>なお、選定フローにおいて、有効な監視パラメータ又は補助的な監視パラメータの分類に該当しないものは、耐震性、耐環境性を有さない重要な監視パラメータに該当すると判断し、耐震性、耐環境性を有した計器へ仕様又は設備変更を行う。</p> <p>選定フローにより分類し、抽出した重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを、第1.15.2表に示す。 分類した重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータにより、重大事故等対処に必要な原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータを計測又は監視する。</p> <p>設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握する能力として、重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ</p>	<p>・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。</p> <p>また、主要パラメータ及び代替パラメータを計測する設備を以下のとおり分類する。 主要パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要計器 重要監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。</p> <p>・常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の自主対策設備の計器をいう。</p> <p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。</p> <p>・常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の自主対策設備の計器をいう。</p> <p>なお、主要パラメータが重大事故等対処設備で計測できず、かつその代替パラメータについても重大事故等対処設備で計測できない場合は、重大事故等時に発電用原子炉施設の状況を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを重大事故等対処設備としての要求を満たした計器へ変更する。 (添付資料 1.15.2)</p> <p>以上の分類により抽出した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第1.15-2表に示す。</p> <p>あわせて、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化するために、重要監視パラメータ</p>	<p>・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。</p> <p>また、主要パラメータ及び代替パラメータを計測する設備を以下のとおり分類する。 主要パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要計器 重要監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。</p> <p>・常用計器 主要パラメータを計測する計器のうち、重要計器以外の自主対策設備の計器をいう。</p> <p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要代替計器 重要代替監視パラメータを計測する計器のうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備として位置付ける計器をいう。</p> <p>・常用代替計器 代替パラメータを計測する計器のうち、重要代替計器以外の自主対策設備の計器をいう。</p> <p>なお、主要パラメータが重大事故等対処設備で計測できず、かつその代替パラメータについても重大事故等対処設備で計測できない場合は、重大事故等時に発電用原子炉施設の状況を把握するため、主要パラメータを計測する計器の1つを重大事故等対処設備としての要求を満たした計器へ変更する。 (添付資料1.15.2)</p> <p>以上の分類により抽出した重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第1.15.2表に示す。</p> <p>あわせて、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化するために、重要監視パラメータ</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>下のとおり。</p> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">比較のため1.15-8へ再掲</p> <p>① 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器 重大事故等対処設備として選定する計器</p> <p>② 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器 重大事故等対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備の計器</p> <p>③ 重要代替計器 代替パラメータを計測する計器で、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした設備</p> <p>④ 常用代替計器 代替パラメータを計測する計器で、重大事故等対処設備としての要求事項を満たさない多様性拡張設備</p> </div> <p>主要パラメータのうち、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器が故障した場合に使用する代替パラメータを第1.15.3表に示す。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定したパラメータを計測する計器の故障時に原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器及び重要代替計器を重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを把握することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>・主要パラメータの他チャンネルの重要計器</p> <p>・主要パラメータの他チャンネルの常用計器</p> <p>代替パラメータの計測に使用する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要代替計器</p> <p>・常用代替計器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、主要パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、当該パラメータの他チャンネルの重要計器は重大事故等対処設備として位置付ける。代替パラメータによる推定に使用する設備のうち、重要代替計器は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 (添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>・主要パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器</p> <p>・主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器</p> <p>代替パラメータの計測に使用する計器は以下のとおり。</p> <p>・重要代替計器</p> <p>・常用代替計器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、主要パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの重要計器は重大事故等対処設備として位置付ける。代替パラメータによる推定に使用する設備のうち、重要代替計器は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。 (添付資料1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違（女川実績の反映） ・分類した計器の説明については、1.15-8で内容を比較する。</p> <p>【女川】 設備構成の相違（相違理由③）</p> <p>【女川】 設備構成の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 自主対策設備の表現の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 自主対策設備の表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・当該パラメータの他の常用計器及び常用代替計器</p> <p>耐震性等がないものの、監視可能であれば原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 重大事故等の対処時に当該パラメータが計測範囲を超えた場合は、原子炉施設の状態を把握するため、代替パラメータを計測する計器又は可搬型計測器により必要とするパラメータの値を推定する手段を整備する。</p> <p>代替パラメータを計測する計器は以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型計測器により必要となるパラメータの値を推定する手段は以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、パラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、重要代替計器及び可搬型計測器は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができるため、以下の設備は多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p> <p>・常用代替計器 耐震性等がないものの、監視可能であれば原子炉施設の状態</p>	<p>・主要パラメータの他チャンネルの常用計器及び常用代替計器</p> <p>耐震性又は耐環境性がない、若しくは電源が非常用電源から供給されていないものの、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 重大事故等の対処時に当該パラメータが計測範囲を超えた場合は、発電用原子炉施設の状態を把握するため、代替パラメータを計測する計器により必要とするパラメータの値を推定する手段及び可搬型の計測器により計測する手段がある。</p> <p>代替パラメータによる推定に使用する設備は以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型の計器による計測に使用する設備は以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、主要パラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に、発電用原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、重要代替計器及び可搬型計測器は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 (添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <p>・常用代替計器 耐震性又は耐環境性がない、若しくは電源が非常用電源から</p>	<p>・主要パラメータの他チャンネル又は他ループの常用計器及び常用代替計器</p> <p>耐震性又は耐環境性がない、若しくは電源が非常用電源から供給されていないものの、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段 重大事故等の対処時に当該パラメータが計測範囲を超えた場合は、発電用原子炉施設の状態を把握するため、代替パラメータを計測する計器により必要とするパラメータの値を推定する手段及び可搬型の計測器により計測する手段がある。</p> <p>代替パラメータによる推定に使用する設備は以下のとおり。 ・重要代替計器 ・常用代替計器</p> <p>可搬型の計器による計測に使用する設備は以下のとおり。 ・可搬型計測器</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、主要パラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に、発電用原子炉施設の状態を把握するための設備のうち、重要代替計器及び可搬型計測器は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。 (添付資料1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、当該パラメータを把握することができる。また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <p>・常用代替計器 耐震性又は耐環境性がない、若しくは電源が非常用電源から</p>	<p>【女川】 設備構成の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 自主対策設備の表現の相違 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>を把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備 (a) 対応手段 監視パラメータの計器に供給する電源が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）より給電し、当該パラメータの計器により計測し監視する手段を整備する。</p> <p>また、直流電源が喪失した場合に、電源を内蔵した可搬型計測器を用いて計測し、監視する手段がある。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空冷式非常用発電装置 <p>・ 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）※3</p> <p>・ 電源車</p> <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電池（安全防護系用） <p>・ 可搬式整流器</p> <p>※3 可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）：インバータを内蔵した可搬型バッテリーを使用することにより電気（交流）を給電できるため、代替電源（交流）として有効である。</p>	<p>供給されていないものの、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備 (a) 対応手段 監視する計器に供給する電源（以下「計器電源」という。）が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）及び代替所内電気設備から給電し、当該パラメータの計器により計測又は監視する手段がある。</p> <p>また、計器電源が喪失した場合に、電源（乾電池）を内蔵した可搬型の計測器を用いて計測又は監視する手段がある。計器の電源構成図を第 1.15-4 図 に示す。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設代替交流電源設備 ・ 可搬型代替交流電源設備 <p>・ 号炉間電力融通設備</p> <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内常設蓄電式直流電源設備 ・ 常設代替直流電源設備 ・ 可搬型代替直流電源設備 ・ 125V 代替充電器用電源車接続設備 	<p>供給されていないものの、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備 (a) 対応手段 監視する計器に供給する電源（以下「計器電源」という。）が喪失し、監視機能が喪失した場合に、代替電源（交流、直流）及び代替所内電気設備から給電し、当該パラメータの計器により計測又は監視する手段がある。</p> <p>また、計器電源が喪失した場合に、電源（乾電池）を内蔵した可搬型の計測器を用いて計測又は監視する手段がある。計器の電源構成図を第1.15.4図に示す。</p> <p>代替電源（交流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常設代替交流電源設備 ・ 可搬型代替交流電源設備 <p>・ 後備変圧器</p> <p>・ 号炉間電力融通設備</p> <p>・ 開閉所設備</p> <p>・ 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）※4</p> <p>代替電源（直流）からの給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所内常設蓄電式直流電源設備 ・ 可搬型代替直流電源設備 <p>※4 可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）：インバータを内蔵した可搬型バッテリーを使用することにより電気（交流）を給電できるため、代替電源（交流）として有効である。</p>	<p>記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】 自主対策設備の相違 ・ 相違理由①</p> <p>【大飯】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】 自主対策設備の相違 ・ 相違理由①</p> <p>【大飯】 設備名称の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>直流電源が喪失した場合に計器に内蔵した電源により個別に計測する設備（汎用品）は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）、電源車、可搬式整流器及び可搬型計測器は、重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを把握することができるため、以下の設備は、多様性拡張設備と位置づける。あわせて、その理由を示す。</p>	<p>代替所内電気設備による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替所内電気設備 <p>可搬型の計測器による計測又は監視する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備、代替所内電気設備及び可搬型計測器は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。 （添付資料 1.15.1）</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・125V 代替充電器用電源車接続設備 給電開始までに時間を要するが、給電可能であれば可搬型代替直流電源設備である電源車から代替所内電気設備を経由し125V系統への給電に対する代替手段として有効である。 <ul style="list-style-type: none"> ・号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備で使用する設備の耐震性は確保されていないが、3号炉の非常用ディーゼル発電機及び電路が健全で、給電可能であれば重大事故等の対処に必要なパラメータの監視が可能となるため、電源を確保するための手段として有効である。 	<p>代替所内電気設備による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替所内電気設備 <p>可搬型の計測器による計測又は監視する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 機能喪失原因対策分析の結果により選定した、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備、可搬型代替直流電源設備、代替所内電気設備及び可搬型計測器は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。 （添付資料1.15.1）</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、主要パラメータを把握することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後備変圧器 耐震性は確保されていないが、当該電路が健全であれば、1号及び2号炉や外部電源の状況確認に時間を要するが、短時間での受電が可能であり、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。 <ul style="list-style-type: none"> ・号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備による給電で使用する設備の耐震性は確保されていないが、1号又は2号炉のディーゼル発電機及び電路が健全^{※5}で、給電可能であれば重大事故等の対処に必要なパラメータの監視が可能となるため、電源を確保するための手段として有効である。 <ul style="list-style-type: none"> ・開閉所設備 開閉所設備による給電で使用する設備の耐震性は確保されていないが、1号又は2号炉のディーゼル発電機及び電路の健全性が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。 	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 自主対策設備の表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備の相違（電源設備の相違）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤） 電源を供給できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において連続監視することができないものの、代替電源による給電ができない場合において、炉外核計装盤及び放射線監視盤のパラメータを把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備 (a) 対応手段 重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要な監視パラメータを記録する手段を整備する。</p> <p>監視パラメータを記録する設備は、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム（SPDS）（以下「SPDS」という。） ・SPDS表示装置 <p>・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）用）</p> <p>また、重大事故等時の有効な監視パラメータについても使用できる場合は、可能な限りパラメータを記録する手段を整備する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>比較のため1.15-15へ再掲</p> <p>なお、その他の記録として、監視パラメータの警報状態及びプラントトリップ状態を可能な限り記録する手段を整備する。</p> </div> <p>有効な監視パラメータを記録する設備は、以下のとおり。</p>	<p>・可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用） 電源を供給できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において連続監視することができないものの、代替電源による給電ができない場合において、炉外核計装装置及び放射線監視装置のパラメータを把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>※5 「号炉間電力融通」については、1号又は2号炉の安全性を損ねるおそれがあるため、「1号又は2号炉の号炉間電力融通はディーゼル発電機が2台健全」である場合に限定している。</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備 (a) 対応手段 重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等、想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する手段がある。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム（SPDS） ・安全パラメータ表示システム（SPDS）は、データ収集装置、SPDS伝送装置及びSPDS表示装置により構成される。 <p>また、重大事故等時の有効監視パラメータが使用できる場合は、パラメータを記録する手段がある。</p> <p>有効監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム（SPDS） 	<p>・可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用） 電源を供給できる容量に限りがあり、重大事故等の対処時において連続監視することができないものの、代替電源による給電ができない場合において、炉外核計装装置及び放射線監視装置のパラメータを把握することが可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>※5 「号炉間電力融通」については、1号又は2号炉の安全性を損ねるおそれがあるため、「1号又は2号炉の号炉間電力融通はディーゼル発電機が2台健全」である場合に限定している。</p> <p>d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備 (a) 対応手段 重大事故等時において、原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等、想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する手段がある。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ伝送設備（発電所内） ・データ伝送設備（発電所内）は、データ収集計算機及びデータ表示端末により構成される。 <p>・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）</p> <p>また、重大事故等時の有効監視パラメータが使用できる場合は、パラメータを記録する手段がある。</p> <p>有効監視パラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ伝送設備（発電所内） 	<p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由① 【大飯】 設備名称の相違</p> <p>【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由④ 【大飯】 設備名称及び記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由②（大飯と同様） 【大飯】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】 設備構成の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・プラント計算機 (計算機運転日誌、警報記録、事故時データ収集記録)</p> <div data-bbox="71 507 631 625" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>比較のため1.15-14より再掲 なお、その他の記録として、監視パラメータの警報状態及びプラントトリップ状態を可能な限り記録する手段を整備する。</p> </div> <div data-bbox="71 801 631 1046" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>比較のため1.15-15より再掲 重要な監視パラメータは、原則、SPDSへ記録するが、監視が必要な時に現場に設置する計器の値、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値は、専用の記録装置又は記録用紙により記録する。なお、その他は可能な限り多様性拡張設備により記録する。</p> </div> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備 重要な監視パラメータを記録する設備であるSPDS、SPDS表示装置及び可搬型温度計測装置は、重大事故等対処設備と位置づける。</p> <div data-bbox="71 1264 631 1465" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>比較のため1.15-15へ再掲 重要な監視パラメータは、原則、SPDSへ記録するが、監視が必要な時に現場に設置する計器の値、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値は、専用の記録装置又は記録用紙により記録する。なお、その他は可能な限り多様性拡張設備により記録する。</p> </div>	<p>・プロセス計算機</p> <p>・中央制御室記録計</p> <p>なお、その他の記録として、警報発生及びプラントトリップ状態を記録する手段がある。</p> <p>その他のパラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <p>・プロセス計算機</p> <p>重要監視パラメータは、原則、安全パラメータ表示システム（SPDS）へ記録するが、可搬型計測器により測定したパラメータの値、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値は、記録用紙に記録する手順を整備する。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する設備である安全パラメータ表示システム（SPDS）は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p>	<p>・プラント計算機 (運転記録、警報記録、事故時データ収集記録)</p> <p>なお、その他の記録として、警報発生及びプラントトリップ状態を記録する手段がある。</p> <p>その他のパラメータを記録する設備は以下のとおり。</p> <p>・プラント計算機</p> <p>重要監視パラメータは、原則、データ伝送設備（発電所内）へ記録するが、監視が必要な時に現場に設置する計器の値、可搬型計測器により測定したパラメータの値、複数の計測結果を使用し計算により推定する監視パラメータ（計測結果を含む。）の値は、専用の記録装置又は記録用紙に記録する手順を整備する。</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを記録する設備であるデータ伝送設備（発電所内）及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違</p> <p>・泊では、プラント計算機の記録機能を具体的に記載した。(大飯実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違</p> <p>・相違理由⑤</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違</p> <p>・相違理由④、⑥</p> <p>・専用の記録装置は、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）を指す。(相違理由②)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <p>・相違理由②、④</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。</p> <p>(添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータを記録することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント計算機 (計算機運転日誌、警報記録、事故時データ収集記録) <p>耐震性を有していないが、設備が健全である場合は重大事故等の対処に必要な監視パラメータの記録が可能なことから代替手段として有効である。</p> <p>e. 手順等 上記のa.、b.、c.及びd.により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、発電所対策本部長※4、当直課長、運転員等※5及び緊急安全対策要員※6の対応として、炉心の著しい損傷が発生した場合に対処する運転手順等の対応手順等に定める(第1.15.1表)。</p> <p>※4 発電所対策本部長：重大事故等発生時における発電所原子力防災管理者及び代行者をいう。 ※5 運転員等：運転員及び重大事故等対策要員のうち当直課長の指示に基づき運転対応を実施する要員をいう。 ※6 緊急安全対策要員：重大事故等対策要員のうち、発電所対策本部長の指示に基づき対応する運転員等以外の要員をいう。</p>	<p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。</p> <p>(添付資料 1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータを記録することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計算機 ・中央制御室記録計 <p>耐震性を有していないが、設備が健全である場合には、重大事故等の対処に必要な監視パラメータの記録が可能なことから、代替手段として有効である。</p> <p>e. 手順等 上記の「a. パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備」、「b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備」、「c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備」及び「d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備」により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、運転員、重大事故等対策要員及び重大事故等対策要員(運転員を除く。)の対応として、「非常時操作手順書(徴候ベース)」、「非常時操作手順書(設備別)」及び「重大事故等対策要領書」に定める(第1.15-1表)。</p>	<p>これらの選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。</p> <p>(添付資料1.15.1)</p> <p>以上の重大事故等対処設備により、重要な監視パラメータを記録することができる。また、以下の設備は、プラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント計算機 (運転記録、警報記録、事故時データ収集記録) <p>耐震性を有していないが、設備が健全である場合には、重大事故等の対処に必要な監視パラメータの記録が可能なことから、代替手段として有効である。</p> <p>e. 手順等 上記の「a. パラメータを計測する計器の故障時に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備」、「b. 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を把握するための手段及び設備」、「c. 計測に必要な計器電源が喪失した場合の手段及び設備」及び「d. 重大事故等時のパラメータを記録する手段及び設備」により選定した対応手段に係る手順を整備する。</p> <p>これらの手順は、発電所対策本部長、発電課長(当直)、運転員、災害対策要員、事務局員、復旧班員及び運転班員の対応として、全交流動力電源喪失時における対応手順書等に定める(第1.15.1表)。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 設備名称の相違 記載方針の相違 ・泊では、プラント計算機の記録機能を具体的に記載した。(大飯実績の反映)</p> <p>【大飯】 記録の名称の相違</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由⑤</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川、大飯】 体制の相違 手順名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・大飯では、技術的能力1.0にて整理する要員の名称以外に「運転員等」という名称を使用していることから、要員名称の定義を記載している。 ・泊では、技術的能力1.0にて整理する要</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			員の名称を記載している場合、改めて要員名称の定義は記載しないこととしている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>重要な監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）又は有効な監視パラメータを計測する計器が故障により、計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15.1表、第1.15.3表）。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>b. ④の手順着手の判断は、b. ①～③までの手順により主要パラメータのうち重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータを計測する計器の故障が疑われた場合。</p> <p>b. パラメータ監視の手順</p> <p>計器の故障の判断及び対応手順は、以下のとおり。</p> <p>① 監視が必要な重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータの指示値を読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>比較のため1.15-19より再掲</p> <p>③ 原子炉施設の状態を把握するために必要とする重要な監視パラメータについて、他チャンネル又は他ループの計器がある場合は、当該計器により当該パラメータを計測する。 なお、当該パラメータの他の常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> </div> <p>② 読み取った指示値が正常であることを、運転手順書に明確に示された計測レンジ範囲内にあること及びプラント状況等により推定される値との間に大きな差異が無いこと等により確認する。</p>	<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>主要パラメータを計測する計器が、故障により計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15-3表）。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等に対処するために発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータを計測する重要計器が故障した場合※4。</p> <p>※4 重要計器の指示値に、以下のような変化があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常時や事故時に想定される値から、大きな変動がある場合 ・複数ある計器については、それぞれの指示値の差が大きい場合 ・計器信号の喪失に伴い、指示値が計測範囲外にある場合 ・計器電源の喪失に伴い、指示値の表示が消滅した場合 <p>b. 操作手順</p> <p>計器の故障の判断及び対応手順は、以下のとおり。</p> <p>①運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータについて、他チャンネルの重要計器がある場合には、当該計器により当該パラメータを計測する。また、当該パラメータの常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値が正常であることを、計測範囲内にあること及びプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことにより確認する。</p>	<p>1.15.2 重大事故等時の手順等</p> <p>1.15.2.1 監視機能喪失</p> <p>(1) 計器の故障</p> <p>主要パラメータを計測する計器が、故障により計測することが困難となった場合、当該パラメータを推定する手段を整備する（第1.15.3表）。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>重大事故等に対処するために発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータを計測する重要計器又は常用計器が故障した場合※6。</p> <p>※6 重要計器又は常用計器の指示値に、以下のような変化があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常時や事故時に想定される値から、大きな変動がある場合 ・複数ある計器については、それぞれの指示値の差が大きい場合 ・計器信号の喪失に伴い、指示値が計測範囲外にある場合 ・計器電源の喪失に伴い、指示値の表示が消滅した場合 <p>b. 操作手順</p> <p>計器の故障の判断及び対応手順は、以下のとおり。</p> <p>①運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉施設の状態を把握するために必要な重要監視パラメータについて、他チャンネル又は他ループの重要計器がある場合には、当該計器により当該パラメータを計測する。また、当該パラメータの常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値が正常であることを、計測範囲内にあること及びプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がないことにより確認する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 参照する表の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・相違理由③</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備構成の相違 ・相違理由③</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">比較のため 1.15-18 へ再掲</p> <p>③ 原子炉施設の状態を把握するために必要とする重要な監視パラメータについて、他チャンネル又は他ループの計器がある場合は、当該計器により当該パラメータを計測する。 なお、当該パラメータの他の常用計器で監視可能であれば確認に使用する。</p> <p>④ パラメータ選定にて選定した重要代替パラメータ（他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器除く。）の値を用いて以下の方法で推定する。</p> <p>なお、常用代替計器が使用可能であれば、推定に使用する。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>① 当直長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に主要パラメータの重要代替計器による推定を指示する。 ② 運転員は、主要パラメータの重要代替計器の指示値を読み取る。 ③ 運転員は、読み取った指示値により、主要パラメータを推定する。</p> <p>c. 代替パラメータでの推定方法</p>	<p>③ 当該パラメータが計測範囲外又はプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がある場合には、発電課長はあらかじめ選定した重要代替監視パラメータの計測を運転員（中央制御室）Aに指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、読み取った指示値を発電課長に報告する。なお、常用代替計器が使用可能であれば、併せて確認する。</p> <p>⑤ 発電課長は、発電所対策本部へ重要代替監視パラメータの指示値から主要パラメータの推定を依頼する。 ⑥ 発電所対策本部は、重大事故等対策要員（運転員を除く。）に重要代替監視パラメータの値から主要パラメータの推定を指示する。</p> <p>⑦ 重大事故等対策要員（運転員を除く。）は、主要パラメータの推定結果を発電所対策本部へ報告する。 ⑧ 発電所対策本部は、発電課長に主要パラメータの推定結果を報告する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の計測及び推定は、運転員（中央制御室）1名、重大事故等対策要員（運転員を除く。）1名で対応が可能である。速やかに作業ができるように、推定手順を整備する。</p> <p>d. 代替パラメータによる推定方法 主要パラメータを計測する計器の故障により、主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータによる推定を行う。</p>	<p>③ 当該パラメータが計測範囲外又はプラント状況によりあらかじめ推定される値との間に大きな差異がある場合には、発電課長（当直）はあらかじめ選定した重要代替監視パラメータの計測を運転員（中央制御室）A又は運転員（現場）Bに指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）A又は運転員（現場）Bは、読み取った指示値を発電課長（当直）に報告する。なお、常用代替計器が使用可能であれば、併せて確認する。</p> <p>⑤ 発電課長（当直）は、運転員（中央制御室）Aに重要代替監視パラメータの値から主要パラメータの推定を指示する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、発電課長（当直）に主要パラメータの推定結果を報告する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の計測及び推定は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名で対応が可能である。速やかに作業ができるように、推定手順を整備する。</p> <p>d. 代替パラメータによる推定方法 主要パラメータを計測する計器の故障により、主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータによる推定を行う。</p>	<p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊では推定に関する手順を具体的に記載。 【女川】 運用の相違 ・相違理由⑦</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】 運用の相違 ・相違理由⑦ 【女川】 名称の相違</p> <p>【女川】 名称の相違 【女川】 運用の相違 ・相違理由⑧（伊方と同様）</p> <p>【女川】 運用の相違 ・相違理由⑧</p> <p>【女川】 運用の相違 ・相違理由⑦</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較のため1.15-33へ再掲</p> <p>計器故障時、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測する。</p> <p>比較のため1.15-21より再掲</p> <p>事故発生からの事象の進展状況（徴候）による炉心の冷却状態（漏えいの規模、安全注入状況）や当該パラメータの計器が故障するまでの状態等、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、適切な原子炉施設の状態の把握に努める。</p> <p>重要代替パラメータ（他チャンネル及び他ループの重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器除く。）の値により推定を行う際に、推定に使用する計器が複数ある場合、より直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を考慮するとともに、計測される値の確からしさを判断の上で使用するパラメータの優先順位を定める。</p> <p>パラメータを基準配管に水を満たした構造で計測するものについては、急激な減圧等により基準配管の水が蒸発し不確かな指示をする可能性がある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認しパラメータを推定する。なお、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）を除き、基準配管の水位に起因する不確かさを考慮する必要はない。</p> <p>比較のため1.15-21より再掲</p> <p>重大事故等の状況によっては、耐震性、耐環境性がない計器（多様性拡張設備）についても、監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。ただし、環境条件や不確かさを考慮し、耐震性、耐環境性のある計器のパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。</p> <p>また、重大事故等の環境下で最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、原子炉格納容器内に蒸気が充滿し、加圧された状況であり、環境として圧力、温度、放射線量が厳しい状況においても、その監視機能を維持できる計器（第1.15.2表の重大事故等対処設備）を優先して使用する。</p>	<p>計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、発電用原子炉施設の状態を把握する。</p> <p>推定に当たっては、使用する計器が複数ある場合、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件等、以下に示す事項及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準配管に水を満たした構造の計器で計測するパラメータについては、急激な原子炉減圧等により基準配管の水が蒸発し、不確かな指示を示すことがある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認しパラメータを推定する。 なお、原子炉水位、原子炉圧力及び圧力抑制室水位を除き、基準配管の水位変動に起因する不確かさを考慮する必要はない。 常用代替計器が監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。ただし、環境条件や不確かさを考慮し、重要計器又は重要代替計器で測定されるパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。 重大事故等時に最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、炉心損傷及び原子炉圧力容器が破損した状況であるため、原子炉格納容器内の圧力、温度、放射線量率等が厳しい環境下においても、その監視機能を維持できる重要代替計器を優先して使用する。また、重大事故等時と校正時の状態変化による影響を考慮する。 	<p>計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、発電用原子炉施設の状態を把握する。</p> <p>推定に当たっては、使用する計器が複数ある場合、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件等、以下に示す事項及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基準配管に水を満たした構造の計器で計測するパラメータについては、急激な減圧等により基準配管の水が蒸発し、不確かな指示を示すことがある。そのような状態が想定される場合は、関連するパラメータを複数確認しパラメータを推定する。 なお、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）を除き、基準配管の水位変動に起因する不確かさを考慮する必要はない。 常用代替計器が監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。ただし、環境条件や不確かさを考慮し、重要計器又は重要代替計器で測定されるパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。 重大事故等時に最も設置雰囲気環境が厳しくなるのは、炉心損傷及び原子炉容器が破損した状況であるため、原子炉格納容器内の圧力、温度、放射線量率等が厳しい環境下においても、その監視機能を維持できる重要代替計器を優先して使用する。また、重大事故等時と校正時の状態変化による影響を考慮する。 	<p>【大飯】 記載箇所の相違 ・泊は後段の「e. 重大事故等時の対応手段の選択」で他チャンネルの計器による計測と他ループの計器による計測の優先順位を記載。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため1.15-20へ再掲</p> <p>重大事故等の状況によっては、耐震性、耐環境性がない計器（多様性拡張設備）についても、監視機能を維持している場合、重大事故等の対処に有効な情報を得ることができる。 ただし、多様性拡張設備については環境条件や不確かさを考慮し、耐震性、耐環境性のある計器のパラメータの値との差異を評価し、パラメータの値、信頼性を考慮した上で使用する。</p> <p style="text-align: center;">比較のため1.15-20へ再掲</p> <p>事故発生からの事象の進展状況（徴候）による炉心の冷却状態（漏えいの規模、安全注入状況）や当該パラメータの計器が故障するまでの状態等、関連するパラメータを複数確認し、得られた情報の中から有効な情報を評価することで、適切な原子炉施設の状態の把握に努める。</p> <p>なお、圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>また、代替パラメータによる推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> <p>(a) 原子炉圧力容器内の温度の推定 1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）の計測が困難となった場合、代替パラメータの1次冷却材低温側温度（広域）又は1次冷却材高温側温度（広域）により原子炉圧力容器内の温度を推定する。この推定方法では、重大事故等時において約10℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮し、推定する。また、使用可能であれば炉心出口温度（多様性拡張設備）により原子炉圧力容器内の温度を推定する。</p> <p>炉心出口温度（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により原子炉圧力容器内の温度を推定する。この推定方法では、炉心出口のより直接的な値を示す1次冷却材高温側温度（広域）を優先して使用する。</p> <p>1次冷却材高温側温度（広域）と炉心出口温度（多様性拡張設備）の関係は、炉心冠水状態から炉心損傷を判断する時点（350℃）において1次冷却材高温側温度（広域）の方がやや</p>	<p>・圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>・推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.15.6)</p>	<p>・圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の関係から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状況及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>・推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.15.6)</p>	<p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>低い値を示すものの、大きな温度差は見られないことから、1次冷却材高温側温度（広域）により炉心損傷を判断することが可能である。</p> <p>なお炉心出口温度（多様性拡張設備）については、盤及び電源の耐震化を実施している。また、全交流動力電源喪失時においても、可搬型計測器を用いて必要点数の監視及び記録も可能である。炉心出口温度（多様性拡張設備）の計測上限値は650℃であるが、可搬型計測器を使用することで検出器の温度素子の機能上限（約1,300℃）まで温度測定が可能である。</p> <p>(b) 原子炉圧力容器内の圧力の推定 1次冷却材圧力の計測が困難となった場合は、代替パラメータの1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により、原子炉圧力容器内の圧力と水の飽和温度の関係から原子炉圧力容器内の圧力を推定する。この推定方法では、原子炉圧力容器内が飽和状態である場合に適用できるが、飽和状態でないことを確認した場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。また、測定範囲内であれば加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）により推定する。</p> <p>加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、代替パラメータの1次冷却材圧力により推定する。この推定方法では、測定精度は加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）比べ劣るが、重大事故等時においては測定範囲が広い1次冷却材圧力を使用する。</p> <p>(c) 原子炉圧力容器内の水位の推定 加圧器水位の計測が困難となった場合は、代替パラメータの原子炉水位により原子炉圧力容器内の水位を推定する。また、サブクール度（CRT）（多様性拡張設備）、1次冷却材圧力及び1次冷却材高温側温度（広域）により、原子炉圧力容器内がサブクール状態又は飽和状態であることを監視することで、原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以上で、冠水状態であることを確認する。重大事故等時において、加圧器水位の計測範囲外となった場合、原子炉圧力容器内の水位は直接計測している原子炉水位を優先して使用し確認する。なお、原子炉圧力容器内が過熱状態の場合、炉心注入水により原子炉水位の指示に影響を及ぼす可能性があることを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>原子炉水位の計測が困難となった場合、加圧器水位により、原子炉圧力容器内の水位を推定する。また、サブクール度（CRT）（多様性拡張設備）、1次冷却材圧力及び炉心出口温度（多様性拡張設備）、1次冷却材高温側温度（広域）、1次冷却材低</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順書

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>温側温度（広域）により原子炉圧力容器内がサブクール状態又は飽和状態であることを監視することで、原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以上で冠水状態であることを確認する。</p> <p>プラント停止中におけるRCSミッドループ運転時において、1次冷却系統水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、代替パラメータの1次冷却材高温側温度（広域）及び1次冷却材低温側温度（広域）の傾向監視、又は余熱除去ポンプ吐出圧力（多様性拡張設備）の傾向監視により水位を推定する。この推定方法では、温度の急上昇により原子炉圧力容器内の水位が、炉心上端以下で冠水していないことを推定する。また、余熱除去ポンプの吐出圧力の低下により原子炉圧力容器内の水位が低下していることを推定する。</p> <p>(d) 原子炉圧力容器への注水量の推定</p> <p>高圧注入流量、余熱除去流量及び充てん水流量（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位、加圧器水位、原子炉水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により原子炉圧力容器内への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位を優先して使用し推定する。また、加圧器水位及び1次冷却材喪失重大事故等時の監視に使用する原子炉水位又は格納容器再循環サンプ水位（広域）は、水位変化により原子炉圧力容器への注水量を推定する。</p> <p>恒設代替低圧注水積算流量の計測が困難となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、加圧器水位、原子炉水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の傾向監視により原子炉圧力容器への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位を優先して使用し推定するが、仮設組立式水槽を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。また、加圧器水位及び1次冷却材喪失事故時の監視に使用する原子炉水位又は格納容器再循環サンプ水位（広域）は、水位変化により原子炉圧力容器への注水量を推定する。</p> <p>蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）及び蓄圧タンク水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、代替パラメータの1次冷却材圧力及び1次冷却材低温側温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注入開始を推定する。</p> <p>AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、余熱除去流量及び注水先である加圧器水位及び原子</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>炉水位の傾向監視により注水量を推定する。</p> <p>(e) 原子炉格納容器への注水量の推定 格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量の計測が困難となった場合、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により原子炉格納容器への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位を優先して使用し推定するが、仮設組立式水槽を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。また、格納容器再循環サンプ水位（広域）は、水位変化により原子炉格納容器への注水量を推定する。</p> <p>高圧注入流量及び余熱除去流量の計測が困難になった場合は、代替パラメータの燃料取替用水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により、原子炉格納容器への注水量を推定する。この推定方法では、環境悪化の影響を受けることが小さい水源である燃料取替用水ピット水位を優先して使用し推定する。また、格納容器再循環サンプ水位（広域）は、水位変化により原子炉格納容器への注水量を推定する。</p> <p>格納容器スプレイ流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により注水量を推定する。</p> <p>AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、注水量である格納容器スプレイ積算流量、格納容器スプレイ流量（多様性拡張設備）又は水源である復水ピット水位及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の水位変化により注水量を推定する。</p> <p>(f) 原子炉格納容器内の温度の推定 格納容器内温度の計測が困難となった場合、代替パラメータの格納容器圧力（広域）及びAM用格納容器圧力により、原子炉格納容器内の圧力と水の飽和温度の関係から原子炉格納容器内の温度を推定する。この推定方法では、測定範囲内であればより詳細な圧力が計測できる格納容器圧力（広域）を優先して使用し推定する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>(g) 原子炉格納容器内の圧力の推定 格納容器圧力（広域）の計測が困難となった場合、代替パラ</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第 1.15.3 表にて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>メータのAM用格納容器圧力、格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）による推定、又は格納容器内温度から原子炉格納容器内の圧力と水の飽和温度の関係を用いて原子炉格納容器内の圧力を推定する。この推定方法では、同じ圧力を計測しているAM用格納容器圧力又は格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）を優先して使用し推定する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>AM用格納容器圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器圧力（広域）、格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）、又は格納容器内温度から原子炉格納容器内の圧力と水の飽和温度の関係を用いて原子炉格納容器内の圧力を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、より詳細な圧力が計測できる格納容器圧力（広域）又は格納容器圧力（狭域）（多様性拡張設備）を優先して使用し推定する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>(h) 原子炉格納容器内の水位の推定 格納容器再循環サンプル水位（広域）の計測が困難となった場合、測定範囲内であれば、格納容器再循環サンプル水位（狭域）、又は原子炉下部キャビティ水位、原子炉格納容器水位及び注水源である燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。この推定方法では、計測範囲内であれば、相関関係があり連続的な監視ができる格納容器再循環サンプル水位（狭域）を優先して使用し推定する。なお、溶融炉心の冷却に必要な水位を確認する場合は、格納容器水位及び原子炉下部キャビティ水位により確認する。また、注水量による原子炉格納容器内水位の推定は、炉心注入及び格納容器スプレイでの注水量の合計値と水位の相関関係により推定する。</p> <p>格納容器再循環サンプル水位（狭域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである格納容器再循環サンプル水位（広域）により、広域水位と狭域水位の相関関係を用いて推定する。</p> <p>原子炉下部キャビティ水位の計測が困難になった場合、代替パラメータである格納容器再循環サンプル水位（広域）、又は燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量の合計値（注水量）と原子炉格納容器内水位の相関関係を用いて推定する。</p> <p>原子炉格納容器水位の計測が困難になった場合、代替パラメ</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第 1.15.3 表にて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ータである燃料取替用水ピット水位、復水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量の合計値（注水量）と原子炉格納容器内水位の相関関係を用いて推定する。</p> <p>(i) 原子炉格納容器内の水素濃度の推定 格納容器水素濃度の計測が困難になった場合、短時間で取替えが可能な予備の可搬型格納容器水素ガス濃度計に取替えて水素濃度を計測する。また、代替パラメータによる推定方法は、原子炉格納容器内の水素発生量と静的触媒式水素再結合装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置の動作特性（水素処理特性）の関係から、静的触媒式水素再結合装置及び原子炉格納容器水素燃焼装置の動作状況を確認することにより、原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であるか否かを確認する。なお使用可能であれば、ガスクロマトグラフ（多様性拡張設備）により水素濃度を推定する。</p> <p>原子炉格納容器内の水素濃度を装置の動作特性を用いて推定する場合は、間接的な情報により推定するため、不確かさが生じることを考慮する。</p> <p>(j) アンユラス内の水素濃度の推定 アンユラス水素濃度の計測が困難となった場合、予備のアンユラス水素濃度計によりアンユラス内の水素濃度を計測する。また、代替パラメータによる推定方法は、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）及び排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）（多様性拡張設備）の放射線量率の比により、アンユラスへの漏えい率を求め、可搬型格納容器水素ガス濃度計により測定した格納容器水素濃度を基に、評価した格納容器水素濃度とアンユラスへの漏えい率の関係をもとにアンユラス水素濃度を推定する。</p> <p>(k) 原子炉格納容器内の放射線量率の推定 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）及びモニタリングポスト（多様性拡張設備）の指示により炉心損傷のおそれが生じているか推定する。この推定方法では、格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の上限値を超えることとなるが、炉心損傷のおそれが生じている場合には、原子炉格納容器内の放射線量率は急上昇すると考えられ、同じくモニタリングポスト（多様性拡張設備）の値も数倍から1桁程度急上昇することで推定できる。</p> <p>格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の計測が困難になった場合、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レン</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第 1.15.3 表にて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ジ)、格納容器エアロック区域エリアモニタ（多様性拡張設備）及び炉内計装区域エリアモニタ（多様性拡張設備）により、炉心損傷のおそれが生じていない放射線量率であることを推定する。なお、格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の測定範囲より低く、格納容器エアロック区域エリアモニタ（多様性拡張設備）及び炉内計装区域エリアモニタ（多様性拡張設備）の測定範囲より高い場合は、その間の放射線量率と推定する。格納容器エアロック区域エリアモニタ（多様性拡張設備）、炉内計装区域エリアモニタ（多様性拡張設備）、格納容器じんあいモニタ（多様性拡張設備）及び格納容器ガスモニタ（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、測定範囲内であれば格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）の上昇により、原子炉格納容器内の放射線量率の上昇を推定する。</p> <p>(1) 未臨界の維持又は監視の推定 出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、代替パラメータの中間領域中性子束、1次冷却材高温側温度（広域）と1次冷却材低温側温度（広域）の差により推定する。この推定方法では、出力領域中性子束の測定範囲をカバーしている中間領域中性子束を優先する。また、1次冷却材ポンプが運転中である場合、出力領域中性子束の計測範囲であれば、原子炉出力及び1次冷却材高温側温度（広域）と1次冷却材低温側温度（広域）の温度差の相関関係から推定する。なお、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量の注入を把握することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>中間領域中性子束の計測が困難となった場合は、代替パラメータの出力領域中性子束の測定範囲内であれば、出力領域中性子束での推定を行い、中性子源領域中性子束の測定範囲内であれば、中性子源領域中性子束により推定する。また、出力領域中性子束の測定範囲下限と中性子源領域中性子束の上限の間である場合は、互いの測定範囲外の範囲であると推定する。なお、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量の注入を把握することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>中性子源領域中性子束の計測が困難になった場合、中間領域中性子束の測定範囲内であれば中間領域中性子束により推定する。また、中間領域中性子束の測定範囲下限以下の場合は、測定範囲下限より低い範囲であることを推定する。なお、ほう酸タンク水位により原子炉の未臨界状態に必要なほう酸水量の注入を把握することで未臨界状態の維持を推定する。</p> <p>中間領域起動率（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータである中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中性子源領域起動率（多様性拡張設備）により推定する。この推定方法では、中間領域中性子束を優先し推定する。また、中性子源領域中性子束及び中性子源領域起動率（多様性</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第 1.15.3 表にて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>拡張設備)は、中性子源領域中性子束の計測範囲内にある場合のみ使用する。</p> <p>中性子源領域起動率(多様性拡張設備)の計測が困難になった場合、代替パラメータである中性子源領域中性子束、中間領域中性子束、中間領域起動率(多様性拡張設備)により推定する。この推定方法では、中性子源領域中性子束を優先し推定する。また、中間領域中性子束及び中間領域起動率(多様性拡張設備)は、中間領域中性子束の計測範囲内にある場合のみ使用する。</p> <p>(m) 最終ヒートシンクの確保の推定</p> <p>格納容器圧力(広域)の計測が困難になった場合、代替パラメータのAM用格納容器圧力及び格納容器内温度により、原子炉格納容器内の圧力、温度が低下していることで最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。この推定方法では、原子炉格納容器内が飽和状態である場合に適用できるが、飽和状態でないことが確認された場合は、不確かさを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク水位の計測が困難となった場合、代替パラメータの格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)の傾向監視により格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系統が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力(多様性拡張設備)の計測が困難となった場合、代替パラメータである原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力により推定する。この推定方法は、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置を接続し推定する。</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)の計測が困難になった場合、短時間で取替えが可能な予備の格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)に取替えて格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度を計測する。また、代替パラメータによる推定方法は、代替パラメータの格納容器内温度及び格納容器圧力(広域)の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p> <p>格納容器再循環ユニット冷却水流量(多様性拡張設備)の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器内温度及び格納容器圧力(広域)の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。</p>			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>主蒸気圧力の計測が困難となった場合、蒸気発生器2次側は温度計測ができないため、代替パラメータである1次冷却材低温側温度（広域）又は1次冷却材高温側温度（広域）の傾向監視により、蒸気発生器2次側における水の飽和圧力と飽和温度の関係から蒸気ラインの圧力を推定する。この推定方法では、1次冷却系統が満水状態で蒸気発生器2次側が飽和状態にある場合は、1次冷却材低温側温度（広域）と蒸気発生器2次側の器内温度はほぼ等しくなることから推定が可能である。なお、1次冷却材高温側温度（広域）では、蒸気発生器2次側の温度よりも高めの指示となるため1次冷却材低温側温度（広域）を優先し推定する。また、蒸気発生器2次側が飽和状態になるまでの間（未飽和状態）は不確かさが生じることを考慮し、関連パラメータを複数確認した中から有効な情報を組み合わせて推定する。</p> <p>蒸気発生器水位（狭域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（広域）との相関関係により保有水量を推定する。また、1次冷却材低温側温度（広域）及び1次冷却材高温側温度（広域）の変化を傾向監視することにより蒸気発生器2次側の保有水の有無を推定する。この推定方法では、蒸気発生器水位（広域）を優先する。なお、蒸気発生器2次側の急激な減圧やドライアウト時にパラメータの計測に必要な基準配管の水が蒸発し、高めで不確かな水位を示す可能性があるため、そのような場合には1次冷却材低温側温度（広域）、1次冷却材高温側温度（広域）の変化により推定する。</p> <p>蒸気発生器水位（広域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（狭域）、1次冷却材低温側温度（広域）及び1次冷却材高温側温度（広域）の変化を傾向監視することにより蒸気発生器2次側の保有水の有無を推定する。この推定方法では、計測範囲であれば蒸気発生器水位（狭域）との相関関係を優先し推定する。また、蒸気発生器2次側がドライアウトした場合の判断は、蒸気発生器2次側の保有水の減少に伴う除熱能力の低下により、1次冷却材低温側温度（広域）及び1次冷却材高温側温度（広域）が上昇傾向となることで推定することができ、有効性評価の評価条件である蒸気発生器ドライアウトの判断に、代替パラメータを用いたとしても操作遅れなどの影響はない。なお、蒸気発生器2次側の急激な減圧やドライアウト時にパラメータの計測に必要な基準配管の水が蒸発し、高めで不確かな水位を示す可能性があるため、そのような場合には1次冷却材低温側温度（広域）、1次冷却材高温側温度（広域）の変化により蒸気発生器保有水の有無を推定する。</p> <p>蒸気発生器補助給水流量の計測が困難になった場合、代替パラメータである復水ビット水位、蒸気発生器水位（広域）及び</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器水位（狭域）の傾向監視により、蒸気発生器補助給水流量を推定する。この推定方法では、水源である復水ピット水位を優先し推定する。</p> <p>蒸気発生器主蒸気流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、代替パラメータの主蒸気圧力の変化を傾向監視することにより、蒸気発生器2次側による除熱状況を監視する。また、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）の変化傾向と蒸気発生器補助給水流量を監視することにより蒸気発生器主蒸気流量（多様性拡張設備）を推定する。</p> <p>(n) 格納容器バイパス監視の推定 蒸気発生器水位（狭域）の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（広域）により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、主蒸気圧力の上昇及び蒸気発生器補助給水流量の減少を傾向監視することでも推定することができる。</p> <p>主蒸気圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（広域）の上昇及び蒸気発生器補助給水流量の減少を傾向監視することで蒸気発生器伝熱管破損を推定することができる。</p> <p>1次冷却材圧力の計測が困難になった場合、代替パラメータである蒸気発生器水位（狭域）の上昇及び主蒸気圧力の上昇にて蒸気発生器伝熱管破損を、蒸気発生器伝熱管破損がないこと及び格納容器再循環サンプ水位（広域）の上昇がないことで、インターフェースシステムLOCAを推定する。また、原子炉圧力容器内が飽和状態であれば、1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により、原子炉圧力容器内の圧力と水の飽和温度の関係から原子炉圧力容器内の圧力を推定する。この推定方法では、原子炉圧力容器内が飽和状態である場合に適用できるが、飽和状態にない場合は、不確かさが生じることを考慮する必要がある。なお、測定範囲内であれば測定精度が詳細な加圧器圧力（CRT）（多様性拡張設備）により推定する。</p> <p>復水器空気抽出器ガスモニタ（多様性拡張設備）、蒸気発生器ブローダウン水モニタ（多様性拡張設備）及び高感度型主蒸気管モニタ（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合、代替パラメータの蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。</p> <p>排気筒ガスモニタ（多様性拡張設備）、原子炉周辺建屋サンブタンク水位（多様性拡張設備）及び余熱除去ポンプ吐出圧力（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメー</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.15 事故時の計装に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>タの1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器再循環サンプ水位（広域）、蒸気発生器水位（狭域）及び主蒸気圧力により、インターフェイスシステムLOCAを推定する。</p> <p>加圧器逃がシタンク圧力（広域）（多様性拡張設備）、加圧器逃がシタンク水位（多様性拡張設備）及び加圧器逃がシタンク温度（多様性拡張設備）の計測が困難になった場合、代替パラメータの1次冷却材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないことにより、インターフェイスシステムLOCAを推定する。</p> <p>(o) 水源の確保の推定</p> <p>燃料取替用水ビット水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの格納容器再循環サンプ水位（広域）又は格納容器スプレイ積算流量、格納容器スプレイ流量（多様性拡張設備）、高圧注入流量、余熱除去流量、充てん水流量（多様性拡張設備）及び恒設代替低圧注水積算流量の合計量により、燃料取替用水ビット水位を推定する。この推定方法では、格納容器再循環サンプ水位（広域）を優先し推定するが、燃料取替用水ビット以外からの注水がないことを前提とする。</p> <p>復水ビット水位の計測が困難になった場合、代替パラメータの蒸気発生器補助給水流量、格納容器スプレイ積算流量及び恒設代替低圧注水積算流量により、復水ビットを水源とするポンプの注水量の合計から水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、仮設組立式水槽を水源とした補給をした場合、復水ビットへの補給量を考慮する。</p> <p>ほう酸タンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほう酸水補給流量（多様性拡張設備）によりほう酸タンク水位を推定する。また、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が添加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により確認し、ほう酸水の使用量を推定する。</p> <p>上記代替パラメータの推定について第1.15.3表に示す。</p>	<p>代替パラメータによる主要パラメータの推定ケースは以下のとおりであり、具体的な推定方法については、第1.15-3表に整理する。</p>	<p>代替パラメータによる主要パラメータの推定ケースは以下のとおりであり、具体的な推定方法については、第1.15.3表に整理する。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映） ・主要パラメータの計測が困難となった場合の代替パラメータによる推定方法は、第1.15.3表にて整理している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>